SYLLABUS

授 業 概 要

◇2025 年度◇

湘南医療大学

保健医療学部

看護学科

目次（保健医療学部　看護学科）

	ページ
Ⅰ.　看護学科の教育について／カリキュラムマップ／教育課程等の概要	1
Ⅱ.　授業科目の概要	17
Ⅲ.　総合教育科目・専門基礎科目・専門科目	27
Ⅳ.　公衆衛生科目　（2022 年度～2023 年度入学者）	185

区分	授業科目の名称	ページ
総合教育科目	コミュニケーション論	28
	チーム医療論Ⅰ	29
	チーム医療論Ⅱ	30
	英語Ⅰ	31
	英語Ⅱ	32
	英語Ⅲ	34
	中国語	35
	韓国語	36
	文学	37
	教育学	38
	文化人類学	39
	国際保健医療論	40
	音楽論	41
	レクリエーションスポーツ	42
	情報リテラシー	44
	保健統計学の基礎	46
	法学（含日本国憲法）	48
	生物学	50
	物理学	52
	生化学	54
	環境論	55
	放射線概論	57
	哲学	58
	生命倫理学	59
	社会学	60
	ジェンダー学	61
	人間の行動と心理	62
	ボランティア学	64
専門基礎科目	人体の構造・機能Ⅰ	66
	人体の構造・機能Ⅱ	68
	病態学Ⅰ	70
	病態学Ⅱ	72
	病態学Ⅲ	74
	病態学Ⅳ（精神）	76
	病態学Ⅴ（母子）	78
	微生物学	80
	病理学	82
	現代医療論	84
	薬と毒性学入門	86
	臨床心理学	88

区分	授業科目の名称	ページ
専門基礎科目	臨床栄養学	90
	関係法規	92
	社会福祉論	93
	公衆衛生学	94
	疫学Ⅰ	96
	疫学Ⅱ	98
	保健行政論	100
	保健医療情報処理学	101
専門科目	看護学概論	102
	ヘルスアセスメント学Ⅰ	104
	ヘルスアセスメント学Ⅱ	106
	ヘルスアセスメント学Ⅲ	108
	ナーシングスキル学Ⅰ	110
	ナーシングスキル学Ⅱ	114
	ナーシングプロセスⅠ	116
	ナーシングプロセスⅡ	118
	地域・在宅看護学	121
	生涯発達看護論	123
	看護倫理	125
	看護基礎ゼミ	127
	臨床薬理看護学	129
	リハビリテーション看護論	131
	成人看護学	133
	成人看護方法論Ⅰ	135
	成人看護方法論Ⅱ	137
	老年看護学	139
	老年看護方法論	141
	小児看護学	143
	小児看護方法論	145
	母性看護学	147
	母性看護方法論	149
	精神看護学	151
	精神看護方法論	153
	在宅看護方法論	155
	地域看護方法論	158
	災害看護学	160
	国際看護学	162
	看護管理学	164
	看護研究	166
	プロフェッショナル論Ⅰ	168

区分	授業科目の名称	ページ
専門科目	プロフェッショナル論Ⅱ	169
	プロフェッショナル論Ⅲ	171
	保健医療看護の最前線	173
	看護応用ゼミ	175
	看護基盤実習Ⅰ	178
	看護基盤実習Ⅱ	179
	ヘルスプロモーション実習	180
	急性期看護実習	181
	慢性期看護実習	182
	統合実習	183
公衆衛生科目	公衆衛生看護学	186
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	188
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	190
	公衆衛生看護学演習	192
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	195
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	196

Ⅰ．看護学科の教育について
カリキュラムマップ
教育課程等の概要

湘南医療大学　保健医療学部　看護学科の教育について

2022 年 4 月 1 日～

看護学科の教育目的

看護学科は、幅広い視野で人間を理解できる教養を備え、専門職業人としての倫理観を育み、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を身につけ、地域・社会に貢献できる能力をもつ人材の養成を目的としています。

看護学科の教育目標

1）生命に対する畏敬の念をもち、倫理に基づいた行動ができる能力を養う。

2）人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解する能力を養う。

3）科学的根拠に基づき人びとの健康上の課題に対処できる能力を養う。

4）関連職種と連携・協働し看護を実践する能力を養う。

5）人として自己成長を続けながら地域に貢献することができる人材を養う。

ディプロマ・ポリシー（DP：Diploma Policy　学位授与方針）

1）【人間の命と個を尊重できる力】

ふれあい学園の理念である「人を尊び、命を尊び、個を敬愛する」の精神に基づき、対象者の尊厳と権利を擁護することができる。

2）【エビデンスに基づく実践力】

あらゆる場・あらゆる成長発達段階にある対象者の生活と健康課題を理解し、エビデンスに基づき問題を解決するために看護を実践できる。

3）【援助的コミュニケーション力】

対象者とのコミュニケーションを通して、援助的関係を形成し、病状の安定・改善、成長を促進することができる。

4）【チームで連携し協働する力】

対象者の健康問題を解決するために、多職種や地域の人々の専門性や強みを尊重し協働できる。

5）【安全を保障する力】

医療事故のみならず、人間の生存・生活・尊厳を脅かすあらゆる種類の脅威から対象者を護るための基本的な看護が実践できる。

6）【看護の発展に対応する力】

社会状況やニーズの変化に対応し、看護師の五感や情報科学・テクノロジーを適切に用いることで看護の専門性の発展に寄与できる基礎的能力を身につける。

カリキュラム・ポリシー（CP：Curriculum Policy　教育課程編成・実施方針）

1）カリキュラムの編成は、本学の理念を基盤とし、科目区分を『総合教育科目』『専門基礎科目』『専門科目』とする。

2）『総合教育科目』は「コミュニケーション」「文化」「健康」「情報」「環境」「尊厳」で構成する。科目の目的によって、リハビリテーション学科と合同で実施する。

3）『専門基礎科目』は「人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復」「健康支援と社会保障制度」で構成する。

4）看護の『専門科目』は、「看護の基盤」「健康状態に応じた看護」「社会の変化と看護の統合」で構成し、『総合教育科目』『専門基礎科目』と有機的に連携を保つ。

5）『総合教育科目』をはじめ多くの科目を通じ、【人間の命と個を尊重できる力】とともに、リハビリテーション学科と合同で【チームで連携し協働する力】を育む。

6）「看護基礎ゼミ」や「コミュニケーション論」等の初年次教育科目によって、スタディスキル・アカデミックスキルを獲得させ、さらに看護師として必要な【援助的コミュニケーション力】の基礎を育成する。

7）『専門基礎科目』と『専門科目』の進度を有機的に連携させ、早期から『専門科目』を学べるよう配置する。対象者の健康状態を把握する重要な科目は Basic と Advance にわけ、繰り返し学んだり、看護行為の根拠を探究し【エビデンスに基づく実践力】の基礎を育成する。

8）臨地実習では、ふれあいグループの特徴を活用し、一か所で複数の実習を実施できる利点を生かし、環境変化に伴う学生のストレスを軽減するとともに、目の前の実習課題のみならず広い視野で人間の【安全を保障する力】を養う。

9）看護の発展を思考する「社会の変化と看護の統合」科目や、高学年次に開講される『総合教育科目』によって、【看護の発展に対応する力】を育成する。

アドミッション・ポリシー（AP：Admisson Policy　入学者選抜方針）

1）入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2）人が好きで、生命に対する倫理感がしっかりしている。

3）保健・看護に対する意欲や関心が高く、この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。

4）入学後も生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある幅広い人間性、協調性と柔軟性をもち、周囲の人々と良好な関係を保つことができる。

5）自分の行動や考えに責任を持つことができる。

アセスメント・ポリシー

保健医療学部のアセスメント・ポリシーは、教育活動の改善および充実を図るため、３つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）に基づく様々な取り組み状況について評価視点を基に形成評価を行い、機関（保健医療学部、各学科）ごとの評価・検証を行う。

（１）教育実践の評価は、多様な観点と手法を用いた評価と、その結果としての教育改善のサイクルに対して行う。

（２）学生の学修成果の評価は、ディプロマ・ポリシーの到達目標の達成度に対して行う。

（３）カリキュラム評価は、教育課程及び科目レベル毎のセメスター毎の授業評価（学生、担当教員）をはじめ、量的質的指標を基に形成評価を行う。

（４）セメスター及び年度毎の形成評価、４年ごとの総括評価をもとに、必要であればカリキュラム改正を行うことを検討する。

■看護学科

時期	入学時	在学中	卒業時
大学全体(機関)レベル	・各種入学試験 ・入学時学力調査 （プレイスメントテスト） ・入学前課題遂行力 ・出願書類の記載事項	・休学率 ・退学率 ・ＧＰＡ ・授業評価アンケート ・学生生活調査	・学位授与率 ・卒業率 ・国家試験合格率 ・大学院進学率 ・就職率 ・卒業時アンケート ・就職先の第三者評価
教育課程レベル	・入試区分成績調査 ・ＰＲＯＧテスト	・ＧＰＡ ・単位修得状況 ・進級率(留年率) ・授業評価アンケート	・ＧＰＡ ・単位取得状況 ・資格・免許取得状況 ・国家試験合格率、合格者数 ・ＰＲＯＧテスト
授業科目レベル	・入試区分成績調査	・単位修得状況 ・授業評価アンケート ・定期試験(小テスト含む) ・進級率	

保健医療学部　看護学科　ナンバリングコード

部局コード

H	保健医療学部

学科コード（教育課程）

NS	看護学科
PN	看護学科（保健師課程）
PT	理学療法学専攻
OT	作業療法学専攻
CO	共通科目

看護コアカリコード

A	看護系人材として求められる基本的な資質・能力
B	社会と看護学
C	看護の対象理解に必要な基本的知識
D	看護実践の基本となる専門基礎知識
E	多様な場における看護実践に必要な基本的知識
F	臨地実習
G	看護学研究
O	大学独自のカリキュラム

保健師課程コアカリコード

A	保健師として求められる基本的な資質・能力
B	社会と公衆衛生看護学
C	公衆衛生看護の対象理解に必要な基本的知識と関連する知識
D	公衆衛生看護実践の基本となる専門基礎知識と技術
E	公衆衛生看護活動
F	公衆衛生看護学研究
G	臨地実習

水準コード（新ブルームタキソノミー）

1	記憶（Remembering）、 理解（Understanding）
2	応用（Applying）
3	分析（Analyzing）、創造（ Creating）

カリキュラムツリー（「看護モデルコアカリキュラム」と「ブルームのタキソノミー」）を用いて

カリキュラムツリーとは：学修の順序や、授業科目間の系統性を図示したもの。カリキュラムツリーが示されることで、学生は大学や学部のカリキュラムの全体像を俯瞰でき、履修の計画を立てやすくなる

（保健医療学部看護学科　2022年度以降入学者 ）

年次	1年次			2年次	
ブルームタキソノミー / 看護コアカリコード	1	2	3	1	2
A（看護系人材として求められる基本的な資質・能力）	英語Ⅰ 英語Ⅱ （中国語） （韓国語） コミュニケーション論 生命倫理学				（英語Ⅲ）
B（社会と看護学）	情報リテラシー 法学（含日本国憲法） （文学） （環境論※） 教育学 哲学 （音楽論） （社会学） 現代医療論 看護学概論			保健統計学の基礎 公衆衛生学 （保健行政論※） 関係法規 （保健医療情報処理論） （保健医療情報学） 社会福祉論	（国際保健医療論※） 疫学Ⅰ
C（看護の対象理解に必要な基本的知識）	生物学 人間の行動と心理 （物理学） 微生物学 人体の構造・機能Ⅰ 人体の構造・機能Ⅱ 薬と毒性学入門 （生化学） 病理学 （放射線概論） 地域・在宅看護学 生涯発達看護論			病態学Ⅰ 病態学Ⅱ 病態学Ⅲ 病態学Ⅳ（精神） 病態学Ⅴ（母子）	臨床心理学 臨床栄養学 ナーシングプロセスⅠ
D（看護実践の基本となる専門基礎知識）		ヘルスアセスメント学Ⅰ ナーシングスキル学Ⅰ		臨床薬理看護学	ヘルスアセスメント学Ⅱ ナーシングスキル学Ⅱ 成人看護学 成人看護方法論Ⅰ 老年看護学 老年看護方法論 小児看護学 母性看護学 精神看護学 地域看護方法論
E（多様な場における看護実践に必要な基本的知識）					
F（臨地実習）	看護基盤実習Ⅰ				看護基盤実習Ⅱ
G（看護学研究）					
O（大学独自のカリキュラム）	チーム医療論Ⅰ ボランティア学 （ジェンダー学） （レクリエーションスポーツ） 看護基礎ゼミ			プロフェッショナル論Ⅰ	

総合共通科目	専門基礎科目	看護専門科目	保健師課程科目	ブルームのタキソノミー	
（　）選択科目		※保健師必修科目 保健師関係科目は2022年度～ ～2023年度入学生が対象		1	記憶、理解
				2	応用
				3	分析、評価、創造

2年次	3年次			4年次		
3	1	2	3	1	2	3
（疫学Ⅱ※）	災害看護学			（文化人類学）		
		ナーシングプロセスⅡ 看護倫理				
	看護管理学	ヘルスアセスメント学Ⅲ 成人看護方法論Ⅱ 小児看護方法論 母性看護方法論 精神看護方法論 在宅看護方法論 リハビリテーション看護論				
		（公衆衛生看護学） （公衆衛生看護活動論Ⅰ）		国際看護学	（公衆衛生看護活動論Ⅱ）	（公衆衛生看護学演習）
		ヘルスプロモーション実習 急性期看護実習 慢性期看護実習			（公衆衛生看護学実習Ⅱ）	統合実習 （公衆衛生看護学実習Ⅰ）
		看護研究				
		プロフェッショナル論Ⅱ			看護応用ゼミ （保健医療看護の最前線）	チーム医療論Ⅱ プロフェッショナル論Ⅲ

カリキュラムマップ（ディプロマ・ポリシー：DPを用いて）

カリキュラム・マップ：授業科目と教育目標の関係を示した表のことです。ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業までに身につける能力がどの項目と関連するのかを示したり、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したりするもの。

（保健医療学部看護学科　2022年度以降入学者 ）

科目区分		授業科目の名称	単位数		新カリキュラム DP					
			必修	選択	1 人間の命と個を尊重できる力	2 エビデンスに基づく実践力	3 援助的コミュニケーション力	4 チームで連携し協働する力	5 安全を保障する力	6 看護の発展に対応する力
総合教育科目	人間とコミュニケーション	コミュニケーション論	1		○		○			
		チーム医療論Ⅰ	1				○	○		
		チーム医療論Ⅱ	1				○	○		
		英語Ⅰ	1				○			
		英語Ⅱ	1				○			
		英語Ⅲ		1			○			
		中国語		1			○			
		韓国語		1			○			
	人間と文化	文学		1	○					
		教育学	1		○					
		文化人類学		1	○					
		国際保健医療論		1	○			○	○	
		音楽論		1	○					
	人間と健康	レクリエーションスポーツ		2	○					
	人間と情報	情報リテラシー	1		○				○	
		保健統計学の基礎	2			○			○	
	人間と環境	法学（含日本国憲法）	2		○				○	
		生物学		2		○				
		物理学		2		○				
		生化学		1		○				
		環境論		2	○	○				
		放射線概論		1		○			○	
	人間の本質と尊厳	哲学		1	○					
		生命倫理学	1		○					
		社会学		1	○					
		ジェンダー学		1	○					
		人間の行動と心理	2		○					
		ボランティア学	1		○			○		
専門基礎科目	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	人体の構造・機能Ⅰ	2			○			○	
		人体の構造・機能Ⅱ	2			○			○	
		病態学Ⅰ	2			○			○	
		病態学Ⅱ	2			○			○	
		病態学Ⅲ	1			○			○	
		病態学Ⅳ(精神)	1			○			○	
		病態学Ⅴ(母子)	1			○			○	
		微生物学	1			○			○	
		病理学	1			○			○	
	健康支援と社会保障制度	現代医療論	1		○			○		○
		薬と毒性学入門	2			○			○	
		臨床心理学	1		○	○	○			
		臨床栄養学	1			○				
		社会福祉論	1		○			○		
		関係法規	1			○			○	
		疫学Ⅰ	1			○			○	○
		疫学Ⅱ		1		○			○	○
		公衆衛生学	1					○	○	○
		保健行政論		1				○	○	○
		保健医療情報処理論 保健医療情報学		1		○				○

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	新カリキュラム DP 1 人間の命と個を尊重できる力	2 エビデンスに基づく実践力	3 援助的コミュニケーション力	4 チームで連携し協働する力	5 安全を保障する力	6 看護の発展に対応する力
専門科目	基盤科目	看護学概論	1		○		○	○		
		ヘルスアセスメント学Ⅰ	1			○	○		○	
		ヘルスアセスメント学Ⅱ	2			○			○	
		ヘルスアセスメント学Ⅲ	1			○			○	
		ナーシングスキル学Ⅰ	3			○	○		○	
		ナーシングスキル学Ⅱ	3			○	○		○	
		ナーシングプロセスⅠ	1		○	○	○			
		ナーシングプロセスⅡ	2			○	○		○	
		地域・在宅看護学	2		○		○	○		
		生涯発達看護論	1		○	○			○	
		看護倫理	1		○	○		○		
		看護基礎ゼミ	1		○		○	○		
	応用科目	臨床薬理看護学	1			○		○	○	
		リハビリテーション看護論	1		○			○	○	
		成人看護学	1		○		○	○		
		成人看護方法論Ⅰ	1			○	○	○		
		成人看護方法論Ⅱ	1			○	○	○		
		老年看護学	1		○			○		
		老年看護方法論	1			○	○		○	
		小児看護学	1		○	○			○	
		小児看護方法論	1			○	○		○	
		母性看護学	1		○	○			○	
		母性看護方法論	1		○	○			○	
		精神看護学	1		○		○		○	
		精神看護方法論	1			○	○		○	
		在宅看護方法論	1			○	○	○		
		地域看護方法論	1				○	○		
	発展科目	災害看護学	1					○	○	○
		国際看護学	2		○				○	○
		看護管理学	1					○	○	○
		看護研究	1							○
		プロフェッショナル論Ⅰ	1					○	○	○
		プロフェッショナル論Ⅱ	1					○	○	○
		プロフェッショナル論Ⅲ	1					○	○	○
		保健医療看護の最前線		2						
		看護応用ゼミ	2			○			○	○
	臨地実習	看護基盤実習Ⅰ	2		○	○				
		看護基盤実習Ⅱ	4			○	○			
		ヘルスプロモーション実習	4				○	○		
		急性期看護実習	4			○			○	
		慢性期看護実習	6				○	○		
		統合実習	3					○		○
	公衆衛生看護学 ※2022年度～2023年度入学生	公衆衛生看護学		3	○				○	
		公衆衛生看護活動論Ⅰ		3		○	○			
		公衆衛生看護活動論Ⅱ		3		○	○			
		公衆衛生看護学演習		2		○	○	○		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		4			○	○	○	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ		1			○		○	

教 育 課 程 等 の 概 要

（保健医療学部看護学科 2024年度以降入学者）

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	総時間	配当年次・学期・単位 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	授業科目ナンバリング 部局コード	学科コード	看護学コアカリコード	水準コード（ブルーム）	卒業要件
総合教育科目	人間とコミュニケーション	コミュニケーション論	1			○			15		1							H	CO	A	1	必修15単位＋選択16単位以上、計31単位以上取得すること
		チーム医療論Ⅰ	1			○			15	1								H	NS	0	1	
		チーム医療論Ⅱ	1				○		30								1	H	CO	0	3	
		英語Ⅰ	1			○			15	1								H	CO	A	1	
		英語Ⅱ	1				○		30	1								H	CO	A	1	
		英語Ⅲ		1		○			15			1						H	CO	A	2	
		中国語		1		○			15	1								H	CO	A	1	
		韓国語		1		○			15	1								H	CO	A	1	
	人間と文化	文学		1		○			15	1								H	CO	B	1	
		教育学	1			○			15		1							H	CO	B	1	
		文化人類学		1		○			15							1		H	CO	B	1	
		国際保健医療論		1		○			15				1					H	CO	B	2	
		音楽論		1		○			15		1							H	CO	B	1	
	人間と健康	レクリエーションスポーツ		2			○		60	2								H	CO	0	1	
	人間と情報	情報リテラシー	1				○		30	1								H	CO	B	1	
		保健統計学の基礎	2			○			30			2						H	NS	B	1	
	人間と環境	法学（含日本国憲法）	2			○			30	2								H	CO	B	1	
		生物学		2		○			30	2								H	CO	C	1	
		物理学		2		○			30	2								H	CO	C	1	
		生化学		1		○			15		1							H	CO	C	1	
		環境論		2		○			30	2								H	CO	B	1	
		放射線概論		1		○			15		1							H	CO	C	1	
	人間の本質と尊厳	哲学		1		○			15		1							H	CO	0	1	
		生命倫理学	1			○			15		1							H	CO	A	1	
		社会学		1		○			15		1							H	CO	B	1	
		ジェンダー学		1		○			15		1							H	CO	0	1	
		人間の行動と心理	2			○			30	2								H	CO	C	1	
		ボランティア学	1			○			30		1							H	CO	0	1	
	小計（２８科目）		15	20	0	－												－				
専門基礎科目	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	人体の構造・機能Ⅰ	2			○			60	2								H	NS	C	1	必修22単位＋選択2単位以上、計24単位以上取得すること
		人体の構造・機能Ⅱ	2			○			60		2							H	NS	C	1	
		病態学Ⅰ	2			○			60			2						H	NS	C	1	
		病態学Ⅱ	2			○			60			2						H	NS	C	1	
		病態学Ⅲ	1			○			30				1					H	NS	C	1	
		病態学Ⅳ（精神）	1			○			30				1					H	NS	C	1	
		病態学Ⅴ（母子）	1			○			30			1						H	NS	C	1	
		微生物学	1			○			30	1								H	NS	C	1	
		病理学	1			○			30		1							H	NS	C	1	
	健康支援と社会保障制度	現代医療論	1			○			30		1							H	NS	B	1	
		薬と毒性学入門	2			○			30		2							H	NS	C	1	
		臨床心理学	1			○			30			1						H	NS	C	2	
		臨床栄養学	1			○			30			1						H	NS	C	2	
		関係法規	1			○			15			1						H	NS	B	1	
		社会福祉論	1			○			15				1					H	CO	B	1	
		公衆衛生学	1			○			30			1						H	CO	B	1	
		疫学Ⅰ	1			○			30				1					H	NS	B	2	
		疫学Ⅱ		1		○			15				1					H	NS	B	3	
		保健行政論		1		○			15			1						H	CO	B	1	
		保健医療情報学		1		○			15			1						H	NS	B	1	
	小計（２０科目）		22	3	0	－												－				

教育課程等の概要

（保健医療学部看護学科 2024年度以降入学者）

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	総時間	配当年次・学期・単位 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	授業科目ナンバリング 部局コード	学科コード	看護学コアカリコード	水準コード（ブルーム）	卒業要件
専門科目	基盤科目	看護学概論	1			○			30	1								H	NS	B	1	必修46単位＋選択2単位取得すること
		ヘルスアセスメント学Ⅰ	1			○	○		30		1							H	NS	D	2	
		ヘルスアセスメント学Ⅱ	2			○	○		60				2					H	NS	D	2	
		ヘルスアセスメント学Ⅲ	1			○	○		30					1				H	NS	D	3	
		ナーシングスキル学Ⅰ	3			○	○		90		3							H	NS	D	2	
		ナーシングスキル学Ⅱ	3			○	○		90			3						H	NS	D	2	
		ナーシングプロセスⅠ	1			○	○		30			1						H	NS	C	2	
		ナーシングプロセスⅡ	2			○	○		90					2				H	NS	C	2	
		地域・在宅看護学	1			○	○		30		1							H	NS	C	1	
		生涯発達看護論	1			○			30		1							H	NS	C	1	
		看護倫理	1			○	○		30					1				H	NS	B	2	
		看護基礎ゼミ	1				○		30	1								H	NS	0	1	
	応用科目	臨床薬理看護学	1			○			30				1					H	NS	D	1	
		リハビリテーション看護論	1			○			30					1				H	NS	D	2	
		成人看護学	1			○	○		30			1						H	NS	D	2	
		成人看護方法論Ⅰ	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		成人看護方法論Ⅱ	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		老年看護学	1			○	○		30			1						H	NS	D	2	
		老年看護方法論	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		小児看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		小児看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		母性看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		母性看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		精神看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		精神看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		在宅看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		地域看護方法論	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
	発展科目	災害看護学	2			○			30					2				H	NS	B	1	
		国際看護学	2			○			30							2		H	NS	E	1	
		看護管理学	2			○			30					2				H	NS	D	1	
		看護研究	2			○	○		30					2				H	NS	G	2	
		プロフェッショナル論Ⅰ	1			○	○		30				1					H	NS	0	1	
		プロフェッショナル論Ⅱ	1			○	○		30					1				H	NS	0	2	
		プロフェッショナル論Ⅲ	1			○	○		30								1	H	NS	0	3	
		保健医療看護の最前線		2		○			30							2		H	NS	0	2	
		看護応用ゼミ	2				○		60							2		H	NS	0	2	
	小計（３６科目）		46	2	0	－												－				
	臨地実習	看護基盤実習Ⅰ	2					○	90	2								H	NS	F	1	必修23単位取得すること
		看護基盤実習Ⅱ	4					○	180				4					H	NS	F	2	
		ヘルスプロモーション実習	4					○	180						4			H	NS	F	2	
		急性期看護実習	4					○	180						4			H	NS	F	2	
		慢性期看護実習	6					○	270						6			H	NS	F	2	
		統合実習	3					○	135							3		H	NS	F	3	
	小計（６科目）		23	0	0	－												－				

学位又は称号	学士（看護学）	学位または学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、必修１０６単位、総合教育科目の選択科目から１６単位、専門基礎科目の選択科目から２単位、専門科目の選択科目から２単位以上を取得し、１２６単位以上取得していること。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

教育課程等の概要

（保健医療学部看護学科 2022年度～2023年度以降入学者）

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	総時間	配当年次・学期・単位 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	授業科目ナンバリング 部局コード	学科コード	看護学コアカリコード	水準コード（ブルーム）	卒業要件
総合教育科目	人間とコミュニケーション	コミュニケーション論	1			○			15		1							H	CO	A	1	必修15単位＋選択16単位以上、計31単位以上取得すること （保健師課程履修者は、※の2科目が選択必修）
		チーム医療論Ⅰ	1			○			15	1								H	NS	0	1	
		チーム医療論Ⅱ	1				○		30								1	H	CO	0	3	
		英語Ⅰ	1			○			15	1								H	CO	A	1	
		英語Ⅱ	1				○		30	1								H	CO	A	1	
		英語Ⅲ		1		○			15			1						H	CO	A	2	
		中国語		1		○			15	1								H	CO	A	1	
		韓国語		1		○			15	1								H	CO	A	1	
	人間と文化	文学		1		○			15	1								H	CO	B	1	
		教育学	1			○			15		1							H	CO	B	1	
		文化人類学		1		○			15							1		H	CO	B	1	
		国際保健医療論　※		1		○			15				1					H	CO	B	2	
		音楽論		1		○			15		1							H	CO	B	1	
	人間と健康	レクリエーションスポーツ		2			○		60	2								H	CO	0	1	
	人間と情報	情報リテラシー	1				○		30	1								H	CO	B	1	
		保健統計学の基礎	2			○			30			2						H	NS	B	1	
	人間と環境	法学（含日本国憲法）	2			○			30	2								H	CO	B	1	
		生物学		2		○			30	2								H	CO	C	1	
		物理学		2		○			30	2								H	CO	C	1	
		生化学		1		○			15		1							H	CO	C	1	
		環境論　※		2		○			30	2								H	CO	B	1	
		放射線概論		1		○			15		1							H	CO	C	1	
	人間の本質と尊厳	哲学		1		○			15		1							H	CO	0	1	
		生命倫理学	1			○			15		1							H	CO	A	1	
		社会学		1		○			15		1							H	CO	B	1	
		ジェンダー学		1		○			15		1							H	CO	0	1	
		人間の行動と心理	2			○			30	2								H	CO	C	1	
		ボランティア学	1			○			30		1							H	CO	0	1	
	小計（２８科目）		15	20	0	－												－				
専門基礎科目	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	人体の構造・機能Ⅰ	2			○			60	2								H	NS	C	1	必修22単位＋選択2単位以上、計24単位以上取得すること （保健師課程履修者は、※の2科目が選択必修）
		人体の構造・機能Ⅱ	2			○			60		2							H	NS	C	1	
		病態学Ⅰ	2			○			60			2						H	NS	C	1	
		病態学Ⅱ	2			○			60			2						H	NS	C	1	
		病態学Ⅲ	1			○			30				1					H	NS	C	1	
		病態学Ⅳ（精神）	1			○			30				1					H	NS	C	1	
		病態学Ⅴ（母子）	1			○			30			1						H	NS	C	1	
		微生物学	1			○			30	1								H	NS	C	1	
		病理学	1			○			30		1							H	NS	C	1	
	健康支援と社会保障制度	現代医療論	1			○			30		1							H	NS	B	1	
		薬と毒性学入門	2			○			30		2							H	NS	C	1	
		臨床心理学	1			○			30			1						H	NS	C	2	
		臨床栄養学	1			○			30			1						H	NS	C	2	
		関係法規	1			○			15			1						H	NS	B	1	
		社会福祉論	1			○			15				1					H	CO	B	1	
		公衆衛生学	1			○			30			1						H	CO	B	1	
		疫学Ⅰ	1			○			30				1					H	NS	B	2	
		疫学Ⅱ　※		1		○			30				1					H	NS	B	3	
		保健行政論　※		1		○			30			1						H	CO	B	1	
		保健医療情報処理論		1		○			30			1						H	NS	B	1	
	小計（２０科目）		22	3	0	－												－				

教育課程等の概要

（保健医療学部看護学科 2022年度～2023年度以降入学者）

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	総時間	配当年次・学期・単位 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	授業科目ナンバリング 部局コード	学科コード	看護学コアカリコード	水準コード（ブルーム）	卒業要件
専門科目	基盤科目	看護学概論	1			○			30	1								H	NS	B	1	必修46単位＋選択2単位取得すること
		ヘルスアセスメント学Ⅰ	1			○	○		30		1							H	NS	D	2	
		ヘルスアセスメント学Ⅱ	2			○	○		60				2					H	NS	D	2	
		ヘルスアセスメント学Ⅲ	1			○	○		30					1				H	NS	D	3	
		ナーシングスキル学Ⅰ	3			○	○		90		3							H	NS	D	2	
		ナーシングスキル学Ⅱ	3			○	○		90			3						H	NS	D	2	
		ナーシングプロセスⅠ	1			○	○		30			1						H	NS	C	2	
		ナーシングプロセスⅡ	2			○	○		90					2				H	NS	C	2	
		地域・在宅看護学	1			○	○		30		1							H	NS	C	1	
		生涯発達看護論	1			○			30		1							H	NS	C	1	
		看護倫理	1			○	○		30					1				H	NS	B	2	
		看護基礎ゼミ	1				○		30	1								H	NS	0	1	
	応用科目	臨床薬理看護学	1			○			30				1					H	NS	D	1	
		リハビリテーション看護論	1			○			30					1				H	NS	D	2	
		成人看護学	1			○	○		30			1						H	NS	D	2	
		成人看護方法論Ⅰ	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		成人看護方法論Ⅱ	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		老年看護学	1			○	○		30			1						H	NS	D	2	
		老年看護方法論	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		小児看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		小児看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		母性看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		母性看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		精神看護学	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
		精神看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		在宅看護方法論	1			○	○		30					1				H	NS	D	2	
		地域看護方法論	1			○	○		30				1					H	NS	D	2	
	発展科目	災害看護学	2			○			30					2				H	NS	B	1	
		国際看護学	2			○			30							2		H	NS	E	1	
		看護管理学	2			○			30					2				H	NS	D	1	
		看護研究	2			○	○		30					2				H	NS	G	2	
		プロフェッショナル論Ⅰ	1			○	○		30				1					H	NS	0	1	
		プロフェッショナル論Ⅱ	1			○	○		30					1				H	NS	0	2	
		プロフェッショナル論Ⅲ	1			○	○		30								1	H	NS	0	3	
		保健医療看護の最前線		2		○			30							2		H	NS	0	2	
		看護応用ゼミ	2				○		60							2		H	NS	0	2	
	小計（３６科目）		46	2	0	－												－				
	臨地実習	看護基盤実習Ⅰ	2					○	90	2								H	NS	F	1	必修23単位取得すること
		看護基盤実習Ⅱ	4					○	180				4					H	NS	F	2	
		ヘルスプロモーション実習	4					○	180						4			H	NS	F	2	
		急性期看護実習	4					○	180						4			H	NS	F	2	
		慢性期看護実習	6					○	270						6			H	NS	F	2	
		統合実習	3					○	135							3		H	NS	F	3	
	小計（６科目）		23	0	0	－												－				
公衆衛生科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学　※		3		○			45					3				H	PN	E	2	保健師選択学生のみ履修可（必修）
		公衆衛生看護活動論Ⅰ　※		3		○	○		45					3				H	PN	E	2	
		公衆衛生看護活動論Ⅱ　※		3		○	○		45							3		H	PN	E	2	
		公衆衛生看護学演習　※		2		○	○		60							2		H	PN	E	3	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ　※		4				○	180							4		H	PN	F	3	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ　※		1				○	45							1		H	PN	F	2	
	小計（６科目）		0	16	0	－												－				

学位又は称号	学士（看護学）	学位または学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、必修１０６単位、総合教育科目の選択科目から１６単位、専門基礎科目の選択科目から２単位、専門科目の選択科目から２単位以上を取得し、１２６単位以上取得していること。 保健師課程履修者は、総合教育科目のうち国際医療保健論（１単位）、環境論（２単位）、専門基礎科目のうち疫学Ⅱ（１単位）、保健行政論（１単位）および公衆衛生科目の１６単位（選択１６単位）を選択必修とする。卒業要件は、必修１０６単位、選択３６単位、合計１４２単位以上を取得していることとする。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

Ⅱ－１．授業科目の概要

＜2022 年度以降入学者＞

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
総合教育科目	人間とコミュニケーション	コミュニケーション論	ケアや社会福祉援助では常に人と人との関係性のあり方が問題となる。人間存在と人間関係、社会的相互作用と社会的役割の理解の上に、医療を受ける人々を一人の人間として、心から大切にしようとする「誠実さ」と、それに支えられた「出会い」によって、対話が成立し、医療を受ける対象およびその家族の理解が充実発展でき、より良い関係を築く基礎を学修する。	１年後期
		チーム医療論Ⅰ	医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供することを理解する。チーム医療実践例を提示し保健，医療，福祉を含め、地域で生活する人や患者・障害を抱える人の問題に対するチームアプローチの基礎的知識を学修する。	１年通期
		チーム医療論Ⅱ	チーム医療論Ⅰでの基礎的知識を基盤とし、保健医療学部（看護学科・リハビリテーション学科）と薬学部合同で、臨地実習で得た経験を統合し、各々の専門性を自覚して情報を共有して業務を分担し連携協働する方法を学修する。	４年後期
		英語Ⅰ	高等学校で学んで基本的事項を確認しながら、さらに高度な英文の文化に触れるとともに、まとまりのある文章の概念や要点をできるだけ速く、多く読み取るという高度な読解力を養い、目的に応じた読みを可能にすることを目的として学修する。	１年前期
		英語Ⅱ	医学英語の知識をつけ、医療専門家としてのコミュニケーションの基礎（読み・書き）を身に付ける。 医療に関わる基本用語（英語・英語表現）を修得する。	１年前期
		英語Ⅲ	医療の臨床実践に必要な用語や表現、外国人患者と接する際に必要な英語や心構え、医療従事者間での英語によるコミュニケーションについて学ぶ。	２年前期
		中国語	中国語の基礎的知識を学習するとともに、中国の文化についても触れながら日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。	１年前期
		韓国語	韓国語の文字と発音および基礎的な文法を学習するとともに、韓国の文化についても触れながら、日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。	１年前期
	人間と文化	文学	文学の概念と日本の代表的な韻文を中心に学修する。様々な形態の韻文を味わいながら、文学的価値を学習することを通して、時代背景や個々の文学の特徴をとらえるとともに、そこから日本の伝統美、ことばの美しさ、ことばのリズム、日本人の美意識について理解するとともに文学の基礎的な力、感性を養い、その過程で表現する能力を身につけるよう学修する。	１年前期
		教育学	教育の意義と基本的な事項、課題を理解し、現代社会に生きる子どもと大人の教育環境のあり方を考える。具体的には、公教育と教育環境の理念、学校教育と社会教育の制度、特別支援教育、学校の教育課程、安全教育、学校給食、生涯学習の推進、幼児教育の動向、そして人権教育について、国内外の事例を参照して学習する。	１年後期
		文化人類学	我々人間が無意識のうちに認識し実践している文化は、社会によって極めて多様であり、ある社会にとっての常識が別の社会ではそうではないことがめずらしくない。文化人類学とは、そのような文化の多様性を認識しつつ、共通の理解が可能な普遍性も求めていく学問である。授業では、毎回一定のテーマに沿って様々な文化的事象の解説と事例研究を行い、文化相対主義的な考え方を学ぶ。	４年前期
		国際保健医療論	進行するグローバル化の中で、世界の医療分野で活躍できるような人材を育成するために、先進国と新興国における保健医療の実態と主体的関わり方を学ぶ。また、WHOの役割とその実際の成果を学ぶ。ワークショップを通して日本の看護師、理学療法士、作業療法士が特にアジアやアフリカの開発途上国で何ができるかを考え（援助の方法）、まとめる。	２年後期
		音楽論	芸術領域である音楽を広く理解し、音楽を取り入れた療法への知見を学修する。具体的には音楽が持つ生理的、心理的、社会的働きを意図的・計画的な活用方法を学修する。また、音楽療法における個人の幸福や人間的成長を追求することを通して、心身の障害の回復、健康維持機能の改善と健康増進および生活の質向上への支援方法の基礎を学修する。	１年後期
	人間と健康	レクリエーションスポーツ	年代、体力、障害等を考慮した身体運動の必要性及び指導上の注意事項に関する基礎的知識を理解する。QOLを高めるための体力測定、体操、各種スポーツの基礎的能力を身につける。	１年通期

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
総合教育科目	人間と情報	情報リテラシー	コンピュータを有効に活用するための能力（コンピュータリテラシー）を身につける。現代社会における情報と、ICT(InformationandCommunicationTechnology)の意義について理解し、情報を収集・活用していくための方法と技術を修得する事を目的とする。	１年前期
		保健統計学の基礎	自然現象や社会現象を統計学的に観察・分析するために、データの種類と分布、測定と尺度、確率分布、代表地と散布度など統計学の基本的な概念と方法を学修する。さらに、健康の指標となる人口統計や保健統計について学び、国内外の健康問題について学修する。	２年前期
	人間と環境	法学（含日本国憲法）	国家の核である日本国憲法を中心に我が国の法体系の概観と法の仕組みとはたらきを学習する。また、大学生が教養として持つべき基本的な法律の制度について学ぶ。法制度の理解のために、本講義では判例などを用いながら、法がどのように作用するのかを検討しながら進めるものとする。 また、医療と法の関わりを理解し、看護師として必要な法的視点について学修する。	１年前期
		生物学	生物学は、近代科学の方法論と手法により生物そのものにとどまらず、生物が示す様々な生命現象を明らかにすることを目指す学問である。現代の医学・薬学分野の発展は、生命現象の分子レベルでの理解と遺伝子工学や細胞工学などのバイオテクノロジーの発展によるところが大きい。従って、医学・薬学を理解する上で、生物学の知識は必須のものである。本講義では、生物学（生命科学）の基礎知識を概説し、バイオテクノロジーの原理を理解し、それらがどのように医療分野に応用されているかについて学修する。	１年前期
		物理学	力学、電磁気学、波動の分野について、自然や身の回りの事象を理解するための物理学の基本事項を学ぶ。	１年前期
		生化学	人体の生命現象を化学的方法で解明するために、生体を構成する糖質、脂質、タンパク質等の物質を理解すると共に、それらの生体内の物質代謝とエネルギー獲得、および遺伝情報とその発現について学修する。	１年後期
		環境論	環境保全は２１世紀に生きる人類にとって、その存亡をかけた最大の問題である。環境問題とは何か。環境保全の歴史、環境問題が地球全体にかかわる問題であることを学修し、その問題にどう対処するかを現代人として論考できる能力を養う。	１年前期
		放射線概論	臨床現場で必要とされる放射線の知識および放射線治療総論、放射線による障害と防護や放射線の身体への影響について学修する。さらに放射線画像の基礎を学修する。また、発がんへの心理的・社会的問題についても学ぶ。	１年後期
	人間の本質と尊厳	哲学	文明の発祥から現代に至るまでの東西を問わず先人の哲学思想を通して、人間とは何か、生きるとは何かについて思索する。「哲学を学ぶことの意義、科学と宗教と哲学、私であるということ、物質と生命の神秘、身体と精神、自由、および美しく善く生きること」等の学修内容を通して、「生きること」や「存在の意味」について、主体的に深く思索する姿勢と建設的批判力を身につけ、自己の人間観や世界観を醸成できることを目的とし、幅広く人間を理解する能力を養う。	１年後期
		生命倫理学	現代医療は生命倫理の土台の上に成り立っている。この講義では、倫理とは何かという基本的事項の確認から始め、生命倫理学の成立の歴史を含め、医療人として必要な生命倫理学の基礎的知識や倫理綱領について学修する。また、医療技術の進歩に伴い生じる生命倫理上の重要ないくつかの問題を取り上げることにより、その本質や最近の動向を理解するとともに、それらについて医療職が果たすべき役割を学ぶ。	１年後期

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
総合教育科目	人間の本質と尊厳	社会学	社会的行為、社会的集団、地位と役割、文化などの社会学の基本概念を理解するとともに身近な社会現象である家族や職場、地域社会、健康問題、福祉、倫理問題など、現実の社会や社会問題がどのように捉えられ、理解されているかを学修する。	１年後期
		ジェンダー学	「ジェンダー」は、生物学的な性差に付加された社会的・文化的性差のことであり、個人の生きづらさや多様な社会課題と深く関係しており、医療従事者として不可欠の視点である。授業では、ジェンダー概念の基礎と国内外の動向について学ぶとともに、家族・教育・労働・災害・暴力・メディアなどの具体的なテーマを通して、実践的な理解を深める。	１年後期
		人間の行動と心理	心理学は、人間の行動の法則性に関する科学である。本教科では、知覚、欲求、思考、学習、人格、記憶などの心理学の基礎から、発達の心理について学修する。また、性格検査、知能検査、カウンセリングなどの医療と心理学について学修する。さらに、人間の一生涯の行程を発達のプロセスとしてとらえ、心身の発達および人格の成熟、発達課題と諸問題について学修する。	１年前期
		ボランティア学	少子高齢化や地方自治の深化に伴い、市民の自発的な活動（ボランタリー活動）に対する期待や関心が高まっている。その領域は、従来の福祉や国際協力だけでなく環境や災害救援、まちづくりなど多岐に渡っており、非営利ではあっても無償ではない事業型ＮＰＯやコミュニティ・ビジネスも増えている。本講義では、そのようなボランティアの変化や意義を、時代背景から読みとき、受講者自らも行動できるような素養・知識の修得を狙いとする。	１年後期
専門基礎科目	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	人体の構造・機能Ⅰ	看護学を学ぶ基礎知識として、「人体の構造・機能Ⅰ」では、はじめに人体を構成する細胞・組織、器官、器官系を学ぶ。続いて動物性機能を有する器官として骨格系、筋系、神経系と感覚器系を、植物性機能を有する器官として循環器系の構造と機能について学ぶ。	１年前期
		人体の構造・機能Ⅱ	解剖生理を学ぶ基礎知識として「人体の構造・機能Ⅱ」では、血液と植物機能の消化器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系の生命維持システムと発生および身体機能の防御について学習する。また、解剖実習見学を行う事で各臓器の位置を学修する。	１年後期
		病態学Ⅰ	主に、呼吸器系、循環器系、消化器系、血液・造血器系、内分泌・代謝系の主な疾患の病態、原因、症状、診断、検査、治療について学修する。	２年前期
		病態学Ⅱ	「人体の構造・機能Ⅰ・Ⅱ」や病理学の学習内容と関連させながら、救急・救命について、救急処置の範囲と対象、救急処置法の原則と実際について学ぶ。また、外科的治療を必要とする主な疾患の病態、病因、症状、診断、検査、治療について学修する。さらに、麻酔法について、その概念、種類、麻酔における管理および、全身麻酔と局所麻酔法について学修する。	２年前期
		病態学Ⅲ	各疾患の原因・症状・診断・検査・治療等、基礎的な知識を学ぶ。病態学Ⅲでは、腎・泌尿器系疾患、男性生殖器、女性生殖器、乳腺疾患に焦点を当てる。	２年後期
		病態学Ⅳ（精神）	精神科領域にみられる主要な疾患の基礎的知識と病態、症状、診断に必要な検査、治療について学修する。具体的には、精神機能の診かたや精神科で行う検査、統合失調症、気分障害、器質性精神障害、アルコール・薬物による精神・行動の障害、神経症性障害、ストレス関連障害等について学修する。	２年後期
		病態学Ⅴ（母子）	妊娠期・分娩期・産褥期に見られる代表的な疾患の原因・診断・治療について学修する。また、新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態・診断・治療について学修する。小児看護を実践する上で必要となる新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態、診断、治療について学修する。	２年通期
		微生物学	生活環境において人体に感染症を引き起こす微生物（細菌・真菌・原虫・ウイルス）の特徴、生態を含めた病原微生物学の総論を学ぶ。また、感染防御における宿主の免疫と感染予防、治療、検査方法、及びそれらに関わるチーム医療（infection control team; ICT）等に関する基礎的知識を学ぶ。	１年前期
		病理学	疾病の基本的な原因と病態の発生過程を病理学的観点より把握するために、奇形・退行性病変、進行性病変、炎症、腫瘍などの知識を学び、それらの病変が組織や臓器に現れた場合の疾患の成り立ちについて学習する。	１年後期

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
専門基礎科目	健康支援と社会保障制度	現代医療論	生命とは、健康とは、病気とはなど保健・医療に携わる者に必要な医療の原点について学習する。まず、医療の歴史的変遷を学ぶことから始め、現代医療が抱えている諸問題とその特徴、変化する社会と医療のあるべき姿について展望する。生命、健康、病気の考え方、現代医療における看護の役割、日本と世界の医療体制、超高齢化社会、尊厳死や終末期医療、脳死と臓器移植、医療安全、医療倫理等について学び、現代医療の有する諸問題を俯瞰し、医療人としての基本的立場を熟成させていく。	１年後期
		薬と毒性学入門	毒の定義と分類、毒性の発症と解毒メカニズム、麻薬の定義と快楽のメカニズム、自然界の毒、毒と社会、毒と薬を求めた歴史、また毒にまつわる事件について習得する。	１年後期
		臨床心理学	臨床心理学は、個人の行動障害や適応困難を心理学的知識と技法に基づいて測定・分析し、解決することを目的とする応用心理学の一分野である。本講義では障害理解の基礎として主要な人格理論を学修する。また人々の精神的健康の回復・保持・増進について学ぶことで、精神疾患や心身症、精神心理的問題・不適応行動などの病態、原因、診断法について理解する。さらにこれらの患者理解の手段としての心理検査や心理療法などの援助技法について学修する。	２年前期
		臨床栄養学	ライフステージと栄養・食生活と健康との関係について学習する。その人にとって望ましい栄養・食生活を日常生活の中で継続することの重要性を認識する。栄養・食生活に問題がある場合に生じやすい健康障害についても学び、免疫力を高め、疾病を予防する方法についても学習する。さらに、さまざまな疾病を抱えた人の食事療法・食事指導ならびに指導効果を判定する方法について学習する。	２年前期
		関係法規	法の概念、法の意義、目的を踏まえ、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律など看護職に関連する法規について学修するとともに、医療法その他関連職種の資格などに関する法律について学修する。さらに、他職種と協働して保健医療福祉活動を推進するうえで欠かせない法令について広く学修する。	２年前期
		社会福祉論	現代社会における社会問題や生活課題を取り上げ、福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係、福祉ニーズと社会資源、社会福祉専門機関や専門職の役割を学ぶ。また様々な福祉領域の制度政策、実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて基本的な学びを深める。さらにこれからの福祉のあり方についても考察することで、保健医療福祉分野での自身の専門職としての役割や専門性についても考察する。	２年後期
		公衆衛生学	公衆衛生の概念及び歴史を踏まえて、健康の指標、人口問題と公衆衛生、衛生統計、疫学、医療・保健・福祉における衛生行政、労働衛生および環境衛生・公害及び公衆衛生の国際協力等について学習する。また、疾病予防と健康管理、地域保健と衛生行政、学校保健、産業保健および健康成立の要因と保健活動、人間を取り巻く環境と公衆衛生活動の意義と役割と組織的な公衆衛生活動について学修する。	２年前期
		疫学Ⅰ	疫学の概念、因果関係、指標、曝露など疫学で使用される基本用語について学習する。具体的には、疫学の概念と、疾病頻度・暴露効果の指標、疫学調査、疾病登録、および、主要な疾患の疫学について学修する。さらに、エビデンスに基づく看護実践のための疫学研究結果の活用について学修する。	２年後期
		疫学Ⅱ	疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康課題を解決するために必要な疫学調査法、社会疫学、政策疫学、臨床疫学、産業保健の疫学を学修する。それにより、 具体的なデータを用いた疾病頻度や暴露効果の指標等の計算、適切な推論など疫学の知識・手法を用いて健康課題を分析し関係者や住民への適切な情報提供ができることを理解する。	２年後期
		保健行政論	保健医療福祉行政の基礎知識、地域における健康問題とその解決に必要な社会資源と保健医療福祉サービスおよびその評価・調整する基礎的な方法について学修する。特に保健医療福祉行政の根拠、保健医療福祉行政の目指すもの、保健医療福祉における課題と政策の発展について学修する。	２年前期
		保健医療情報処理論 保健医療情報学	保健医療情報と情報処理の基本的知識を理解する。そして、それらの情報がどのように活用されているのか実際について探求する。保健医療情報とは病院ではレセプトなども含んで電子カルテシステムであり、保健データは市町村や県、国が提供しているデータがある。それらを適切に処理することで様々な保健医療分野の状況が可視化できる。興味関心のある分野の実際を学生それぞれが自律して情報処理する。	２年前期

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
専門科目	基盤科目	看護学概論	看護学の根幹科目として看護の本質を探究し、専門職として看護学を学修していくための基礎的な知識について学修する。看護学を構成する概念、看護とは、看護の変遷、主な看護理論などについて学修する。また、看護の観点から全人的に捉える人間、健康の概念、環境と健康、生活・ライフスタイルと健康との関連、QOLとセルフケア、職業倫理、看護実践の方法、看護実践の組織化、多職種連携などの看護学の基礎的な知識を学び、人々の健康に寄与する看護職の役割・機能について学修する。	１年前期
		ヘルスアセスメント学Ⅰ	看護の観点から人々の健康状態についてアセスメントする意義と方法について学修する。ヘルスアセスメントの概要、看護過程におけるヘルスアセスメントの意義、バイタルサインの観察技術や問診の技術および系統的に身体面をアセスメントする技術に関する基礎的な知識について学修する。フィジカルアセスメントに必要な身体診査技術（視診・触診・打診・聴診）やバイタルサインの観察技術については、演習において実践力を養う。	１年後期
		ヘルスアセスメント学Ⅱ	ヘルスアセスメントⅠで学んだフィジカルアセスメントの技法を基盤とし、あらゆる年代やさまざまな場における看護の対象者の健康状態と生活への影響をアセスメントする方法を、事例を通してより実践的に学ぶ。	２年後期
		ヘルスアセスメント学Ⅲ	ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱで学んだ知識と技術を基に、シミュレーター等を用いてより実践に近い状況を想定した演習を通し、正常と異常の判断、緊急度の判断等の臨床判断能力を培い、対象者の状況に即したアセスメント・実施・評価の方法を学修する。	３年前期
		ナーシングスキル学Ⅰ	コミュニケーション・安全管理・安楽確保・セルフケア・看護記録などに関する技術について、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学修する。また生活行動に関する看護援助技術について学修する。環境を整える、食生活と栄養摂取、排泄、活動・休息、清潔・衣生活の援助技術などに関して、安全性・安楽性・自立性・個別性などに配慮し、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学び、演習において実践力を養う。	１年後期
		ナーシングスキル学Ⅱ	侵襲を伴う診断や治療を受ける人々に対して、安全面や苦痛の緩和に配慮した根拠に基づく看護援助技術について学修する。呼吸・循環を整える技術、創傷管理技術、与薬・輸血の技術、検査に伴う援助技術、手術に伴う援助技術、救命救急処置技術、感染予防の技術、排泄の処置における援助技術、人生の最終段階における援助技術などの基礎的な知識について学修する。さらに、演習において侵襲性の高い技術を安全面に配慮して実施する。	２年通期
		ナーシングプロセスⅠ	看護の対象となる人の個別性に配慮した看護を提供するために必要な看護過程について学修する。対象となる人を全人的に理解するために必要な情報を収集し、その情報を分析・解釈した上で看護上の課題を導き出し、安全性・安楽性・自立性・個別性などに配慮して看護計画を立案し、計画に基に看護援助を実施して評価する一連のプロセスについて学修する。	２年前期
		ナーシングプロセスⅡ	ナーシングプロセスⅠで習得した思考を基盤とし、あらゆる年代やさまざまな場における対象者への健康問題・課題への看護実践に活用できる能力を身につける。	３年前期
		地域・在宅看護学	地域で生活する人々の健康の保持増進や生活の質の向上を目指して展開される地域看護について、基本的な考え方、活動の場、活動方法、看護職の役割と連携の基本について学修する。また、在宅看護の理念・目的、在宅看護の背景、変遷など在宅看護学の基本的概念や歴史について学ぶ。さらに、現行の在宅看護に関わる諸制度を理解し、在宅看護の場、活動内容、他職種、他機関との連携・協働の必要性を学習することにより、少子高齢化社会において、地域で活動する訪問看護師への社会がもつニーズと、訪問看護師の果たす役割を理解する。	１年後期
		生涯発達看護論	人の一生は発達のプロセスである。人は発達し続ける存在であることを踏まえて、心身の発達、人格の成熟、および発達段階における課題に関する基本的知識を修得するとともに、看護を行う上で必要となる対象とその家族の生活と健康課題について学修する。	１年後期

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
	基盤科目	看護倫理	看護の職業倫理を看護の実践に結びつけて学修する。看護の歴史と看護の職業倫理、人間の尊厳、人権、アドボカシー、正義の倫理、ケアの倫理など看護倫理の基本概念について学ぶとともに、看護師の倫理綱領や倫理の諸規定とその変遷、活用方法について学修し、医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察する。また、遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、アクティブ･ラーニングを活用し、最良の判断を導く過程について学修する。以上の学びを通して、生涯にわたり倫理的感性を培っていく内容とする。	３年前期
		看護基礎ゼミ	大学で学ぶために必要なスタディスキル、アカデミックスキルを修得する。大学生の現状や諸問題を題材に取り上げ、求められる学士力と学習方法について検討し、今後の大学生活の見通しを立てる。	１年前期
専門科目	応用科目	臨床薬理看護学	薬理学の基礎知識を活用した薬物治療を受ける人の看護について学ぶ。治療効果と生活への影響のアセスメント、有害作用の早期発見と予防、誤薬の防止、服薬や治療に関する指導・説明、薬物治療に関わる多職種との連携・協働など、臨床現場で求められる知識、技術について学修する。	２年後期
		リハビリテーション看護論	リハビリテーションの理念を理解し、日本や海外におけるリハビリテーション看護について、歴史的変遷をふまえて基本的知識と技術を学修する。リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について学修する。	３年前期
		成人看護学	成人期にある人の身体的・心理的・社会的特徴を理解するとともに、成人期の人々に特徴的なライフスタイルや健康課題について学ぶ。そして、急性期、回復期、慢性期、終末期といった、さまざまな健康レベルおける看護に適用するための概念や理論について学修する。また、成人期における罹患率が高いがん及び感染看護の概要と必要な概念・理論を学ぶ。	２年前期
		成人看護方法論Ⅰ	入院治療を必要とする成人期の患者の特徴を学び、合併症を予防し、回復を促進する援助の方法を学修する。 急性発症あるいは慢性疾患の急性増悪により集中治療管理を必要とする人や周手術期にある人の病態を学び援助に活かす。	２年後期
		成人看護方法論Ⅱ	慢性的・長期的に経過する健康障害を持つ人のセルフケアを促進し、その人らしい生活を維持するための支援の方法について学修する。さらに、ターミナル期にある人とその家族に対するケア、遺族へのグリーフケアについて学修する。	３年前期
		老年看護学	老いを生きる人々の理解、高齢者の生活と健康を支援する看護の基本的な考え方と関連する知識を学修する。予防からエンドオブライフケアまでの健康レベルの連続と、病院、施設、居宅等の生活の場の移行の中で展開される地域包括ケア時代の老年看護学について概要を理解する。	２年前期
		老年看護方法論	加齢変化や高齢者に特徴的な健康障害を意識した看護方法について学ぶ。高齢者の日常を理解するとともに、その人らしい生活の継続・健康の保持増進を可能とするケア、生活を豊かにするケアについて生活行動モデルを用いて理解を深め、高齢者の看護方法について学修する。	２年後期
		小児看護学	子どもは新生児期から思春期まで成長発達とともに大きく変化する存在である。小児看護学では、子どもの各期の成長発達の特徴、また子どもを育てる家族の特徴、子どもとその家族を取り巻く社会環境について学修する。小児医療の現状と課題を理解し、子どもと家族への看護について考察する力を養う。さらに、学修した新生児から思春期までの子どもの代表的な疾患に見られる症状とその看護について学修する。また、検査・処置時の子どもへの看護として、子どもの心理的準備を行い、安全・安楽な実施となるための方略を学修する。	２年後期
		小児看護方法論	既習の子どもの成長発達や疾病に関する知識を基盤として、子どもとその家族の健康課題を総合的に理解し、小児看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度について学修する。子どもが健やかに成長発達をとげる上で重要な遊びについて学び、看護の視点から健康レベルに配慮した入院中の子どもの遊びについて学修する。	３年前期

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
専門科目	応用科目	母性看護学	女性の生涯を通じた母性の健康の保持・増進、及び次世代の健全育成を支援するため、母性看護の基盤となる概念や理論を理解する。 また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状、母子の健康に関する国際比較や法制度、女性のライフサイクルや健康問題などを学び、母性看護の役割や課題について考察する。	２年後期
		母性看護方法論	周産期の母子とそのパートナーを中心とした家族の健康に焦点を当て、対象の生理的な変化と特徴、適応過程を全人的に理解する。それを基に正常な経過を助長するための看護援助と正常を逸脱しないための予防的な関わり、母親役割獲得及び家族の発達を促す看護について学修する。	３年前期
		精神看護学	精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について学修する。また精神看護学の対象や精神看護を実践する上で基盤となる人間関係論、セルフケア論、ストレングスモデルなどの理論・モデル、精神看護における倫理的諸問題と法的根拠、精神看護の活動の場や専門性について学修する。さらには地域精神保健活動の国内外の動向について概観し、日本の精神保健活動の課題について探究する。	２年後期
		精神看護方法論	精神看護学での学びを基に、精神障害がある人とその家族を理解し、状態の安定維持に向けた看護援助の方法について学修する。具体的には、様々な精神障害にある人の看護および主な精神症状に対する看護について学ぶ。また精神障害のある人の社会復帰に向けた援助と社会適応やリカバリーをめざして生活を維持していくための支援方法について学修する。さらに活用できる諸制度、マンパワー、チーム医療等の社会資源の活用方法についても学修する。	３年前期
		在宅看護方法論	在宅療養者の自立支援に対する考え方や対象者との信頼関係の構築、療養生活の安定を図るための日常生活援助技術、医療依存度の高い療養者に対する在宅支援、在宅療養生活における健康危機管理や感染予防、在宅療養者とその家族を中心とした多職種連携の実際などについて学修する。また、様々な発達段階にあり健康上の課題をもって生活している在宅療養者とその家族・介護者に対するエビデンスに基づいた訪問看護の思考過程について学修する。	３年前期
		地域看護方法論	在宅や施設等多様な生活の場と人々の健康および生活の関係、社会資源や制度の基本を理解し、あらゆる健康レベルの人々に健康の保持・増進，疾病の予防及び健康の回復を目指して実践する看護の展開方法を学修する。	２年後期
	発展科目	災害看護学	災害医療の基本的な対応体制、災害看護における看護師の役割りの実際について学び、市民としての災害時の行動、医療従事者としての基本的な対応方法、および災害発生時に求められる看護技術を修得する。具体的には、災害に対する政策、災害の分類、災害サイクル、災害時の心身の健康障害、災害後の心の状態とケア、トリアージの方法、災害時のアセスメントなどについて学ぶ。また、自然災害と生物災害（感染症パンデミック）や自然災害と人的災害（テロ）等の複合災害についても学修する。	３年前期
		国際看護学	グローバル化の進む社会において、人間の安全保障の側面から、看護職が国内外で果たすべき役割を学ぶ。また、日本における女子教育発祥の地であり、外国人と接する機会の多い横浜の地域特性を活かし、他国の人々の社会背景や生活環境に関心をもち、看護職が寄与できる健康支援について学ぶ。さらに、“UniversalHealthCoverage”の目標を達成するための解決方法について国際保健医療協力の観点から学修する。	４年前期
		看護管理学	看護専門職として管理に関する基礎的知識を修得し，看護管理上の問題を解決する方策の検討方法を学ぶ、（リーダーシップ，マネジメントを含む）また、医療の国際的動向と我が国の特色を理解し，医療システム、医療ケアの質に関する概念を学ぶ。看護者としてのリーダーシップ、調整、カウンセリング、コンサルタント、教育意志決定などの臨床実践能力を構築するための理論を体系的に学び，看護マネジメントに関する視点および実践能力を高める。	３年前期
		看護研究	看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方など看護研究の基礎的事項について学修する。興味あるテーマに関する文献検索および既存文献のクリティークを通して、看護の質向上に欠かせない研究活動について学修する。	３年前期

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
専門科目	発展科目	プロフェッショナル論Ⅰ	プロフェッショナルとは「自律性」「自己統制の信念」「専門職業組織への準拠」「公共サービスへの信念」「専門分野への召命感」で構成される。はたして看護はプロフェッショナルであるかを問いつつ、学生が自らのプロフェッショナルの将来像に向けて、主体的に取り組むための基礎的能力を学修する。	２年後期
		プロフェッショナル論Ⅱ	プロフェッショナル論Ⅰを基盤として、社会で活動する看護プロフェッショナル（専門看護師、離島や海外で自立して活動する看護職、起業家看護職等）との交流を通じて臨地実習で培うべき自己の課題を明らかにする。	３年前期
		プロフェッショナル論Ⅲ	プロフェッショナル論Ⅰ・Ⅱで明らかにした自己の目標や課題を振り返り、さらに看護の専門分野を知ることで、将来にわたってプロフェッショナリズムを自己啓発し続ける力（自己教育力）を身につける。	４年後期
		保健医療看護の最前線	社会で起こっている保健医療看護に関連した出来事について、基礎的知識を学ぶとともに、臨床現場での課題と対処について学修する。	４年前期
		看護応用ゼミ	既習の知識と臨地での学びを関連させ、さまざまな疾病・治療・看護を統合する。さらに、看護専門職としての自己の課題を認識し、キャリア形成に必要な基礎力を身につける。	４年通期
	臨地実習科目	看護基盤実習Ⅰ	地域で生活する様々な発達段階にある人との交流を通して、コミュニケーションによる関係性構築を学び、生活環境と健康のつながり、入院や入所が対象者や家族に与える影響について、看護の視点から理解する。	１年前期
		看護基盤実習Ⅱ	健康障害をもちながら入院生活を送る対象者を理解し、援助的コミュニケーション技術を実施しながら必要な治療・看護について学修する。加えて対象者への看護を通して他職種の役割を理解する。	２年後期
		ヘルスプロモーション実習	地域で生活する人々の環境やライフスタイルと健康との関連を考え、個々の健康の保持・増進のために必要な支援を学修する。さらには地域で生活する人々が活用可能な保健・医療・福祉に関連する社会資源を理解する。	３年後期
		急性期看護実習	急激な健康状態の変化をきたした対象者および家族に対して、身体的および心理社会的側面からアセスメントして、ケアの優先順位を判断し実践及びその評価を行う。一連の看護過程の展開を通して、急性期看護について学修する。	３年後期
		慢性期看護実習	慢性疾患を抱えあらゆる場で療養・生活している対象者及び対象者を取り巻く人々がその人らしく生きることができるよう地域包括ケアにおける医療チームの一員として、安全かつ個々の健康の維持・増進とQOLの向上を目指した看護を学修する。	３年後期
		統合実習	これまで学んだ知識・技術・態度を統合し、実践現場に近い体制の実習を通して医療チームの一員としての役割とその実際について学修するとともに、看護専門職としての自己の課題を明確にする。	４年前期

2022年度以降の入学者対象カリキュラム
授業科目の概要

（保健医療学部看護学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	配当年次
公衆衛生科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学	公衆衛生看護の概念と歴史、基盤となる知識、活動領域について学修する。公衆衛生看護管理については構成要素、専門的自律と人材育成方法について学修する。具体的には、公衆衛生看護管理の目的と機能、情報管理、地域ケアの質の保証、人事管理、予算管理、組織運営と管理および保健師教育についてを含む。	３年通期
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	公衆衛生看護における対象の捉え方、健康課題の特徴について学び、ライフサイクル・健康課題ごとの対象別の公衆衛生看護過程展開と活動方法について行政の保健活動を中心に学修する。その内容を踏まえ、産業保健および学校保健の歴史的変遷、諸制度、対象、保健師の職務・役割ならびに活動展開の実際、将来展望について学修する。 養護教諭の活動の実際についても学修する。	３年通期
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	公衆衛生の目的である社会の健康に関連する、保健・医療・福祉の制度やシステム、関係機関や社会資源、健康危機管理の理念と目的、各種制度、関係法令や行政や関連機関との連携、危機管理の対象や健康危機管理における保健師の役割・機能、保健活動の実際について、講義と演習により学修する。	４年通期
		公衆衛生看護学演習	個別から集団までを対象とした公衆衛生看護活動における、アセスメント、コミュニケーション、生活支援や健康支援、地域診断、施策化と事業化、社会資源の開発、システム化について、演習を通して具体的に学修する。	４年通期
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	神奈川県内の保健所等行政機関における各種保健福祉事業の見学・活動の一部への参加経験を通して、公衆衛生看護の理念、対象、活動方法に関わる知識や技術を統合し、公衆衛生看護活動を実践する上での基盤となる能力形成を行う。加えて、保健師としての使命や責任について考える。	４年前期
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	多様な公衆衛生看護活動の場において、各種事業の見学・活動の一部への参加経験を通して、公衆衛生看護学実習の学びである知識や技術を統合を統合する。	４年通期

※公衆衛生科目は2022年度～2023年度入学生が対象

Ⅲ. 総合教育科目
専門基礎科目
専門科目
＜2022 年度以降入学者＞

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
コミュニケーション論 Communication	必修	講義	1単位 （15時間）	1年後期	長澤　里絵	ー

ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間とコミュニケーション	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	ケアや社会福祉援助では常に人と人との関係性のあり方が問題となる。人間存在と人間関係、社会的相互作用と社会的役割の理解の上に、医療を受ける人々を一人の人間として、心から大切にしようとする「誠実さ」と、それに支えられた「出会い」によって、対話が成立し、医療を受ける対象およびその家族の理解が充実発展でき、より良い関係を築く基礎を学修する。
到達目標	人間関係の基礎となるコミュニケーションを理論的側面と実践的側面から理解できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	コミュニケーションとは	コミュニケーションとは。その語源や重要性の説明、コミュニケーションの種類 事前学習（ 0分）：特になし 事後学習（60分）：授業全体について復習する。	長澤　里絵
2	バーバルコミュニケーション ・コミュニケーション実習（1）	コミュニケーションの構図・コミュニケーションの特徴・バーバルコミュニケーション（語彙理解と文章理解） コミュニケーショントレーニング話す①【グループワーク】 事前学習（ 0分）：特になし 事後学習（60分）：授業全体について復習する。	長澤　里絵
3	ノンバーバルコミュニケーション ・コミュニケーション実習（2）	ノンバーバル（非言語的）コミュニケーションの分類　他 コミュニケーショントレーニング話す②【グループワーク】 事前学習（ 0分）：特になし 事後学習（60分）：授業全体について復習する。	長澤　里絵
4	ノンバーバルコミュニケーション ・コミュニケーション実習（3）	表情・アイコンタクト・近接学　他 耳をすます（エクササイズ）【グループワーク】 事前学習（ 0分）：特になし 事後学習（60分）：授業全体について復習する。	長澤　里絵
5	きくこと・ 話すこと ・コミュニケーション実習（4）	「聴く」と「聞く」・コミュニケーションにおける「話す」とは 触れて知る（エクササイズ）【グループワーク】 事前学習（ 0分）：特になし 事後学習（60分）：授業全体について復習する。	長澤　里絵
6	コミュニケーション実習（5）	伝達①図形をことばで伝える【グループワーク】 事前学習（ 0分）：特になし 事後学習（60分）：授業全体について復習し、ワークシートを仕上げる。	長澤　里絵
7	コミュニケーション実習（6）	伝達②指定した文章をいくつかの感情で言ってみる【グループワーク】 事前学習（ 0分）：特になし 事後学習（60分）：授業全体について復習し、ワークシートを仕上げる。	長澤　里絵
8	コミュニケーション実習（7）	伝達③指定した文章を相手に分かりやすい言い方で伝えてみる【グループワーク】 まとめ 事前学習（30分）：全体の復習をし、不明な点は質問できるようにしておく。 事後学習（60分）：授業全体について復習する。	長澤　里絵

評価	定期試験(60%)、提出物(20%)、グループワークへの取り組み(20%)で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	課題については、授業内で全体の講評をする。
教科書	こころの行動と社会・応用心理学　川島書店　ISBN：9784761009649
参考図書など	適宜紹介します。
アクティブ・ラーニング	エクササイズ等のグループワークを行なう。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	授業時の私語は授業妨害となるので厳禁とします。　※必ず事後学習を行うこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
チーム医療論Ⅰ Interprofessional Education Ⅰ	必修	講義	1単位（15時間）	1年通期	川本利恵子・松月みどり・碓井瑠衣 坂口達哉	―

ナンバリングコード	HNS01	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間とコミュニケーション	DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力

授業概要	医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供することを理解する。チーム医療実践例を提示し保健、医療、福祉を含め、地域で生活する人や患者・障害を抱える人の問題に対するチームアプローチの基礎的知識を学修する。
到達目標	1）チーム医療の定義や意義を述べることができる。 2）チーム医療に携わる多職種の役割を述べることができる。 3）チーム医療とは、多職種が目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合うことであると述べることができる。 4）医療実践例から、患者中心の視点で検討するチームアプローチの必要性を述べられる。 5）医療実践例から、多職種が捉える保健・医療・福祉の視点から検討することの必要性が述べられる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	チーム医療（IPW）とは	科目の位置づけ、特にチーム医療Ⅱとの関連性についてガイダンスを行う。 ガイダンス後、「チーム医療とは」などの定義・目的・効果について、教授する。 事前学習（30分）：シラバスを読み科目の授業概要と到達目標を理解する 事後学習（30分）：授業内容をノートにまとめる（30分）	川本利恵子
2	日本の保健医療福祉システムと機能について	日本と諸外国の保健医療福祉のシステムについて、日本の医療提供体制及び今後の問題点について教授する。 事前学習(30分)：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(30分)：授業内容をノートにまとめる	松月みどり
3	保健医療福祉システムを支える各専門職とその職能	保健医療福祉システムを支える各専門職とその職能の役割と機能について、教授する。 事前学習(30分)：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(60分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	松月みどり
4	チーム医療（IPW）の原理・原則	チーム医療の4つの要素と関係性とコミュニケーションについて、教授する。 事前学習(30分)：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする 事後学習(60分)：医療実践例を保健・医療・福祉の視点から検討しまとめる（レポート提出）	松月みどり
5	GWによる検討①（各専門職の役割）	グループ討論：事例を通して学んだ、各専門職の役割について① 事前学習(60分)：グループワークの準備をする 事後学習(60分)：グループワークの学習内容をノートにまとめる	川本利恵子 松月みどり 碓井瑠衣 坂口達哉
6	GWによる検討②（患者中心のチームアプローチ方法）	グループ討論：事例を通して学んだ、各専門職の役割について② 事前学習(60分)：グループワークの発表準備をする 事後学習(60分)：グループワークの学習内容をノートにまとめる	川本利恵子 松月みどり 碓井瑠衣 坂口達哉
7	GW発表	これまでグループワークで行ってきた議論を、グループ毎に発表をする。 事前学習(60分)：発表準備をする 事後学習(60分)：学習内容をノートにまとめる	川本利恵子 松月みどり 碓井瑠衣 坂口達哉
8	総括	これまでの講義やグループワーク、発表などについて、個人およびグループワークを通して振り返る。 事前学習（60分）：講義資料など全体に目を通し、自身の学びについて振り返りをする 事後学習（60分）：自身の振り返りをノートにまとめる	川本利恵子 松月みどり 碓井瑠衣 坂口達哉

評価	GW・発表内容40%（ピア評価含む）、個人レポート60%
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	随時資料を配布する。
参考図書など	チーム医療論Ⅱで活用：新しいチーム医療－看護とインタープロフェッショナルワーク入門（改訂版）/田村由美/看護の科学社/ISBN 978-4-8780410822-01-8
アクティブ・ラーニング	チュートリアル方式の演習であるので、少人数チーム内討論とそのプロダクトの発表が主体である
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	全ての科目の基となる科目です。チーム医療論Ⅱにつながる科目です。これまでの学習方法との共通点・相違点を意識しながら、必ず専用のノートまたはファイルを作成してください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
チーム医療論Ⅱ Interprofessional EducationⅡ	必修	演習	1単位 （30時間）	4年後期	寺本　明、全教員	○

ナンバリングコード	HCOO3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間とコミュニケーション	DP3）相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4）保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。

授業概要	まず、チーム医療に関する総括的な講義と、これから始まる演習の概要を解説する。その後、看護、PT、OT混成のチーム（10～11名）に分かれ、提示された臨床課題（臨床の実症例）に関してまず問題点や疑問点を列挙し、分担して調査の上議論する。その後、各々の専攻分野からのアプローチを提唱し議論する。3, 4チームに一人教員が配置されるが、チュートリアル教育様式であるため直接教えるのではなく議論の円滑な進行を促す役割を負う。中間報告・レポート作成の後、最終日にはすべてのチームが体育館に集合し、ポスター形式で当該症例のサービス計画を発表する。この時、学生がチーム相互の評価を行うとともに、全教員も参観しコメントを述べ評価する。
到達目標	1）チーム医療の定義や意義を述べることができる。 2）チーム医療に影響する課題を列挙できる。 3）チーム医療に携わる多職種の役割を述べることができる。 4）事例について、患者中心の視点で検討することができる。 5）事例について、多職種が捉える保健・医療・福祉の視点から検討することができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	授業の進め方	1. 最初の授業で、チーム医療の概論を講義し、本演習の方法を解説する。 2. 看護学科とリハビリ学科の学生を混合して、10～11名のグループを作り、チュートリアル方式で演習を行う。 3. 具体的な臨床事例（シナリオ）が提示され、その症例の問題点の抽出と調査、議論を行う。 4. 各自の専攻の視点から、当該症例に関するアプローチを考え、意見交換をする。 5. 各自レポートの作成、および事例発表会に向けて、パワーポイント作成などの準備を行う。 6. 全てのグループが事例検討のまとめを発表し、それを出席した全ての学生と教員が評価する。 事前学習（15分）：チーム医療とはどういうものかを確認してくる。 事後学習（30分）：演習で得られたチーム医療の意義や問題点を整理する。	寺本　明 全教員

評価	事例検討と討論参加での積極性60%、個人レポート30%、グループレポート10%
課題に対するフィードバックの方法	チームとしての発表とそのレポート、および個人としてのレポート。それぞれ同僚および教員からの評価を受ける。
教科書	必要に応じて資料の配布・紹介を行う。
参考図書など	・新しいチーム医療－看護とインタープロフェッショナルワーク入門（改訂版）/田村由美/看護の科学社/2018年/ISBN:978-4878041082 ・「チーム医療」とは何か―医療ケアに生かす社会学からのアプローチ/細田満和子/2012年/ISBN:978-4818016583 事例に関する参考書は、事例提示の際に教示する。
アクティブ・ラーニング	チュートリアル方式の演習であるので、少人数チーム内討論とそのプロダクトの発表が主体である。
実務経験のある教員による授業	期間はそれぞれであるが、全教員とも臨床経験を有する。
留意事項	特に無し。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
英語Ⅰ English Ⅰ	必修	講義	1単位 （15時間）	1年前期	小山田　幸永	ー

ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間とコミュニケーション	DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	高等学校で学んだ基本的事項を確認しながら、さらに高度な英文の文化に触れるとともに、まとまりのある文章の概念や要点をできるだけ速く、多く読み取るという高度な読解力を養い、目的に応じた読みを可能にすることを目的として学習する。
到達目標	1）医療関係を中心にした日常の基本語彙の修得。 2）学習した表現を使用して、自分の考えを英語で表現する力をつける。 3）学習した文法を使用して、まとまった英文を読みこなす力をつける。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	導入	テキストの概観と学習の進め方を確認する。 事前学習(30分)テキストを一読しておく。 事後学習(30分)参考表現をまとめて、発音練習する。	小山田　幸永
2	身体を表わす言葉	身体を表わす用語や表現を解説する（P8～20）。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
3	病気	病気に関する用語や表現を解説する（P27～39）。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
4	病状　1	一般的な病状に関する用語や表現を解説する（P46～64）。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
5	病状　2	ケガや痛みなどの病状に関する用語や表現を解説する（P69～79）。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
6	診察　1	問診など診察に関する用語や表現を解説する（P84～95）。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
7	診察　2	検査など診察に関する用語や表現を解説する（P96～103）。 事前学習(30分)単語の意味を調べて発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や文を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
8	まとめ	本講義で学んだ内容を振り返り、重要事項を確認する。 事前学習(30分)これまでの学習での疑問点を確認する。 事後学習(30分)学習内容を振り返り、試験に備える。	小山田　幸永

評価	試験60%、授業参加度20%、課題提出20%
課題に対するフィードバックの方法	講義内で扱った内容に関する問題を解き、次の講義にて解説を行う。
教科書	新　病気になっても困らない英会話／尾崎哲夫／南雲堂／改装3刷／ISBN978-4523422891
参考図書など	東大病院発　医療スタッフのための英会話／東京大学医学部附属病院英語マニュアル出版プロジェクトチーム／ベレ出版／ISBN978-4860644758 英語対訳で読む人体の仕組みの謎／児島崇／実業之日本社／ISBN978-4408112138
アクティブ・ラーニング	講義の中で会話練習などグループワークを行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	無断欠席、無断遅刻は厳禁とする。授業前は、テキストを一読して単語や表現をまとめる。授業後は、学習した内容の理解度を問題演習を通して確認する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
英語Ⅱ English Ⅱ	必修	演習	1単位 （30時間）	1年前期	小山田　幸永	ー

ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間とコミュニケーション	DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	(1)看護・医療・福祉系の英語の文章を読む練習をする。 (2)看護・医療・福祉系の英語のリスニングの練習をする。 (3)看護・医療分野の基本用語を辞書やインターネットを使って調べる。 (4)上記内容に関して、授業内で小テストを行い理解度を確認する。
到達目標	(1)専門分野に関する基本的な英語の文章を理解できる英語力を修得する。 (2)看護や医療の現場でのコミュニケーションに必要なリスニング力を向上させる。 (3)看護や医療分野の用語に関する英語表現を覚える。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	導入	テキストの概観と学習の進め方を確認する。 事前学習（30分）テキストに出て来る単語の要素を確認する。 事後学習（30分）単語の読み方を確認し、発音練習する。	小山田　幸永
2	医学用語の効果的な学び方	医学用語の成り立ちや由来を解説する（1章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
3	症状に関するもの	症状に関する単語と表現を解説する（2章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
4	診断に関するもの	診断に関する単語と表現を解説する（3章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
5	手術に関するもの	手術に関する単語と表現を解説する（4章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
6	筋・骨格系	筋・骨格系に関する単語と表現を解説する（5章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
7	神経・感覚器系	神経・感覚器系に関する単語と表現を解説する（6章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
8	呼吸器・循環器系	呼吸器・循環器系に関する単語と表現を解説する（7章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
9	消化器系	消化器系に関する単語と表現を解説する（8章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
10	尿生殖器系	尿生殖器系に関する単語と表現を解説する（9章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
11	語幹	leuko-（白）など色や形状に関する語幹の機能を解説する（10章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
12	接頭語1	a-（否定）など否定や数に関する接頭語の機能を解説する（11章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永

13	接頭語2	hyper-（高い）など場所や時に関する接頭語の機能を解説する（12章）。 事前学習（30分）単語の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で出来なかった問題をやり直し、発音練習をする。	小山田　幸永
14	病棟で役立つ英語表現	病院施設など病棟で役立つ表現を解説する（13章） 事前学習（30分）単語や表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習（30分）授業で扱った単語や表現を復習し、発音練習をする。	小山田　幸永
15	まとめ	本講義で学んだ内容を振り返り、重要事項を確認する。 事前学習（30分）これまでの学習での疑問点を確認する。 事後学習（30分）学習内容を振り返り、試験に備える。	小山田　幸永

評価	試験60%、授業参加度20%、課題提出20%
課題に対する フィードバックの方法	講義内で扱った内容に関する問題を解き、次の講義にて解説を行う。
教科書	基本の101語を組み合わせて学ぶ医学英語／津波古 澄子、マリオン・ゾボスキー／日本看護協会出版会／第2版／ISBN9784818025332
参考図書など	医療・看護・歯科・福祉英語基本用語用例集／瀬谷幸男ほか／南雲堂／ISBN978-4523265412 現場ですぐ引ける 医学・看護略語辞典／飯田恭子／ナツメ社／ISBN978-4816365270 語源図解 からだと健康の英単語／清水建二／講談社／ISBN978-4065184431
アクティブ・ラーニング	講義の中で会話練習などグループワークを行う。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	無断欠席、無断遅刻は厳禁。授業前は、テキストを一読して問題演習を行い、疑問点をまとめる。授業後は、問題演習で理解したことを確認する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
英語Ⅲ English Ⅲ	選択	講義	1単位 （15時間）	2年前期	小山田　幸永	ー

ナンバリングコード	HCOA2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間とコミュニケーション	DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	医療の臨床実践に必要な用語や表現、外国人患者と接する際に必要な英語や心構え、医療従事者間での英語によるコミュニケーションについて学ぶ。
到達目標	1．医療の場を中心に、日常なコミュニケーションで必要とされる英語表現を理解できる。 2．専門領域の事柄を英語表現で説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	受付	初診時の対応 事前学習(30分)関連表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ単語や表現を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
2	病歴聴取	現病歴と既往歴の確認 事前学習(30分)関連表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
3	検査	心電図と血液の検査 事前学習(30分)関連表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
4	病棟1	術前と術後の対応 事前学習(30分)関連表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
5	各診療科2	呼吸器科と循環器科 事前学習(30分)関連表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
6	各診療科2	消化器科と耳鼻咽喉科と眼科 事前学習(30分)関連表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
7	病棟2	面会と退院指導 事前学習(30分)関連表現の意味を調べ、発音練習する。 事後学習(30分)授業で学んだ表現や表現を書いて発音練習をする。	小山田　幸永
8	まとめ	本講義で学んだ内容を振り返り、重要事項を確認する。 事前学習(30分)これまでの学習での疑問点を確認する。 事後学習(30分)学習内容を振り返り、試験に備える。	小山田　幸永

評価	試験60%、授業参加度20%、課題提出20%
課題に対するフィードバックの方法	講義内で扱った内容に関する問題を解き、次の講義にて解説を行う。
教科書	教科書なし。都度資料配布。
参考図書など	病院スタッフのためのシチュエーション英会話/服部しのぶ/メジカルビュー社/ISBN978-4758309646 実践！医療英語 こんなとき、英語で何と言う？/(財)グルーバルヘルスケア財団/日系BP/ISBN978-4296100521
アクティブ・ラーニング	講義の中で会話練習などグループワークを行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	無断欠席、無断遅刻は厳禁とする。授業前は、関連表現を調べて発音練習を行う。授業後は、学習した実践的な英語表現が使えるようになるまで、何度も音声を聴いて発音練習をくり返す。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
中国語 Chinese	選択	講義	1単位 （15時間）	1年前期	魯　大鳴	○

ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間とコミュニケーション	DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	中国語の基礎的知識を学習するとともに、中国の文化についても触れながら日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。
到達目標	1）中国語のピンイン（ローマ字による発音表記）に基づいて正確に発音できる。 2）中国語で自己紹介を言えるように目指す。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	第一回	中国、中国語の基本知識などについての説明。中国語で自己紹介の内容。 事前学習（0分）：とくに無し 事後学習（30分）：自己紹介の内容を復習する。	魯　大鳴
2	第二回	テキスト6，7，8，9ページのピンイン、10，11ページの「知って便利な言葉」 事前学習（30分）：テキスト10，11ページの内容を予習する。 事後学習（30分）：授業で習ったピンインを復習する。	魯　大鳴
3	第三回	テキスト12，13ページ　第一課　本文　文法 事前学習（30分）：テキスト12ページ　新しい単語を予習する。 事後学習（30分）：第一課　本文の内容を復習する。	魯　大鳴
4	第四回	テキスト14，15ページトレーニング　リスリング 事前学習（30分）：CD音声の24，25，26番を予習する。 事後学習（30分）：授業で習った内容を復習する。	魯　大鳴
5	第五回	テキスト16，17ページ　第二課　本文　文法 事前学習（30分）：テキスト16ページ新しい単語を予習する。 事後学習（30分）：第二課　本文の内容を復習する。	魯　大鳴
6	第六回	テキスト18，19ページ　トレーニング　リスリング 事前学習（30分）：CD音声の29，30，31番を予習する。 事後学習（30分）：授業での内容を復習する。	魯　大鳴
7	第七回	テキスト20，21ページ　　第三課　本文　文法 事前学習（30分）：20ページ新しい単語を予習する。 事後学習（30分）：第三課　本文の内容を復習する。	魯　大鳴
8	第八回	テキスト22，23ページ　トレーニング　リスリング。テキスト内容のまとめ。 事前学習（30分）：CD音声の34，35，36番を予習する。 事後学習（30分）：今まで授業での内容を復習する。	魯　大鳴

評価	小テスト30%、学習態度（積極的に朗読、発言など）20%、試験（或いはレポート）50%で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	実施予定なし。
教科書	一冊めの中国語　会話クラス／劉　穎、喜多山　幸子、松田　かの子 著／白水社／ ISBN:9784560069189
参考図書など	「中国語発音マスター」高田裕子　著　大修館書店　2000円＋税　ISBN:978-4469232738
アクティブ・ラーニング	講義の中で、グループに分けて日常会話練習を行う。
実務経験のある教員による授業	京劇役者の歌、セリフの基本訓練した発音や経験を活かして講義する。
留意事項	予習、復習、繰り返すことが言葉上達のカギである。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
韓国語 Korean Language	選択	講義	1単位 （15時間）	1年前期	金　美玹	ー

ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間とコミュニケーション	DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	韓国語の文字と発音および基礎的な文法を学習するとともに、韓国の文化についても触れながら、日常的なコミュニケーションを身につけることを目指す。
到達目標	韓国語の文字の習得と正確な文字の発音を身に着け、基礎的な文法と語彙を学修する。挨拶、自己紹介といった簡単な日常会話ができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	韓国語の全体像	序章　韓国語は、どんなことば？ 事前学習（15分）：序章を読む 事後学習（10分）：ハングルの構造を理解	金　美玹
2	母音：単母音、半母音	文字と発音（1）　8つの単母音とヤ行の半母音 事前学習（10分）：前回の復習 事後学習（15分）：母音の復習	金　美玹
3	母音：半母音、二重母音	文字と発音（1）＆（4）　ワ行の半母音，二重母音 事前学習（10分）：前回の復習 事後学習（10分）：母音の発音を覚える	金　美玹
4	子音：有声音化	文字と発音（2）　初声平音 事前学習（15分）：母音字母の単語学習 事後学習（10分）：子音字の復習	金　美玹
5	子音	文字と発音（3）　初声激音、濃音 事前学習（15分）：初声についての予習 事後学習（10分）：激音、濃音の復習	金　美玹
6	子音：終声	文字と発音（5）　子音（終声）　子音終声（7つの音）の確認と、ハングルで自分の名前を書く 事前学習（20分）：初声の激音、濃音を用いた単語学習 事後学習（15分）：終声の復習	金　美玹
7	終声規則と終声字母	文字と発音（5）　パッチム規則を知る 事前学習（10分）：終声7音を理解する 事後学習（15分）：終声規則の復習	金　美玹
8	文字の復習と確認	韓国音楽の歌詞を読む 事前学習(20分)：第1課～第3課の単語学習 事後学習（20分）：総まとめ	金　美玹

評価	小テスト(60%)、レポート・課題(40%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	授業内で直接、学生に返却する。
教科書	金京子/喜多恵美子　著、『三訂版　パランセ韓国語　初級』、朝日出版社、ISBN：978-4-255-55676-5
参考図書など	野間秀樹（2014）　日本語とハングル
アクティブ・ラーニング	適宜ペア練習を行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	予習・復習の際には教科書のCDを活用して、声を出して練習する。積極的に授業に参加していただきたい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
文学 Literature	選択	講義	1単位 （15時間）	1年前期	近藤　正臣	―

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と文化	DP1）人間の命と個を尊重できる力

授業概要	文学の概念と日本の代表的な韻文を中心に学習する。様々な形態の韻文を味わいながら、文学的価値を学習することを通して、時代背景や個々の文学の特徴をとらえるとともに、そこから日本の伝統美、ことばの美しさ、ことばのリズム、日本人の美意識について理解するとともに文学の基礎的な力、感性を養い、その過程で表現する能力を身につけるよう学習する。
到達目標	1）文学とは何か・韻文とは何かの定義づけができる。 2）古典学習の意義を理解し、説明することができる。 3）文学の発生について説明することができる。 4）韻文の中における和歌・短歌、俳諧・俳句、川柳・狂歌等の形態・特徴を作品を通して説明することができる。 5）短歌・俳句の実作を通して、言葉のリズム・ものに対する見方・捉え方等を説明することができる。 　また、創作をすることの難しさ・楽しさ・喜びを説明することができる。 6）古典文学での韻文の大まかな流れを理解し、説明できる。

	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	ガイダンス 「文学」とは何か	1）巳・巳年について理解する。　2）文学の科目を選んだ理由を説明する。 3）「文学とは何か」を発表する。　4）文学に対する自分の思いを発表する。 事前学習（60分）：配布プリントを読み、設問を解き、理解を深める。また、別紙プリントに「文学の科目を選んだ理由」・「文学とは何か」・「文学に対する自分の思い」をそれぞれ100字程度にまとめる。 事後学習（20分）：設問の解答の確認・整理。発表内容の確認・整理。	近藤　正臣
2	文学の概念 「韻文」とは何か	1）文学の概念（定義）　2）「韻文とは何か」・「韻文に対する自分の思い」を発表する。 事前学習（40分）：文学に関する配布資料を読み、整理する（10分）。別紙プリントに「韻文とは何か」・「韻文に対する自分の思い」をそれぞれ100字程度にまとめる（30分）。 事後学習：（25分）：「文学の定義」の整理。発表内容の確認・整理。	近藤　正臣
3	韻文の概念 古典学修の意義・文学の発生	1）韻文の概念（定義）　2）古典学習の意義　3）文学の発生 事前学習（40分）：韻文に関する配布資料を読み、整理する（10分）。別紙プリントに「古典学習の意義」・「文学の発生」について自分の考えをまとめる（30分）。 事後学習（30分）：配布資料等に基づき、韻文の概念（定義）を確認する（10分）。「古典学習の意義」・「文学の発生」についての整理。まとめの確認・整理（20分）。	近藤　正臣
4	和歌・短歌	1）和歌・短歌の形式・特徴　2）『万葉集』・『新古今和歌集』・『金槐和歌集』中、神奈川県に関連する和歌作品を読解・鑑賞する。 事前学習（50分）：1）和歌・短歌の配布資料を読み、形式・特徴の相違を整理する。 2）各歌集中の設問の解答を考え、鑑賞する。 事後学習（20分）：配布資料を読み、和歌・短歌の形式・特徴をまとめ、各作品の読解・鑑賞をする。	近藤　正臣
5	俳諧・俳句	1）俳諧・俳句の形式・特徴　2）近世三大俳人（芭蕉・蕪村・一茶）の神奈川県に関連する作品を読解・鑑賞する。 事前学習（50分）：1）配布資料を読み、俳諧・俳句の形式・特徴の相違を整理する。 2）各俳人作品での設問の解答を考え、鑑賞する。 事後学習（30分）：配布資料を読み、俳諧・俳句の形式・特徴をまとめ。各作品の読解・鑑賞をする。	近藤　正臣
6	俳句と短歌の創作 近代の俳句・短歌作品の読解・鑑賞	1）俳句と短歌の作り方を理解し、実作・発表・合評をする。 2）近代の俳句・短歌作品の何篇かを読解・鑑賞する。 事前学習（40分）：1）事前の配布資料を読み、それぞれの作り方を理解し、「俳句・短歌の創作シート」に作品を記入する。 2）近代の俳句・短歌の何篇かの設問の解答を考え、鑑賞する。 事後学習（15分）：配布資料を読み、近代の俳句・短歌の何篇かについて読解・鑑賞をする。	近藤　正臣
7	川柳と狂歌	1）川柳・狂歌の起こり・形式・特徴　2）各ジャンルにおける作品を読解・鑑賞する。 事前学習（40分）：1）配布資料を読み、川柳・狂歌の形式・特徴を理解する。 2）各ジャンル作品での設問の解答を考え、鑑賞する。 事後学習（25分）：配布資料を読み、川柳・狂歌の面白さを再確認し、各ジャンルにおける作品の読解・鑑賞をする。	近藤　正臣
8	創作俳句と短歌の鑑賞 古典文学史における韻文の展開 まとめ	1）提出された俳句・短歌の鑑賞。2）古典文学史における韻文の大まかな流れを理解する。 3）全体の講義内容のまとめ。 事前学習（30分）：古典文学史における韻文の流れに関する配布資料を読み、整理する。 事後学習（25分）：俳句・短歌の配布プリント及び古典文学史における「韻文の展開」に関する配布資料等に基づき、本科目全体の講義内容を総括する。	近藤　正臣

評価	定期試験85%、提出物15%として評価する。
課題に対するフィードバックの方法	提出物については、基本的に次回の講義で返却し、口頭説明・板書などでフィードバックを行う。
教科書	プリントによる教材を配付する。
参考図書など	神奈川の古典文学/尚文出版。川柳・狂歌/浜田義一郎 著/教育社歴史新書〈日本史〉82 その他必要に応じて、適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやデスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし
留意事項	①各回の授業に関する課題や資料は、基本的に前以て配布しますので、必ず、目を通し、問題を解いたり課題をまとめたりして予習を行い、授業に臨むようにしてください。 ②毎回の資料は、きちんとファイルするようにしてください。 ③講義中、適宜指名し、読みの依頼・発言を求めます。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
教育学 Education	必修	講義	1単位 （15時間）	1年後期	久保内　加菜	―

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と文化	DP1）人間の命と個を尊重できる力

授業概要	教育の意義と基本的な事項、課題を理解し、現代社会に生きる子どもと大人の教育環境のあり方を考える。具体的には義務教育段階を中心とした公教育と教育環境の理念、特別支援教育、中等教育以後と就学前の学校制度、生涯学習の原理と教育方法、そして地域連携にもとづく人権教育について、国内外の事例を参照して学習する。
到達目標	1)教育に関する基本的な事項を、歴史と現状、また現代的課題の理解をふまえて説明できる。 2)現代日本の学校教育について、特別支援教育を含めた諸制度を理解し、課題を考察できる。 3)社会教育・生涯学習振興行政、人権教育の理解をふまえ、地域の教育環境を幅広い視野から考察できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	公教育と教育環境の意義と構成	公教育と教育環境の理念・構成を理解する。［ワークシート作成］ 事前学習（30分）：これまでの自分の教育環境をふり返り、言語化する。 事後学習（60分）：配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	久保内　加菜
2	学校教育と義務教育の制度	日本と海外の学校教育の制度を、義務教育段階を中心に理解する。［ディスカッション］ 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	久保内　加菜
3	特別支援教育とさまざまな教育のすがた	障害のある子どもや外国につながりのある子どもの教育、学校外の教育について理解を広げる。 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	久保内　加菜
4	後期中等教育・高等教育	義務教育段階後の教育の理解を深める。［ディスカッション］ 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	久保内　加菜
5	幼児教育の意義と制度	幼児教育施設（幼稚園、認定こども園など）の役割と現状を理解する。［グループワーク］ 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	久保内　加菜
6	社会教育・生涯学習振興行政	自治体の社会教育施設・事業の機能を理解する。［グループワーク］ 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：配付資料と教科書を参照し、授業全体を復習する。	久保内　加菜
7	生涯学習の原理と教育方法	成人教育の原理を理解し、プログラムを考案する。［グループワーク］ 事前学習（30分）：基礎自治体の社会教育・生涯学習関連施設の種類とプログラム例を調べておく。 事後学習（60分）：調べ学習、グループワークをふまえて学習活動プログラム案をまとめておく。	久保内　加菜
8	地域の連携と人権教育	地域連携にもとづく人権教育の取り組みを理解する。授業全体を総括する。［レポート作成］ 事前学習（30分）：教科書と資料を参照し、第1―7回の授業を復習しておく。 事後学習（60分）：地域の教育環境の中で自分ができることを展望する。	久保内　加菜

評価	リアクション・ペーパー、ワークシートの作成状況(40%)、レポート（60%）
課題に対するフィードバックの方法	リアクション・ペーパーの記載内容は可能な限り授業内で講評・紹介し、質問に対して回答する。
教科書	［新版］生涯学習時代の教育制度/久保内加菜/樹村房/ISBN:978-4-888367-405-3
参考図書など	教育小六法/学陽書房/2025年版、文部科学白書/文部科学省/日経印刷/令和6年度　など。
アクティブ・ラーニング	グループワーク（調べた内容の情報交換、意見集約）、ディスカッション（調べた内容に基づく議論）を行う。
実務経験のある教員による授業	該当なし
留意事項	グループワークやリアクション・ペーパーで自分の考えを積極的に述べ、他の学生の意見をよく聴いてほしい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
文化人類学 Cultural anthropology	選択	講義	1単位 （15時間）	4年前期	澁谷　俊樹	―

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と文化	DP3）相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4）保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5）幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6）卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。

授業概要	我々人間が無意識のうちに認識し実践している文化は、社会によって極めて多様であり、ある社会にとっての常識が別の社会ではそうではないことがめずらしくない。文化人類学とは、そのような文化の多様性を認識しつつ、共通の理解が可能な普遍性も求めていく学問である。授業では、毎回一定のテーマに沿って様々な文化的事象について解説し、文化人類学の考え方について学ぶ。
到達目標	1）文化人類学の基本姿勢としての文化相対主義の考え方と、その問題点を知る。 2）「私たちの思考やライフスタル」を少し離れた視点から捉え直すことができるようになる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	授業の全貌と文化人類学の図書紹介	授業の全体像を説明し、文化人類学の図書を紹介する。加えて、生涯を見据えて、日本の大学図書館・公共図書館の基本的な仕組みを理解してもらう。 事前学習（30分）：シラバスをよく読み、授業全体の流れを確認する。 事後学習（30分）：配布資料を確認し、授業全体を復習する。	澁谷　俊樹
2	文化人類学のフィールドワーク	担当者のインドでの下宿生活を紹介しながら、文化人類学がどのような学問なのか、おおまかな輪郭をつかむ。 事前学習（30分）：フィールドワークと聞いて想像することをメモする。 事後学習（30分）：配布資料を確認し、授業全体を復習する。	澁谷　俊樹
3	自然と文化―人類学のいう「文化」とは？	文化人類学のいう「文化」という概念はどのようなものなのかを理解する。 事前学習（30分）：ウェブ上の事典などを利用し、「文化」という概念について調べてメモする。 事後学習（30分）：配布資料を確認し、授業全体を復習する。	澁谷　俊樹
4	インド・コルカタの路上の生活	路上が生活の場として使われるインドのライフスタイルを紹介する。 事前学習（30分）：身近な路上が交通とは異なる生活の場として使われることがあるかを考えてメモする。 事後学習（30分）：配布資料を確認し、授業全体を復習する。	澁谷　俊樹
5	インド・コルカタの市場の生活	コルカタのスラムの市場（いちば）の生活から、身近な貧困や仕事、生活について考えなおす。 事前学習（30分）：「スラムに暮らす人々」がどのような生活をしているか、想像するか、webで調べてメモする。 事後学習（30分）：配布資料を確認し、授業全体を復習する。	澁谷　俊樹
6	文化と進化―社会進化論時代の人類学	人間社会は「遅れた」段階から白人社会のような「進んだ」段階へと進化する、という社会進化論の考え方とその問題点を理解する。 事前学習（30分）：「人間社会の進化発展」と「多文化共生」は矛盾するのか両立するのかを考えてみる。 事後学習（30分）：配布資料を確認し、授業全体を復習する。	澁谷　俊樹
7	文化相対主義	社会進化論と人種主義の思想に対抗して現れた「文化相対主義」の考え方と、その問題点について考える。 事前学習（30分）：「社会は遅れたものから進んだものへと発展する」という考え方と、「開発」との関係を考える。 事後学習（30分）：配布資料を確認し、授業全体を復習する。	澁谷　俊樹
8	まとめ　および近年の文化人類学の動向	全体を振り返ったうえで、受講者の今後に関わり得る人類学の近年の動向を紹介する。 事前学習（30分）：これまで学んだ授業の要点を確認する。 事後学習（30分）：「個人の自由と幸福」と「文化や社会の持続可能性」が相容れるかどうかを考える。	澁谷　俊樹

評価	コメントシート(20%)、中間レポート(30%)、最終レポート(50%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	次回の授業冒頭10分ほどで、受講者からの質問やコメントの一部を匿名にして紹介し、応答する。
教科書	指定しない。
参考図書など	指定しない。参考文献は配布資料に掲載する。
アクティブ・ラーニング	講義の途中、適宜黙読の時間や、ディスカッション時間を設ける。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	該当なし。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
国際保健医療論 Introduction to Global Health	選択	講義	1単位 （15時間）	2年後期	輪湖　史子	○

ナンバリングコード	HCOB2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と文化	DP1）看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2）科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP3）相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4）保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5）幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6）卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。

授業概要	進行するグローバル化の中で、世界の医療分野で活躍できるような人材を育成するために、先進国と開発途上国における保健医療の実態と主体的関わり方を学ぶ。また、WHOの役割とその実際の成果を学ぶ。日本の看護師、理学療法士、作業療法士が特にアジアやアフリカの開発途上国で何ができるかを考え（援助の方法）、まとめる。
到達目標	1) 国際保健医療に関する基本的な概念及び用語が理解できる。 2) 国際保健医療の現状と課題、及びそれらが発生する背景が理解できる。 3) 国際保健医療における課題解決への取組み（関係機関、手法、具体的プロジェクト等）が理解できる。 4) 保健医療領域における国際協力の現状と課題が理解できる。 5) 国際保健医療に関する事柄やテーマについて、自身で情報収集ができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	現代の世界における健康	①グローバル化と健康、②健康の定義、③人権としての健康 事前学習（30分）：グローバル化とは、どのようなことかを考える。 事後学習（60分）：あなたの身近にある「グローバル化の影響」を考える。	輪湖　史子
2	世界の健康状況	①世界の健康を表す指標、②健康格差、③健康及び健康格差の要因 事前学習（30分）：日本人の死亡因上位10疾患を調べる。 事後学習（60分）：健康の決定要因について復習・整理する。	輪湖　史子
3	健康の決定要因	①貧困・飢餓と健康、②疾病構造と疫学転換、③世界の開発目標と健康 事前学習（30分）：貧困が健康に及ぼす影響について、調べる。 事後学習（60分）：貧困の測定指標について復習・整理する。	輪湖　史子
4	疾病に対する世界の取組み	①感染性疾患と非感染性疾患、②感染症対策における国際協力 事前学習（30分）：代表的な感染性疾患と非感染性疾患を調べる。 事後学習（60分）：感染症対策における国際協力について復習・整理する。	輪湖　史子
5	世界の健康向上に向けた取組み	①プライマリ・ヘルス・ケア（PHC）、②ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、③国際保健医療の担い手 事前学習（30分）：健康関連の国際協力組織について調べる。 事後学習（60分）：PHCとUHCについて復習・整理する。	輪湖　史子
6	世界から見た日本の健康状況と保健医療サービス	①世界から見た日本の健康状況、②世界から見た日本の保健医療、③世界の健康向上に対する日本の貢献 事前学習（30分）：病気・ケガの際、あなたはどのような対処をするか考える。 事後学習（60分）：日本の健康状況・保健医療の特徴について復習・整理する。	輪湖　史子
7	国際的取組みが必要な保健医療領域の課題Ⅰ－人の移動、他	①人の移動と健康課題、②難民・紛争地域の人々の健康、③訪日・在留外国人の健康課題 事前学習（30分）：訪日・在留外国人の人数を調べる。 事後学習（60分）：紛争・戦争が健康に及ぼす影響について復習・整理する。	輪湖　史子
8	国際的取組みが必要な保健医療領域の課題Ⅱ－地球環境問題、他	①地球環境問題と健康、②医薬品等の規制、③世界の健康課題−最近のトピックス 事前学習（30分）：地球温暖化の現状について調べる。 事後学習（30分）：医薬品の不適正使用の影響について復習・整理する。	輪湖　史子

評価	レポート 100%
課題に対するフィードバックの方法	適宜、口頭発表またはリアクション・ペーパー提出を求め（成績評価対象外）、必要に応じて講義時にフィードバックを行う。
教科書	プリントを配付する。
参考図書など	実践グローバルヘルス －現場における実践力向上をめざして−/ 日本国際保健医療学会編/杏林書院/2022/ISBN: 978-4764405417
アクティブ・ラーニング	事後学習・事前学習の内容に基づき、講義中に口頭発表の機会を設け、意見交換・フィードバックを行う。
実務経験のある教員による授業	看護師として看護専門職能団体等の国際活動に従事した経験を活かし、基本的・実践的内容を講義する。
留意事項	1) 事前学習・事後学習の課題は、上記記載に加えて、都度、講義中に提示します。 2) 講義や自己学習の際に分からなかったことや疑問に思ったことを言語化し、適切なリソース（資料、人、等）を活用し、自ら答えを見出す姿勢を身につけましょう。 3) 参考図書等は、改訂版が出版されることがあります。その時点での最新版を参照してください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
音楽論 Introduction to Music Theory and Music Therapy	選択	講義	1単位 （15時間）	1年後期	三浦　優佳	○

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力
人間と文化	

授業概要	芸術領域である音楽を広く理解し、音楽を取り入れた療法への知見を学修する。具体的には音楽が持つ生理的、心理的、社会的働きを意図的・計画的な活用方法を学修する。また、音楽療法における個人の幸福や人間的成長を追求することを通して、心身の障害の回復、健康維持機能の改善と健康増進および生活の質向上への支援方法の基礎を学修する。
到達目標	1）音楽の持つ働きを広い観点から説明し、考察できる。 2）音楽療法の基本的な原理と考え方を説明できる。 3）対象者のニーズに合わせてどのように音楽の持つ働きを活用するのか考察できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	イントロダクション：人間の発達と音楽	乳幼児から高齢者まで、人の発達と音楽のかかわりについて考える／音楽とは何か？について考える 事前学習（15分）：自分自身と音楽との出会いやかかわりについて考える／過去を振り返り、自分自身の人生の中での音楽について考える 事後学習（20分）：自分自身と音楽との出会いやかかわりや、人生の中での音楽について考えたことを配付プリントにまとめる／授業内でディスカッションした内容を配付プリントにまとめる	三浦　優佳
2	音楽とは	人間の生涯と音楽、「音楽とは何か？」について考える 事前学習（30分）：自分自身と音楽との出会いやかかわりについて考える／過去を振り返り、自分自身の人生の中での音楽について考える。（教科書関連ページ：p,91） 事後学習（60分）：自分自身と音楽との出会いやかかわりや、人生の中での音楽について考えたことを配付プリントにまとめる／授業内でディスカッションした内容を配付プリントにまとめる。	三浦　優佳
3	音楽療法概説	音楽療法の定義、対象者、目的・目標、方法、実践されている場所を知る 事前学習（30分）：音楽療法に対する自分自身のイメージを考える ／障害を持つ子ども成人、高齢者、様々な疾患等で入院している患者等が社会で生活する中でのニーズを想像してみる。（教科書関連章：第2章） 事後学習（60分）：授業内で扱ったキーワードを復習し、教科書や参考図書からキーワードを見つけ、該当する部分に目を通す／支援が必要な方々が社会の中でより良く生きるためのニーズを改めて考察し、配付プリントにまとめる。	三浦　優佳
4	音楽療法における様々な音楽経験と多様な楽器の使用	フォーマルな音楽療法における様々な音楽経験と使用する楽器について学ぶ 事前学習（20分）：音楽はどのような方法で体験できるか（聞く、歌うなど）考えておく。（教科書関連章：第2章、第3章） 事後学習（60分）：授業内容の復習、参考映像等の視聴	三浦　優佳
5	人の健康と音楽に関する歴史的視点	世界の童話や逸話にみられる「心身の健康と音楽」／音楽療法の歴史と現状を知る 事前学習（30分）：教科書pp,19、46、70、127、160、173、192-193に目を通す。 事後学習（60分）：自分自身や家族等身近な人の心身の健康と音楽に関するエピソードを考える／心身の健康と科学について自分自身の考察を深める。（教科書関連章：第4章）	三浦　優佳
6	音楽の持つ機能（働き）	音楽の持つ、生理的、心理的、社会的機能（働き）を学ぶ 事前学習（30分）：音楽の働きが活かされている身近な事例を見つけておく。（教科書関連ページ：第1章、第3章、p,138） 事後学習（90分）：テキストや配付プリントで復習する／音楽の働きが活かされている社会の事例や健康に対する支援の事例等、身近な事例をまとめる。	三浦　優佳
7	音楽療法実践の流れの例 - 療育・教育、リハビリテーションほか	発達初期の子どもの療育・教育現場、医療現場、高齢者福祉の現場での目的・目標に合わせた音楽や楽器の活用を知る 事前学習（20分）：支援が必要な子どもや成人、高齢者等とかかわった経験を思い出しておく。教科書関連ページ：pp,92-110、129-133、168-172、175-181の中から興味がある部分を読んでおく。 事後学習（90分）：授業であつかった事例やVTRの内容を配付プリントにまとめる／「生活の質」や「人に寄り添うこと」について考える。	三浦　優佳
8	音楽を活用した多様な事例 -認知症高齢者、終末期医療ほか	介護現場や長期療養の現場での音楽療法の実際を知る／対象者に寄り添う音楽の活用について考える 事前学習（20分）：身近な高齢者と音楽とのかかわりについて考える／人生の締めくくりについて、「その人らしさ」、「尊厳」、「終末期医療」、「喪失」等のキーワードから考えてみる。教科書関連ページ：pp,112-126、136-137の中から興味がある部分を読んでおく。 事後学習（90分）：配布資料や授業であつかった映像資料の内容を配付プリントにまとめ、考察する／「生活の質」や「人に寄り添うこと」について自分自身の意見や考えをまとめる。	三浦　優佳

評価	期末テスト50%（基礎的な知識の獲得状態と、それをもとに自分の考えをまとめる力をみる） レポート50%（音楽の持つ働きを広い観点から説明し考察する、対象者のニーズに合わせてどのように音楽の持つ働きを活用するのか考察する内容。学修成果をもとに自分の考えをまとめて説明する力をみる。最終講義終了後に提出の予定。）
課題に対するフィードバックの方法	基本的にはmanabaから個別にコメントを返し、必要な場合は個別指導の対応をおこなうことがある。
教科書	音楽療法を知る ― その理論と技法/宮本啓子、二俣泉編著/2014/杏林書院/ISBN：978-4764405325
参考図書など	二俣泉、白川ゆう子、三浦優佳著（2019）「音楽療法をまなぶ」 新訂増補版　アカデミアミュージック株式会社 佐藤 由美子緒（2014）「ラスト・ソング―人生の最期に聴く音楽」 ポプラ社
アクティブ・ラーニング	【ディスカッション】は、シラバス欄への記載はないが毎テーマでおこなう。【グループワーク】も毎テーマおこなう。グループでのディスカッションをもとにクラスで発表・質疑応答をしたり、演習（ロールプレイ）をしたりする。
実務経験のある教員による授業	日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を有し、音楽を用いた健康への支援について臨床例を提示しながら授業をおこなう。
留意事項	履修にあたり、音楽の得意不得意、経験の有無、好み等は一切問いません。また、本授業は講義形態ではありますが、ピアラーニングの視点を大切にします。また、演習も随時取り入れます。ディスカッションや各種ワークは真摯な姿勢で臨みましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
レクリエーションスポーツ Recreation Sports	選択	演習	2単位 （60時間）	1年通期	加藤　広大	○

ナンバリングコード	HCOO1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と健康	DP1）人間の命と個を尊重できる力

授業概要	年代、体力、障害等を考慮した身体運動の必要性及び指導上の注意事項に関する基礎的知識を理解する。QOLを高めるための体力測定、体操、各種スポーツの基礎的能力を身につける。
到達目標	1)身体運動の必要性及び重要性について理解し、説明できる。 2)対象者の状態に合わせたレクリエーションスポーツの計画立案と安全を留意した運動指導ができる。 3)対象者が楽しく参加できる身体運動を支援するためのコミュニケーション能力を養う。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	オリエンテーション・健康学について	授業の内容についての説明及びQOL、身体運動の必要性についての解説 事前学習：自分にとって健康とはどのような状態か考える（30分） 事後学習：学生生活において健康のために何ができるかまとめる（30分）	加藤　広大
2	健康学概論「運動」	身体運動の重要性についての解説及び実践 事前学習：運動方法について幅広く予習する（30分） 事後学習：運動方法についてまとめる（30分）	加藤　広大
3	健康学概論「栄養」	栄養についての解説及び実例提示 事前学習：五大栄養素について予習する（30分） 事後学習：五大栄養素についてまとめる（30分）	加藤　広大
4	健康学概論「休養」	休養についての解説及び実践 事前学習：休養方法について予習する（30分） 事後学習：休養方法についてまとめる（30分）	加藤　広大
5	健康学概論「健康への害」	アルコールおよび喫煙がQOLに及ぼす影響 事前学習：アルコールや喫煙の害を調べる（30分） 事後学習：アルコールや喫煙について自分の考えをまとめる（30分）	加藤　広大
6	体力測定実習「柔軟性と筋力」	高齢者を対象とした体力測定の実践方法と評価について実施及び解説 事前学習：体力測定の方法について予習する（30分） 事後学習：測定結果についてまとめる（30分）	加藤　広大
7	体力評価「評価法解説」	体力測定の実践方法と評価について実施及び解説 事前学習：体力要素について予習する（30分） 事後学習：授業内容を踏まえ身体活動における留意点についてまとめる（30分）	加藤　広大
8	前半のまとめ	到達目標に対する理解度を測る 事前学習：前回までの内容について予習する（30分） 事後学習：健康と運動について考察する（30分）	加藤　広大
9	ヨガ「ポーズ解説」	QOL向上を目的としたヨガの解説及び実践 事前学習：ヨガについて予習する（30分） 事後学習：実践を通じて、ヨガについてまとめる（30分）	加藤　広大
10	ヨガ「軽減法」	高齢者に対するヨガの実践方法及び注意点の解説 事前学習：高齢者の身体活動状況について予習する（30分） 事後学習：高齢者に対するヨガの有効性についてまとめる（30分）	加藤　広大
11	ヨガ「レイヤリング法」	ボディラインを整えるヨガの解説及び実践 事前学習：理想のボディラインについて考える（30分） 事後学習：ボディラインを整えることの有用性についてまとめる(30分)	加藤　広大
12	健康学概論「ストレスマネジメント」	ストレスの解説解消方法の提案 事前学習：ストレスについて考える（30分） 事後学習：ストレスついて自分の考えをまとめる(30分)	加藤　広大
13	健康学概論「心理学」	心理的健康についての解説 事前学習：心理的健康について考える（30分） 事後学習：心理的健康ついて自分の考えをまとめる（30分）	加藤　広大
14	健康学概論「持続可能性」	SDGs、エシカル、メディアリテラシーについての解説 事前学習：SDGsを調べる（30分） 事後学習：SDGsについて自分の考えをまとめる（30分）	加藤　広大
15	前期授業内容のまとめ	前回までの内容の振り返りとまとめ、健康に関してのグループディスカッション 事前学習：総合的に健康について考える（30分） 事後学習：総合的に健康について自分の考えをまとめる（30分）	加藤　広大

16	健康学概論「中強度身体運動」	中強度身体運動についての解説及び実践 事前学習：競技スポーツについて幅広く予習する（30分） 事後学習：競技スポーツについてまとめる（30分）	加藤　広大
17	健康学概論「高強度身体運動」	高強度身体運動についての解説及び実践 事前学習：オリンピック種目について幅広く予習する（30分） 事後学習：オリンピック種目についてまとめる（30分）	加藤　広大
18	健康学概論「正しいダイエット」	正しいダイエットについての解説及び実例提示 事前学習：ダイエットについて予習する（30分） 事後学習：ダイエットについてまとめる（30分）	加藤　広大
19	健康学概論「脳の休養」	脳の休養についての解説及び実践 事前学習：脳波について予習する（30分） 事後学習：脳波についてまとめる（30分）	加藤　広大
20	健康学概論「薬物」	薬物の心身への影響の解説 事前学習：薬物の害を調べる（30分） 事後学習：薬物について自分の考えをまとめる（30分）	加藤　広大
21	体力評価「評価法解説」	体力測定の評価方法についての実施及び解説 事前学習：体力要素について予習する（30分） 事後学習：授業内容を踏まえ身体活動における留意点についてまとめる（30分）	加藤　広大
22	体力評価「評価実践」	体力評価後の改善案の提案及び解説 事前学習：体力評価について予習する（30分） 事後学習：体力評価実施時における留意点についてまとめる（30分）	加藤　広大
23	前半のまとめ	到達目標に対する理解度を測る 事前学習：前回までの内容について予習する（30分） 事後学習：健康と運動について考察する（30分）	加藤　広大
24	ヨガ「アドバンスポーズ」	ヨガのアドバンスポーズの解説及び実践 事前学習：ヨガについて予習する（30分） 事後学習：実践を通じて、ヨガについてまとめる（30分）	加藤　広大
25	ヨガ「Challenged ヨガ」	障がい者に対するヨガの実践方法及び注意点の解説 事前学習：障がい者の身体活動状況について予習する（30分） 事後学習：障がい者に対するヨガの有効性についてまとめる（30分）	加藤　広大
26	ヨガ「瞑想編」	心を整えるヨガの解説及び実践 事前学習：理想の心理状態について考える（30分） 事後学習：心を整えることの有用性についてまとめる(30分)	加藤　広大
27	健康学概論「上級ストレスマネジメント」	ストレス低減方法の解説、実践 事前学習：自身のストレスについて考える（30分） 事後学習：自身のストレスついて考えをまとめる(30分)	加藤　広大
28	健康学概論「上級心理学」	心理テストを応用した、心理的健康観の醸成 事前学習：心理テストについて調べる（30分） 事後学習：心理的健康ついて自分の考えをまとめる（30分）	加藤　広大
29	健康学概論「持続可能性」	SDGs、エシカル消費についてのグループディスカッション 事前学習：エシカル消費について調べる（30分） 事後学習：エシカル消費について自分の考えをまとめる（30分）	加藤　広大
30	後期期授業内容のまとめ	前回までの内容の振り返りとまとめ、健康に関してのグループディスカッション 事前学習：総合的に健康について考える（30分） 事後学習：総合的に健康について自分の考えをまとめる（30分）	加藤　広大

評価	思考力、判断力をルーブリック評価(60%)し、更に意欲、表現力をレポート(40%)で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	レポートを実施した際は翌週解説を行う。
教科書	適宜資料を配布する。ヨガマット必須。
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	ディスカッション及び各種ワークを通じ、主体的な学び、対話的な学び、深い学びを促す。
実務経験のある 教員による授業	ヨガ指導者としての資格（RYT200等）を有し、年間500時間程度のヨガ、健康学指導経験を活かした包括的、実践的授業を行う。
留意事項	授業の内容はあくまで予定であり、施設・用具の状況や授業の進行状況によって変更することがあります。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
情報リテラシー Information Literacy	必修	演習	1単位 （30時間）	1年前期	橋本　規子	○

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と情報	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP5）安全を保障する力

授業概要	学習においてコンピュータを有効に活用するための能力（コンピュータリテラシー）を身につける。現代社会における情報モラルと情報セキュリティを理解し、ICT(Information and Communication Technology)を利用して、情報を収集・活用していくための方法と技術を修得する事を目的とする。
到達目標	1）情報モラルと情報セキュリティを理解し、ICTを活用方法について説明する。 2）コンピュータ（Windows）の基本的な使い方を理解し、実務に活用する重要性を認識する。 3）WordやExcelを理解し、実務に活用する重要性を認識する。 4）PowerPointを使った研究発表を行い、創造的思考を深める。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	情報リテラシーとは	コンピューターの基礎、インターネットの基礎、ネット社会と著作権、SNSの安全な利用 事前学習(30分)：教科書の序章を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容を確認して自分のものとする。	橋本　規子
2	Windowsの基礎知識	フォルダーの作成、アクセサリの使用 事前学習(30分)：教科書の1章を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
3	Wordの基礎知識	文書の作成、ページ設定と文書の印刷、表の作成 事前学習(30分)：教科書の2章-1～4を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
4	文書の編集(基礎)	いろいろな書式を設定する 事前学習(30分)：教科書の2章-5を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
5	文書の編集（応用）	表現力をアップする 事前学習(30分)：教科書の2章-6を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
6	長文の編集	長文作成をサポートする 事前学習(30分)：教科書の2章-7を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
7	Excelの基礎知識	データの入力・編集、表の作成 事前学習(30分)：教科書の3章-1～4を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
8	基本的な関数	相対参照と絶対参照、関数の入力方法 事前学習(30分)：教科書の3章-5-1～2-③を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
9	知っておくと便利な関数	条件によって集計する、文字列操作関数、日付／時刻関数 事前学習(30分)：教科書の3章-5-2-④、5-2-⑧、⑨を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
10	関数のネスト	論理関数、検索／行列関数 事前学習(30分)：教科書の3章-5-2-⑤～⑦を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
11	グラフと図形	いろいろなグラフの作成と編集、ExcelデータをWord文書に利用する 事前学習(30分)：教科書の3章-6、2章-8を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
12	データベースの利用	データの並べ替え、抽出、ピボットテーブル、操作の自動化 事前学習(30分)：教科書の3章-7～9を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子

13	PowerPointの基礎知識	プレゼンテーションの作成、図やオブジェクトの挿入と編集 事前学習(30分)：教科書の4章-1～3を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
14	PowerPointの応用知識	図表・グラフ・表の挿入と編集、特殊効果の設定、印刷関係の機能、スライドショーをサポートする機能 事前学習(30分)：教科書の4章-4～7を読む。 事後学習(30分)：授業で行った内容・課題を確認して自分のものとする。	橋本　規子
15	総合演習(期末演習)	Office全体の演習を行う 事前学習(120分)：前回までの全講義内容を復習し理解を深める。 事後学習(60分)：総合演習(期末演習)の内容を確認して自分のものとする。	橋本　規子

評価	段階別演習(50%)と定期試験(50%)で評価する。なお、段階別演習は第6、12、15回にそれぞれ実施する。
課題に対する フィードバックの方法	授業での課題演習は、教科書またはスクリーン投影で模範解答を提示する。期末演習は、模範解答を掲示する。
教科書	30時間アカデミック　Office2021/杉本くみこ・大澤栄子/実教出版/ISBN:978-4-407-35943-5
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	課題演習を行う。
実務経験のある 教員による授業	情報処理の資格を有しソフトウェア開発の経験から、情報を整理して、活用できる実践的な授業を行う。
留意事項	manabaを使用する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
保健統計学の基礎 Health statistics	必修	講義	2単位 （30時間）	2年前期	松木　秀明	○

ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力
人間と情報	

授業概要	自然現象や社会現象を統計学的に観察・分析するために、データの種類と分布、測定と尺度、確率分布、代表地と散布度など統計学の基本的な概念と方法を学修する。さらに、健康の指標となる人口統計や保健統計について学び、国内外の健康問題について学修する。
到達目標	1) 保健統計学とは何か、保健統計学の歴史的変遷について理解できる。 2) 医学・看護学・健康科学の統計の考え方について理解できる。 3) 統計データの処理の仕方を理解し、実務的な活用の仕方がわかる。 4) 医療、看護の実践場面で遭遇しやすい統計内容について、パソコンを用いて適切な処理とその評価ができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	統計学入門	統計学とは、医学・看護学・健康科学の統計の考え方、記述統計と推測統計 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
2	統計データの種類1	質的データ、量的データ、基本統計量 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
3	統計データの種類2	統計データのグラフ表示、正規分布 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
4	確率と分布	確率分布（離散型、連続型）、各分布の特徴と応用 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
5	母集団と標本1	標本抽出法、偶然誤差と系統誤差 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
6	母集団と標本2	点推定と区間推定、推定のための標本の大きさの検討 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
7	検定1	主な検定、検定の手順、1群の標本の検定 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
8	検定2	2群の標本の検定 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
9	検定3	3群以上の標本の検定、比率の検定 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
10	検定4	相関係数、回帰係数の検定、重回帰分析、ロジスティック回帰分析 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明

11	疫学研究と統計1	危険度曝露指標偏り交絡の考え方 事前学習(20分):授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分):テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
12	疫学研究と統計2	介入研究追跡研究症例対照研究の考え方 事前学習(20分):授業内容に関する資料の該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分):配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
13	保健統計1	人口静態統計、人口動態統計、国際疾病分類 事前学習(20分):授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分):テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
14	保健統計2	生命表、国民生活基礎調査、患者調査、国民健康栄養調査の概要 事前学習(20分):授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、関連する用語、必要な公式や数的処理の手法の基礎理解を進める。 事後学習(30分):テキストと配布資料による演習後、未理解の部分についての数的処理などの手法を再復習する。	松木　秀明
15	保健統計学のまとめ	本授業の目標達成度の確認、質疑・応答 事前学習(30分):これまでの授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込んで、必要な知識、考え方、公式や数的処理の未理解の部分を明確化する。 事後学習(30分):これまでの授業内容に関して、必要な知識、考え方、公式や数的処理について、実務や国家試験にも結び付けた理解を高める。	松木　秀明

評価	定期試験100%で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	次の授業時間の最初で解説
教科書	基礎からの看護保健統計学　松木秀明、須藤真由美、松木勇樹著　東京図書　2022年　ISBN978-4-489-02388-0
参考図書など	適宜、授業の中で紹介
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある 教員による授業	疫学調査、公衆衛生研究、看護研究、臨床研究の統計手法について、46年の指導経験があり、実践的な内容も含む。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
法学（含日本国憲法） Law (Japanese Constitution Contained)	必修	講義	2単位 （30時間）	1年前期	長岐　郁也	ー

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と環境	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	国家の核である日本国憲法の基礎に法体系の概観と法の仕組みと働きを学修する。また、労働法など、大学生が教養として持つべき基本的な法律の制度についても学ぶ。なお、法制度の理解のために、本講義では判例などを用いながら、法がどのように作用するのかを検討しながら進めるものとする。また医療と法の関わりを理解し、看護師として必要な法的視点について学修する。
到達目標	1）憲法をはじめとした法律について、医療に従事する立場からその環境に関連する法律の内容などを捉え、法がどのような役割を担うのかを考えることができる。 2）講義で扱う判例を通じて、看護に関する実際の法の適用や基礎的な解釈を行うことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	看護と法	法の存在意義と看護と法の関わり 事前学習（60分）：教科書の第1章（1～12頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
2	患者の権利（1）：自己決定権	インフォームド・コンセント、医療の同意年齢 事前学習（60分）：教科書の第6章3,4（94～102頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
3	患者の権利（2）：自己決定権	終末期医療（安楽死・尊厳死、臓器移植） 事前学習（60分）：教科書の第3章4（41～49頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
4	刑事責任	刑事手続きと犯罪の構成要件について 事前学習（60分）：教科書の第2章（13～30頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
5	看護師と刑事事件	看護師の負担する刑事責任について 事前学習（60分）：教科書の第3章（31～40頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（90分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
6	民事責任（1）	不法行為の成立要件について 事前学習（60分）：教科書の第4章（53～71頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
7	民事責任（2）	紛争処理手続きについて 事前学習（90分）：教科書の第4章（53～71頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
8	看護師の過失（1）	看護水準と看護師の法的責任 事前学習（60分）：教科書の第5章（73～86頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
9	看護師の過失（2）	看護師としての注意義務について 事前学習（60分）：教科書の第2章5（49～52頁）、第5章（73～86頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
10	看護師と患者情報の取扱い	個人情報の管理、インターネット上の情報の管理について 事前学習（60分）：教科書の第6章（87～94頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
11	看護と労働法（1）	労働契約と就業規則について 事前学習（90分）：教科書の第7章（103～116頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：配布資料も含め講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
12	看護と労働法（2）	女性の労働、労働災害について 事前学習（60分）：教科書の第7章（103～116頁）を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習（60分）：講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也

13	看護師の法的位置づけ	一般原則と看護師の業務について 事前学習(60分):教科書の第8章(117～138頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分):講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
14	医療の提供	医療提供体制について 事前学習(60分):教科書の第9章(139～166頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習(60分):講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也
15	医療保障	医療に関わる保障制度について 事前学習(60分):教科書の第10章(167～192頁)を読み、分からない言葉などを調べて理解に努める。 事後学習:講義の内容を振り返り、理解の定着を図る。	長岐　郁也

評価	定期試験時に筆記試験を実施して評価する。
課題に対する フィードバックの方法	manabaを通じてすべて回答する。
教科書	看護のための法学〔第5版〕(ミネルヴァ書房)　著者:野崎和義・柳井圭子　2021年　ISBN:978-4623091287
参考図書など	必要な資料はmanabaに掲出する。
アクティブ・ラーニング	講義に際して学生の意見を参考に討議しながら解説を行い、考え方の道筋について提示する。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	資料はすべてmanabaに掲出するので、操作に慣れるよう努めること。また講義における私語は厳禁とする。なお、教科書は毎回、必ず持参すること。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
生物学 Biology	選択	講義	2単位 （30時間）	1年前期	殿山　泰弘	―

ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目	DP2）エビデンスに基づく実践力
人間と環境	

授業概要	生物学は、近代科学の方法論と手法により生物そのものにとどまらず、生物が示す様々な生命現象を明らかにすることを目指す学問である。現代の医学・薬学分野の発展は、生命現象の分子レベルでの理解と遺伝子工学や細胞工学などのバイオテクノロジーの発展によるところが大きい。従って、医学・薬学を理解する上で、生物学の知識は必須のものである。本講義では、生物学（生命科学）の基礎知識を概説し、バイオテクノロジーの原理を理解し、それらがどのように医療分野に応用されているかについて学修する。
到達目標	1）生命科学の基礎知識を理解し、他人に説明できる。 2）医療の進歩について生命科学の発展と関連付けて考察できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	生物学の基本	科学・生物学の方法、生物学の歴史・成り立ち（分類・進化・遺伝） 事前学習（30分）教科書の該当箇所（序章および第1章：p.20-48）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
2	細胞のプロフィール	細胞と細胞小器官の構造・機能 事前学習（30分）教科書の該当箇所（第2章：p.49-77）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
3	演習とまとめ（1）	第1～2回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習（30分）第1～2回目の講義内容を復習する。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
4	何が細胞の形や機能を決めているか（1）	核酸（DNA、RNA）の構造、DNAの複製、突然変異とDNA修復機構 事前学習（30分）教科書の該当箇所（第3章：p.78-87、第7章：p.169-174、p.178-183）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。	殿山　泰弘
5	何が細胞の形や機能を決めているか（2）	転写機構、翻訳機構、分子シャペロン、タンパク質の構造と機能 事前学習（30分）教科書の該当箇所（第3章：p.87-102、第5章：p.126-145）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
6	演習とまとめ（2）	第4～5回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習（30分）第4～5回目の講義内容を復習する。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。	殿山　泰弘
7	多細胞生物への道（1） 細胞間の情報交換、細胞の数を増やす	細胞接着とシグナル伝達のしくみ、細胞周期と体細胞分裂 事前学習（30分）教科書の該当箇所（第6章：p.146-168、第7章：p.175-178）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
8	多細胞生物への道（2） 個体の数を増やす・発生と分化	減数分裂と受精、個体の発生のしくみ 事前学習（30分）教科書の該当箇所（第8章：p.186-213）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
9	演習とまとめ（3）	第7～8回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習（30分）第7～8回目の講義内容を復習する。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。	殿山　泰弘
10	がんの生物学（1）	がんの分類、がん化を防ぐ機構（テロメア、アポトーシス等） 事前学習（30分）教科書の該当箇所（第10章：p.260-264）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
11	がんの生物学（2）	発がん因子、発がん機構、浸潤と転移 事前学習（30分）教科書の該当箇所（第7章：p.180-181、第10章：p.270-274）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
12	演習とまとめ（4）	第10～11回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習（30分）第10～11回目の講義内容を復習する。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。	殿山　泰弘

13	個体を守る免疫システム	ヒトの生体防御機構、自然免疫、獲得免疫（細胞性免疫・体液性免疫）、モノクローナル抗体 事前学習（30分）教科書の該当箇所（第9章：p.214-252）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
14	バイオテクノロジーが拓く最先端医療	遺伝子工学や細胞工学技術を用いた再生医療、遺伝子治療、細胞治療 事前学習（30分）教科書の該当箇所（Column：p.212, p.243, p.253-255）を読む。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、提示された課題に取り組む。	殿山　泰弘
15	演習とまとめ（5）	第13～14回目の講義内容の復習およびグループワーク 事前学習（30分）第13～14回目の講義内容を復習する。 事後学習（30分）教科書や配布資料等をもとに講義内容を振り返り、小テストを解き直す。	殿山　泰弘

評価	定期試験（60%）、小テスト（20%）、および課題（20%）で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	課題に対して、講義の中で適宜フィードバックする。 小テスト実施後に解答を提示し、質問に対応する。
教科書	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学/和田　勝/羊土社/第4版/ISBN:978-4-7581-2108-8
参考図書など	Essential細胞生物学/中村桂子・松原謙一・榊佳之・水島昇［監訳］/南江堂/原書第5版
アクティブ・ラーニング	演習とまとめの回でピア・インストラクション法を用いたグループワーク行う。
実務経験のある 教員による授業	該当なし
留意事項	本講義は、生物学全般の基礎知識の習得に重点を置いているため、高校で「生物」を選択していない方は是非受講して下さい。毎回の講義で学習した内容を理解し、記憶に定着させるために事後学習を必ず行って下さい。疑問点は、講義前後の時間やメールを利用して早めに解決することをお勧めします。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
物理学 Physics	選択	講義	2単位 （30時間）	1年前期	古谷　実	ー

ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と環境	DP2）エビデンスに基づく実践力

授業概要	力学、電磁気学、波動の分野について、自然や身の回りの事象を理解するための物理学の基本事項を学ぶ。
到達目標	1) 物理量の表し方、物理量の次元、国際単位系、力の表し方について説明できる。 2) 運動の表し方（変位、速さ、速度、加速度）について説明できる。 3)「質点」の力学、力、運動の法則、運動方程式について説明できる。 4) 仕事とエネルギー、力学的エネルギー保存の法則について説明できる。 5)「剛体」の力学、力のモーメントについて説明できる。 6) クーロンの法則、電場、電位について説明できる。 7) 電流、ジュール熱、オームの法則、電流回路などを説明できる。 8) 磁場、電流と磁場、電磁誘導について説明できる。 9) 波の表し方と特性（屈折、回折など）を説明できる。 10) 光（電磁波）について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	序論	物理量の表し方、物理量の次元、国際単位系、大きな量と小さな量の表し方、スカラー量とベクトル量、力の表し方 事前学習（30分）：教科書のまえがき、目次に目を通し、該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
2	力学(1)	運動の表し方（変位、速さ、速度、加速度） 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
3	力学(2)	いろいろな力、「質点」に働く力のつりあい 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
4	力学(3)	「質点」の力学、運動の法則、運動方程式 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
5	力学(4)	仕事、エネルギー、運動エネルギー、位置エネルギー、エネルギー保存の法則 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
6	力学(5)	「質点」と「剛体」の違い、「剛体」の力学、力のモーメント（トルク） 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
7	演習	問題演習による第1～6回の復習 事前学習（60分）：演習問題（事前に配布）を解く。 事後学習（60分）：演習問題を通した復習。	古谷　実
8	電磁気学(1)	クーロンの法則、電場、電位 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
9	電磁気学(2)	電流、ジュール熱、オームの法則、直流回路 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
10	電磁気学(3)	磁気力、電流と磁場、電磁誘導 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
11	波動(1)	波の表し方（波長、波数、周期、振動数）、横波と縦波 事前学習（30分）：教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）：授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実

12	波動(2)	光、電磁波、身の回りの電磁波 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
13	波動(3)	ホイヘンスの原理、波の特性(反射、屈折、回折、干渉) 事前学習(30分):教科書の該当箇所を読む。 事後学習(60分):授業内容や練習問題など、授業全体について復習する。	古谷　実
14	演習	問題演習による第8～13回の復習 事前学習(60分):演習問題(事前に配布)を解く。 事後学習(60分):演習問題を通した復習。	古谷　実
15	演習	問題演習による第1～13回の総復習 事前学習(60分):演習問題(事前に配布)を解く。 事後学習(60分):演習問題を通した復習。	古谷　実

評価	定期試験(100%)で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	授業中に使用した練習問題や演習問題の解答・解説を行う。
教科書	「大学新入生のための物理入門(第2版)」、廣岡秀明 著、共立出版、ISBN:978-4-320-03493-8
参考図書など	必要に応じて紹介する。希望者には「ベクトル」「三角比」「微分・積分」の基礎学習教材を配布する。
アクティブ・ラーニング	実施予定なし。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	ベクトルと三角比(sin, cos,tan)の基礎知識を必要とする。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
生化学 Biochemistry	選択	講義	1単位 （15時間）	1年後期	汾陽 光盛	―

ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目	DP2）エビデンスに基づく実践力
人間と環境	

授業概要	人体の生命現象を化学的方法で解明するために、生体を構成する糖質、脂質、タンパク質等の物質を理解すると共に、それらの生体内の物質代謝とエネルギー獲得、および遺伝情報とその発現について学修する。
到達目標	1)遺伝情報の流れと遺伝性疾患が生じる仕組みについて説明できる。 2) タンパク質の構造と機能の観点から、認知症（アルツハイ マー病とプリオン病）の発症原因について説明できる。 3) 糖の構造と代謝、血糖を維持する仕組み、および糖尿病の発症原因について説明できる。 4) 糖の構造と代謝の観点から糖尿病の合併症が生じる仕組みを説明できる。 5) 脂質の構造とリポタンパク質について説明できる。 6) 脂質の体内輸送を理解し、動脈硬化症の発症原理を説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	遺伝情報の流れ（セントラルドグマ）と遺伝病、タンパク質のアミノ酸置換と疾患	遺伝子（DNA）からタンパク質が合成される機構（セントラルドグマ）と遺伝の仕組みについて復習し、アミノ酸置換を伴う遺伝子変異によって発生する疾患について、鎌状赤血球貧血症を例にして理解する。 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習（30分）：講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
2	タンパク質の機能異常と認知症、アルツハイマー病とプリオン病の発症機構	タンパク質の配列と機能の多様性について理解し、機能異常によって発生する疾患について、近年大きな社会問題となっている認知症を例にして学修する。 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習（30分）：講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
3	代謝概説、糖の構造	細胞が生きるためのエネルギーを得るとはどういうことかについて理解し、三大栄養素の一つ糖に着目して、糖質の主成分であるグルコースの構造と代謝経路について学修する。 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習（30分）：講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
4	細胞レベルでの糖代謝～解糖、クエン酸回路、電子伝達系	細胞がどのような仕組みで糖を分解し、エネルギーに変換するのかについて学修する。 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習（30分）：講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
5	個体レベルでの糖代謝 糖尿病	糖質がどのような仕組みで利用されているのか、血中のグルコース濃度を一定に保つ仕組みに着目し、臨床的に非常に重要な糖尿病に焦点を当て、生化学的な視点から学修する。 事前学習（30分）： 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習（30分）： 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
6	内分泌機構とホルモン分子	恒常性維持に関わる神経系と内分泌系について理解し、情報分子について物質の側面から学修する。 事前学習（30分）： 授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習（30分）： 講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
7	脂質の構造と代謝	脂質の構造と生体内での代謝について学修する。 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習（30分）：講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛
8	脂質代謝異常症と動脈硬化症	脂質代謝の異常によって生じる疾患として、臨床的に非常に重要な動脈硬化症に焦点を当て、その発症原因や病態について生化学的な視点から学修する。 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習（30分）：講義ノートや配布資料、教科書を元に、講義内容と関連事項をノートにまとめ直し、内容の理解に努める。	汾陽 光盛

評価	定期試験で評価する（100%）。
課題に対するフィードバックの方法	必要に応じてmanaba等を利用してフィードバックを行う。
教科書	系統別看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能(2) 生化学 第14版／畠山鎮次／医学書院／ISBN:978-4-260-03556-9
参考図書など	病気を理解するための病態生化学（丸善）、基礎からしっかり学ぶ生化学（羊土社）
アクティブ・ラーニング	実施予定なし。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	初回講義時に説明する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
環境論 Environmentalism	選択	講義	2単位 （30時間）	1年前期	高岸　慧	ー

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と環境	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力

授業概要	持続可能な社会を未来に向けて構築していくためには、地球を構成する海や陸や大気についてと生物間の関わりを正しく理解したうえで、人間の生存基盤としての食料やエネルギーの見方を身に付け、過去の環境破壊の原因をとらえる必要がある。そこで本科目では、地球史の概要と水圏・陸圏・気圏の仕組みおよび生物間関係の基礎を理解し、人間が食料やエネルギーを得ている原理を学ぶ。次いで、それら自然の仕組みを人間が崩した環境問題の例を紹介する。そして、環境問題や環境教育に関する世界や国内の動向を学び、持続可能な社会づくりに向けた取り組みを考える。
到達目標	1）地球システムの水圏・陸圏・気圏の物理的な構成を理解し説明できる。 2）地球史と生物進化の基礎的な仕組みを理解し、生物多様性の重要性を理解し説明できる。 3）植物の生存原理と、人間にとっての食料やエネルギーとしての価値を理解し説明できる。 4）これまでの環境破壊の事例から、環境問題の生じる原因を説明できる。 5）持続可能な社会を構築するための取り組みを考えることができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	環境とは何か	環境とは何か？物理的環境と生物的環境 事前学習（20分）：「環境」の定義について予習する。 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
2	地球圏の物質循環	人間の生存基盤として陸圏を中心とした物質循環 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
3	生物とは何か	生物とは、生物種とは何か 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
4	生物の進化と適応	生物はいかにして環境に適応してきたのか・進化論 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
5	環境とヒトをささえる植物	植物の基本生存原則とヒトとの関わり 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
6	植物と動物	植物と動物の関わり 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
7	ヒトと環境	二次的自然環境における人と自然の関係について 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
8	絶滅危惧種の保全・保護	絶滅が危惧される生物の現状、自生地の環境および保全・保護について 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
9	環境問題の発生	環境問題はなぜ生じるのか 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
10	環境問題への対策	様々な環境問題と解決に向けた方針 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
11	生物多様性とは何か	生物多様性や生態系サービスについて 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
12	生物多様性消失の危機	多様性はなぜ保全すべきなのか 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧

13	再生可能エネルギー	再生可能エネルギーとその問題点 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
14	持続可能な社会にむけて	環境問題に対する世界の動向と新たな知見 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧
15	私たちはなにをすべきか	人類がこれからも存続するために必要なこと 事前学習（20分）：キーワードについての予習（下記、教科書項目参照） 事後学習（40分）：授業スライドを再度確認する。	高岸　慧

評価	定期試験時に筆記試験を実施して評価する。
課題に対する フィードバックの方法	全体の講評を提示、公開する。
教科書	特になし。講義内で次回講義におけるキーワードを挙げるので、事前にある程度調べておくこと。 また授業に用いた資料は実施後にmanabaにアップロードする予定である。
参考図書など	特になし・適宜講義中に紹介する。
アクティブ・ラーニング	実施予定なし。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	特になし。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
放射線概論 Radiology	選択	講義	1単位 （15時間）	1年後期	星川　嘉一	○

ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間と環境	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	臨床現場で必要とされる放射線の知識および放射線治療総論、放射線による障害と防護や放射線の身体への影響について学習する。さらに放射線画像の基礎を学習する。また、発がんへの心理的・社会的問題についても学ぶ。
到達目標	1）医療における放射線医療の役割について説明でき、放射線による障害とその防護方法を説明できる。 2）画像診断の概要、放射線治療における医療者の役割、Interventional Radiology (IVR)について概要を説明できる。 3）日常生活において法が担う役割や機能について認識できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	医療における放射線医学の役割	医療における放射線医療の役割および歴史 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の序章を読む。 事後学習：(60分)授業全体を復習する。	星川　嘉一
2	放射線被ばく	放射線による障害と防護。 放射線被ばくの心理的・社会的問題 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の第11章を読む。 事後学習：(60分)授業全体を復習する。	星川　嘉一
3	画像診断概論	医療現場における画像診断の有用性。画像診断における安全性の確保とセーフティーマネジメント 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の第1章を読む。 事後学習：(60分)授業全体を復習する。	星川　嘉一
4	X線診断・CT・MRI	X線診断・CT・MRIの実際 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の第2章～第4章を読む。 事後学習：(60分)授業全体を復習する。	星川　嘉一
5	超音波検査・核医学	超音波検査・核医学、原理と実際 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の第5章～第6章を読む。 事後学習：(60分)授業全体を復習する。	星川　嘉一
6	IVR(Interventional Radiology)	IVR（Interventional Radiology）の概念。実際と有用性 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の第7章を読む。 事後学習：(60分)授業全体を復習する。	星川　嘉一
7	放射線治療総論	放射線治療における原理と基礎及び医療者の役割 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の第8章を読む。 事後学習：(60分)授業全体を復習する。	星川　嘉一
8	放射線治療各論	各種腫瘍に対する放射線治療の概要。治療効果と早期反応 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の第9章を読む。 事後学習：(60分)授業全体を復習する。	星川　嘉一

評価	定期試験(100%)で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	講評を掲示をして、学生に公開する。
教科書	臨床放射線医学（系統看護学講座 別巻 ）/尾尻博也/医学書院/10版、2021年/ISBN-13：978-4260042178
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	特に行う予定なし。
実務経験のある教員による授業	放射線科専門医としての臨床経験を活かして放射線医学の基本的な知識と手法とその考え方について講義する。
留意事項	放射線科専門医の資格を有し多数の臨床経験から、放射線診療全般について実践的な授業を行う。 授業中、毎回発言を求める。事前学修を忘れても真摯な態度で授業に臨んでください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
哲学 Philosophy	選択	講義	1単位 （15時間）	1年後期	米田　祐介	○

ナンバリングコード	HCOO1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間の本質と尊厳	DP1）人間の命と個を尊重できる力

授業概要	文明の発祥から現代に至るまでの東西を問わず先人の哲学思想を通して、人間とは何か、生きるとは何かについて思索する。「哲学を学ぶことの意義、科学と宗教と哲学、私であるということ、物質と生命の神秘、身体と精神、自由、および美しく善く生きること」等の学習内容を通して、「生きること」や「存在の意味」について、主体的に深く思索する姿勢と建設的批判力を身につけ、自己の人間観や世界観を醸成できることを目的とし、幅広く人間を理解する能力を養う。
到達目標	1）人間存在のヴァルネラビリティ（傷つきやすさ）を理解したうえで、他者への寄り添いを考えることができる 2）ナラティヴ・アプローチを理解したうえで、実践することができる 3）具体的な社会事象に対し哲学の基礎的概念を用いて考察することができる

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	①オリエンテーション ②哲学と医療	①授業の目標、評価基準、シラバスの説明 ②哲学とは何か、医療とは何か、について明らかにしたうえで、両者の関わりについて述べる 事前学習：(30分)「哲学」と聞いて関心のある諸問題について検討しておく 事後学習：(60分)　当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田　祐介
2	時代の生きづらさに向き合う1 ―〈まなざし〉による支配と癒しの空間：身体感覚のリアリティ―	視覚（まなざし）は、近代社会の成立とともに他の身体感覚に対して特権的な位置を占めるようになった。とくに視覚が権力と結びつく場面に注目し、その支配のメカニズムを解明する 事前学習：(30分)〈におい〉と〈まなざし〉の役割を事前にノートに書く 事後学習：(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田　祐介
3	時代の生きづらさに向き合う2 ―いじめを生みだす「優しい関係」―	人間存在のヴァルネラビリティ（傷つきやすさ）に光をあて、いじめという具体的事例を検討することを通じて、「いのち」とは何か、「生きる」ことの意味について考察する 事前学習：(30分)新聞やインターネットなどでいじめの事例について調べておく 事後学習：(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田　祐介
4	ナラティヴ・アプローチ基礎編1 ―言葉・物語・ケア―	哲学、心理学、社会学の最前線で議論されているナラティヴ・アプローチの考え方を紹介し、それがケア学に一つの理論的基礎を与えるものであることを示し、新たな世界観との出会いを促す 事前学習：(30分)これまでの経験から「語る」ことの意味について検討しておく 事後学習：(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田　祐介
5	ナラティヴ・アプローチ基礎編2 ―物語としての自己―	自己をめぐる哲学史を概観したうえで、「自己は物語の形式で存在する」と捉える社会構成主義の立場に光をあて、それが他者への寄り添いを考えるうえで一つの手がかりとなることを解説する 事前学習：(30分)基礎編1の要点を理解しておく 事後学習：(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田　祐介
6	ナラティヴ・アプローチ応用編1 ―外在化とオルタナティヴ・ストーリー―	M.ホワイトの外在化という考え方を具体的事例の検討を通じて解説し、「人が問題なのではなく、問題が問題なのである」ということの意味を考察する 事前学習：(30分)基礎編1・2の要点を理解しておく 事後学習：(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田　祐介
7	ナラティブ・アプローチ応用編2 ―「無知」の姿勢―	H.グーリシャンとH.アンダーソンの「無知」の姿勢という考え方を解説し、理解の途上にとどまり続けることによって「いまだ語られなかった物語」が語られる余地がひらけてくることの意義について考察を加える 事前学習：(30分)基礎編1・2の要点を理解しておく 事後学習：(60分)レポート課題を期日までに提出する	米田　祐介
8	まとめ ―自己を肯定するということ―	まとめとしてこれまでの授業をふりかえり、「自己を肯定するということ」について考察する。 事前学習：(60分)これまでの配付資料を全て読み、要点を理解しておくこと 事後学習：(60分)当事者意識をもって配布資料を読み、授業全体について復習する	米田　祐介

評価	毎回のリアクションペーパー40%、レポート60%
課題に対するフィードバックの方法	毎回、リアクションペーパーを書いていただき、授業冒頭にて紹介しコメントを行います。
教科書	毎回授業時にプリントを配布します。
参考図書など	物語としてのケア／野口裕二／医学書院／2002年／ISBN: 9784260332095 '私とは何か／平野啓一郎／講談社／2012年／ISBN: 9784062881722 'なぜ生命倫理なのか／朝倉輝一編／大学教育出版／2024年／ ISBN:9784866922942 ほか適宜紹介します。
アクティブ・ラーニング	リアクションペーパーへのフィードバックはもとより授業内での質問・意見を積極的に取り上げます。
実務経験のある教員による授業	大学教員（10年）、障がい者サポートセンターでの勤務経験有り
留意事項	本講では、「語り・物語」が一つのキーワードになりますが、ぜひ、自らを語り、表現することの喜びを感じてください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
生命倫理学 Bioethics	必修	講義	1単位 （15時間）	1年後期	小館　貴幸	○

ナンバリングコード	HCOA1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間の本質と尊厳	DP1）人間の命と個を尊重できる力

授業概要	現代医療は生命倫理の土台の上に成り立っている。この講義では、倫理とは何かという基本的事項の確認から始め、生命倫理学の成立の歴史を含め、医療人として必要な生命倫理学の基礎的知識や倫理綱領について学修する。また、医療技術の進歩に伴い生じる生命倫理上の重要ないくつかの問題を取り上げることにより、その本質や最近の動向を理解するとともに、それらについて医療職が果たすべき役割を学ぶ。
到達目標	1）「倫理とは何か」について説明することができる。 2）「医の倫理」と「生命倫理」との相違を指摘し、両者の特徴について述べることができる。 3）生命倫理の四原則、倫理綱領・各種宣言について列挙することができる。 4）インフォームド・コンセントについて、その本質や意義を述べることができる。 5）生命の始まりと終わりについての諸問題について述べることができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	倫理とは何か	倫理の起源や成り立ちを説明し、医療と倫理のつながりについて述べる。 事前学習：特になし。 事後学習（90分）：指定された課題に取組む。	小館　貴幸
2	医の倫理	『ヒポクラテスの誓い』や『ナイチンゲール誓詞』について解説し、医の倫理の原則や本質など、その概要について述べる。 事前学習（30分）：前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習（60分）：講義内容を復習し、テキスト（117頁～123頁）に目を通しておく。	小館　貴幸
3	生命倫理の成立	「医の倫理」から「生命倫理」へと到る歴史的背景や流れを解説する。人権の確立に寄与した倫理綱領や各種宣言について述べる。 事前学習（30分）：前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習（60分）：講義内容を復習し、テキスト（113頁～135頁）を熟読しておく。	小館　貴幸
4	生命倫理の四原則　1 〔自律尊重の原則〕	自律尊重の原則とは何かについて述べ、インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンなどについて解説する。 事前学習（30分）：前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習（60分）：講義内容を復習し、テキスト（136頁～141頁、168頁～170頁）を熟読しておく。	小館　貴幸
5	生命倫理の四原則　2 〔善行・無危害・正義の原則〕	善行・無危害・正義の原則とは何かについて述べ、「医の倫理」と「生命倫理」についてまとめる。看護師の倫理綱領について解説する。 事前学習（30分）：前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習（60分）：指定された課題に取組む。	小館　貴幸
6	生命の始まりに関する諸問題 〔人工受精〕	人工受精について取上げ、その基本的諸事項や利点と問題点についても考察する。また、体外受精や不妊治療についても解説する。 事前学習（30分）：テキスト（15頁～29頁）を熟読しておく。 事後学習（60分）：指定された課題に取組む。	小館　貴幸
7	生命の終わりに関する諸問題　1 〔安楽死〕	安楽死について取上げ、その基本的諸事項や利点と問題点について考察する。安楽死の是非について、各学説を取上げながら解説する。 事前学習（45分）：指定された課題に取組む。 事後学習（45分）：講義内容を復習し、テキスト（80頁～99頁）を熟読する。	小館　貴幸
8	生命の終わりに関する諸問題　2 〔尊厳死〕	尊厳死について取上げ、その基本的諸事項や利点と問題点について考察する。映像資料を交えて、各当事者の思いについても取上げていく。 事前学習（30分）：前回の講義内容を復習し、疑問点をまとめておく。 事後学習（60分）：これまでの講義を振返り、各項目への理解を深める。	小館　貴幸

評価	定期試験（60%）、中間レポート（15%）、課題などの授業への取組み（25%）、という総合評価。
課題に対するフィードバックの方法	中間レポートに関しては、模範解答例などを配付して解説を行う。 課題（リアクションペーパー等）については、manabaに解答を示す。
教科書	なぜ生命倫理なのか／朝倉輝一編／大学教育出版／2024年　ISBN：9784866922942
参考図書など	講義内で適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	実施予定なし。
実務経験のある教員による授業	介護福祉士の資格を持ち、実際に難病患者や終末期患者の在宅介護に携わっている教員が、臨床現場での当事者や家族の声を紹介しながら、講義を行う。
留意事項	生命の始まりや終わりにまつわる諸問題について、日常の中で取上げられるニュースに敏感になり、生命倫理を普段から身近に感じるように心がけて下さい。授業では、すべて自分の問題と置き換えて、「脳に汗をかく」ほど考え、「心が燃える」ほどに感じてもらいたいと思います。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
社会学 Sociology	選択	講義	1単位 （15時間）	1年後期	門林　道子	―

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間の本質と尊厳	DP1）人間の命と個を尊重できる力

授業概要	社会的行為、社会的集団、地位と役割、文化などの社会学の基本概念を理解するとともに身近な社会現象である家族や職場、地域社会、健康問題、福祉、倫理問題など、現実の社会や社会問題がどのように捉えられ、理解されているかを学修する。
到達目標	「人間とはなにか、社会とはなにか」を考え、「現代」という時代の全体をとらえ、私たちが生きる現代社会が、どのような社会なのかを社会学的見方を通して理解する。人が、社会の中で関係性の中で生きていることを認識し、人間と社会を幅広い視野で取り上げうる能力を養うことを目指す。社会生活を営むひとりの人間として社会を理解し考える力を涵養するとともに現代社会で起きている諸問題を把握し、客観的論理的に思考できる能力を養う。医療人として、また実生活に応用できる社会学的知見の修得を目標にする。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	社会学とはなにか	「社会学」がどのような学問であるか、「社会」とはなにか、人間が「社会的存在」であることを理解するとともに、医療において社会学を学ぶ意義を考えてみる。 事前学習（30分）：「社会」とはなにか、「人間」とはなにかを考えてくる 事後学習（60分）：「社会」や「人間」「社会学とはなにか」についての復習	門林　道子
2	現代社会論Ⅰ	人口動態統計等を用いて「少子高齢社会」や「家族の小規模化」が進む現代社会を理解する。 事前学習（30分）：厚生労働省発表の人口動態統計などを事前に目を通してくる 事後学習（60分）：「高齢化率」「高齢化社会」「高齢社会」など用語を理解する	門林　道子
3	現代社会論Ⅱ	昨今の社会問題から現代社会を考え、社会保障制度との関係等についてもみていく。「孤独死」や「孤立死」「葬送儀礼の変容」等を取り上げる予定である。 事前学習（60分）：人口動態統計からみる現代社会について小テストを実施：予習 事後学習（60分）：取り上げた社会問題についての復習	門林　道子
4	現代家族論	「家族」とはなにか。基礎概念を理解したうえで、近現代における家族形態や機能の変化をみていくとともに、現在の家族に起こっている諸問題をとらえる。 事前学習（30分）：「家族」とはなにかを考えてくる 事後学習（60分）：「家族」の基礎概念と、近現代における変化、現在の諸問題を復習する	門林　道子
5	行為論・集団論	「行為」とはなにか、「集団」とはなにか。個人の行為の成り立ち、個人と社会集団、組織・職業と社会について解説する。 事前学習（30分）：「行為」とは、また「欲求」がどのように行為となるのか考える 事後学習（60分）：個人にとって社会にとっての集団の存在意義を理解する	門林　道子
6	社会調査の方法	社会学での調査方法を取り上げる。ここではとくに終末期医療に関するグラウンデッドセオリーや「闘病記の社会学的研究」（門林）に触れる。 事前学習（60分）：門林の著書に関するプリントを配布・読んでくること 事後学習（120分）：課題レポートを書く	門林　道子
7	ホスピス・緩和ケアの比較社会学	日本と海外の終末期ケアをめぐる状況を門林の調査研究も取り入れたうえで解説する。 事前学習（30分）：ホスピスケア・緩和ケアについて基本情報を知っておく 事後学習（60分）：日本と海外との比較など、要点を整理する	門林　道子
8	ハンセン病―差別と人権	ハンセン病を取り上げ、日本社会が生み出した「差別」と「人権」問題にふれることで「差別」がどのように形成されていくのか、また人間の尊厳を考える機会とする。 事前学習（30分）：ハンセン病やハンセン病問題について知識を得る 事後学習（60分）：問題の整理とこれからの課題について考える	門林　道子

評価	定期試験70%、課題レポート・授業時の小レポート・リアクションペーパー・小テスト30%で総合評価
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時には、毎回のように、授業時に指定した課題についての小レポートやリアクションペーパーの提出を求め、次回の授業の冒頭でそれらの内容について紹介、コメントする。
教科書	特になし。（毎回使用するレジュメや資料を配布）
参考図書など	門林道子『生きる力の源に：がん闘病記の社会学』（2011）、石田光規『孤立の社会学』（2011）、蘭由岐子『「病いの経験」を聞き取る』ほか、適宜授業で紹介する
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜少人数で話し合うグループワークやディスカッションを実施予定
実務経験のある教員による授業	該当なし
留意事項	現代社会がどのような状況にあるのか、つねにマスコミの報道などに関心をもってほしい。授業中には意見を聞いたり、リアクションペーパーなどの提出を求め、学習意欲を重視する。欠席が続くと授業についていけなくなるため、毎回必ず主体的積極的に出席することを期待している。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ジェンダー学 Gender Studies	選択	講義	1単位 （15時間）	1年後期	浅野　幸子	○

ナンバリングコード	HCOO1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間の本質と尊厳	DP1）人間の命と個を尊重できる力

授業概要	「ジェンダー」は、生物学的な性差に付加された社会的・文化的性差のことであり、個人の生きづらさや多様な社会課題と深く関係しており、医療従事者として不可欠の視点である。授業では、ジェンダー概念の基礎と国内外の動向について学ぶとともに、家族・教育・労働・災害・暴力・メディアなどの具体的なテーマを通して、実践的な理解を深める。
到達目標	1）ジェンダーに関連する基本的な概念と用語について理解し、説明することができる。 2）社会の中に存在するジェンダー課題に関心を持ち、批判的に考えることができる。 3）国内のジェンダー課題の動向ならびに国の男女共同参画政策の取り組みについて、国際動向も踏まえて理解し、実践に結び付けて考えることができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	ジェンダーとは何か？ ～社会によって作られる「らしさ」と格差	ジェンダー概念の基礎について学ぶ。男らしさ、女らしさといった性別によって固定的に語らえる「らしさ」は、社会的に作られたものであり、それらが格差問題等にもつながることを理解する。 事前学習（30分）世間一般に、男らしさ/女らしさと言われる事柄を複数書き出す。 事後学習（30分）配付資料など、授業全体について復習する。	浅野　幸子
2	家族/ケアとジェンダー	家族の形は近代化とともに変化してきたことを前提に、激しい社会変動下に置かれた現代日本の家族状況と、家族のあり様と深く関係するケア領域のジェンダー課題について理解する。 事前学習（30分）家族・親族内で、誰がどのぐらい家事・育児・介護を担っているか考える。 事後学習（30分）授業中に提示する参考文献を読む。	浅野　幸子
3	教育/労働とジェンダー	男女別の進学状況、教員の男女比、男女の賃金格差、管理職における男女比など、教育/労働の場におけるジェンダー格差が、個人・組織・社会にどのような影響を及ぼし得るかについて考える。 事前学習（30分）学校生活、学習経験でジェンダーに関係したものがないか思い出す。 事後学習（30分）配布資料など、授業全体について復習する。	浅野　幸子
4	メディアとジェンダー	メディア情報には、性差別や固定的な男女像に関するメッセージが含まれることが少なくない。テレビCM等の広告を読み解きながら、その影響や、多様性を尊重した表現のあり方について考える。 事前学習（30分）普段触れるメディアの中に、固定的性別役割が反映されたものを探す。 事後学習（60分）メディアがジェンダーに関する価値観や関係性に与える影響を改めて考える。	浅野　幸子
5	男女平等をめぐる歴史と政策	男女平等をめぐる国内外の女性たちの運動や国連・国の政策等に関する歴史的経緯について理解をする。 事前学習（30分）事前配布資料を読んで予習をする。 事後学習（60分）国のジェンダー平等政策が、自分の暮らしや将来にどう関係しそうか考える。	浅野　幸子
6	災害とジェンダー	災害は平常時の社会課題を顕在化させる側面を持つが、ジェンダー関連の課題（男女双方の困難特性、ケア負担の増加、暴力被害等）について、背後の社会構造上の問題とともに理解する。 事前学習（30分）避難生活で高齢者、障害者、子ども、女性、男性が困りそうなことを考える。 事後学習（60分）配布資料など、授業全体について復習する。	浅野　幸子
7	暴力とジェンダー	性暴力、DV、虐待などのジェンダーに基づく暴力（Gender Based Violence: GBV)について、特に日本の動向に焦点を当てながら、被害の実態と背景、関連の政策等について理解する。 事前学習（30分）新聞やWEBサイトのニュース記事から、GBVに関する最近の事件に目を通す。 事後学習（60分）配布資料など、授業全体について復習する。	浅野　幸子
8	まとめ～誰もが生きやすい社会の構築のために	授業の内容を全体を振り返った上で、一人ひとりの個性を認め合える、誰もが生きやすい社会の構築のために、ジェンダーの視点から求められる取り組みについてディスカッションを行う。 事前学習（60分）医療現場におけるジェンダーの視点の重要性について考える。 事後学習（60分）配布資料を見直すなどして授業全体を振り返る。	浅野　幸子

評価	授業内のミニレポート30%、期末試験70%
課題に対するフィードバックの方法	期末試験後に総合評価を送ります。
教科書	適宜プリント・資料を配布する。
参考図書など	女性学・男性学 -- ジェンダー論入門/伊藤公雄・樹村みのり・國信潤子/2019/第3版/有斐閣アルマ 内閣府男女共同参画局ホームページ　http://www.gender.go.jp/
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	市民団体でジェンダー問題に幅広く携わったほか、災害とジェンダー領域の取り組みが長い。被災者の直接支援、市民・行政職員・専門職等への研修、政策形成にかかわってきた経験を活かした講義を行う。
留意事項	授業テーマに関する情報をウェブサイトで検索する、授業中に提示する参考文献を読む。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
人間の行動と心理 Human behavior and psychology	必修	講義	2単位 （30時間）	1年前期	長澤　里絵	ー

ナンバリングコード	HCOC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力
人間の本質と尊厳	

授業概要	心理学は、人間の行動の法則性に関する科学である。本教科では、知覚、欲求、思考、学習、人格、記憶などの心理学の基礎から、発達の心理について学修する。また、性格検査、知能検査、カウンセリングなどの医療と心理学について学修する。さらに、人間の一生涯の行程を発達のプロセスとしてとらえ、心身の発達および人格の成熟、発達課題と諸問題について学修する。
到達目標	1）心理学の知見が医療場面にどのように関わり、役立っているかを理解できる 2）人間の発達過程を理解し、医療現場にどのように応用できるかをイメージできる 3）学んだ心理学的基礎知識をどのようにすれば応用できるかをイメージできる

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	心理学とは	心理学とはどのような学問か・心理学の歴史・心理学の研究法 事前学習（10分）：シラバスを読み、不明な点を質問できるようにしてくること 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
2	知覚と認知の心理　①	感覚器官・知覚特性①（図と地対比的知覚ゲシュタルト的知覚知覚の恒常性） 事前学習（30分）：教科書第1章1節から3節を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
3	知覚と認知の心理　②	知覚特性②（運動知覚空間知覚）・錯視・認知プロセス 事前学習（30分）：教科書第1章3節から5節を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
4	感情と情緒の心理	情緒形成の3要素・情緒生起のメカニズム 事前学習（30分）：教科書第2章を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
5	欲求と動機の心理	生理的欲求と心理（社会）的欲求・外発的動機づけと内発的動機づけ 事前学習（30分）：教科書第3章を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
6	適応心理	心の適応と不適応・葛藤とストレス・適応機制 事前学習（30分）：教科書第3章を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
7	臨床心理	こころの病・主な心理療法の種類・カウンセリングと危機介入 事前学習（30分）：教科書第6章を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
8	性格の心理　①	性格とは・類型論と特性論 事前学習（30分）：教科書第5章を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
9	性格の心理　②	性格検査 事前学習（30分）：教科書第5章を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
10	学習と記憶の心理	学習のメカニズム・古典的学習とオペラント学習・効果的学習法・記憶のプロセス 事前学習（30分）：教科書第4章を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
11	発達と成長の心理　①	発達とは・乳幼児期① 事前学習（30分）：教科書第7章1節を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵
12	発達と成長の心理　②	乳幼児期②・児童期・思考の発達 事前学習（30分）：教科書第7章1節と2節を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤　里絵

13	発達と成長の心理 ③	青年期・高齢期 事前学習（30分）：教科書第7章3節を読んでおく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤 里絵
14	発達と成長の心理 ④	愛着理論・内的作業モデル 事前学習（30分）：教科書第7章を読んでおく。全体の復習をし、不明な点は質問できるようにしておく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤 里絵
15	自己と対人の心理 医療と心理 まとめ	自己について・患者の心理と心理的反応・末期患者の心理 事前学習（30分）：全体の復習をし、不明な点は質問できるようにしておく 事後学習（30分）：授業全体について復習する	長澤 里絵

評価	定期試験100%
課題に対する フィードバックの方法	課題については、授業内で全体の講評をする。
教科書	こころの行動と社会・応用心理学 川島書店 ISBN：9784761009649
参考図書など	心理学辞典／中島 義明、子安 増生、繁桝 算男、箱田 裕司、安藤 清志、坂野 雄二、立花 政夫（編集）／有斐閣／1999／ISBN 978-4641002593
アクティブ・ラーニング	授業で扱った性格検査を実習として体験する。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	授業時の私語は授業妨害となるので厳禁とする。 ※必ず事後学習を行うこと

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ボランティア学 Studies of Voluntary Activities	必修	講義	1単位 （30時間）	1年後期	直井　友樹、1年チューター教員	○

ナンバリングコード	HCOO1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
総合教育科目 人間の本質と尊厳	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP4）チームで連携し協働する力

授業概要	ボランティアの歴史と意味、社会における役割から、①他者と関係を構築する重要性、②ボランティアが他者と関係を構築する一つの方途であることを理解できる。そのうえでボランティア参加のために有用なスキルや知識を身につけることができる+B23:Y40。
到達目標	ボランティアの歴史と意味、社会における役割から、①他者と関係を構築する重要性、②ボランティアが他者と関係を構築する一つの方途であることを理解できる。そのうえでボランティア参加のために有用なスキルや知識を身につけることができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	イントロダクション	本講義の目的・目標、概要、進め方。評価を理解する。またボランティアの具体的活動内容を知る。 事前学習（30分）　ボランティアの具体的な活動内容を調べる 事後学習（30分）　第1回の授業内容を復習する。	直井　友樹
2	ボランティアの概要	ボランティアの位置づけ、現状およびその背景にある出来事や制度を理解する。 事前学習（30分）　ボランティアの意味や性格、認知度や参加、興味・関心の度合いを調べる。 事後学習（30分）　第2回の授業内容を復習する。	直井　友樹
3	ボランティアの歴史	ボランティアの歴史を、言説（どのように語られてきたか）に焦点を当てて理解する。 事前学習（30分）　ボランティアに先行する言説の「奉仕」や「事前」の意味を調べる。 事後学習（30分）　第3回の授業内容を復習する。	直井　友樹
4	ボランティアの源流	ボランティアの源流を、ワークキャンプという活動に焦点を当てて理解する。 事前学習（30分）　ボランティアの源流を、ワークキャンプ（合宿型ボランティア活動）を調べる。 事後学習（30分）　第4回の授業内容を復習する。	直井　友樹
5	ボランティアの効果	ボランティアの効果を、個人と社会の双方の立場に焦点を当てて理解する。 事前学習（30分）　ボランティアする側/される側の両側面からその効果を調べる。 事後学習（30分）　第5回の授業内容を復習する。	直井　友樹
6	ボランティアの発見	ボランティアを発見するため、社会が抱える課題やその活動形態を理解する。 事前学習（30分）　社会が抱える課題やボランティアの活動形態を調べる。 事後学習（30分）　第6回の授業内容を復習する。	直井　友樹
7	ボランティアの参加と参画	ボランティアの参加のために有用な情報や、参画のためのボランティア企画を理解する。 事前学習（30分）　ボランティア参加のための相談先やボランティア企画のフォーマットを調べる。 事後学習（30分）　第7回の授業内容を復習する。	直井　友樹
8	ボランティアの課題	ボランティアの課題として、参加者募集に焦点を当てて理解する。 事前学習（30分）　ボランティア参加のための相談先やボランティア企画のフォーマットを調べる。 事後学習（30分）　第8回の授業内容を復習する。	直井　友樹
9	地域での社会貢献活動の提案	居住または通学地域、大学設置主体関連施設に貢献できる活動についてディスカッションする。 事前学習（30分）　自らが実施可能なボランティア活動について考える。 事後学習（30分）　第9回の授業内容を復習する。	1年チューター教員
10	地域での社会貢献活動の計画①	居住または通学地域、大学設置主体関連施設に貢献できる活動の具体的な実行計画を立案する① 事前学習（30分）　実行計画を考える。 事後学習（30分）　第10回の授業内容を復習する。	1年チューター教員
11	地域での社会貢献活動の計画②	居住または通学地域、大学設置主体関連施設に貢献できる活動の具体的な実行計画を立案する② 事前学習（30分）　さらに具体的な実行計画にする。 事後学習（30分）　第11回の授業内容を復習する。	1年チューター教員
12	地域での社会貢献活動の実施①	居住または通学地域、大学設置主体関連施設に貢献できる活動を実施する① 事前学習（30分）　計画したボランティア活動を実施できるよう準備する 事後学習（30分）　第12回の授業内容を復習する。	1年チューター教員

13	地域での社会貢献活動の実施②	居住または通学地域、大学設置主体関連施設に貢献できる活動を実施する② 事前学習（30分）　計画したボランティア活動を実施できるよう準備する 事後学習（30分）　第13回の授業内容を復習する。	1年チューター教員
14	地域での社会貢献活動の評価と発表準備	居住または通学地域、大学設置主体関連施設で実施した活動を評価し発表準備を行う 事前学習（30分）　活動を振り返り発表の準備をする 事後学習（30分）　第14回の授業内容を復習する。	1年チューター教員
15	地域での社会貢献活動の発表	居住または通学地域、大学設置主体関連施設で実施した活動を発表する 事前学習（30分）　他者に理解できるよう発表の準備を整える 事後学習（30分）　第15回の授業内容を復習する。	1年チューター教員

評価	授業中に実施するリアクションペーパーまたはレポート（40%）、試験（60%）
課題に対する フィードバックの方法	直井：'授業の前後、メールを通して個別指導を実施する。
教科書	なし
参考図書など	贈与論（ちくま学芸文庫）、NPO実践マネジメント入門（東信堂）、SDGsが問いかける経営の未来（日本経済新聞社）
アクティブ・ラーニング	6回～8回の授業で、NPO設立で社会課題の解決策を考える際、学生を6人ずつに分けてのグループワークとプレゼンテーションを行い、授業に主体的に参加してもらう。9～15回の授業ではすべてグループで主体的に活動する。
実務経験のある 教員による授業	NGOの支援祖域「ジャパン・プラットフォーム」の共同創設者、副代表理事の経験を生かし、NPO、NGOの考え方、政府、企業との連携、その際の問題点について実践的な事業を行う。
留意事項	単にボランティアについて学ぶだけではなく、NPO、NGO、さらには企業CSR、国連のSDGsまでを視野に入れた授業である。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
人体の構造・機能Ⅰ Human body structure and function Ⅰ	必修	講義	2単位 （60時間）	1年前期	柴田　昌和	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目Ⅰ 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	看護学を学ぶ基礎知識として、「人体の構造・機能Ⅰ」では、はじめに人体を構成する細胞・組織、器官、器官系を学ぶ。続いて動物性機能を有する器官として骨格系、筋系、神経系と感覚器系を、植物性機能を有する器官として循環器系の構造と機能について学ぶ。
到達目標	1)解剖生理を学ぶための基礎知識では細胞、組織、器官、器官系を理解し、人体の基本的な構造と機能の説明ができる。 2)身体の支持と運動では骨の基本的な構造と働きを理解し、全身の骨格にはどのようなものがあるかを説明できる。 3)情報の受容と処理では中枢神経と末梢神経および自律神経の支配器官とはたらきを説明できる。感覚器では障害との関連を理解する。 4)循環器系とその調節では心臓の構造と機能、全身をめぐる脈管の構造と機能が説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	解剖生理を学ぶための基礎知識1(人体の構造)	形からみた人体、人体に関する用語につて解説。 事前学習（45分）：教科書p8～17まで読んでくる 事後学習（45分）：本日の講義内容を復習しノートにまとめる	柴田　昌和
2	解剖生理を学ぶための基礎知識2(細胞)	人体の素材としての細胞の構造とはたらきについて解説。 事前学習（45分）：教科書p46～55まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
3	解剖生理を学ぶための基礎知識3（組織）	人体を構成する4つの組織（上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織）を解説。 事前学習（45分）：教科書p46～55まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
4	解剖生理を学ぶための基礎知識4（人体の区分）	構造や機能からみた人体の区分、腔所、ホメオスタシスについて解説。 事前学習（30分）：教科書p55～62まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
5	身体の支持と運動1（骨の形態）	人体の骨格、骨の形態と構造、発生と成長および機能について解説。 事前学習（45分）：教科書p308～315まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
6	身体の支持と運動2（関節）	骨の連結（関節）について解説。 事前学習（30分）：教科書p316～318まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
7	身体の支持と運動3（頭蓋骨）	頭蓋骨（15種23個より構成）を構成する骨の特徴を解説。 事前学習（30分）：教科書p361～368まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
8	身体の支持と運動4（脊柱）	脊柱および胸腔を構成する骨についての構造と機能を解説。 事前学習（30分）：教科書p324～334まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
9	身体の支持と運動5（上肢骨）	上肢を構成する骨格の構造と機能を解説。 事前学習（30分）：教科書p334～338まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
10	身体の支持と運動6（下肢骨）	下肢を構成する骨格の構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p349～354まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
11	身体の支持と運動7」（筋収縮のメカニズム）	骨格筋の構造と作用および支配神経の解説。筋収縮のメカニズムについて解説。 事前学習（45分）：教科書p319～323、p369～381まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
12	身体の支持と運動8（頭頸部の筋）	頭頸部（咀嚼筋・表情筋）、体幹（胸部・背部）の筋についての構造と機能について解説。 事前学習（45分）：教科書p328～333、p367～368まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
13	身体の支持と運動9（上肢の筋）	上肢の骨格筋の構成と機能について解説。 事前学習（45分）：教科書p338～348まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
14	身体の支持と運動10（下肢の筋）	上肢の骨格筋の構成と機能について解説。 事前学習（45分）：教科書p354～361まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和

15	情報の受容と処理1（神経の構造）	神経の構造と機能の解説。 事前学習（45分）：教科書p384～394まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
16	情報の受容と処理2（脊髄）	中枢神経系：脊髄の構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p395～400まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
17	情報の受容と処理3（脳幹）	中枢神経系：脳（延髄・中脳・小脳）の構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p400～408まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
18	情報の受容と処理4（大脳）	中枢神経系：脳（間脳・大脳）の構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p～まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
19	情報の受容と処理5（脳神経）	末梢神経系：脳神経12対の走行と機能について解説。 事前学習（45分）：教科書p414～418まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
20	情報の受容と処理6(脊髄神経)	末梢神経系：脊髄神経の構造と機能の解説。特に、腕神経叢、腰仙骨神経叢の解説。 事前学習（45分）：教科書p409～414まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
21	情報の受容と処理7（自律神経系）	自律神経系：交感神経と副交感神経について解説。 事前学習（45分）：教科書p263～272まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
22	情報の受容と処理8（高次脳）	脳の高次機能（脳波と睡眠など）の解説。 事前学習（45分）：教科書p418～433まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
23	情報の受容と処理9（感覚器・眼）	眼の構造と機能および眼球付属器を解説。視覚障害についての解説。 事前学習（45分）：教科書p435～446まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
24	情報の受容と処理10（平衡感覚器）	感覚器：耳の構造と聴覚・平衡覚についての構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p447～452まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
25	情報の受容と処理11（味覚）	感覚器：味覚、嗅覚、痛覚についての構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p453～459まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
26	循環系とその調節1（心臓の構造）	循環器系の構成（体循環・肺循環）と心臓の構造を解説。 事前学習（45分）：教科書p165～175まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
27	循環系とその調節2（刺激伝導系）	心臓の拍出機能、興奮の伝播（刺激伝導系）、心電図の意味を解説。 事前学習（45分）：教科書p175～193まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
28	循環系とその調節3（動静脈）	末梢循環器である血管の構造を理解し、全身の動脈の名称と走行を解説。 事前学習（45分）：教科書p193～175まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
29	循環系とその調節4（血圧）	血液循環の調節（血圧、等）の解説。 事前学習（45分）：教科書p206～226まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
30	循環系とその調節5（リンパ系）	リンパ管の構造と機能およびリンパ節の構造・機能を解説。 事前学習（30分）：教科書p226～228まで読んでまとめる 事後学習（45分）：小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和

評価	小試験10%、定期試験90%として評価する。
課題に対する フィードバックの方法	毎回、前週の内容の小試験を行い、解答と解説をし復習を促す。課題に関しては学生個々に講評し返却(manabaも含む)する。
教科書	系統看護学講座 専門基礎① 解剖生理学[第11版] 人体の構造と機能〔1〕 医学書院 2024年 ISBN:978-4-260-04687-9
参考図書など	・ナースが視る人体 薄井坦子著 講談社 1987年 ISBN:978-4062012799 ・イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき 田中越郎著 第3版 医学書院 2019年 ISBN: 978-4260038874 等
アクティブ・ラーニング	該当なし
実務経験のある 教員による授業	死体解剖資格を有し、肉眼解剖の経験を通して、人体の構造と機能につて分かりやすい講義を行う。
留意事項	該当なし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
人体の構造・機能Ⅱ Human body structure and function Ⅱ	必修	講義	2単位 （60時間）	1年後期	柴田　昌和	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	解剖生理を学ぶ基礎知識として「人体の構造・機能Ⅱ」では、血液と植物機能の消化器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系の生命維持システムと発生および身体機能の防御について学習する。また、解剖実習見学を行う事で各臓器の位置を学修する。
到達目標	1)栄養の消化と吸収では、口腔から肛門までの消化吸収の流れを説明できる。 2)体液の調節と尿の生成ではそれぞれのホルモンの働きを理解し、どのように体の調節をしているかを説明できる。 3)下垂体、副腎から放出されるホルモンについて理解し、説明できる。 4)生殖・発生と老化のしくみでは、男性と女性の生殖器の構造を理解し、卵巣周期と月経周期について説明できる。発生においては胎児の血液循環を説明できる。 5)解剖実習見学では各臓器の位置関係が説明でき図に描ける。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	呼吸系のはたらき1（上気道）	呼吸器系の構成として気道、鼻腔、咽頭および喉頭の構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p107～114を読み内容をまとめる。 事後学習（45分）：当日実施の講義内容の復習とノート作成	柴田　昌和
2	呼吸系のはたらき2（下気道）	呼吸器系の構成として気管、気管支、肺、および縦隔の構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p1114～120を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
3	呼吸系のはたらき3（呼吸運動のメカニズム）	呼吸の生理で内呼吸と外呼吸、呼吸器の運動とメカニズムおよび呼吸筋の解説。 事前学習（45分）：教科書p120～126を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
4	呼吸系のはたらき4（呼吸気量）	呼吸器の生理で呼吸気量、ガス交換および病態生理の解説。 事前学習（45分）：教科書p126～141を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
5	血液1（赤血球）	血液の組成と機能の概略と赤血球の機能・病態について解説。 事前学習（45分）：教科書p141～152を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
6	血液（白血球・凝固・線溶現象）	白血球、血小板、血液凝固と線維素溶解および血型の解説。 事前学習（45分）：教科書p152～165を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とp165のゼミナールのレポート作成	柴田　昌和
7	栄養の消化と吸収1（食道）	口腔・咽頭・食道の構造と機能について解説。 事前学習（45分）：教科書p64～76を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の講義内容の復習とノート作成	柴田　昌和
8	栄養の消化と吸収2（胃）	胃、小腸の構造と機能を説明し、消化と吸収について解説。 事前学習（45分）：教科書p76～90を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
9	栄養の消化と吸収3（小腸・大腸）	大腸の構造と機能について解説。 事前学習（45分）：教科書p90～95を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
10	栄養の消化と吸収4（肝臓・膵臓）	肝臓・胆嚢の構造と機能を解説。 事前学習（45分）：教科書p96～102を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
11	栄養の消化と吸収5（腸管循環）	膵臓と腹膜の構造と機能の解説および腸管循環の解説。 事前学習（45分）：教科書p233～244を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
12	体液の調節と尿の生成1（腎臓の構造）	腎臓の構造と機能の解説。 事前学習（45分）：教科書p244を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の講義内容の復習とノート作成	柴田　昌和
13	体液の調節と尿の生成2アルドステロン系）	レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系の解説。 事前学習（45分）：教科書p244～248を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の講義内容の復習とノート作成	柴田　昌和

14	体液の調節と尿の生成3（排尿路）	排尿路（尿管・膀胱・尿道）の構造と機能の解説。 事前学習（45分）：教科書p284～253を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
15	体液の調節と尿の生成4（体液）	体液の調節と酸塩基平衡の解説。 事前学習（45分）：教科書p253～260を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容とp260のゼミナールのまとめ	柴田　昌和
16	内臓機能の調節1（内分泌）	内分分泌の概要と自律神経の機能の解説。 事前学習（45分）：教科書p262～270を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の講義内容の復習とノート作成	柴田　昌和
17	内臓機能の調節2（受容体とホルモン）	自律神経の神経伝達物質と受容体とホルモン機序の解説。 事前学習（45分）：教科書p270～277を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
18	内臓機能の調節3(下垂体)	視床下部-下垂体系と甲状腺と副甲状腺の構造と機能の解説。 事前学習（45分）：教科書p277～288を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
19	内臓機能の調節4（膵臓・副腎など）	膵臓、副腎、性腺、その他の内分泌腺の構造と機能の解説。 事前学習（45分）：教科書p288～299を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
20	内臓機能の調節5（ホルモン分泌の調節）	ホルモン分泌の調節の解説。 事前学習（45分）：教科書p299～306を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容とp306のゼミナールのまとめ	柴田　昌和
21	生殖・発生と老化のしくみ1（男性生殖器）	男性生殖の構造と機能（精巣、生殖路、付属生殖腺）の解説。 事前学習（45分）：教科書p494～500を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
22	生殖・発生と老化のしくみ2（女性生殖器）	女性生殖の構造と機能（卵巣、卵管・支給・膣・乳腺）の解説。 事前学習（45分）：教科書p500～508を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
23	生殖・発生と老化のしくみ3（性周期）	卵巣周期と月経周期、受精と胎児の発生の解説。 事前学習（45分）：教科書p500～508を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
24	生殖・発生と老化のしくみ4（胎児循環）	生殖器の分化と発達、胎児循環および老化の解説。 事前学習（45分）：教科書p508～536を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
25	生殖・発生と老化のしくみ5（胚葉）	胚葉（外胚葉・中胚葉・内胚葉）の解説。 事前学習（45分）：教科書p516の図を理解し、それぞれの臓器をまとめ表を作成 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
26	身体機能の防御と適応1（皮膚免疫）	皮膚の構造と機能の解説。 事前学習（45分）：教科書p462～468を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
27	身体機能の防御と適応2（免疫の機序）	生体の防御機構の解説（リンパ含む）。 事前学習（45分）：教科書p468～480を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
28	身体機能の防御と適応3（代謝）	代謝と運動の解説。 事前学習（45分）：教科書p480～488を読み内容をまとめる 事後学習（45分）：当日実施の小試験の内容の復習とノート作成	柴田　昌和
29	解剖実習見学1（人体構造の見学）	神奈川歯科大学において解剖実習見学を行い人体構造を肉眼的に理解をする。【実習】 事前学習（45分）：これまでに学んだ内容を再度確認する 事後学習（45分）：見学実習を行った内容について200字程度にまとめレポートを作成する	柴田　昌和
30	解剖実習見学2（病理的臓器見学）	神奈川歯科大学において解剖実習見学を行い人体構造を肉眼的に理解をする。【実習】 事前学習（45分）：これまでに学んだ内容を再度確認する 事後学習（45分）：見学実習を行った内容について200字程度にまとめレポートを作成する	柴田　昌和

評価	小試験10%、定期試験90%として評価する。
課題に対する フィードバックの方法	毎回、前週の内容の小試験を行い、解答と解説をし復習を促す。課題に関しては学生個々に講評し返却(manabaも含む)する。
教科書	系統看護学講座 専門基礎① 解剖生理学[第11版] 人体の構造と機能〔1〕 医学書院 2024年 ISBN:978-4-260-04687-9
参考図書など	・ナースが視る人体　薄井坦子著 講談社　1987年 ISBN:978-4062012799 ・イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき 田中越郎著　第3版　医学書院　2019年 ISBN: 978-4260038874　等
アクティブ・ラーニング	解剖実習見学では、ヒトの標本を観察し、臓器の名称・位置・機能などの質問に答える能動的な実習を行う。
実務経験のある 教員による授業	死体解剖資格を有し、肉眼解剖の経験を通して、人体の構造と機能につて分かりやすい講義を行う。
留意事項	該当なし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
病態学Ⅰ Clinical Medicine Ⅰ	必修	講義	2単位 （60時間）	2年前期	荒井勝彦、岩﨑正之、鈴木麻美、辻正富、 岡本宗雄、廣瀬好文、非常勤講師	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	主に、呼吸器系、循環器系、消化器系、血液・造血器系、内分泌・代謝系の主な疾患の病態、原因、症状、診断、検査、治療について学修する。
到達目標	1）おもな呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。 2）おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。 3）おもな血液・造血器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。 4）おもな消化器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。 5）おもな内分泌・代謝疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	総合内科（1）	診断を進めるための基本（1） 事前学習（20分）：事前の配布資料で予習 事後学習（40分）：配布資料で復習	廣瀬好文
2	総合内科（2）	診断を進めるための基本（2） 事前学習（20分）：事前の配布資料で予習 事後学習（40分）：配布資料で復習	廣瀬好文
3	総合内科（3）	換気・ガス交換・血液ガス分析・低酸素血症・酸素療法（1） 事前学習（20分）：事前の配布資料で予習 事後学習（40分）：配布資料で復習	廣瀬好文
4	総合内科（4）	換気・ガス交換・血液ガス分析・低酸素血症・酸素療法（2） 事前学習（20分）：事前の配布資料で予習 事後学習（40分）：配布資料で復習	廣瀬好文
5	総合内科（5）	換気能力・拘束性肺疾患・閉塞性肺疾患・酸塩基平衡・呼吸中枢 事前学習（20分）：事前の配布資料で予習 事後学習（40分）：配布資料で復習	廣瀬好文
6	総合内科（6）	心機能評価・心不全・ショック 事前学習（20分）：事前の配布資料で予習 事後学習（40分）：配布資料で復習	廣瀬好文
7	おもな呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	呼吸器感染症（かぜ症候群、急性気管支炎、肺炎、抗酸菌症など） 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岩﨑 正之
8	おもな呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	びまん性肺疾患（間質性肺炎と肉芽腫、肺胞蛋白症、肺胞出血） 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岩﨑 正之
9	おもな呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（3）	気道疾患(気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支拡張症、閉塞性細気管支炎) 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岩﨑 正之
10	おもな呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（4）	肺循環疾患(肺血栓塞栓症、肺高血圧症、肺水腫) 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岩﨑 正之
11	おもな呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（5）	胸膜・縦隔疾患(腫瘍、炎症、気胸・気腫)と肺がん 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岩﨑 正之
12	おもな呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（6）	呼吸不全と呼吸調節障害(換気とガス交換の復習、Ⅰ型とⅡ型呼吸不全、過換気、睡眠時無呼吸) 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岩﨑 正之
13	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	循環器の構造と機能 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師
14	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	症状とその病態生理 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師

15	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（3）	検査と治療 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師
16	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（4）	虚血性心疾患、心不全、不整脈の治療 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師
17	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（5）	弁膜症、先天性心疾患の外科治療 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師
18	おもな循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（6）	大血管と抹消血管の外科治療 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師
19	消化器の構造と機能	上部・下部消化管・肝胆膵の構造と機能 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
20	病状とその病態	腹痛、吐血、下血、便秘、下痢、黄疸などの諸症状の病態生理 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
21	消化器検査	内視鏡検査、放射線検査（CT、MRI、PETなど）、超音波検査など 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
22	疾患の理解（1） 上部消化管	胃食道逆流症、胃炎、胃・十二指腸潰瘍など 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
23	疾患の理解（2） 腸・腹膜疾患	腸炎、腹膜炎、虫垂炎、腸閉塞、ヘルニア、肛門疾患など 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
24	疾患の理解（3） 肝・胆・膵	肝炎、肝硬変症、門脈圧亢進症、胆石症、膵炎など 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	荒井勝彦
25	おもな内分泌代謝系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	下垂体腫瘍、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎皮質・髄質疾患 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	辻正富
26	おもな内分泌代謝系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	肥満、メタボリックシンドローム、糖尿病、脂質以上掌、高尿酸血症、ビタミン欠乏症 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	辻正富
27	おもな歯科・口腔系疾患の原因、症状、診断、検査、治療	齲歯、歯周病、歯性炎症、口腔がん、顎顔面外傷、口腔ケア 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	鈴木麻美
28	おもな血液・造血器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	貧血、白血球減少症 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岡本宗雄
29	おもな血液・造血器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岡本宗雄
30	おもな血液・造血器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（3）	出血性疾患、その他 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	岡本宗雄

評価	定期試験：100%
課題に対する フィードバックの方法	実施予定なし
教科書	1.【循環器系疾患講義】系統看護学講座成人看護学③循環器　第16版／吉田俊子他／2024／医学書院／ISBN:978-4-260-05311-2 2.【循環器系疾患講義】病気がみえる　Vol.2　循環器　第5版／鶴田ひかる他／2021／メディックメディア／ISBN:978-4-89632-830-1 3.【辻正富担当講義】系統看護学講座成人看護学⑥内分泌・代謝　第16版／伊波早苗他／2024／医学書院／ISBN:978-4-260-05310-5 4.【荒井勝彦担当講義】系統看護学講座成人看護学⑤消化器　第16版／南川雅子他／2024／医学書院／ISBN:978-4-260-05300-6 5.【岩崎正之担当講義】系統看護学講座成人看護学②呼吸器　第16版／朝倉啓介他／2024／医学書院／ISBN:978-4-260-05309-9 6.【岡本宗雄担当講義】系統看護学講座成人看護学④血液・造血器　第16版／飯野京子他／2024／医学書院／ISBN:978-4-260-05306-8 7.【鈴木麻美担当講義】系統看護学講座成人看護学⑮歯・口腔　第15版／渋谷絹子他／2025／医学書院／ISBN:978-4-260-05687-8
参考図書など	随時紹介する
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある 教員による授業	多様な医師の臨床経験を活かして、病態学の基本的な知識と手法、考え方について講義する。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
病態学Ⅱ Clinical Medicine Ⅱ	必修	講義	2単位 （60時間）	2年前期	山勢善江、吉野秋男、定本清美、内田健太郎、庄司真太郎、横関雄司、迎学、展広智、藤本和久、金田英蘭、喜多村健、石田克紀、坂口達哉	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	「人体の構造・機能Ⅰ・Ⅱ」や病理学の学習内容と関連させながら、救急・救命について、救急処置の範囲と対象、救急処置法の原則と実際について学ぶ。また、外科的治療を必要とする主な疾患の病態、病因、症状、診断、検査、治療について学修する。さらに、麻酔法について、その概念、種類、麻酔における管理および、全身麻酔と局所麻酔法について学修する。
到達目標	1）外科的治療を必要とする主な疾患をあげることができる。 2）外科的治療を必要とする主な疾患の病態、病因、症状、診断、検査、治療方法について説明できる。 3）救急処置の範囲と対象および救急処置法の原則と実際を説明できる。 4）救急患者のアセスメントとトリアージについて説明できる。 5）災害発生時の医療について説明できる。 6）麻酔における術前、術中、術後管理のポイントを説明できる。 7）全身麻酔の概略とそれによる合併症を説明できる。 8）局所麻酔の種類について説明できる。外科的治療を必要とする主な疾患の病態、病因、症状、診断、検査、治療について学習する。 また、救急・救命および麻酔についても学習する。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	麻酔法（1）	全身麻酔の目的、方法及び特徴 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	吉野秋男
2	麻酔法（2）	全身麻酔で使用される薬剤の種類と特徴　全身麻酔による呼吸循環に対する影響 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	吉野秋男
3	麻酔法（3）	局所麻酔の目的、方法及び特徴　局所麻酔の種類と特徴 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	吉野秋男
4	麻酔法（4）	小児麻酔の特徴　小児と成人の生理学的特徴の違い　救命救急の実際の方法及び、その意義 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	吉野秋男
5	主な自己免疫疾患、アレルギー疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	自己免疫疾患（膠原病）の成り立ち、関節リウマチ 事前学習（20分）　教科書の該当箇所を読む。 事後学習（30分）　配布資料と教科書で復習する。	定本清美
6	主な自己免疫疾患、アレルギー疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎 事前学習（20分）　教科書の該当箇所を読む。 事後学習（30分）　配布資料と教科書で復習する。	定本清美
7	主な自己免疫疾患、アレルギー疾患の原因、症状、診断、検査、治療（3）	アレルギー疾患の種類、アナフィラキシーショック 事前学習（20分）　教科書の該当箇所を読む。 事後学習（30分）　配布資料と教科書で復習する。	定本清美
8	主な自己免疫疾患、アレルギー疾患の原因、症状、診断、検査、治療（4）	花粉症、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、アレルギーの原因物質 事前学習（20分）　教科書の該当箇所を読む。 事後学習（30分）　配布資料と教科書で復習する。	定本清美
9	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	発生と骨化，骨の構造と骨関連細胞，骨粗鬆症と骨軟化症，関節潤滑 事前学習（120分）映画「ノートルダムの鐘」を鑑賞してください 事後学習（40分）軟水と硬水の違いについて調べてください	内田健太郎
10	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	骨折・脱臼の基礎・合併症と観察項目，骨癒合の生理学，免疫システム概論 事前学習（20分）骨折や脱臼の経験がある人の話を聞いてきてください 事後学習（40分）画像検査等の動画をWebにアップするので視聴してください	庄司真太郎
11	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（3）	リウマチ，変形性関節症，骨・関節感染症の病態と治療， 事前学習（40分）免疫学の漫画を配布しますので十分読み込んできてください 事後学習（40分）免疫の配布資料を読み込んでください	内田健太郎
12	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（4）	脊椎疾患（腰椎），腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症，ブロック注射の概念と実際 事前学習（30分）事前に配布するスライド資料を読み込んできてください 事後学習（30分）配布資料の再読，授業で解いた試験問題の復習	横関雄司
13	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（5）	脊椎疾患（頸椎），頚髄損傷，末梢神経障害，上肢骨折・下肢骨折の実際と観察項目・合併症 事前学習（40分）事前に配布する資料を読み込んで一次ニューロンと二次ニューロンの違いを理解する 事後学習（40分）脊損時の自律神経過反射について十分理解してください	横関雄司

14	おもな運動器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（6）	人工関節手術，関節鏡視下手術・靭帯再建手術の実際と観察項目，合併症 事前学習（20分）事前に配布する資料を読み込んでください 事後学習（40分）人工股関節置換術後の脱臼肢位について復習してください	迎学
15	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	脳神経系の構造機能と障害の病態生理（意識障害、高次脳機能障害、運動感覚機能障害、頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア、髄膜刺激症状） 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	展広智
16	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	脳血管障害（くも膜下出血、脳内出血、もやもや病、一過性脳虚血発作、脳梗塞、脳静脈血栓症） 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	展広智
17	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（3）	脊髄疾患と末梢神経障害（脊髄血管障害、脊髄炎、脊髄腫瘍、糖尿病性末梢神経障害、ギランバレー症候群、顔面神経麻痺と顔面けいれん） 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	展広智
18	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（4）	脳腫瘍、頭部外傷、水頭症、脳神経系感染症（脳炎、髄膜炎、脳膿瘍）、てんかん 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	展広智
19	おもな脳神経系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（5）	神経筋接合部疾患（筋ジストロフィー、多発性筋炎、重症筋無力症）、脱髄変性疾患（多発性硬化症、パーキンソン病、ALS）、認知症 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	展広智
20	おもな皮膚障害の原因、症状、診断、検査、治療（1）	湿疹、アトピー性皮膚炎、帯状疱疹 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	藤本和久
21	おもな皮膚障害の原因、症状、診断、検査、治療（2）	疥癬、蜂窩織炎、腫瘍 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	藤本和久
22	おもな視覚障害の原因、症状、診断、検査、治療（1）	白内障、緑内障 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	金田英蘭
23	おもな視覚障害の原因、症状、診断、検査、治療（2）	網膜剥離、網膜症 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	金田英蘭
24	おもな聴覚障害・咽頭疾患の原因、症状、診断、検査、治療（3）	鼻疾患、副鼻腔、咽頭、咀嚼 事前学習（20分）　教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）　配布資料と教科書で復習する。	喜多村健
25	おもな聴覚障害・咽頭疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	聴覚・平衡覚障害 事前学習（20分）　教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）　配布資料と教科書で復習する。	石田克紀
26	おもな聴覚障害・咽頭疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	嗅覚・味覚障害 事前学習（20分）　教科書の該当箇所を読む。 事後学習（40分）　配布資料と教科書で復習する。	石田克紀
27	救急・救命法（1）	救急医療の歴史、循環血液量減少性ショックの病態と治療（出血性ショック、熱傷） 事前学習（20分）「救急看護学」の該当箇所を読む 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	山勢善江
28	救急・救命法（2）	心原性ショックの病態と治療（心筋梗塞、重症不整脈） 事前学習（20分）「救急看護学」の該当箇所を読む 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	坂口達哉
29	救急・救命法（3）	血液分布異常性ショックの病態と治療（敗血症性ショック、アナフィラキシーショック、神経原性ショック） 事前学習（20分）「救急看護学」の該当箇所を読む 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	坂口達哉
30	救急・救命法（4）	心外閉塞・拘束性ショックの病態と治療（心タンポナーデ・肺塞栓症、緊張性気胸） 事前学習（20分）「救急看護学」の該当箇所を読む 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習する。	坂口達哉

評価	定期試験：100%
課題に対する フィードバックの方法	実施予定なし
教科書	1.【展広智担当講義】系統看護学講座成人看護学⑦脳・神経　第16版／井手隆文他／2024／医学書院／ISBN:978-4-260-05313-6 2.【内田,庄司,横関,迎担当講義】系統看護学講座成人看護学⑩運動器　第16版／田中栄他／2025／医学書院／ISBN:978-4-260-05679-3 3.【内田,庄司,横関,迎担当講義】系統看護学講座別巻臨床外科看護総論　第12版／池上徹他／2023／医学書院／ISBN:978-4-260-04998-6 4.【金田英蘭担当講義】系統看護学講座成人看護学⑬眼 第15版／大鹿 哲郎／2025／医学書院／ISBN:978-4-260-05680-9 5.【喜多村健担当講義】系統看護学講座成人看護学⑭耳鼻咽喉 第15版／小松浩子他／2025／医学書院／ISBN:978-4-260-05675-5 6.【藤本和久担当講義】系統看護学講座成人看護学⑫皮膚 第16版／渡辺 晋一／2025／医学書院／ISBN:978-4-260-05676-2 7.【山勢,坂口担当講義】系統看護学講座別巻救急看護学　第7版／山勢博彰他／2024／医学書院／ISBN:978-4-260-05307-5
参考図書など	随時紹介する
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある 教員による授業	多様な医師の臨床経験を活かして、病態学の基本的な知識と手法、考え方について講義する。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
病態学Ⅲ （Clinical Medicine Ⅲ）	必修	講義	1単位 （30時間）	2年後期	2年生チューター教員、小林　藍子、三上幹男、竹下直樹、内藤亜由美、茂垣　雅俊、非常勤講師	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	各疾患の原因・症状・診断・検査・治療等、基礎的な知識を学ぶ。病態学Ⅲでは、腎・泌尿器系疾患、男性生殖器、女性生殖器、乳腺疾患に焦点を当てる。
到達目標	腎・泌尿器系疾患、男性生殖器、女性生殖器、乳腺疾患、排泄機能障害の原因・症状・診断・検査・治療等、基礎的な知識を説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	腎・泌尿器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（1）	後腹膜臓器・性器の解剖学・生理学。畜尿・排尿障害。急性・慢性腎不全。 事前学習（20分）教科書(2)の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師
2	腎・泌尿器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療（2）	尿路感染症、尿路結石、腫瘍（副腎・腎、腎盂・尿管・膀胱・尿道）。 事前学習（20分）教科書(2)の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師
3	男性生殖器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療	前立腺肥大症・前立腺癌、男性生殖器系疾患、頻尿・夜間頻尿、過活動膀胱,。 事前学習（20分）教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）配布資料と教科書で復習しておく	非常勤講師
4	女性生殖器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療	子宮内膜症、子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体がん、卵巣腫瘍 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書(3)の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	小林　藍子
5	ライフサイクルに関連した女性生殖器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療	加齢による性機能の低下、更年期障害、尿失禁、子宮脱、萎縮性膣炎 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書(3)の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	三上　幹男
6	性感染症、母子感染	性器クラミジア感染症、膣トリコモナス症、カンジダ外陰膣炎、淋菌感染症、梅毒、性器ヘルペス、風疹、サイトメガロウイルス感染症、B型肝炎ウィルス、HTLV-1、HIV 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書(3)の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	三上　幹男
7	生殖医療	不妊症、不妊治療、不育症 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書(3)の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	竹下　直樹
8	排泄機能障害①	排泄障害（消化器）に関連する疾患の病態と治療 事前学習（30分）：教科書(1)疾患の理解　腸および腹膜疾患を読んでまとめる（p172-209） 事後学習（30分）：資料と教科書の復習	内藤　亜由美
9	排泄機能障害②	排泄障害（泌尿器―下部尿路障害）に関連する疾患の病態と治療 事前学習（30分）：教科書(2)疾患の理解　(p158-184)を読んでまとめる 事後学習（30分）：資料と教科書の復習	内藤　亜由美
10	乳腺系疾患の原因、症状、診断、検査、治療	乳腺疾患の主な外科的治療 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	茂垣　雅俊
11	乳腺系疾患の原因、症状、診断、検査、治療	乳腺疾患の主な外科的治療 事前学習（20分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（40分）：配布資料と教科書で復習しておく	茂垣　雅俊
12	まとめ①	これまでに学習した内容を復習しまとめを行う 事前学習（60分）：これまでの学習内容を再確認する 事後学習（30分）：授業で行った内容を復習し、これまでの学習内容を再確認する	2年生 チューター教員

13	まとめ②	これまでに学習した内容を復習しまとめを行う 事前学習（60分）：これまでの学習内容を再確認する 事後学習（30分）：授業で行った内容を復習し、これまでの学習内容を再確認する	2年生 チューター教員
14	まとめ③	これまでに学習した内容を復習しまとめを行う 事前学習（60分）：これまでの学習内容を再確認する 事後学習（30分）：授業で行った内容を復習し、これまでの学習内容を再確認する	2年生 チューター教員
15	まとめ④	これまでに学習した内容を復習しまとめを行う 事前学習（60分）：これまでの学習内容を再確認する 事後学習（30分）：授業で行った内容を復習し、これまでの学習内容を再確認する	2年生 チューター教員

評価	定期試験１００％
課題に対する フィードバックの方法	実施予定なし
教科書	(1)【内藤亜由美担当講義で利用】系統看護学講座成人看護学⑤消化器　医学書院2024　ISBN:978-4-260-05300-6 (2)【腎・泌尿器講義で利用】系統看護学講座成人看護学⑧腎・泌尿器、医学書院2024　ISBN:978-4-260-05314-3 (3)【小林・三上・竹下担当講義で利用】系統専門分野Ⅱ成人看護学⑨女性生殖器　医学書院2025　ISBN:978-4-260-05678-6
参考図書など	看護のための臨床病態学（改訂5版）南山堂2023　ISBN978-4525505158 医療系学生のための図解病態治療学 TEXT&NOTE　診断 と治療社2015　ISBN:978-4787822291
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある 教員による授業	40数年間の臨床泌尿器科医の経験、病理医・泌尿器科担当医学部・看護学部教員としての経験を生かした講義。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
病態学Ⅳ（精神） Clinical Medicine Ⅳ	必修	講義	1単位 （30時間）	2年後期	片山典子　蒲生裕司 陶山克洋　小野寺悠斗　渡部李菜	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	精神科領域にみられる主要な疾患の基礎的知識と病態、症状、診断に必要な検査、治療について学修する。具体的には、精神機能の診かたや精神科で行う検査、統合失調症、気分障害、器質性精神障害、アルコール・薬物による精神・行動の障害、神経症性障害、ストレス関連障害等について学修する。
到達目標	1）主な精神疾患・障害の特徴を説明できる。 2）主な精神症状を理解し、説明できる。 3）精神科治療の分類とその内容を理解し説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	医の倫理と精神医学	精神医学とはどういう学問分野であるかを概説する 事前学習（0分）：予習は要さない。 事後学習（30分）：配付資料など、授業全体について復習する。	蒲生裕司
2	精神機能の診かた	精神疾患の分類と枠組み、精神症状の種類と診かた、さまざまな精神症状、精神科で行う検査 事前学習（30分）：ナースの精神医学（p10-13、14-36、37-56）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	蒲生裕司
3	統合失調症	統合失調症の特徴、統合失調症の症状、診断、治療 事前学習（30分）：ナースの精神医学（p80-91）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。	蒲生裕司
4	気分障害	気分障害の種類と特徴、気分障害の症状、診断、治療 事前学習（30分）：ナースの精神医学(p92-100)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。	蒲生裕司
5	器質性精神障害	器質性精神障害の種類と特徴、器質性精神障害の症状、診断、治療 事前学習（30分）：ナースの精神医学(p120-128、143-150)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。	蒲生裕司
6	1-5回分のまとめ	1-5回の講義内容の問題を解き【小テスト】、解説する 事前学習（30分）：1-5回目の講義内容を復習する。 事後学習（60分）：【小テスト】の範囲をノートにまとめ復習する。	片山典子 陶山克洋 小野寺悠斗
7	アルコール・薬物による精神・行動の障害	依存、乱用、中毒の違い、依存性薬物の分類、薬物（物質）依存の成因、アルコールによる精神・行動障害、精神作用物質による精神・行動障害の症状、診断、治療 事前学習（30分）：ナースの精神医学(p128-136)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。	小野寺悠斗
8	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	神経症性障害、重症ストレス反応および適応障害、PTSD、身体表現性障害の症状、診断、治療 事前学習（30分）：ナースの精神医学(p101-117)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書に目を通し、授業全体について復習する。	蒲生裕司
9	摂食障害・パーソナリティ障害	摂食障害の特徴、診断、治療、パーソナリティ障害の症状、診断、治療 事前学習（30分）：ナースの精神医学(p117-118、167-171）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	蒲生裕司
10	児童・青年期の精神障害	児童・青年期の精神障害の特徴（精神発達遅滞、広汎性発達障害、統合失調症・気分障害）の症状、診断、治療 事前学習（30分）：ナースの精神医学（p155-166）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	蒲生裕司
11	7-10回分のまとめ	7-10回の講義内容の問題を解き【小テスト】、解説する 事前学習（30分）：7-10回目の講義内容を復習する。 事後学習（60分）：【小テスト】の範囲をノートにまとめ復習する。	片山典子 陶山克洋 小野寺悠斗
12	コンサルテーション・リエゾン精神医学	精神科と一般身体科との共助診療について概説する 事前学習（30分）：ナースの精神医学（p180-187、312-317）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	小野寺悠斗

13	治療法	各種精神療法と作業療法、薬物療法、電気痙攣療法、について概説する 事前学習(30分):ナースの精神医学(p190-231、239-241)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	陶山克洋
14	12-13回の補習授業	12-13回の講義内容の補習講義を行う 事前学習(30分):12-13回目の講義内容を復習する。 事後学習(60分):補修講義の範囲をノートにまとめ復習する。	陶山克洋
15	最終のまとめ	【最終テスト】を行い、テスト後に解説を行う 事前学習(30分):1-12回目の講義内容を復習する。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	片山典子 陶山克洋 小野寺悠斗 渡部李菜

評価	中間テスト50%(2回分)、最終テスト50%で評価します。
課題に対する フィードバックの方法	試験の講評を記載し、在学生HPまたは掲示をして学生に公表する。
教科書	ナースの精神医学改定5版/上島国利、渡辺雅幸、榊惠子/中外医学社/5版/ISBN:978-4-498-17502-0
参考図書など	①現代臨床精神医学/大熊輝雄/「現代臨床精神医学」第12版改訂委員会編集/金原出版/第12版/ISBN:978-4-307-15067-5 ②DSM-5-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル／American Psychiatric Association／日本精神神経学会監修／医学書院／ISBN:978-4-260-05218-4 ③精神保健医療福祉白書2018/2019　多様性と包括性の構築/精神保健医療福祉白書編集委員会編集/中央法規/ISBN:978-4-8058-5724-3 ④精神看護ぜんぶガイド／片山典子編／照林社／第1版／ISBN:978-4-7965-2603-6 その他は適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	第6回:小テストおよび解説講義を通して、第1～5回の内容を振り返り、知識の定着を図る。 第11回:小テストおよび解説講義を通して、第7～10回の内容を振り返り、知識の定着を図る。 第14回:補習講義にて第12～13回の内容を振り返り、理解を深める。
実務経験のある 教員による授業	精神保健指定医、日本精神神経学会認定精神科専門医・指導医・認知症診療医としての実務経験を踏まえた実践的講義を行う。
留意事項	病態学Ⅳ(精神)で学習する内容は、「精神看護学」「精神看護方法論」等での学習に関連する。必ず事前学習・事後学習を行って積極的に授業に臨んで下さい。また本科目では、教科書を持参して授業に臨んで下さい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
病態学Ⅴ（母子） Clinical Medicine Ⅴ	必修	講義	1単位 （30時間）	2年通期	倉田慶子、石川眞里子、武政洋一、 松島泰恵、生駒直寛、今井敦子、寺島朝子	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	妊娠期・分娩期・産褥期に見られる代表的な疾患の原因・診断・治療について学修する。また、新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態・診断・治療について学修する。小児看護を実践する上で必要となる新生児期から思春期までの子どもの代表的な疾患の病態、診断、治療について学修する。
到達目標	1）小児に起こりやすい健康障害とそのメカニズムを説明できる。 2）健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響を理解し述べることができる。 3）妊娠期・分娩期・産褥期に起こりやすい健康障害とそのメカニズムを説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	本講義のガイダンス 健康障害をもつ子どもの疾患の理解①	授業内容の説明 新生児と発達、遺伝、先天性異常のメカニズムと対処 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。	武政洋一
2	健康障害をもつ子どもの疾患の理解②	小児の感染防御機構の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(90分)学習して内容をノートに整理し看護を考える。	武政洋一
3	健康障害をもつ子どもの疾患の理解③	小児の神経・筋の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分)学習したことをノートに整理し看護を考える。	武政洋一
4	健康障害をもつ子どもの疾患の理解④	小児の内分泌・代謝の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。	武政洋一
5	健康障害をもつ子どもの疾患の理解⑤	小児の循環機能の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(90分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。	武政洋一
6	健康障害をもつ子どもの疾患の理解⑥	小児の呼吸機能の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(90分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。	倉田慶子
7	健康障害をもつ子どもの疾患の理解⑦	小児の消化、排泄機能の発達と障害のメカニズムと治療 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(90分)学習した内容をノートに整理し看護を考える。	石川眞里子
8	健康障害をもつ子どもの疾患の理解⑧	小児の血液の障害（腫瘍）のメカニズムと治療 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(90分）学習した内容をノートに整理し看護を考える。	石川眞里子
9	妊娠期の原因、症状、診断、検査、治療	妊娠悪阻、流・早産、異所性妊娠、HDP、GDM、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、多胎妊娠 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	松島泰恵
10	分娩期の原因、症状、診断、検査、治療	微弱陣痛、過強陣痛、児頭骨盤不適合、回旋異常、胎児機能不全、胎位の異常、分娩時大量出血 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	松島泰恵
11	産褥・新生児期の異常	産褥経過、産褥期の心理・社会的変化、新生児とは、正期産新生児の診察の基本、退院後の保健指導・事故予防 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	松島泰恵
12	早期新生児の評価	胎外環境適応状態の評価、成長・発達の評価、異常の早期発見 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	生駒直寛

13	新生児の疾患	呼吸障害（新生児一過性多呼吸他）、先天性心疾患、血液疾患（病的黄疸）、外表奇形、染色体異常、感染症他 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	生駒直寛
14	妊娠と栄養	母胎の栄養と健康、母体の栄養と胎児の健康 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	今井敦子
15	妊娠・分娩・産褥と薬物	薬物の母子への影響、授乳期の薬物摂取と影響 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる。 事後学習：(60分）学習した内容を復習しノートに整理してまとめる	寺島朝子

評価	定期試験100%
課題に対する フィードバックの方法	講義の最後にフィードバックする
教科書	1)小児看護学概論小児臨床看護総論 第15版、奈良間美保他、医学書院、2025年、ISBN：978-4-260-05686-1 初回講義時のみ利用する。 2)小児臨床看護各論/奈良間美保他/医学書院/第15版/2025/ISBN：978-4-260-05685-4 第2回～第8回講義において利用する。 3)看護実践のための根拠がわかる母性看護技術　第3版 ／2022／メヂカルフレンド社／ISBN:978-4839216931 第9回～第11回講義において利用する。 4)新体系 看護学全書 母性看護学①　第7版／2022／メヂカルフレンド社／ISBN:978-4-8392-3403-4 第9回～第11回講義において利用する。 5)新体系 看護学全書 母性看護学②　第7版／2022／メヂカルフレンド社／ISBN:978-4-8392-3404-1 第9回～第11回講義において利用する。
参考図書など	必要に応じて適宜紹介
アクティブ・ラーニング	学習事項について、随時アクティブラーニングを実施する。
実務経験のある 教員による授業	多様な医師の臨床経験を活かして、病態学の基本的な知識と手法、考え方について講義する。
留意事項	事前、事後学習は自主的に行い意見交換できるようにする。講義で配付された資料は毎回持参すること。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
微生物学 Microbiology	必修	講義	1単位 （30時間）	1年前期	市川　智恵	ー

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	生活環境において人体に感染症を引き起こす微生物（細菌・真菌・原虫・ウイルス）の特徴、生態を含めた病原微生物学の総論を学ぶ。また、感染防御における宿主の免疫と感染予防、治療、検査方法、及びそれらに関わるチーム医療（infection control team; ICT）等に関する基礎的知識を学ぶ。
到達目標	1）微生物の構造と性質を説明できる。 2）感染と生体防御（免疫学）について説明できる。 3）おもな細菌の病原性とその感染症について説明できる。 4）おもなウイルスの病原性とその感染症について説明できる。 5）おもな病原真菌、寄生虫の病原性とその感染症について説明できる。 6）感染制御とチーム医療について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	微生物学序論	微生物界を構成するもの－その生物界における位置 病原微生物学－その領域と意義、病原微生物学の発展 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
2	細菌学総論（1）	細菌の分類と命名法、細菌の形態、細菌の構造、細菌の増殖 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
3	細菌学総論（2）	細菌の遺伝子発現、変異と修復、伝達 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
4	細菌学総論（3）	感染と発症、細菌による発癌、細菌感染症の診断 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
5	細菌学総論（4）	化学療法と細菌感染症の治療 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
6	感染防御と免疫	免疫系の概要、自然免疫、獲得免疫 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
7	細菌学各論（1）	グラム陽性通性嫌気性および好気性球菌、グラム陰性通性嫌気性桿菌、らせん菌群、グラム陰性好気性桿菌および球菌 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
8	細菌学各論（2）	グラム陽性好気性および通性嫌気性桿菌、偏性嫌気性菌、マイコバクテリウム属、アクチノマイセスとノカルジア、スピロヘータ 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
9	ウイルス学総論	歴史、ウイルスの一般的性状、ウイルス感染の諸相、ウイルスによる発癌、ウイルスの伝播経路と予防、ウイルス感染症の検査法、ウイルス感染症の治療 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
10	ウイルス学各論（1）	DNAウイルス、RNA ウイルス 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
11	ウイルス学各論（2）	肝炎ウイルス、遅発性ウイルス感染症とプリオン病 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
12	真菌学、原虫学・蠕虫学	真菌疾患と病原因子、真菌感染症の治療と予防、原虫学・蠕虫学概論 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵

13	感染症の予防と対策（1）	滅菌と消毒、医療関連感染とその対策 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
14	感染症の予防と対策（2）	感染症の予防と対策、感染症法、予防接種法、その他の法 事前学習(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を読んでくる 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵
15	まとめ	微生物学の総括、質問とフィードバック 事前学習(30分)：授業内容全体について予習し、質問項目を抽出する 事後学習(60分)：教科書など、授業全体について復習する	市川　智恵

評価	定期試験（100%）で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	課題に対して、講義の中で適宜フィードバックする。
教科書	シンプル微生物学（第6版）　南江堂　ISBN:978-4-524-25483-5
参考図書など	病気が見える⑥（免疫，膠原病，感染症）　メディックメディア
アクティブ・ラーニング	反転授業を数回実施する。課題に対するプレゼンテーション及び提出を求める。
実務経験のある 教員による授業	該当なし
留意事項	教科書を読んで予習・復習を行い、医療に関する専門用語を理解して使いこなせるようにする。 私語は厳重に対処する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
病理学 pathology	必修	講義	1単位 （30時間）	1年後期	若山恵、内藤亜由美	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	疾病の基本的な原因と病態の発生過程を病理学的観点より把握するために、奇形・退行性病変、進行性病変、炎症、腫瘍などの知識を学び、それらの病変が組織や臓器に現れた場合の疾患の成り立ちについて学習する。
到達目標	1）病気の原因、疾病の分類を説明できる。 2）おもな先天異常と遺伝子異常の病理を説明することができる。 3）おもな代謝疾患の病理を説明することができる。 4）循環障害によるおもな疾患の病理を説明することができる。 5）炎症の定義とおもな免疫、自己免疫疾患の病理を説明することができる。 6）おもな感染症と病原体の病理を説明できる。 7）腫瘍の定義と分類を説明できる。 8）老化と死について病理学的見地から説明できる。 9）主な疾患（心不全、白血病、各種の腫瘍、ネフローゼ症候群、褐色細胞腫、脳梗塞、脳内出血、アルツハイマー型認知症）の病理について説明できる。 10)生活関連疾患及び外因による疾病の発生について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	病理学で学ぶこと	病理学とは、看護と病理学、病気の原因、病気の分類と病理学の学び方 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
2	細胞・組織の損傷と修復、炎症（1）	細胞・組織の損傷と適応 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
3	細胞・組織の損傷と修復、炎症（2）	炎症について 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
4	免疫、移植と再生医療	生理的な免疫機能からアレルギー、自己免疫疾患について 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
5	感染症	感染の成立、発症、主な感染症、感染症の治療、予防 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
6	腫瘍（1）	腫瘍の定義(良性腫瘍と悪性腫瘍、細胞異型と構造異型)及び悪性腫瘍の影響について 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
7	腫瘍（2）	各臓器における代表的な腫瘍について 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
8	腫瘍（3）	腫瘍の発生原因、診断、治療について 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
9	先天異常と遺伝性疾患（1）	遺伝子の生物学、先天異常の原因、疾患、診断、治療など(1/2) 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
10	先天異常と遺伝性疾患（2）	先天異常の原因、疾患、診断、治療など(2/2) 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
11	代謝障害	脂質、タンパク質、糖質、その他の代謝障害 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵

12	循環障害 循環器系の疾患	生理的な循環機能、血栓・塞栓症等病的状態、虚血・梗塞、高血圧等病的状態について 血管・心臓の疾患、その他 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	若山恵
13	生活習慣と環境因子による生体の障害、老化と死	生活習慣病、外因の影響、個体の老化と老年症候群、老化のメカニズム、個体の死、終末期医療 事前学習（10分）：教科書の該当箇所を読んでおく 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	内藤亜由美
14	病理診断と看護の接点	病理学の知識は臨床の看護現場でなぜ必要であるか、どのような場面で必要になるかをグループワークと講義で学修する。 事前学習（20分）：第1回から第12回の講義資料を読む 事後学習（20分）：教科書、配布資料で復習しておく	内藤亜由美
15	病理学の基本の整理	病理学に関連する過去の国家試験問題についてグループワークで解説を作成・基本の整理を行い、発表する。 事前学習（30分）：病理学に関連する過去の国家試験問題を調べる 事後学習（20分）：他のグループの発表内容を読み復習する	内藤亜由美

評価	若山先生：定期試験（80%分） 内藤先生：定期試験(5%分)、グループワークへの参加と課題の提出（15%分）
課題に対する フィードバックの方法	提出されたレポートに評価とコメントを記入し返却する。 グループワークを行う回では、発表後に教員のコメントを伝える。
教科書	≪系統看護学講座 専門基礎分野≫疾病のなりたちと回復の促進[1] 第6版　病理学　医学書院 ISBN ：978-4260042031
参考図書など	なるほどなっとく！病理学　病態形成の基本的なしくみ　南山堂 入門　病理学　町並陸生著　丸善出版
アクティブ・ラーニング	【第14回、第15回】グループワーク、グループワークの発表
実務経験のある 教員による授業	【第1回～第12回】医師としての臨床経験を活かして、病理学の基本的な知識と手法、考え方について講義する 【第13回～第15回】看護師としての臨床経験を活かして、看護実践への活かし方を学生とともに考える
留意事項	適宜掲示する

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
現代医療論 Topics of Contemporary Medicine	必修	講義	1単位 （30時間）	1年後期	寺本　明 碓井瑠衣、坂口達哉	○

ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP4）チームで連携し協働する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	生命とは、健康とは、病気とはなど保健・医療に携わる者に必要な医療の原点について学習する。まず、医療の歴史的変遷を学ぶことから始め、現代医療が抱えている諸問題とその特徴、変化する社会と医療のあるべき姿について展望する。生命、健康、病気の考え方、現代医療における看護の役割、日本と世界の医療体制、超高齢化社会、尊厳死や終末期医療、脳死と臓器移植、医療安全、医療倫理等について学び、現代医療の有する諸問題を俯瞰し、医療人としての基本的立場を熟成させていく。
到達目標	1）医学・医療の歴史を知り、現代医療の位置づけと様々な医療従事者とのチーム医療の重要性について述べることができる。 2）現代医療が抱える重要課題である、保険医療制度、少子高齢化、尊厳死、終末期医療、脳死・臓器移植について述べることができる。 3）将来の医療人として、医療事故やその対策、医療倫理の意義に関して述べることができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	医学・医療の歩み。近代医学の誕生	医学・医療の歴史を辿り、近代医学の発祥から現代医学に至る過程の本質を学ぶ。 事前学習（15分）医学・医療の大まかな歴史を調べる。 事後学習（30分）近代医学の誕生の過程と貢献した人の軌跡をまとめる。	寺本　明
2	医療を支える人々とチーム医療（1）	医療従事者には様々な職種があり、それぞれの役割を学ぶとともに、チーム医療の重要性を理解する。 事前学習（15分）医師・看護師以外にどのような職種があるかを調べる。 事後学習（30分）各職種の役割とチーム医療の形態や意義についてまとめる。	寺本　明
3	医療を支える人々とチーム医療（2）	事前学習と（1）の講義をもとに、グループディスカッションによってチーム医療における看護の役割を考える。 事前学習（15分）医師・看護師以外にどのような職種があるかを調べる。 事後学習（30分）　チーム医療における看護の役割をまとめる。	碓井瑠衣 坂口達哉
4	わが国と世界の保険医療制度（1）	わが国の医療は国民皆保険制度に根ざしているが、その具体的な内容を学ぶ。わが国の制度と欧米各国のそれとの違いを学ぶ。 事前学習（15分）保険とは何か、どのようなものがあるかを調べる。 事後学習（30分）わが国の保険医療の現状と問題点をまとめる。	寺本　明
5	わが国と世界の保険医療制度（2）	保健医療制度の違いが私たちの生活に及ぼす影響。 事前学習（15分）保険とは何か、どのようなものがあるかを調べる。 事後学習（30分）わが国の保険医療の現状と問題点をまとめる。	碓井瑠衣 坂口達哉
6	少子高齢化社会における医療（1）	世界に先駆けて訪れている超少子高齢社会における医療のあり方と問題点を学ぶ。 事前学習（15分）少子高齢化とは何かを調べる。 事後学習（30分）少子高齢化社会における医療保障の問題点をまとめる。	寺本　明
7	少子高齢化社会における医療（2）	時代や年代、文化による清潔習慣の違い。 事前学習（15分）少子高齢化とは何かを調べる。 事後学習（30分）　時代・世代・文化による清潔習慣の違いについて,学んだことをまとめる。	碓井瑠衣 坂口達哉
8	尊厳死・安楽死と終末期医療（1）	尊厳死・安楽死の定義と、わが国における終末期医療の課題を学ぶ。 事前学習（15分）尊厳死・安楽死とは何かを調べる。 事後学習（30分）終末期医療や蘇生や延命を断念することの意義と問題をまとめる。	寺本　明
9	尊厳死・安楽死と終末期医療（2）	尊厳死・安楽死の定義と、わが国における終末期医療の課題を学ぶ。 事前学習（15分）尊厳死・安楽死とは何かを調べる。 事後学習（30分）終末期医療や蘇生や延命を断念することの意義と問題をまとめる。	碓井瑠衣 坂口達哉
10	脳死と臓器移植（1）	臨床的脳死と法的な脳死判定、脳死下での臓器移植に伴う課題を学ぶ。 事前学習（15分）臨床的脳死とは何かを調べる。 事後学習（30分）脳死臓器移植の現状と問題点をまとめる。	寺本　明
11	脳死と臓器移植（2）	臨床的脳死と法的な脳死判定、脳死下での臓器移植に伴う課題を学ぶ。 事前学習（15分）臨床的脳死とは何かを調べる。 事後学習（30分）脳死臓器移植の現状と問題点をまとめる。	碓井瑠衣 坂口達哉
12	医療事故と医療安全（1）	医療事故の原因と医療安全対策の実態を学ぶ。 事前学習（15分）医療事故にはどのようなものがあるかを調べる。 事後学習（30分）医療事故の原因と防止安全対策をまとめる。	寺本　明

13	医療事故と医療安全（2）	医療事故（看護事故）の中でも、看護が深くかかわった事例を新聞・雑誌・インタネット情報から探し、被害者・加害者のその後を考える。 事前学習（15分）医療事故（看護事故）の中でも、看護が深くかかわった事例を探してくる。 事後学習（30分）事例を共有し被害者や加害者のその後について考察する。	碓井瑠衣 坂口達哉
14	医療と倫理。臨床倫理と研究倫理（1）	医療従事者が身に着けるべき倫理と、臨床研究上の倫理を学ぶ。 事前学習（15分）生命倫理学とは何かを調べる。 事後学習（30分）医療の様々な場面における倫理とその問題点をまとめる。	寺本　明
15	グループワークのまとめ発表会	各回に実施したグループワークの中から、最善のものを選び発表資料としてまとめる。 事前学習（15分）これまで議論したテーマと議論した内容を振り返る。 事後学習（30分）現代医療の中における問題点と今後の課題を考察する。	碓井瑠衣 坂口達哉

評価	授業項目1･2･4･6･8･10･12･14のレポート（65%）、授業項目3･5･7･9･11･13･15のレポートと発表資料、各回のピア評価（35%）
課題に対する フィードバックの方法	講義内容に関する課題を提示し、20～30分間でレポートを作成させる。
教科書	随時資料を配布する。
参考図書など	学生のための医療概論/小橋元, 近藤克則, 黒田研二, 千代豪昭/医学書院/第4版/ISBN:978-4-260-04125-6
アクティブ・ラーニング	授業項目（1）では約60-70分間の講義内容に関して、20-30分間でレポートを作成させる。 授業項目（2）では、各回のテーマに関連した内容で、グループで問いを立て討論し課題の内容を深める。
実務経験のある 教員による授業	（1）を担当する講師は、40年にわたる臨床経験と6年間の公立病院での院長経験を有している。 （2）を担当する講師は、看護における臨床・教育・研究経験を5年以上有する。
留意事項	特に無い。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
薬と毒性学入門 Introduction to Medicine and Toxicology	必修	講義	2単位 （30時間）	1年後期	鈴木　勉、内藤亜由美、野口京子、三堀いずみ	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	毒の定義と分類、毒性の発症と解毒メカニズム、麻薬の定義と快楽のメカニズム、自然界の毒、毒と社会、毒と薬を求めた歴史、また毒にまつわる事件について習得する。
到達目標	1）毒と薬の一般的な位置付けを把握し、考え方の違いを説明する。 2）毒の発症と解毒のメカニズムを関連付けて説明する。 3）麻薬の一般的な位置付けを把握し、適用する根拠をメカニズムと関連付けて説明する。 4）生き物の毒から植物の毒まで自然界の毒について説明する。 5）化学兵器から環境ホルモンまでを理解し、毒と社会との関わりについて説明する。 6）東洋と西洋における毒と薬の一般的な位置付けを把握し、考え方の違いを説明する。 7）毒にまつわる事件を分析、評価し、毒を扱う立場として配慮すべき姿勢について説明する。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	毒の基本	毒とは何か、更に毒の分類。 事前学習(30分)：テキスト p. 63-85 を読む。 事後学習(30分)：毒の分類をまとめる。	鈴木　勉
2	毒と体	毒の吸収・発症及び解毒のメカニズム。 事前学習(30分)：テキスト p. 88-101 を読む。 事後学習(30分)：解毒法ををまとめる。	鈴木　勉
3	薬の基本	薬とは何か、薬が効く仕組み。 事前学習(30分)：テキスト p. 104-119 を読む。 事後学習(30分)：薬がどのように効くかをまとめる。	鈴木　勉
4	人間を虜にする麻薬	麻薬とは何か、快楽のメカニズム。 事前学習(30分)：テキスト p. 122-141 を読む。 事後学習(30分)：麻薬の乱用メカニズムをまとめる。	鈴木　勉
5	自然界の毒	生き物の毒から植物の毒まで。 事前学習(30分)：テキスト p. 146-171 を読む。 事後学習(30分)：生き物の毒についてまとめる。	鈴木　勉
6	毒と社会	化学兵器から公害まで。 事前学習(30分)：テキスト p. 174-187 を読む。 事後学習(30分)：公害の原因と対策をまとめる。	鈴木　勉
7	毒と薬を求めて	東洋と西洋における毒と薬。 事前学習(30分)：テキスト p. 190-203 を読む。 事後学習(30分)：近代薬学の代表的研究者と業績をまとめる。	鈴木　勉
8	毒と薬の事件ファイル	地下鉄サリン事件から薬害エイズまで。 事前学習(30分)：テキスト p. 206-217 を読む。 事後学習(30分)：薬害の原因と結果をまとめる。	鈴木　勉
9	DVD「薬と人間」（1）	第9回～第15回のガイダンス。DVD「薬と人間」から薬と人間の歴史を知る。 事前学習(30分)：第1講から8講の内容の復習する。 事後学習(30分)：DVD「薬と人間」の中から強く印象に残った人物、出来事をピックアップして調べる。重要だと考えた点をリフレクションペーパーに記載する。	内藤　亜由美
10	DVD「薬と人間」（2）	DVD「薬と人間」の中から強く印象に残ったこと、視聴後に調べたことをレポートにまとめる。 事前学習(30分)：DVD「薬と人間」の中から強く印象に残った人物、出来事をピックアップして調べる。 事後学習(30分)：レポート作成に活用した資料を整理する。	内藤　亜由美
11	薬と細菌のいたちごっこ	薬と菌がいたちごっこをしながら歩んできた歴史を看護の視点で理解する。 事前学習(30分)：テキスト p. 114-115 を読む。 リアクションペーパーの提出と小テストへの回答。	野口　京子
12	がん薬物療法における曝露対策、がん症状緩和と副作用	がん薬物療法における曝露対策の必要性を理解する。がんの症状緩和と副作用の問題を看護の視点で理解する。 事前学習(30分)：テキスト p. 110-113、118-119 をみる リアクションペーパーの提出と小テストへの回答。	三堀　いずみ

13	薬や毒と人間との関係(1) テーマ別情報集と情報の整理	第13～15回ガイダンス。グループごとに3つのテーマ（①ニコチンの依存性と害、②病院における筋弛緩薬など薬剤の紛失、③若者に迫る違法薬物の危険）から1つのテーマを選択し、情報収集、情報の整理を行う。 事前学習(30分)：テキスト第1章、第4章を読む。 事後学習(30分)：本日の学修内容と新たな気づきをリフレクションペーパーに記載する。	内藤　亜由美
14	薬や毒と人間との関係(2) テーマに関するグループワーク、まとめ	選択したテーマについて、医療従事者を目指す者としての行動をグループワークを行い、発表できる形式にまとめる。 事前学習（30分）選択したテーマについて情報収集を行う。 事後学習（30分）本日の取り組み内容とGWでの新たな気づきをリフレクションペーパーに記載する。	内藤　亜由美
15	薬や毒と人間との関係(3) テーマに関する発表会	グループごとに情報収集のまとめ・分析、グループワーク内容を発表を行い、他のグループとディスカッションを行う。 事前学習（30分）発表練習を行う。 事後学習（30分）なし	内藤　亜由美

評価	期末試験(第1回～第8回、): 50% 課題、グループワークへの参加（第9回～第15回）: 50%
課題に対する フィードバックの方法	個々の質問に対し、必要に応じて全体へのフィードバックを授業中に行う。
教科書	【第1回～第15回】 [大人のための図鑑] 毒と薬【すべての毒は「薬」になる？！】/鈴木勉監修/新星出版/ISBN：978-4405108059 【第12回】系統看護学講座別巻がん看護学/ 小松浩子/医学書院/ 第3版/ ISBN9784260042161
参考図書など	【第1回～第8回】 医薬品トキシコロジー/佐藤哲男・仮家公夫・北田光一/南江堂/改定第4版/ISBN:978-4524402595
アクティブ・ラーニング	第9回～第10回では映像活用学習を行い、第13回～第15回ではグループで調査、分析、グループワーク、プレゼンテーションを行い、身近な問題に対する関心、調査力、協働力、伝達力を高めるように構成されている。第9回、11回、12回、13回、14回ではリフレクションペーパーの作成を行い学習内容の理解を深めるように構成されている。
実務経験のある 教員による授業	薬学に関する実践・教育の豊富な経験から、薬と毒に関する一般向け図書も多く著している。また、感染症看護専門看護師、がん看護専門看護師などの資格を有する教員が授業を担当する。
留意事項	・ 薬効と毒性は線上にある。 ・ 講義には各回が指定する教科書を持参すること。 ・ 第13回～第15回の課題に取り組むため、日頃より薬剤に関連した報道や新聞記事に目を通すことを薦める。 ・ 授業中の私語を慎むこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	1単位 （30時間）	2年前期	黒住　享弘	○

ナンバリングコード	HNSC2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP3）援助的コミュニケーション力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	臨床心理学は、個人の行動障害や適応困難を心理学的知識と技法に基づいて測定・分析し、解決することを目的とする応用心理学の一分野である。本講義では障害理解の基礎として主要な人格理論を学修する。また人々の精神的健康の回復・保持・増進について学ぶことで、精神疾患や心身症、精神心理的問題・不適応行動などの病態、原因、診断法について理解する。さらにこれらの患者理解の手段としての心理検査や心理療法などの援助技法について学修する。
到達目標	生涯発達の視点から人の成長過程（心身全般）について学ぶ。また、臨床心理学的な視点で人と関わるには、どのような配慮をして、どう関わるのかを知ることで、今後の対人援助に活かす基礎を学ぶ

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	臨床心理学概論	臨床心理学の歴史と現状　および人間の心理学的理解について 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
2	ライフサイクル1	生涯発達論について、乳幼児期～青年期 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
3	ライフサイクル2	成人期～老年期、発達課題と年代別の精神的な諸問題 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
4	臨床心理学と精神医学1	正常と異常、ストレスと心身の連関 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
5	臨床心理学と精神医学2	正常と異常、ストレスと心身の連関 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
6	パーソナリティ理論	パーソナリティの分類と障害 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
7	心理アセスメント	心理査定とは　および心理査定のとり方 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
8	心理検査1	知能検査 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
9	心理検査2	人格検査概論①（質問紙法） 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
10	心理検査3	人格検査概論②（投影法、描画法） 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
11	心理療法とは	心理療法の定義　および基本的態度 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
12	心理療法のプロセス　および精神分析的心理療法について	精神分析的精神療法 事前学習（20分）教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習（20分）資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘

13	心理療法の種類1	来談者中心療法 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
14	心理療法の種類2	その他の療法　および体験学習 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘
15	臨床心理士の仕事	臨床心理士の職域　および他職種との共同 事前学習(20分)教科書上の該当箇所の通し読み 事後学習(20分)資料および上記箇所の振り返り	黒住　享弘

評価	授業態度(10%程度)およびテストの成績(90%程度)にて評価する。このため、欠席した授業があった場合には担当教員に相談すること。
課題に対する フィードバックの方法	実施予定なし。
教科書	こころの行動と発達・臨床心理．軽部幸浩(編)．福村出版，東京．2023．ISBN:978-4571230677
参考図書など	「はじめての臨床心理学」森谷寛之・竹松志乃　編著出版社：北樹出版　ISBN：978-4893845504 随時紹介する。
アクティブ・ラーニング	机上にて個人的に行えるごく簡単な体験学習を行う。
実務経験のある 教員による授業	臨床心理士の資格を有し、臨床経験から実践的な授業を行う。
留意事項	適宜提示する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
臨床栄養学 Clinical Nutrition	必修	講義	1単位 （30時間）	2年前期	中谷　弥栄子	ー

ナンバリングコード	HNSC2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目	DP2）エビデンスに基づく実践力
健康支援と社会保障制度	

授業概要	栄養・食生活と健康との関係について学習する。栄養・食生活に問題がある場合に生じやすい健康障害について学び、さらに、さまざまな疾病を抱えた人の食事療法・食事指導ならびに指導効果を判定する方法について学習する。ひいては、望ましい栄養・食生活を日常生活の中で継続することの重要性を認識するとともに、疾病を予防する方法についても学習する。
到達目標	1）栄養学の基礎知識を臨床栄養学に応用できる。 2）臨床栄養学の基礎知識を実践できる。 3）ライフステージと栄養・食生活、健康との関連性について説明できる。 4）疾病を抱えた人の栄養・食事療法及び栄養・食事指導を実践できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	5大栄養素の種類とはたらき(3大栄養素)	糖質(食物繊維を含む)・脂質・タンパク質の種類とはたらき及び吸収と代謝 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.18～27、pp.40～42)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
2	5大栄養素の種類とはたらき(ビタミン)	ビタミンの種類とはたらき、吸収と代謝及び欠乏症 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.27～32)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
3	5大栄養素の種類とはたらき(ミネラル)	ミネラルの種類とはたらき、吸収と代謝及び欠乏症 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.32～40)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
4	食物の消化と栄養素の吸収・代謝	食物の消化と栄養素の吸収・代謝及びエネルギー代謝 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.46～72、pp.74～89)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
5	食事と食品	日本人の食事摂取基準、特別用途食品・保健機能食品制度 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.93～110)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
6	栄養ケア・マネージメントと栄養状態の評価・判定	栄養アセスメントの方法と栄養ケア・マネージメント 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.114～149)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
7	5大栄養素、食事摂取基準、栄養ケアマネージメント及び栄養アセスメントのまとめ	第1回～第6回の学習内容の小テストと前半の振り返り 事前学習（15分）：第1回～第6回の授業内容をまとめ、試験に臨む。 事後学習（15分）：試験結果をもとに弱点を補強し、定期試験受験に役立てる。	中谷　弥栄子
8	臨床栄養学の基礎知識及び栄養関連疾患と栄養食事療法の役割	臨床栄養学の意義と栄養食事療法の種類と補給経路 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.9～16、pp.188～206)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
9	妊産婦・更年期における栄養	妊娠期・授乳期及び更年期における栄養管理の基本と栄養食事療法 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.168～178)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
10	子ども(成長期)における栄養	乳児期・幼児期・学童期及び思春期における栄養管理の基本と栄養食事療法 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.152～165)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
11	高齢期における栄養	高齢期における栄養管理の基本と栄養食事療法（在宅療養を含む） 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.179～186)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
12	主な疾患別栄養食事療法（1）	痩せ・低栄養患者及び肥満・メタボリックシンドローム患者の病態と栄養食事療法の実際 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.206～208)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子

13	主な疾患別栄養食事療法（2）	循環器疾患患者の病態と栄養食事療法の実際 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.208～210)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
14	主な疾患別栄養食事療法（3）	代謝疾患（糖尿病・脂質異常症・高尿酸結晶・痛風）患者の病態と栄養食事療法の実際 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.216～220)を読む。 事後学習（15分）：学習目標をもとに授業内容を振り返りまとめ、確認問題(講義時に出題)を解く。	中谷　弥栄子
15	主な疾患別栄養食事療法（4）	肝臓・腎臓疾患患者の病態と栄養食事療法の実際及び第7回～第14回の学習内容の振り返り 事前学習（15分）：授業内容に関する該当箇所(pp.212～215、pp.220～222)を読む。 事後学習（15分）：授業内容をもとに弱点を補強し、定期試験受験に役立てる。	中谷　弥栄子

評価	定期試験(筆記試験)80%、提出物10%、授業中の学習(ディスカッション)参加状況10%
課題に対する フィードバックの方法	課題は講義で解説する。学生自身が確認することにより、理解につなげる。
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能3「栄養学」/中村丁次他/医学書院/第14版/ISBN：978-4260038614
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	生命維持と栄養についての理解を深めることができるよう、積極的な授業参加を求めます。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
関係法規 Related Laws and Regulations	必修	講義	1単位 （15時間）	2年前期	長岐　郁也	ー

ナンバリングコード	HNSB2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	法の概念、意義や目的を踏まえ、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律など看護職に関連する法規について学修するとともに、医療法その他関連職種の資格などに関する法律について学修する。さらに、他職種と協働して保健医療福祉活動を推進するうえで欠かせない法令についても広く学修する。
到達目標	1）看護職に関連する基本法規の存在と内容を理解する。 2）看護職として勤務するうえで必要となる労働等の法規を理解する。 3）看護書としての職務遂行に求められる法的な根拠は判断基準を理解する。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	法の概念と看護法	法学の基礎的理解と看護職の定義について 第1章（A、B、C）、第2章（A、B） 事前学習（120分）授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習（60分）講義内容についてまとめ直すこと。	長岐　郁也
2	医事法（1）	医療の提供及びコメディカルの役割について 第3章（A、B）、第4章（B④） 事前学習（120分）授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習（60分）講義内容についてまとめ直すこと。	長岐　郁也
3	医事法（2）	医療の提供と薬務法について 第3章（C）、第5章（A、B、C、D） 事前学習（120分）授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習（60分）講義内容についてまとめ直すこと。	長岐　郁也
4	精神の保健及び障害者の福祉	障害者と保健制度、社会基盤整備について 第4章（B①）、第7章（D）、第8章（B） 事前学習（120分）授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習（60分）講義内容についてまとめ直すこと。	長岐　郁也
5	母子の保健及び労働関連法規	母子の保健制度と労働をめぐる法について 第4章（B②、③）、第8章（A） 事前学習（120分）授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習（60分）講義内容についてまとめ直すこと。	長岐　郁也
6	感染症及び児童の保健と福祉について	感染症と児童に対する福祉制度について 第4章（C）、第7章（B、E） 事前学習（120分）授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習（60分）講義内容についてまとめ直すこと。	長岐　郁也
7	保健衛生と社会保険について	保健衛生の基本と社会保険制度について 第4章（A）、第6章（A、B） 事前学習（120分）授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習（60分）講義内容についてまとめ直すこと。	長岐　郁也
8	福祉の基礎法と高齢者について	福祉制度の基礎法と高齢者に関連する法規、ならびに環境法について 第7章（A、C）、第9章（A、B） 事前学習（120分）授業内容で示す教科書の該当箇所を精読すること。 事後学習（60分）講義内容についてまとめ直すこと。	長岐　郁也

評価	定期試験時に筆記試験を実施して評価する。
課題に対するフィードバックの方法	実施予定なし。
教科書	森山幹夫・系統別看護学講座　看護関係法令第57版　健康支援と社会保障制度4（医学書院、2025年） ISBN:978-4-260-05760-8
参考図書など	1年次の法学の講義で使用したテキストも適宜参照する。
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜国家試験の過去問に取り組んでもらい、講義内容からそれぞれに解答の検討をしてもらう。
実務経験のある教員による授業	該当なし。
留意事項	資料はすべてmanabaに掲出するので、あらかじめ印刷やダウンロードをして講義に臨むこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
社会福祉論 Social Welfare (Introduction to Social Welfare)	必修	講義	1単位 （15時間）	2年後期	久次　奈美	○

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP4）チームで連携し協働する力

授業概要	現代社会における社会問題や生活課題を取り上げ、福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係、福祉ニーズと社会資源、社会福祉専門機関や専門職の役割を学ぶ。また様々な福祉領域の制度政策、実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて基本的な学びを深める。さらにこれからの福祉のあり方についても考察することで、保健医療福祉分野での自身の専門職としての役割や専門性についても考察する。
到達目標	1）保健医療福祉における社会福祉の位置づけを理解し説明できる。 2）現代社会の課題と地域社会の中での社会福祉の役割を説明できる。 3）社会福祉を担う人々の専門性と多職種連携について理解し、多職種連携に基づくチームアプローチの大切さを実感できる。 4）社会福祉の相談援助技術とソーシャルワークの展開過程につい理解し、説明できる。 5）保健福祉医療分野での自身の専門職としての役割、社会福祉との関わり方ついて考察し、将来の専門職像に役立てる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	社会福祉とは何か 社会福祉を取り巻く環境	社会福祉の意義・理念を理解する。生活基盤となる社会の現状と変化を学ぶ。社会福祉援助技術の意義と形態を学ぶ。 事前学習（30分）現時点で自身が思う「社会福祉像」と「現代社会の課題」を考える。 事後学修（30分）社会福祉とは、社会福祉を取り巻く環境についての小テストをmanabaで提出する。	久次　奈美
2	社会福祉の歴史と動向	古代から近代までの日本と欧米の社会福祉の歴史と発展を学ぶ。 事前学習（30分）教科書　第I部2　日本の社会福祉の歴史を読む。 事後学習（30分）歴史についての小テストをmanabaで提出する。	久次　奈美
3	社会保障制度	社会保障の理念、目的、機能と構成、現状と動向を学ぶ。社会保険制度（医療・年金・労働保険）について学ぶ。 事前学修（30分）教科書　第1部3　P32　図3.2の中から自身や家族が利用したことがある社会保障制度を書き出すワークに取り組む。 事後学習（30分）社会保障制度についての小テストをmanabaで提出する。	久次　奈美
4	社会福祉を展開する組織 社会福祉を担う人々 相談援助・ソーシャルワークの展開	社会福祉を展開する組織、社会福祉従事者の職種、資格制度、専門性、活動範囲、多職種連携・チームアプローチを学ぶ 事前学修（30分）教科書　第I部3.4　社会福祉を展開する組織、13　社会福祉を担う人々を読む。厚労省ホーム・自宅の市区町村のホームページを閲覧する 事後学修（30分）①小テストをmanabaで提出する②自分が住む地域を担当する社会福祉の専門機関と施設を調べる（リサーチ）	久次　奈美
5	低所得者福祉	低所得と貧困の定義と現状及び、低所得者への支援制度を学ぶ 事前学修（30分）教科書　第I部7　低所得者福祉を読み、貧困・低所得について考える。 事後学修（30分）低所得者福祉の小テストをmanabaで提出する	久次　奈美
6	子ども家庭福祉	子どもと家庭を取り巻く現状と少子化対策、児童福祉施設、母子保健、児童虐待、子育て支援事業、子どもの貧困について学ぶ 事前学修（30分）教科書　第I部4　子ども家庭福祉　を読み、日本における子ども福祉の課題を考える。 事後学修（30分）子ども家庭福祉についての小テストをmanabaで提出する。	久次　奈美
7	高齢者福祉と介護保険制度	高齢者を取り巻く状況、高齢者福祉、介護保険制度について学ぶ 事前学修（30分）教科書　第I部6高齢者福祉　7介護福祉と介護保険制度　を読み、日本における高齢者福祉の課題を考える。 事後学修（30分）高齢者福祉と介護保険制度についての小テストをmanabaで提出する。	久次　奈美
8	障害者福祉・相談援助・ソーシャルワークの展開	障害者のとらえ方、定義と現状の理解、障害者福祉に関する法と施策、障害者雇用と就労支援・ソーシャルワーク実践について学ぶ 事前学修（30分）教科書　第I部5　障害者福祉　を読み、障害の概念・定義について考える。 事後学修（30分）障害者福祉及びソーシャルワークについての小テストをmanabaにて提出する。	久次　奈美

評価	定期試験(70%)　小テスト（15%）事前事後課題・授業中ワーク（15%）で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	教員より評価点とコメントをつけて授業後に返却または授業中に口頭でフィードバックを行う
教科書	コメディカルのための社会福祉概論 第5版/鬼崎信好・本郷秀和編/講談社/2023年/ISBN：978-4065301937
参考図書など	よくわかる社会福祉/第11版/山縣文治・岡田忠克編/ミネルヴァ書房/2019年 ソーシャルワーク実践の基礎理論（改定版）/北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編/有斐閣/2010年　新体系看護学全書　健康支援と社会福祉制度③社会福祉　メヂカルフレンド社2023年 その他　講義の中で適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	①各講義のテーマについてペアまたはグループワークによるディスカッションを実施しリアクションペーパーを提出する ②授業中及び事後学習を通して教員との意見交換を行う。
実務経験のある教員による授業	社会福祉士及び精神保健福祉士資格を有しソーシャルワーカーとしての実務経験に基づく実践的な授業を行う
留意事項	広範な内容を8回の講義で学習するため事前学習事後学習は必ず取り組むこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生学 Public health	必修	講義	1単位 （30時間）	2年前期	松木　秀明	ー

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	公衆衛生の概念及び歴史を踏まえて、健康の指標、人口問題と公衆衛生、衛生統計、疫学、医療・保健・福祉における衛生行政、労働衛生および環境衛生・公害及び公衆衛生の国際協力等について学修する。また、疾病予防と健康管理、地域保健と衛生行政、学校保健、産業保健および健康成立の要因と保健活動、人間を取り巻く環境と公衆衛生活動の意義と役割と組織的な公衆衛生活動について学修する。
到達目標	各領域の健康指標・疾病予防の実態を理解することにより、現在の公衆衛生・社会医学の課題を説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	公衆衛生学概論、予防医学	公衆衛生学の目的、健康の概念、予防医学 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
2	人口静態・人口動態	国勢調査、人口動態、国際疾病分類 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
3	保健統計	生命表、国民生活基礎調査、患者調査、国民健康栄養調査の概要 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を進める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
4	衛生行政と地域保健	衛生行政の実態、保健所、市町村保健センター、地域保健 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
5	母子保健・学校保健	母子保健行政と母子保健の指標、小児保健、学校保健行政と学校保健 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
6	成人保健	生活習慣病とその動態、メタボリックシンドローム、健康日本21 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
7	高齢者保健	高齢者保健とその実態、認知症、介護保険 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
8	感染症	感染症の疫学、感染症法 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
9	食品衛生、国民栄養	食中道、国民健康・栄養調査 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
10	環境保健	生活環境、地域環境、地球環境問題 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明

11	社会保障・社会福祉	社会保障制度、社会福祉制度およびそれらの実態 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
12	精神保健。障碍者保健	精神保健行政と障碍者保健 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
13	産業保健	労働の3管理、産業衛生、労働基準法、職業病 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
14	国際保健	国際保健協力、世界保健機構 事前学習（20分）：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み、基礎理解を深める。 事後学習（30分）：テキストの章末問題を解き、ポイントを整理しておく。	松木　秀明
15	公衆衛生学のまとめ	本授業の目標達成度の確認、質疑・応答 事前学習（30分）：これまでの授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込んで、必要な知識、考え方の未理解の部分を明確化する。 事後学習（30分）：これまでの授業内容に関して、必要な知識、考え方について実務や国家試験にも結び付けた理解を高める。	松木　秀明

評価	定期試験100%で評価する。
課題に対する フィードバックの方法	次の授業時間の最初で解説
教科書	よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第16版, 2025年, 松木秀明 編, 金原出版
参考図書など	適宜、授業の中で紹介
アクティブ・ラーニング	実施予定なし
実務経験のある 教員による授業	公衆衛生研究、疫学研究、看護研究、臨床研究について、46年の指導経験あり、実践的な内容も含む。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
疫学Ⅰ Epidemiology	必修	講義	1単位 （30時間）	2年後期	松木　秀明	―

ナンバリングコード	HNSB2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	集団の健康状態とその関連要因を明らかにする手法を学ぶために、疫学の概念、疫学の手法について学ぶ。また、健康に関する統計学的方法について理解するために、疫学研究のデータの読み方や調査結果の解釈方法、および、その活用方法について学ぶ。さらには、集団の特徴を数値で把握し、把握した特徴を健康に関する取り組みに活用する有用性を理解することを通して、疫学の意義を学ぶ。
到達目標	1　疫学とは何かを説明することができる。 2　疫学研究の方法について説明することができる。 3　疫学研究で明らかになったデータを解釈することができる。 4　疫学研究で明らかになった結果の活用方法を説明することができる。 5　疫学研究の有用性を説明することができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	疫学の定義と歴史	疫学の定義と西洋の疫学の歴史および日本の疫学の歴史について学ぶ。 事前学習（0分）：不要 事後学習（30分）：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
2	疫学で用いる健康指標	疫学で用いる健康指標について学ぶ。比率、疾病頻度、年齢調整死亡率、標準化死亡比などについて学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込んで、必要な知識、関連用語の捉え方、公式や数的処理の手法の基礎理解を進める 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
3	標本抽出と対象の選定	標本の抽出と対象の選定について学ぶ。無作為抽出、有意抽出の方法と応用について学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む。 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
4	疫学的方法論	記述疫学と分析疫学の考え方について学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
5	曝露の効果を表す指標	疫学における原因の測り方と指標について学ぶ 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
6	分析疫学の方法論	相対危険、寄与危険、寄与危険割合、オッズ比などについて学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
7	疫学研究の質の評価	疫学研究の質の評価、特にバイアス、誤差等について学ぶ 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
8	スクリーニングについて学ぶ（1）	スクリーニングの方法と指標、その計算法について学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
9	スクリーニングについて学ぶ(2)	ROC分析とその応用について学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む。 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
10	因果関係	疫学における因果関係論について学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
11	疫学各論①	疫学各論のうち、感染症の疫学のかかわりの基礎的な事項について学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明

12	疫学各論②	疫学各論のうち、遺伝疫学について、環境疫学について環境要因のかかわりの基礎的な事項を学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
13	疫学各論③	疫学各論のうち、社会疫学として社会構造が健康に与える影響の基礎的な知識について学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
14	疫学各論④	疫学各論のうち、ライフコース疫学について基礎的な知識について学ぶ。 事前学習(30分)：授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込む 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明
15	疫学のまとめ	目標の達成状況の確認、質疑・応答 事前学習(30分)：これまでの授業内容に関するテキストの該当箇所を読み込んで、必要な知識、考え方、公式や数的処理を理解する。 事後学習(30分)：テキストと配布資料による演習を行う。	松木　秀明

評価	定期試験100%とし評価する。
課題に対する フィードバックの方法	次の授業時間の最初で解説する。
教科書	日本疫学会監修／はじめて学ぶやさしい疫学改訂第4版／南江堂／ISBN:978-4-524-20448-9
参考図書など	基本からわかる　看護疫学入門　第3版／大木 秀一著／医歯薬出版社
アクティブ・ラーニング	特になし。
実務経験のある 教員による授業	疫学調査、公衆衛生研究、看護研究、臨床研究について、46年の指導経験があり、実践的な内容も含む。
留意事項	必要に応じて電卓を用いて各データの処理を行うため、電卓を準備して頂きたい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
疫学Ⅱ Epidemiology	選択	講義	1単位 （30時間）	2年後期	川本 利恵子、学科教員	ー

ナンバリングコード	HNSB3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康課題を解決するために必要な疫学調査法、社会疫学、政策疫学、臨床疫学、産業保健の疫学を学修する。それにより、具体的なデータを用いた疾病頻度や暴露効果の指標等の計算、適切な推論など疫学の知識・手法を用いて健康課題を分析し関係者や住民への適切な情報提供ができることを理解する。
到達目標	1. 疫学の測度と指標を理解し、統計データの処理 、実務的な活用の仕方がわかる。 2. 医療、看護の実践場面でパソコンや電卓により遭遇しやすい疫学としての統計内容について適切な処理とその評価ができる

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	疫学研究の種類	疫学Ⅰで学んだ記述疫学、分析疫学、介入研究について復習、また演習問題を解く。 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	川本 利恵子
2	疫学研究の指標	相対危険度、寄与危険度、寄与険割合、オッズ比などについて理解を深める。演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
3	スクリーニング	スクリーニングの手法と社会的意義、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
4	ROC分析	ROC（受信者動作特性曲線）の意義と疫学への応用、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
5	疫学と因果関係論	疫学における因果関係論、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
6	疫学と予防対策	疾病の予防とポピュレーションアプローチおよびハイリスクアプローチ、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
7	臨床疫学とEBM	臨床の場面における疫学の応用とEBM(科学的根拠に基づく医療）、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
8	感染症の疫学	感染症発生時における疫学の役割、マスターテーブル、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
9	環境疫学	環境問題への疫学の応用、公害と疫学、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
10	がんの疫学	がん対策への疫学の応用、遠隔問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
11	循環器の疫学	循環器疾患対策への疫学の応用、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
12	社会疫学	社会構造が健康に及ぼす影響、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員

13	遺伝疫学、ライフステージ疫学	健康にかかわる遺伝要因、胎児期から始まる健康リスクを捉えるライフコース疫学、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
14	疫学研究と倫理	疫学研究における倫理的問題、演習問題 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員
15	疫学Ⅱ　まとめ	疫学Ⅱについてのまとめ 事前学習：教科書の該当箇所を読んでおく（30分） 事後学習：演習問題をよく、内容を理解する（30分）	学科教員

評価	定期試験80%、小テスト20%
課題に対する フィードバックの方法	演習問題は各自で解き、正解はmanabaで確認しておくこと。
教科書	指定しない
参考図書など	指定しない
アクティブ・ラーニング	演習問題を、自分で解いてみる。
実務経験のある 教員による授業	該当なし
留意事項	該当なし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
保健行政論 Health and medical administration	選択	講義	1単位 （15時間）	2年前期	牛田貴子、村嶋幸代	○

ナンバリングコード	HCOB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目 健康支援と社会保障制度	DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	保健医療福祉行政の基礎知識、地域における健康問題とその解決に必要な社会資源と保健医療福祉サービスおよびその評価・調整する基礎的な方法について学修する。特に保健医療福祉行政の根拠、保健医療福祉行政の目指すもの、保健医療福祉における課題と政策の発展について学修する。
到達目標	1. 保健医療行政の管理・運営について理解することができる 2. 行政運営に必要な財政の仕組みについて理解することができる 3. 社会保障制度の現状と課題について理解することができる 4. 地域保健施策を理解することができる 5. 医療提供体制と関連法令について理解することができる

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	保健医療福祉行政の法的基盤と目標	授業のすすめかた、グループワーク「保健医療行政の課題と解決方法の探索」について、 保健医療福祉行政の法的基盤、目標と理念、公平と平等 事前学習：特に指定しない 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	牛田貴子
2	保健医療福祉活動を推進する行政のしくみと財政のしくみ	課題文責と整理の方法、社会保障と税の一体化、関係機関としくみ、地方自治と政策、財政 【グループワーク】グループルールづくり、個人学習をもとに課題の精選と決定 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	牛田貴子
3	社会保障の基本 社会福祉・公的扶助の制度と概要	社会保障の理念と背景、社会保障のしくみと機能、社会福祉と各制度 【グループワーク】文献検索、情報収集、個人学習の追加 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	牛田貴子
4	地域包括ケアと介護保険制度	B:地域包括ケアの定義と構成要素、地域ケア会議、介護保険の理念と仕組み 【グループワーク】課題の分析と解決方法の検討 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	牛田貴子
5	根拠となる法制度　各論	A:第4部各論③2 地域・在宅で看護師が知っておくべき法制度 （地域保健、母子、成人、高齢者、障害者、難病、感染症、災害対策、公的扶助ほか） 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	牛田貴子
6	医療提供体制	医療保険制度、医療提供体制の管理と整備、医療計画と地域医療構想(ビジョン) 【グループワーク】発表の準備 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	牛田貴子
7	保健医療行政の課題と解決方法の探索	【学習成果発表】 第2回～6回のグループワークの成果発表 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	牛田貴子
8	保健医療福祉行政の制度・政策の動向と発展	保健医療福祉行政の制度・政策の動向、看護職への期待 事前学習：指定されたテーマについて事前に学習しておく。(30分) 事後学習：授業内容を振り、ノートや資料等を用いて復習する。(30分)	村嶋幸代

評価	筆記試験(50%)、GW成果物とGWへの貢献度(50%)
課題に対するフィードバックの方法	manabaからフィードバックを行う
教科書	A.看護判断のための気づきとアセスメント　地域・在宅看護/岸恵美子ほか/中央法規/2022/ISBN: 978-4-260-04707-4 （1年次　地域・在宅看護学の教科書） B.ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア/臺有桂ほか/メディカ出版/2022年版/ISBN:978-4-8404-7543-3（1年次　地域・在宅看護学の教科書）
参考図書など	・「国民衛生の動向　2024/2025年版」(厚生の指標2024年8月増刊)/厚生統計協会 ・保健学講座　保健医療福祉行政論5/野村陽子ほか/メヂカルフレンド社/2022/ISBN:978-4-8392-2192-8 ・これからの保健医療福祉行政論　第3版/星旦二ほか/日本看護協会出版会/2022/ISBN:978-4-8180-2387-1
アクティブ・ラーニング	グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	看護師、保健師、助産師としての臨床経験と地域看護の教育経験を活かして、実践的な講義・演習を実施する。
留意事項	行政看護に関してだけでなく、地域看護の根拠としての法や制度について各自が興味のある分野から、主体的に学びを深めていきましょう。柔軟な発想を楽しみにしています。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
保健医療情報学	選択	講義	1単位（15時間）	2年前期	安部仁美　松永雄至　日下桃子	○

ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門基礎科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP6）看護の発展に対応する力
健康支援と社会保障制度	

授業概要	保健医療情報と情報処理の基本的知識を理解する。そして、それらの情報がどのように活用されているのか実際について探求する。保健医療情報とは病院ではレセプトなども含んだ電子カルテシステムであり、保健データは市町村や県、国が提供しているデータがある。それらを適切に処理することで様々な保健医療分野の状況が可視化できる。興味関心のある分野の実際を学生それぞれが自律して情報処理する。
到達目標	1）医療・看護情報のもつ性質、およびそれを扱う情報システムや情報ネットワークの構成と活用法を説明できる。 2）電子カルテシステムを中心とする保健医療情報システムを理解する。 3）保健医療情報の安全や活用（患者及び医療者の個人情報保護を含む）において配慮すべき事柄を説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	ガイダンス　保健医療情報とは 医療情報システム、医療データベースとシステムについて	授業ガイダンス　保健医療情報の種類について 病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステム、医療看護必要度やがん登録、医療の質の比較評価について 事前学習：(30分)授業項目について事前に調べてくる。 事後学習：(30分)授業内容を復習し、manaba機能を用いた【小テスト】に取り組む。	安部仁美 松永雄至 日下桃子
2	医療情報システムについてのグループワーク	【グループワーク】病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステムについての現状についてグループワークを行う。 事前学習：(30分)授業項目について事前に調べた資料【事前課題1】を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する。 事後学習：(30分)グループワークを各自で進める。	安部仁美 松永雄至 日下桃子
3	医療情報システムについての発表準備	【グループワーク】病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステムについての現状についてグループワークを行い、発表の準備を行う。 事前学習：(30分)事前に準備した資料や発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習：(30分)グループ発表に関する資料について確認し、スムーズに発表できるよう準備する。	安部仁美 松永雄至 日下桃子
4	医療情報システムについての発表	【発表】病院情報システム、電子カルテシステム、オーダエントリシステムについての現状についてのプレゼンテーションを行う。 事前学習：(30分)事前に準備した資料や発表資料を基に発表ができるよう準備する。 事後学習：(30分)グループ発表、配布資料や教科書の内容について確認し、授業全体について復習する。	安部仁美 松永雄至 日下桃子
5	保健・福祉情報についてのグループワーク	【グループワーク】日本、神奈川県、横浜市それぞれのデータから横浜市中区の地域特性を把握し健康上の課題を考察する。人口動態情報、保健指標　基礎資料、がんを含む生活習慣病の罹患率、死亡率などを調べグループワークを行う。 事前学習：(30分)授業項目について事前に調べた資料【事前課題2】を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する。 事後学習：(30分)グループワークを各自で進める。	安部仁美 松永雄至 日下桃子
6	保健・福祉情報についてのグループワークについての発表準備	【グループワーク】日本、神奈川県、横浜市それぞれのデータから横浜市中区の地域特性を把握し健康上の課題を考察する。人口動態情報、保健指標　基礎資料、生活習慣病の罹患率、死亡率などについての現状・健康上の課題についてグループワークを行い、発表の準備を行う。 事前学習：(30分)事前に準備した資料や発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習：(30分)グループ発表に関する資料について確認し、スムーズに発表できるよう準備する。	安部仁美 松永雄至 日下桃子
7	保健・福祉情報についての発表	【発表】日本、神奈川県、横浜市それぞれのデータから横浜市中区の地域特性を把握し健康上の課題を考察する。人口動態資料、保健指標　基礎資料、生活習慣病の罹患率、死亡率などについてのプレゼンテーションを行う。 事前学習：(30分)事前に準備した資料や発表資料を基に発表ができるよう準備する。 事後学習：(30分)グループ発表、配布資料や教科書の内容について確認し、授業全体について復習する。	安部仁美 松永雄至 日下桃子
8	情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについてのグループワーク まとめ	【グループワーク】情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについてグループワークを行う。 【講義】情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いやビックデータ・IoT・AIを活用した最新の医療、まとめ 事前学習：(30分)情報リテラシーや実習時の個人情報・SNSの取り扱いについて調べてくる。 事後学習：(60分)授業内容を復習し、manaba機能を用いた【小テスト】に取り組む。また、科目全体において復習を行い確実な知識にする。	安部仁美 松永雄至 日下桃子

評価	事前課題レポート（30%）　、グループ発表（20%）、定期試験と小テスト（50%）で評価する。
課題に対するフィードバックの方法	講義の中で適宜行っていく予定。
教科書	看護情報学／中山和弘／医学書院／第3版／ISBN:978-4-260-04205-5【全ての講義で利用】
参考図書など	エッセンシャル看護情報学／太田勝正、前田樹海／医歯薬出版／2025年版／ISBN:978-4-263-71074-6　C3047 その他、適時紹介する。
アクティブ・ラーニング	講義の中で、適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	企業の健康管理システムの構築に関わった。
留意事項	関心を高くもって自発的に事前課題、事後課題に取り組んでほしい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護学概論	必修	講義	1単位（30時間）	1年前期	川本利恵子　他	○

ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力
基盤科目	

授業概要	看護学の根幹科目として看護の本質を探究し、専門職として看護学を学修していくための基礎的な知識について学修する。看護学を構成する概念、看護とは、看護の変遷、主な看護理論などについて学修する。また、看護の観点から全人的に捉える人間、健康の概念、環境と健康、生活・ライフスタイルと健康との関連、QOLとセルフケア、職業倫理、看護制度、看護実践の方法と多職種連携などの看護学の基礎的な知識を学び、人々の健康に寄与する看護職の役割・機能について学修する。
到達目標	1)看護の目的及び看護学とは何かについて説明できる。 2)看護学を構成する主要概念を説明できる。 3)看護実践のための理論的根拠として、主要な看護理論について説明できる。 4)看護の歴史的変遷の概要を説明できる。 5)看護活動を展開するために必要な基本的な法律を説明できる。 6)看護活動を展開するために必要な基礎的な倫理について説明できる。 7)看護活動を提供する場とその仕組みの理解を通して、看護職の役割・機能について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	科目ガイダンス　看護学とは	科目のガイダンス 、看護学の目的及び役割と機能について、現代看護の動向を踏まえ学修する。 事前学習：(15分)ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子
2	看護の本質 看護の歴史的変遷①	看護学とは何かを、看護の起源より学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子
3	看護の歴史的変遷②	看護学とは何かを、歴史的変遷より学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子
4	看護の歴史的変遷③	看護学とは何かを、日本における歴史的変遷より学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子
5	看護の対象の理解 看護学の主要概念(1)人間	看護の対象となる「人間」について学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
6	看護学の主要概念(2)人間	看護の対象となる「人間」の理解について諸理論を用いて学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
7	看護学の主要概念(3)環境	看護の対象である人間を取り巻く「環境」について学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
8	看護学の主要概念(4)健康	看護の対象となる人間の「健康」の概念について学修する。日本の国民の健康状態も学習する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
9	看護学の主要概念(5)健康	看護の対象となる人間のライフスタイルと健康との関連について諸理論を用いて学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
10	看護学の主要概念(6)看護	「看護」の定義、看護ケアにおける看護職の役割と責任及び「看護」を展開するための考え方について学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
11	理論的根拠としての主要な看護理論(1)	看護理論家ナイチンゲールの理論を学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
12	理論的根拠としての主要な看護理論(2)	看護理論家ヘンダーソンの理論を学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他

13	看護における倫理と法律	看護実践における法的基盤及び法的責任および倫理と価値について学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
14	看護活動を提供するための仕組みと場（領域）	保健・医療・福祉に関連する法律や概念と政策を概観し、看護制度における看護サービス提供および多職種チームにおける看護の役割と機能について学修する。 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する。	川本利恵子他
15	まとめ	まとめ：これからの看護の課題と展望、「到達目標」達成状況の確認 事前学習：(15分),ガイダンス資料参照 事後学習：(15分)科目全体の復習と科目の「到達目標」達成状況の確認	川本利恵子他

評価	提出課題　40%　課題レポート　60%
課題に対する フィードバックの方法	提出課題及び課題レポートへのフィードバックは講義内でする
教科書	①基礎看護学(1)　看護学概論/茂野香おる、吉岡京子、林千冬、益加代子、玉田雅美、岩本香織、柳澤理子、大野かおり著/医学書院/第17版/ISBN：978-4-260-03862-1 ②看護の覚え書き/フローレンス・ナイチンゲール/うぶすな書店/改訳第8版/ISBN:978-4-87474-199-3 ③看護の基本となるもの/ヴァージニア・ヘンダーソン著/日本看護協会/ISBN:978-4-8180-1996-6
参考図書など	ナーシング・グラフィカ　16　看護学概論　　その他は適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	事前学習,グループワーク,プレゼンテーション
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かして実践的な講義・演習を行います。
留意事項	本科目は、看護学を学ぶ上で、最も重要な科目である。学習計画を立て事前・事後学習を行い、主体的に授業に臨むこと。看護専門職を目指す者の基本的姿勢として学習態度を重視する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ヘルスアセスメント学Ⅰ Health Assessment Ⅰ	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	1年後期	川本利恵子、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、ラウ優紀子、新任教員A、新任教員B、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 基盤科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	看護の観点から人々の健康状態についてアセスメントする意義と方法について学修する。ヘルスアセスメントの概要、看護過程におけるヘルスアセスメントの意義、バイタルサインの観察技術や問診の技術および系統的に身体面をアセスメントする技術に関する基礎的な知識について学修する。フィジカルアセスメントに必要な身体診査技術（視診・触診・打診・聴診）やバイタルサインの観察技術については、演習において実践力を養う。
到達目標	1)看護過程におけるヘルスアセスメントの目的と意義を説明できる。 2)ヘルスアセスメントに必要な問診技術の留意点を説明できる。 3)身体診査技術の基本を説明できる。 4)バイタルサインの観察技術を修得できる。 5）正確な測定や観察真摯で誠実な態度が身につけられる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	ヘルスアセスメントの概念 身体診察技術の基本 位置同定（水平・垂直）	講義：ヘルスアセスメントの目的と意義、問診と基本的な身体診査技術（視診・触診・打診・聴診）、および、身体診査に必要な位置の同定を行う基本について学修する。 事前学習（30分）教科書のヘルスアセスメントと身体診査に関する箇所を読み課題に取り組む。 学修した知識を小テストで確認する。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	三ツ井圭子
2	バイタルサイン① （意識状態、体温のアセスメント）	講義：意識状態と体温の観察方法とその根拠を学修する。 事前学習（30分）教科書の意識状態と体温に関する箇所を読み課題に取り組む。 学修した知識を小テストで確認する。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	碓井瑠衣
3	バイタルサイン② （呼吸のアセスメント-1）	講義：バイタルサイン（呼吸）の観察方法とその根拠を学修する。 事前学習（30分）教科書の呼吸に関する箇所を読み課題に取り組む。 学修した知識を小テストで確認する。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	松永雄至
4	バイタルサイン③ （呼吸のアセスメント-2）	講義：バイタルサイン（呼吸）の観察方法とその根拠を学修する。 事前学習（30分）教科書の呼吸に関する箇所を読み課題に取り組む。 学修した知識を小テストで確認する。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	松永雄至
5	問診、位置の同定	演習：基本的な問診および身体診査に必要な位置の同定（水平位置：肋骨・肋間）を修得する。 事前学習（30分）教科書や講義資料を読み、胸郭の解剖や技術の留意点を整理する。 事後学習（30分）自己の技術を振り返る。体表解剖から肺の位置を確認する。	三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B碓井瑠衣、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
6	バイタルサイン④ （循環のアセスメント-1）	講義：バイタルサイン（循環）の観察方法とその根拠を学修する。 事前学習（30分）教科書の循環に関する箇所を読み課題に取り組む。 学修した知識を小テストで確認する。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	松永雄至
7	バイタルサイン⑤ （循環のアセスメント-2）	講義：バイタルサイン（循環）の観察方法とその根拠を学修する。 事前学習（30分）教科書の循環に関する箇所を読み課題に取り組む。 学修した知識を小テストで確認する。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	松永雄至
8	バイタルサイン測定-1	演習：バイタルサインの観察方法(体温・呼吸・脈拍・血圧)の実際について学修する。 事前学習（30分）教科書のバイタルサインに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習（30分）演習を振り返り、学びを整理する。	松永雄至、'三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
9	バイタルサイン測定-2	演習：バイタルサインの観察方法(体温・呼吸・脈拍・血圧)の実際について学修する。 事前学習（30分）教科書・授業資料のバイタルサインに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習（30分）演習を振り返り、学びを整理する。	松永雄至、'三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
10	バイタルサイン測定-3	演習くバイタルサインの観察方法(体温・呼吸・脈拍・血圧)の実際について学修する。 事前学習（30分）教科書・授業資料のバイタルサインに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習（30分）演習を振り返り、学びを整理する。	松永雄至、'三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理

11	バイタルサイン測定-4	演習：バイタルサインの観察方法(体温・呼吸・脈拍・血圧)の実際について学修する。 事前学習（30分）教科書・授業資料のバイタルサインに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習（30分）演習を振り返り、学びを整理する。	松永雄至、三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
12	技術チェック （バイタルサイン測定）	演習：技術試験(バイタルサイン) 事前学習（30分）試験に向けて練習を行う。 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、克服に向けて復習する。	碓井瑠衣、松永雄至、三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
13	技術チェック （バイタルサイン測定）	演習：技術試験(バイタルサイン) 事前学習（30分）試験に向けて練習を行う。 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、克服に向けて復習する。	碓井瑠衣、松永雄至、三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
14	技術チェック （バイタルサイン測定）	演習：技術試験(バイタルサイン) 事前学習（30分）試験に向けて練習を行う。 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、克服に向けて復習する。	碓井瑠衣、松永雄至、三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
15	身体診査技術（視診・触診・打診・聴診） 腹部のアセスメント	講義・演習：腹部のアセスメントとフィジカルイグザミネーションについて学修する。 事前学習（30分）教科書の身体診査技術（視診・触診・打診・聴診）と腹部のアセスメントに関する箇所を読み課題に取り組む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。 演習を振り返り、学びを整理する。	三ツ井圭子、松月みどり、新任教員A、新任教員B碓井瑠衣、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理

評価	技術試験20%、課題（事前・事後）10%　小テスト30%、筆記試験40%　これらを総合して評価をする。
課題に対する フィードバックの方法	技術試験結果は対面にて個別講評します。課題・小テストに関しては授業やmanabaでフィードバックします。
教科書	基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ コミュニケーション・看護の展開・ヘルスアセスメント/メディカ出版/第1版/ISBN : 978-4-8404-7536-5 看護がみえるVo.3フィジカルアセスメント/医学情報科学研究所編/メディックメディア/第1版/ISBN:978-4-89632-781-6
参考図書など	①はじめてのフィジカルアセスメント/横山美樹/メヂカルフレンド社/第2版/ISBN:978-4-839-21648-1 ②病態を見抜き、看護にいかすバイタルサイン/上谷いつ子/中央法規/ISBN978-4-8058-5952-0 ③新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス[Web動画付]/守田美奈子監修/インターメディカ/ISBN:978-4-89996-408-7 ④フィジカルアセスメント ガイドブック 目と手と耳でここまでわかる/山内豊明/医学書院/第2版/ISBN：978-4-260-01384-0 ⑤ベイツ診察法/リン S. ビックリーほか/メディカル・サイエンス・インターナショナル/第3版/ISBN：978-4-8157-3056-7
アクティブ・ラーニング	講義は反転授業を行います。事前に提示された課題からレディネステストを行い、講義内容の理解を促します。演習では、講義での学びの復習と事前課題を学修することで、演習を積極的に取り組めるようにしています。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かして実践的な講義・演習を行います。
留意事項	人の生活を健康に整えるために中心となる観察とアセスメントを勉強します。そのため、学修への積極的な取り組みを期待します。患者・看護師の両方を体験から、対象を思いやり、かつ、正確な観察が行える技術を身に付けていきましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ヘルスアセスメント学Ⅱ Health Asessment Ⅱ	必修	演習	2単位 （60時間）	2年後期	山勢善江、櫻井友子、坂口達哉	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力
基盤科目	

授業概要	ヘルスアセスメントⅠで学んだフィジカルアセスメントの技法を基盤とし、あらゆる年代やさまざまな場における看護の対象者の健康状態と生活への影響をアセスメントする方法を、事例を通してより実践的に学ぶ。また、ヘルスアセスメントⅢで実践する患者へのアセスメント技術の基本を学ぶ。
到達目標	1）事例の対象者の身体の機能障害に気づき、それらを言語化することができる。 2）対象者の全身状態、生活背景や価値観、セルフケア能力を踏まえ、必要と考えられるアセスメント技術を用いることができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	科目ガイダンス	科目のガイダンス 事前学習（30分） ヘルスアセスメント学Ⅰの復習をする 事後学習（30分） 配布資料を読み返す	山勢善江 他看護学科教員
2	ヘルスアセスメントの概要	ヘルスアセスメントの概要　全身状態の観察の方法 事前学習（30分） 教科書の該当部分を通読する 事後学習（30分） 配布資料を読み返す	山勢善江 他看護学科教員
3	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	事例についてのグループワークを実施し、病態関連図を作成し事例患者の問題について理解する 事前学習（30分） 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習（30分） 課題に取り組む	山勢、櫻井、坂口
4	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	事例についてのグループワークを実施し、病態関連図を作成し事例患者の問題について理解する 事前学習（30分） 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習（30分） 課題に取り組む	山勢、櫻井、坂口
5	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	事例についてのグループワークを実施し、病態関連図を作成し事例患者の問題について理解する 事前学習（30分） 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習（30分） 課題に取り組む	山勢、櫻井、坂口
6	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	事例についてのグループワークを実施し、事例患者の問題について発表資料を作成する 事前学習（30分） 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習（30分） 課題に取り組む	山勢、櫻井、坂口
7	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	事例についてのグループワークを実施し、事例患者の問題について発表資料を作成する 事前学習（30分） 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習（30分） 課題に取り組む	山勢、櫻井、坂口
8	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	事例についてのグループワークを実施し、事例患者の問題について発表資料を作成する 事前学習（30分） 事例について読み込み、気づいたことを記載し、わからないことを調べる 事後学習（30分） 課題に取り組む	山勢、櫻井、坂口
9	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	発表を実施し、グループ間での知識の共有をおこなう 事前学習（30分） プレゼンテーションの準備をおこなう 事後学習（30分） 他グループの発表から得た学びを統合する	山勢、櫻井、坂口
10	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	発表を実施し、グループ間での知識の共有をおこなう 事前学習（30分） プレゼンテーションの準備をおこなう 事後学習（30分） 他グループの発表から得た学びを統合する	山勢、櫻井、坂口
11	事例に基づくヘルスアセスメント：①対象の問題をアセスメントする	講義：事例患者の看護問題と、そのアセスメントに必要なアセスメント項目について 事前学習（30分） 他グループの発表から得た学びを統合する 事後学習（30分） 講義内容を復習する	山勢、櫻井、坂口
12	事例に基づくヘルスアセスメント：②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	事例患者のアセスメント項目を観察するための技術についてグループワークにて検討し、実践する 事前学習（30分） 必要なアセスメント技術を考える 事後学習（30分） 技術の確認と練習をする	山勢、櫻井、坂口
13	事例に基づくヘルスアセスメント：②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	事例患者のアセスメント項目を観察するための技術についてグループワークにて検討し、実践する 事前学習（30分） 必要なアセスメント技術を考える 事後学習（30分） 技術の確認と練習をする	山勢、櫻井、坂口
14	事例に基づくヘルスアセスメント：②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	事例患者のアセスメント項目を観察するための技術についてグループワークにて検討し、実践する 事前学習（30分） 必要なアセスメント技術を考える 事後学習（30分） 技術の確認と練習をする	山勢、櫻井、坂口
15	事例に基づくヘルスアセスメント：②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	検討し実践した技術について、発表の準備をする 事前学習（30分） プレゼンテーションの準備をおこなう 事後学習（30分） 技術の確認と練習をする	山勢、櫻井、坂口

16	事例に基づくヘルスアセスメント:②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	検討し実践した技術について、発表の準備をする 事前学習(30分)　プレゼンテーションの準備をおこなう 事後学習(30分)　技術の確認と練習をする	山勢、櫻井、坂口
17	事例に基づくヘルスアセスメント:②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	検討し実践した技術について、発表の準備をする 事前学習(30分)　プレゼンテーションの準備をおこなう 事後学習(30分)　技術の確認と練習をする	山勢、櫻井、坂口
18	事例に基づくヘルスアセスメント:②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	検討した技術について、グループ発表を通して共有する 事前学習(30分)　プレゼンテーションの準備をおこなう 事後学習(30分)　他グループの発表から得た学びを統合する	山勢、櫻井、坂口
19	事例に基づくヘルスアセスメント:②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	検討した技術について、グループ発表を通して共有する 事前学習(30分)　プレゼンテーションの準備をおこなう 事後学習(30分)　他グループの発表から得た学びを統合する	山勢、櫻井、坂口
20	事例に基づくヘルスアセスメント:②対象の問題を把握するための技術を学ぶ	講義:事例患者の観察に必要なアセスメント技術について 事前学習(30分)　他グループの発表から得た学びを統合する 事後学習(30分)　講義内容を復習する	山勢、櫻井、坂口
21	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	①②で学んだことを踏まえ、事例患者の全身のアセスメントを実践する 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べ、練習する	山勢、櫻井、坂口
22	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	①②で学んだことを踏まえ、事例患者の全身のアセスメントを実践する 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べ、練習する	山勢、櫻井、坂口
23	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	①②で学んだことを踏まえ、事例患者の全身のアセスメントを実践する 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べ、練習する	山勢、櫻井、坂口
24	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	①②で学んだことを踏まえ、事例患者の全身のアセスメントを実践する 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べ、練習する	山勢、櫻井、坂口
25	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	①②で学んだことを踏まえ、事例患者の全身のアセスメントを実践する 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べ、練習する	山勢、櫻井、坂口
26	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	技術確認テスト 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べる	山勢、櫻井、坂口
27	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	技術確認テスト 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べる	山勢、櫻井、坂口
28	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	技術確認テスト 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べる	山勢、櫻井、坂口
29	事例に基づくヘルスアセスメント:③アセスメントと技術を統合し、実践する	技術確認テスト 事前学習(30分)　これまで学んだ技術を復習し練習する 事後学習(30分)　不足している知識について調べる	山勢、櫻井、坂口
30	ヘルスアセスメント学Ⅱまとめ	講義:まとめ 事前学習(30分)　これまで学んだことを復習する 事後学習(30分)　今後自らに必要な課題を明確にし、他科目へつなげる	山勢、櫻井、坂口

評価	定期試験30%、個人・グループワーク(技術確認テスト含む)の成果50%、ピア評価20%
課題に対する フィードバックの方法	講義時や演習時に口頭、またはmanabaにて適宜フィードバックを実施
教科書	ナーシンググラフィカ基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ/松尾ミヨ子　他/メディカ出版/ISBN: 978-4840475365
参考図書など	①新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス[Web動画付]/守田美奈子監修/インターメディカ/ISBN:978-4-89996-408-7 ②はじめてのフィジカルアセスメント/横山美樹/メヂカルフレンド社/第2版/ISBN:978-4-839-21648-1 ③看護学テキストNiCEヘルスアセスメント(改訂第2版)[WEB動画付]臨床実践能力を高める/三上れつ・小松万喜子編/南江堂/改訂第2版/ISBN:978-4-524-25748-5 ④看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント/医療情報科学研究所編/メディックメディア/第1版/ISBN:978-4-89632-781-6
アクティブ・ラーニング	学生主体でのグループワークを皮切りにし、その後に講義を行うという反転学習を用いることで、学生の主体性を培う。また、技術の修得に向けて演習を行う。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かして実践的な講義・演習を行います。
留意事項	ヘルスアセスメントⅠの際に学んだことを活かしながら、看護師としての技術を学びます。事例の理解に際しては、より主体的に学修する姿勢を求めます。ヘルスアセスメントⅠの資料も整理して見返すことができようにしておくこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ヘルスアセスメント学Ⅲ Health Asessment Ⅲ	必修	講義	1単位 （30時間）	3年前期	ラウ優紀子、坂口達哉、石橋史子、倉橋悠子、日下桃子、三堀いずみ、本間誠淳	○

ナンバリングコード	HNSD3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力
基盤科目	

授業概要	ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱで学んだ知識と技術を基に、シミュレーター等を用いてより実践に近い状況を想定した演習を通し、正常と異常の判断、緊急度の判断等の臨床判断能力を培い、対象者の状況に即したアセスメント・実施・評価の方法を学修する
到達目標	1）看護のプロセスにおいて求められるヘルスアセスメントの目的と意義について説明できる。 2）対象者のヘルスアセスメントの基礎的な問診技術について説明し、実施できる。 3）対象者のヘルスアセスメントに必要な身体診察の基礎的スキルについて説明し、実施できる。 4）対象者の身体診察で得た内容について看護記録を作成できる。 5）対象者のヘルスアセスメントに必要な学修態度で主体的に取り組むことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	ガイダンス／ヘルスアセスメントの概要	講義：本科目の概要について／ヘルスアセスメントの概要 事前学習（30分）ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱ、看護基盤実習Ⅱの学修内容を復習する。 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子他
2	ヘルスアセスメント 学びの振り返り1	ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱ、看護基盤実習Ⅱにおける学びの振り返り① 事前学習（30分）ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱ、看護基盤実習Ⅱの学修内容を復習する。 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子他
3	ヘルスアセスメント 学びの振り返り2	ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱ、看護基盤実習Ⅱにおける学びの振り返り② 事前学習（30分）2回目の学修内容を振り返り、疑問や不明点は調べておく。 事後学習（60分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子他
4	ヘルスアセスメントの基礎① 事例に基づく情報の分析・解釈	演習：ヘルスアセスメントに関する演習①　Head to Toe 事前学習（30分）演習内容について予習し、既習のアセスメントの知識・技術を復習しておく。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
5	ヘルスアセスメントの基礎② 事例に基づく情報の分析・解釈	演習：ヘルスアセスメントに関する演習②　Head to Toe 事前学習（30分）演習内容について予習し、既習のアセスメントの知識・技術を復習しておく。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
6	ヘルスアセスメントの実際① 事例に基づく演習	演習：ヘルスアセスメントに関する演習③　Head to Toe 事前学習（30分）演習内容について予習し、既習のアセスメントの知識・技術を復習しておく。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
7	ヘルスアセスメントの実際② 事例に基づく演習	演習：ヘルスアセスメントに関する演習④　Head to Toe 事前学習（30分）演習内容について予習し、既習のアセスメントの知識・技術を復習しておく。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
8	ヘルスアセスメントの実際③ 事例に基づく演習	演習：ヘルスアセスメントに関する演習⑤　Head to Toe 事前学習（30分）授業内容について予習し、既習のアセスメントの知識・技術を復習しておく。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
9	ヘルスアセスメントの実際④ デモンストレーション・演習	講義・演習：ヘルスアセスメントに関するデモンストレーション② 事前学習（30分）授業内容について予習し、既習のアセスメントの知識・技術を復習しておく。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
10	ヘルスアセスメントの実際⑤ 生活動作のアセスメント	演習：生活活動に障害のある人へのヘルスアセスメント① 事前学習（30分）事例を熟読し、分からないことは調べる。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
11	ヘルスアセスメントの実際⑥ 生活動作のアセスメント	演習：生活活動に障害のある人へのヘルスアセスメント② 事前学習（30分）演習内容についてテキスト、資料、ノート等を用いて予習する。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
12	ヘルスアセスメントの実際⑦ 生活動作のアセスメント	演習：生活活動に障害のある人へのヘルスアセスメント③ 事前学習（30分）演習内容について予習し、既習のアセスメントの知識・技術を復習する。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他

13	ヘルスアセスメントの実際⑧ 生活動作のアセスメント	演習：生活活動に障害のある人へのヘルスアセスメント④ 事前学習（30分）演習内容について予習し、既習のアセスメントの知識・技術を復習する。 事後学習（30分）演習内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。技術練習をする。	ラウ優紀子他
14	ヘルスアセスメント　まとめ	ヘルスアセスメント　まとめ 事前学習（30分）これまでの学修内容を振り返り、目標達成状況を評価する。 事後学習（30分）授業の学修内容を振り返り、今後の学修課題を明確にする。	ラウ優紀子他
15	ヘルスアセスメント　まとめ	ヘルスアセスメント　まとめ 事前学習（60分）これまでの学修を振り返り、目標達成状況を評価する。 事後学習（30分）授業の学修内容を振り返り、今後の学修課題を明確にする。	ラウ優紀子他

評価	ヘルスアセスメントに関する記録60%、課題・授業への取り組み40%
課題に対する フィードバックの方法	講義や演習時に口頭、またはmanabaにて適宜フィードバックを実施する
教科書	①病態を見抜き、看護にいかすバイタルサイン/上谷いつこ/中央法規/SBN:978-4-8058-5952-0 ※2024年度ヘルスアセスメントⅠ指定教科書 ②ナーシンググラフィカ基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ/松尾ミヨ子他/メディカ出版/ISBN: 978-4840475365 ※2024年度ヘルスアセスメントⅡ指定教科書
参考図書など	①新訂版　写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントはじめてのフィジカルアセスメント　アドバンス[動画付]/守田美奈子監修/インターメディカ/ ISBN:978-4-89996-408-7 ② はじめてのフィジカルアセスメント/横山美樹/メヂカルフレンド社/ 第2版/ISBN:978-4-839-21648-1 ③看護がみえるvol.3フィジカルアセスメント/医療情報科学研究所編/メディックメディア/第1版/ISBN:978-4-89632-781-6 ④ベイツ診察法 Bates' Guide to Physical Examination and History Taking, 13th Edition/Lynn S. Bickley・Peter G. Szilagyi・Richard M. Hoffman 日本語版監修: 有岡宏子・井部俊子・山内豊明/メディカルサイエンス・インターナショナル/第3版/ISBN:978-4-8157-3056-7
アクティブ・ラーニング	ヘルスアセスメントの知識を用いたスキル修得に向け、演習で看護技術を実践する。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かし実践的な講義・演習を行う。
留意事項	後期の臨地実習にアセスメントスキルを役立てられるよう主体的に学修してください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ナーシングスキル学Ⅰ Nursing skill Ⅰ	必修	演習	3単位 （90時間）	1年後期	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、ラウ優紀子、新任教員A、新任教員B、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理、渡部節子、野口京子	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 基盤科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	コミュニケーション・安全管理・安楽確保・セルフケア・看護記録などに関する技術について、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学修する。また生活行動に関する看護援助技術について学修する。環境を整える、食生活と栄養摂取、排泄、活動・休息、清潔・衣生活の援助技術などに関して、安全性・安楽性・自立性・個別性などに配慮し、根拠に基づく看護を提供するために必要な基礎的な知識を学び、演習において実践力を養う。
到達目標	1)科学的根拠に基づいた看護援助について説明できる。 2)物（道具を含む）と人の体（自分の体を含む）の効率的な使い方を修得できる。 3）演習を通して、援助を受ける看護の対象者の体験について省察できる。 4）安全・安楽を守るための基本技術を修得できる。 5）生活行動（食・排泄・活動と休息・清潔・衣生活）の基本技術が修得できる。 6）看護専門職としての倫理的態度、および主体的で探究的な学修態度を身につける。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	ガイダンス、ナーシングスキル概説	講義：ナーシングスキル（看護技術）における安全・安楽・自立、および個人を尊重する重要性について学修する。 事前学習（30分）教科書「看護技術とは何かⅡ」を読む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	三ツ井圭子
2	療養環境を整える援助技術①	講義：看護学概論で学んだ環境を基に、療養環境・生活環境について学修する。 事前学習（30分）教科書「快適な環境を作る技術」を読む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	碓井瑠衣
3	感染予防の援助技術①	講義：スタンダードプリコーションの考え方に基づいた感染予防の看護技術を学修する。 事前学習（30分）教科書の「スタンダードプリコーション」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	渡部節子 野口京子
4	感染予防の援助技術②	演習：スタンダードプリコーションの考え方に基づいた感染予防の看護技術を修得する。 事前学習（30分）教科書の「スタンダードプリコーション」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	渡部節子、野口京子 三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
5	実習室オリエンテーション	講義・演習：実習室の環境・物品配置および使用上の留意事項がわかる。 事前学習（30分）配布資料を読む。 事後学習（30分）実習室のマップを完成させる。	黒川領子、三ツ井圭子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
6	活動・休息を支える①	講義：活動・運動の意義と基本的な知識、および発達段階による活動・運動の特徴を学修する。 事前学習（30分）教科書の「活動・運動を支援する技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	牛田貴子
7	活動・休息を支える②	講義：活動・運動の意義と基本的な知識、および発達段階による活動・運動の特徴を学修する。 事前学習（30分）教科書の「活動・運動を支援する技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	牛田貴子
8	活動・休息を支える③	講義：休息・睡眠の意義と基本的な知識、および発達段階による特徴を学修する。 事前学習（30分）教科書の「休息・睡眠を促す技術」に該当する箇所を読み、課題に取り組む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	牛田貴子
9	療養環境を整える援助技術②	演習：ボディメカニクスを活用し、効率的で衛生的なベッドメイキングを学修する。 事前学習（30分）ベッドメイキングの動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	碓井瑠衣、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
10	療養環境を整える援助技術③	演習：ボディメカニクスを活用し、効率的で衛生的なベッドメイキングを学修する。 事前学習（30分）ベッドメイキングの動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	碓井瑠衣、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
11	活動・休息を支える援助技術④	演習：立ち上がり、移動補助具を用いた移動、移送を学修する。 事前学修（30分）活動と休息に関係する内容をまとめる。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	牛田貴子、三ツ井圭子、松月みどり、碓井瑠衣、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
12	活動・休息を支える援助技術⑤	演習：立ち上がり、移動補助具を用いた移動、移送を学修する。 事前学修（30分）活動と休息に関係する内容をまとめる。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	牛田貴子、三ツ井圭子、松月みどり、碓井瑠衣、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理

13	活動・休息を支える援助技術⑥	演習：体位変換、起居動作の介助について学修する。 事前学修（30分）体位変換、起居動作の介助に関する課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	牛田貴子、三ツ井圭子、松月みどり、碓井瑠衣、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
14	活動・休息を支える援助技術⑦	演習：各体位や発達段階のポジショニングを学修する。 事前学修（30分）仰臥位、座位での体圧・関節可動域に関する課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	牛田貴子、三ツ井圭子、松月みどり、碓井瑠衣、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
15	療養環境を整える援助技術④	演習：ボディメカニクスを活用し、効率的で衛生的なベッドメイキングを学修する。 事前学習（30分）ベッドメイキングの動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	碓井瑠衣、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
16	清潔を維持する援助技術①	講義：身体の清潔・衣生活の意義と清潔を維持するための基本的知識を学修する。 事前学習（30分）教科書「身体の清潔を援助する技術」を読む。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	黒田由香理
17	技術チェック①	これまでの学修内容を踏まえて、技術チェックを実施する。 事前学習（30分）試験に向けて練習を行う。 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、克服に向けて復習する。	碓井瑠衣、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
18	技術チェック②	これまでの学修内容を踏まえて、技術チェックを実施する。 事前学習（30分）試験に向けて練習を行う。 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、克服に向けて復習する。	碓井瑠衣、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
19	清潔を維持する援助技術②	講義：身体の清潔・衣生活の意義と清潔を維持するための基本的知識を学修する。 事前学習（30分）教科書「身体の清潔を援助する技術」を読む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	黒田由香理
20	清潔を維持する援助技術③	講義：身体の清潔（口腔・陰部）と清潔を維持するための基本的知識を学修する。 事前学習（30分）教科書「身体の清潔を援助する技術」を読む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	黒田由香理
21	清潔を維持する援助技術③ （寝衣交換）	演習：臥床患者のガウン式寝衣の交換を学修する。 事前学習（30分）教科書「寝衣交換の実際」と講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	黒田由香理 他科目担当教員
22	清潔を維持する援助技術④ （寝衣交換）	演習：臥床患者のガウン式寝衣の交換を学修する。 事前学習（30分）教科書「寝衣交換の実際」と講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	黒田由香理 他科目担当教員
23	療養環境を整える援助技術⑥ （臥床患者のシーツ交換）	演習：臥床患者のシーツを新しいシーツに交換する技術について学修する。 事前学習（30分）シーツ交換の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	碓井瑠衣、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
24	療養環境を整える援助技術⑦ （臥床患者のシーツ交換）	演習：臥床患者のシーツを新しいシーツに交換する技術について学修する。 事前学習（30分）シーツ交換の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	碓井瑠衣、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、松永雄至、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
25	清潔を維持する援助技術③ （清拭）	演習：温湯と石鹸を用いた部分清拭、背部熱布浴を学修する。 事前学習（30分）清拭の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	黒田由香理、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、佐々木博之、黒川領子
26	清潔を維持する援助技術④ （清拭）	演習：温湯と石鹸を用いた部分清拭、背部熱布浴を学修する。 事前学習（30分）清拭の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	黒田由香理、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、佐々木博之、黒川領子
27	清潔を維持する援助技術⑤ （部分浴）	演習：温湯と石鹸を用いた手浴・足浴(臥位・座位)を学修する。 事前学習（30分）手浴・足浴の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	、松永雄至、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、黒田由香理、佐々木博之、黒川領子
28	清潔を維持する援助技術⑥ （部分浴）	演習：温湯と石鹸を用いた手浴・足浴(臥位・座位)を学修する。 事前学習（30分）手浴・足浴の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	、松永雄至、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、黒田由香理、佐々木博之、黒川領子
29	清潔を維持する援助技術⑦ （洗髪）	演習：ケリーパッド、洗髪車、洗髪台のいづれかで洗髪を学修する。 事前学習（30分）洗髪の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	黒田由香理、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、佐々木博之、黒川領子

30	清潔を維持する援助技術⑧ （洗髪）	演習：ケリーパッド、洗髪車、洗髪台のいづれかで洗髪を学修する。 事前学習（30分）洗髪の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	黒田由香理、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、佐々木博之、黒川領子
31	食事・栄養を維持する援助技術①	講義：食事・栄養の意義と基本的な知識、および食事介助の留意点を学修する。 事前学習（30分）教科書「食事・栄養摂取を促す技術」を読む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	佐々木博之
32	食事・栄養を維持する援助技術②	講義：食事・栄養の意義と基本的な知識、および食事介助の留意点を学修する。 事前学習（30分）教科書「食事・栄養摂取を促す技術」を読む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	佐々木博之
33	食事・栄養を維持する援助技術③ （食事介助・口腔ケア）	演習：食事動作に障害がある人への援助、および口腔ケアの基本を学修する。 事前学習（30分）食事介助、口腔ケアの動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	佐々木博之、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、黒田由香理、黒川領子
34	食事・栄養を維持する援助技術④ （食事介助・口腔ケア）	演習：食事動作に障害がある人への援助、口腔ケアの基本を学修する。 事前学習（30分）食事介助、口腔ケアの動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	佐々木博之、三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、黒田由香理、黒川領子
35	排泄を支える援助技術①	講義：排泄の意義と基本的な知識、および排泄介助の留意点を学修する。 事前学習（30分）教科書「排泄を促す技術」を読む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	三ツ井圭子
36	排泄を支える援助技術②	講義：排泄の意義と基本的な知識、および排泄介助の留意点を学修する。 事前学習（30分）教科書「排泄を促す技術」を読む。 事後学習（30分）教科書や講義資料を見て小テストを解答する。	三ツ井圭子
37	排泄を支える援助技術③ （床上排泄・おむつ交換・陰部洗浄）	演習：自立度に応じた自然な排泄を促す援助、排泄後の陰部の清潔保持やおむつ交換の方法について学修する。 事前学習（30分）排泄介助、陰部洗浄、おむつ交換の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、黒田由香理、佐々木博之、黒川領子
38	排泄を支える援助技術④ （床上排泄・おむつ交換・陰部洗浄）	演習：自立度に応じた自然な排泄を促す援助、排泄後の陰部の清潔保持やおむつ交換の方法について学修する。 事前学習（30分）排泄介助、陰部洗浄、おむつ交換の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）課題に取り組み、復習をする。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、黒田由香理、佐々木博之、黒川領子
39	排泄を支える援助技術⑤ （床上排泄・おむつ交換・陰部洗浄）	演習：自立度に応じた自然な排泄を促す援助、排泄後の陰部の清潔保持やおむつ交換の方法について学修する。 事前学習（30分）排泄介助、陰部洗浄、おむつ交換の動画や教科書・講義資料を参考にして事前課題を行う。 事後学習（30分）援助計画を立案する。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、新任教員A、新任教員B、碓井瑠衣、松永雄至、黒田由香理、佐々木博之、黒川領子
40	統合演習①	演習：事例の状況に対して看護援助を考える。 事前学習（30分）今まで学んだ技術を整理する。 事後学習（30分）援助計画と立案する。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、ラウ優紀子、新任教員A、新任教員B、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
41	統合演習②	演習：事例の状況に対して看護援助を考える。 事前学習（30分）今まで学んだ技術を整理する。 事後学習（30分）援助計画と立案する。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、ラウ優紀子、新任教員A、新任教員B、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
42	統合演習③	演習：統合演習①②で立案した援助計画を、実演から具体的な内容にする。 事前学習（30分）統合演習①②から援助計画を立案する。 事後学習（30分）「対象に合わせた援助を考える」について自己の考えをまとめる。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、ラウ優紀子、新任教員A、新任教員B、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
43	統合演習④	演習：統合演習①②で立案した援助計画を、実演から具体的な内容にする。 事前学習（30分）統合演習①②から援助計画を立案する。 事後学習（30分'）「対象に合わせた援助を考える」について自己の考えをまとめる。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、ラウ優紀子、新任教員A、新任教員B、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
44	統合演習⑤	演習：事例の状況に合わせた援助計画を実践する。 事前学習（30分）統合演習③④から援助計画を修正する。 事後学習（30分）実演した援助について追加・修正を行う。 「看護援助を実践する」について自己の考えをまとめる。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、ラウ優紀子、新任教員A、新任教員B、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理
45	統合演習⑥	演習：事例の状況に合わせた援助計画を実践する。 事前学習（30分）統合演習③④から援助計画を修正する。 事後学習（30分）実演した援助について追加・修正を行う。 「看護援助を実践する」について自己の考えをまとめる。	三ツ井圭子、松月みどり、牛田貴子、ラウ優紀子、新任教員A、新任教員B、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、佐々木博之、黒川領子、黒田由香理

評価	技術チェック20%、小テスト30%、演習に関わる課題（演習前･演習後）10%、筆記試験40%　これらを統合して評価します。
課題に対する フィードバックの方法	技術試験結果は、個別に講評を返します。課題や小テストは講義時及び演習時・manabaなどで共有を図ります。
教科書	ナーシンググラフィカ基礎看護学③/基礎看護技術Ⅱ/松尾ミヨ子他/メディカ出版/ISBN978-4-8404-7537-2
参考図書など	①看護技術プラクティス/竹尾恵子ほか/第4版/学研メディカル秀潤社/ISBN978-4-7809-1323-1 ②看護技術ベーシックス/藤野彰子他/第2版/サイオ出版/ISBN978-4-90717-657-0 ③看護がみえるvol.1/ 基礎看護技術/医療情報科学研究所編/メディックメディア/ISBN978-4-89632-733-5 ④写真でわかる基礎看護技術アドバンス ［Web動画付］/吉田みつ子他/新訂版/インターメディカ/ISBN978-4-89996-412-4
アクティブ・ラーニング	講義は反転授業を行います。事前に提示された課題からレディネステストを行い、講義内容の理解を促します。また、グループワークやプレゼンテーションといった学生主体で行う学修も行います。演習では、講義での学びの復習と事前課題を学修することで、演習を積極的に取り組めるようにしています。
実務経験のある 教員による授業	担当教員は、看護師として臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	自分の体や道具を効果的に使うための知識を身につけ、技術を磨いていきます。そのためにコツコツと学修を積み重ねていきましょう。積極的な学修参加を期待しています。看護職としてのマナーも演習を通して身につけていきましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ナーシングスキル学Ⅱ Nursing Skill Ⅱ	必修	講義・演習	3単位 （90時間）	2年通期	川本利恵子・櫻井友子・佐々木千佳・松永雄至・安部仁美・石橋史子・佐々木博之 渡部節子・内藤亜由美・東村志保・野口京子・他看護学科教員	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 基盤科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	侵襲を伴う診断や治療を受ける人々に対して、安全面や苦痛の緩和に配慮した根拠に基づく看護援助技術について学修する。呼吸・循環を整える技術、創傷管理技術、与薬・輸血の技術、検査に伴う援助技術、手術に伴う援助技術、救命救急処置技術、感染予防の技術、排泄の処置における援助技術、人生の最終段階における援助技術などの基礎的な知識について学修する。さらに、演習において侵襲性の高い技術を安全面に配慮して実施する。
到達目標	1）侵襲を伴う看護援助技術があること、またその基本的知識について理解することができる。 2）侵襲を伴う看護援助技術が科学的根拠に基づくことを理解し、説明することができる。 3）侵襲を伴う看護援助技術が及ぼす患者への影響について説明することができる。 4）演習において、患者の安全・安楽に配慮し看護援助技術を実践することができる。 5）講義・演習を通して、看護師としての責任を認識し自律的に行動することができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	ガイダンス 侵襲を伴う看護援助技術とは	科目ガイダンス、侵襲を伴う看護援助技術の総論、治療・処置時の患者の理解と看護者の役割 事前学習（15分）侵襲を伴う看護とは何かを考える 事後学習（15分）課題に取り組み復習する。	川本利恵子 他看護学科教員
2	感染予防を推進する技術①	講義：感染予防の意義・感染予防のための組織と役割、援助技術、医療廃棄物の取り扱い 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	渡部節子 野口京子 他看護学科教員
3 ～ 4	感染予防を推進する技術②	演習：洗浄、消毒、滅菌、無菌操作、滅菌手袋・滅菌物の取り扱い 事前学習（30分）第2回の講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	渡部節子 野口京子 他看護学科教員
5	検査・治療を安全にかつ正確に行う技術①	講義：検査の援助と看護師の役割（単純X線撮影検査・超音波検査・CT・MRI検査・心電図検査） 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	松永雄至 他看護学科教員
6	検査・治療を安全にかつ正確に行う技術②	講義：尿・便・喀痰検査・血液検査（静脈血採血・動脈血採血）・血糖測定、穿刺法、洗浄 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	松永雄至 他看護学科教員
7 ～ 9	検査・治療を安全にかつ正確に行う技術③	演習：簡易血糖測定、静脈血採血 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	松永雄至 他看護学科教員
10	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術①	講義：薬物療法と看護・与薬における安全管理 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	安部仁美 他看護学科教員
11	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術②	講義：薬物療法と看護・与薬のための援助技術 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	安部仁美 他看護学科教員
12 ～ 14	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術⑤	演習：筋肉内注射、皮下注射 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	安部仁美 他看護学科教員
15	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術③	講義：注射・輸血の基礎知識 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	石橋史子 他看護学科教員
16	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術④	講義：注射・輸血の援助技術 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	石橋史子 他看護学科教員
17 ～ 19	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術⑥	演習：点滴静脈内注射、輸血の管理 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	石橋史子 他看護学科教員
20	呼吸を楽にする技術①	講義：呼吸の生理学的メカニズム・呼吸を楽にする援助・効果的な呼吸方法・痰喀出方法 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	櫻井友子 他看護学科教員

21	呼吸を楽にする技術②	講義：吸入療法、吸引・酸素療法、ネブライザー、酸素ボンベ 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	櫻井友子 他看護学科教員
22	体温を調整する技術①	講義：体温調節・罨法 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	櫻井友子 他看護学科教員
23 ～ 24	呼吸を楽にする技術③・ 体温を調整する技術②	演習：酸素吸入療法、吸引、罨法の実際 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	櫻井友子 他看護学科教員
25	皮膚・創傷を管理する技術①	講義：皮膚・創傷を管理するための基礎知識、創傷の分類と治癒過程 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	内藤亜由美 他看護学科教員
26	皮膚・創傷を管理する技術②	講義：創傷の管理、スキンテア 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	内藤亜由美 他看護学科教員
27	皮膚・創傷を管理する技術③	講義：褥瘡予防とケア 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	内藤亜由美 他看護学科教員
28	食事・栄養摂取を促す技術①	講義：食事に関する生理学的メカニズム・食事と栄養に関する基礎知識 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	東村志保 他看護学科教員
29	食事・栄養摂取を促す技術②	講義：食事・栄養摂取を促す技術 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	東村志保 他看護学科教員
30 ～ 32	食事・栄養摂取を促す技術技術③	演習：食事・栄養に関する援助の実際、経管栄養法 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	東村志保 他看護学科教員
33	排泄を促す技術①	講義：排尿・排便の生理的メカニズム・排尿・排便のニーズのアセスメント 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	佐々木千佳 他看護学科教員
34	排泄を促す技術②	講義：排尿・排便の援助、排泄用具の正しい知識と取り扱い、導尿、膀胱留置カテーテル、浣腸、摘便、坐薬 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	佐々木千佳 他看護学科教員
35 ～ 37	排泄を促す技術③	演習：一次導尿、持続導尿の管理、徒手圧迫排尿法 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	佐々木千佳 他看護学科教員
38 ～ 39	排泄を促す技術④	演習：摘便、浣腸 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	佐々木千佳 他看護学科教員
40	様々な対象における看護援助技術①	講義：妊婦・褥婦の観察について 事前学習（30分）教科書の該当部分を読んでくる。 事後学習（30分）課題に取り組み復習する。	山崎圭子 他看護学科教員
41 ～ 42	様々な対象における看護援助技術①	演習：妊婦・褥婦の観察について 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	山崎圭子 他看護学科教員
43 ～ 44	様々な対象における看護援助技術②	演習：総合演習 事前学習（30分）該当する講義内容をしっかり復習し、演習に臨む 事後学習（30分）自己の課題を明確にし、復習する。	櫻井友子 他看護学科教員
45	まとめ	科目のまとめを行う 事前学習　特に課さないが、本講義資料をすべて持参する。 事後学習　各単元の復習を行う。	川本利恵子 他看護学科教員

評価	①'定期試験50%（前期期末試験）、②課題・小テスト50%（前期・後期実施）、それぞれ6割以上の得点取得を要する
課題に対する フィードバックの方法	講義・演習時やmanabaなどで共有する。
教科書	基礎看護技術Ⅰ　ナーシンググラフィカ　松尾ミヨ子他　ISBN:978-4-8404-7536-5 基礎看護技術Ⅱ　ナーシンググラフィカ　松尾ミヨ子他　ISBN:978-4-8404-7537-2　（1年次で購入済）
参考図書など	老年看護学　ヌーベルヒロカワ その他'講義・演習の中で適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	講義・演習の中で適宜グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	担当教員は看護師としての実務経験を活かし実践的な講義・演習を行う。
留意事項	各演習後、次の単元で小テストを行う

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ナーシングプロセスⅠ Nursing Process Ⅰ	必修	講義	1単位 （30時間）	2年前期	川本利恵子、三ツ井圭子、他教員　検討中	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力
基盤科目	

授業概要	看護の対象となる人の個別性に配慮した看護を提供するために必要なナーシングプロセス（看護過程）について学修する。対象となる人を全人的に理解するために必要な情報を収集し、その情報を分析・解釈した上で看護上の課題を導き出し、安全性・安楽性・自立性・個別性などに配慮して看護計画を立案し、計画に基に看護援助を実施して評価する一連のプロセスについて学修する。
到達目標	1)ナーシングプロセス（看護過程）の原理について説明できる。 2)ナーシングプロセス（看護過程）の方法について説明できる。 3)事例を通し、ナーシングプロセス（看護過程）の各項目にあった内容が記述できる。 4)事例を通して一貫性のあるナーシングプロセス（看護過程）の展開ができる。 5)事例を通して看護の対象者にあった看護ケアの計画立案ができる。 6)学修に積極的に参加する。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	看護過程とは①	講義：ナーシングプロセス（看護過程）の原理、方法（実際）について学修する。 事前学習（30分）教科書「看護を展開する技術」を読む。 事後学習（30分）授業レジメを整理して、内容を理解する。	川本利恵子
2	看護過程とは②	講義：ナーシングプロセス（看護過程）の原理、方法（実際）について学修する。 事前学習（30分）教科書「看護を展開する技術」を読む。 事後学習（30分）授業レジメを整理して、内容を理解する。	川本利恵子
3	演習のガイダンス、看護過程に使用する枠組み、事例紹介 情報収集について	講義：演習のガイダンス事例紹介、ヘンダーソンの14の基本的欲求について、情報収集について 事前学習（30分）事前課題を学修する。 事後学習（30分）事例にある用語や疾患を調べる。	三ツ井圭子 他科目担当教員
4	情報収集①	演習：事例の動画やテキスト資料から、看護に必要な情報を収集、整理する。 事前学習（30分）アセスメントシートに前回までの情報（S・Oデータ）を整理し記載する。 事後学習（30分）事前学修のアセスメントシートに動画情報を追加する。	三ツ井圭子 他科目担当教員
5	情報取集② アセスメントについて	演習・講義：事例の動画やテキスト資料から、看護に必要な情報を収集、整理する。 事前学習（30分）アセスメントシートに前回までの情報（S・Oデータ）を整理し記載する。 事後学習（30分）14の基本的欲求の枠組み全部に情報を整理し記載をする。	三ツ井圭子 他科目担当教員
6	アセスメント①	演習：整理した情報を正常性・標準性・日常性の観点からアセスメントする。 事前学習（30分）整理した情報に基づきアセスメントをする。 事後学習（30分）グループワークの意見を参考にアセスメントを修正する。	三ツ井圭子 他科目担当教員
7	アセスメント② 関連図について	演習・講義：整理した情報を正常性・標準性・日常性の観点からアセスメントする。 アセスメントした内容から未充足・問題と思われることを抽出し、原因・誘因、顕在性・潜在性を明確にする。 患者の強みを抽出する。 事前学習（30分）整理した情報に基づきアセスメントをする。 事後学習（30分）グループワークの意見を参考にアセスメントを修正する。	三ツ井圭子 他科目担当教員
8	アセスメント③ 全体像・看護問題の優先順位の設定について	演習：関連図を用いて、アセスメント内容の統合や枠組み間のつながりから看護問題を抽出する。 事前学習（30分）アセスメントした内容を基に関連図を描く。 事後学習（30分）グループワークの意見を参考に関連図を修正する。	三ツ井圭子 他科目担当教員
9	全体像の把握 看護問題の優先順位の決定 看護目標の設定	演習・講義：全体像を確認し、看護問題の優先順位を決める。 事前学習（30分）全体像の記述、看護問題リストに優先順位と決定した理由を記述する。 事後学習（30分）グループワークの意見を参考に全体像と看護問題の優先順位とその理由を修正する。	三ツ井圭子 他科目担当教員
10	看護目標の設定 看護計画の立案①	演習・講義：看護目標の設定、および看護問題の解決に向けた看護計画を立案できる。 事前学習（30分）看護計画の看護目標と計画内容を立案する。 事後学習（30分）グループワークの意見を参考に看護目標とケかく内容を追加・修正する。	三ツ井圭子 他科目担当教員
11	看護計画の立案② 評価について	演習・講義：看護問題の解決に向けた看護計画を立案できる。 事前学習（30分）看護計画の内容をのOP、TP、.EPで立案する。 事後学習（30分）グループワークの意見・患者の反応を基に看護計画の評価をする。	三ツ井圭子 他科目担当教員

12	立案した看護計画の実践①	演習：グループで立案した看護計画を実施する。 事前学習（30分）看護計画にある援助の計画を立案をする。 事後学習（30分）グループワークの意見・患者の反応を基に看護計画の評価をする。	三ツ井圭子 他科目担当教員
13	立案した看護計画の実践②	演習：グループで立案した看護計画を実施する。 事前学習（30分）看護計画にある援助の計画を立案をする。 事後学習（30分）グループワークの意見・患者の反応を基に看護計画の評価をする。	三ツ井圭子 他科目担当教員
14	患者の反応から看護計画・看護過程全体を評価する	演習：患者の反応を基に、看護計画・看護過程全体の評価をする。 事前学習（30分）看護計画を実践した内容と患者の反応を基にした評価を記述する。 事後学習（30分）グループワークの意見を基に看護計画の評価を追加・修正する。	三ツ井圭子 他科目担当教員
15	展開したナーシングプロセス（看護過程）の発表	演習：ナーシングプロセス（看護過程）全体を振り返る。 事前学習（30分）ナーシングプロセス（看護過程）全過程を見直し、追加修正をする。 事後学習（30分）グループワークの意見を参考に看護過程全体を修正する。	三ツ井圭子 他科目担当教員

評価	看護過程（評価基準に基づき評価する）60%　リアクションペーパー（提出状況）40%
課題に対する フィードバックの方法	授業とmanabaにて、適宜フィードバックする
教科書	基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ コミュニケーション・看護の展開・ヘルスアセスメント/メディカ出版/第1版/ISBN : 978-4-8404-7536-5
参考図書など	①症状別の看護過程/小田正枝/照林社/第2版/ISBN:978-4-7965-2543-5 ②看護がみえるvol.4 看護過程の展開/医療情報科学研究所編/メディックメディア/第１版/ISBN: 978-4-8963-2801-1 ③疾患別の看護過程/任和子/照林社/第１版//ISBN:978-4-7965-2522-0
アクティブ・ラーニング	個人の事前学修に基づき、グループで事例に関するディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かし実践的な講義・演習を行います。
留意事項	看護を展開するための基本となる思考を学修する科目です。看護の対象者とその生活を想像しながら、その人が最善の状態であるためには、どのような看護をすると良いかを考えていきます。学生の主体的な参加によって身につく思考です。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ナーシングプロセスⅡ Nursing Process Ⅱ	必修	演習	2単位 （90時間）	3年前期	川本利恵子・内藤亜由美・伊藤ふみ子・望月千夏子・岡多恵・陶山克洋・塚原ゆかり・野口京子・松島泰恵・松永雄至・石橋史子・倉橋悠子・三堀いずみ・本間誠淳・関谷潤	○

ナンバリングコード	HNSC2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 基盤科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	ナーシングプロセスⅠで習得した思考を基盤とし、あらゆる年代やさまざまな場における対象者への健康問題・課題への看護実践に活用できる能力を身に着ける
到達目標	1）紙上事例患者の看護展開に必要となる病態や症状の理解を深めることで、必要な看護に気づき、言語化することができる。 2）紙上事例患者の健康障害の程度、生活背景、価値観やセルフケア能力をアセスメントし、健康上の課題を記述することができる。 3）紙上事例患者の健康上の課題に対して、優先順位を考えながら患者の背景を考慮した看護計画の立案をすることができる。 4）紙上事例患者に必要な看護実践を展開し、ケアの評価をすることができる。 5）紙上事例事例患者の看護展開において、継続看護の視点をもち患者の社会復帰を目指した看護を述べることができる。 6）対象者の発達段階や看護活動の場の違いによる看護展開の特徴について述べることができる。 7）グループワークにおいて自己の考え他者の考えを尊重しながら、効果的な意見交換ができ発表することができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	ナーシングプロセスⅡガイダンス 看護基盤実習Ⅱで実践した看護の振り返り①	授業ガイダンス、看護基盤実習Ⅱで実践した看護の振り返り 事前学習（30分）ナーシングプロセスⅠ、ヘルスアセスメントⅡの授業を復習しておく。 事後学習（60分）事前課題に取り組む。	川本利恵子 他看護学科教員
2	ナーシングプロセスⅡ 看護基盤実習Ⅱで実践した看護の振り返り②	看護基盤実習Ⅱで実践した看護の振り返り 事前学習（30分）ナーシングプロセスⅠ、ヘルスアセスメントⅡの授業を復習しておく。 事後学習（60分）事前課題に取り組む。	川本利恵子 他看護学科教員
3	ナーシングプロセス（看護過程）とは？ 復習	「ナーシングプロセス（看護過程）」とは？ ナーシングプロセスⅠの復習 事前学習（30分）事例Aを通読し、気づいた点や患者像をまとめておく。 事後学習（60分）事前課題に取り組む。	川本利恵子 他看護学科教員
4	周手術期患者のナーシングプロセス演習① 事例展開に必要な知識の整理 事例A	事例A：グループワーク・プレゼンテーションを通して事例患者の看護に必要となる知識を確認を確認し整理する（疾患・病態・治療）① 事前学習（30分）事前課題の項目に基づきプレゼンテーションの準備に取り組む。 事後学習（60分）グループワークやプレゼンテーションで学んだ内容を自身の個人ワークに追記しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
5	周手術期患者のナーシングプロセス演習② アセスメント 事例A	事例A：アセスメント①（情報の整理と分析） ＜呼吸・循環・体温＞ 事前学習（30分）ヘンダーソンの基本的欲求にに基づき情報の整理に取り組む。 事後学習（60分）呼吸・循環・体温のアセスメントをすすめておく。	川本利恵子 他看護学科教員
6	周手術期患者のナーシングプロセス演習③ アセスメント 事例A	事例A：アセスメント②（情報の整理と分析） ＜呼吸・循環・体温＞ 事前学習（30分）呼吸・循環・体温のアセスメントに取り組むくむ。 事後学習（60分）呼吸・循環・体温のアセスメントを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
7	周手術期患者のナーシングプロセス演習④ アセスメント 事例A	事例A：アセスメント③（情報の整理と分析） ＜栄養・代謝＞＜排泄パターン＞ 事前学習（30分）栄養・代謝、排泄パターンのアセスメントに取り組む。 事後学習（60分）栄養・代謝、排泄パターンのアセスメントを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
8	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑤ アセスメント 事例A	事例A：アセスメント④（情報の整理と分析） ＜栄養・代謝＞＜排泄パターン＞ 事前学習（30分）栄養・代謝、排泄パターンのアセスメントを見直す。 事後学習（60分）栄養・代謝、排泄パターンのアセスメントを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
9	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑥ アセスメント 事例A	事例A：アセスメント⑤（情報の整理と分析） ＜活動・睡眠＞＜清潔＞ 事前学習（30分）活動・睡眠、清潔のアセスメントに取り組む。 事後学習（60分）活動・睡眠、清潔のアセスメントを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
10	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑦ 看護問題の抽出 事例A	事例A：看護問題の明確化①（関連図・問題リスト） 手術治療が患者にもたらす影響を検討する 事前学習（30分）実施したアセスメントから関連図・問題リストの作成に取り組む。 事後学習（60分）作成した関連図を振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
11	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑧ 看護問題の明確化 事例A	事例A：看護問題の明確化②（関連図・問題リスト） 看護問題の抽出と優先順位の検討 事前学習（30分）抽出された看護問題の優先順位の検討に取り組む。 事後学習（60分）作成した関連図・問題リストを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
12	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑨ 全体像の把握 事例A	事例A：看護問題の明確化③（関連図・問題リスト） 看護問題の症状・徴候、原因・誘因・関連因子の検討 事前学習（30分）関連図、問題リストを確認し看護問題の症状・徴候、原因、誘因、関連因子が一貫しているか検討しておく。作成した関連図・問題リストを振り返り、追加・修正しておく。 事後学習（60分）作成した関連図・問題リストを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員

13	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑩　看護計画の立案 事例A	事例A：看護計画の立案①看護目標と期待される結果の明確化、具体的な援助計画（O-P,T-P、E-P） 事前学習（30分）看護計画の立案に取り組む。 事後学習（60分）看護計画を振り返り、実施可能な内容になるように追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
14	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑪　看護計画の立案 事例A	事例A：看護計画の立案②看護目標と期待される結果の明確化、具体的な援助計画（O-P、T-P、E-P） 事前学習（30分）看護目標と期待される結果の検討に取り組む。 事後学習（60分）看護計画を振り返り、実施可能な内容になるように追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
15	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑫　看護計画の実施 事例A	事例A：看護計画の実施と評価①　実施前の確認と判断 事前学習（30分）看護計画の実施のために、具体的な実施方法の検討に取り組む。 事後学習（60分）看護計画の実施・評価をSOAP記録に記載しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
16	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑬　看護計画の評価・修正 事例A	事例A：看護計画の実施と評価②　実施後の評価と記録 事前学習（30分）看護計画のO-P,T-P、E-Pの内容が具体的になっているか見直し修正に取り組む。 事後学習（60分）記載したSOAP記録を振り返り、追加・修正に記載しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
17	周手術期患者のナーシングプロセス演習⑭　看護計画の評価 事例Aまとめ	事例Aの看護過程展開のまとめ（周手術期患者の看護展開の特徴を理解する） 事前学習（30分）事例Aの看護展開で使用した記録用紙が提出できるよう見直しに取り組む。 事後学習（60分）事例Aのナーシングプロセス演習を復習しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
18	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習①　事例展開に必要な知識の整理 事例B	事例B：グループワーク・プレゼンテーションを通して事例患者の看護に必要となる知識を確認を確認し整理する（疾患・病態・治療）①　抗がん剤治療の副作用について 事前学習（30分）事前課題の項目に基づきプレゼンテーションの準備に取り組む。 事後学習（60分）グループワークやプレゼンテーションで学んだ内容を自身の個人ワークに追記する。	川本利恵子 他看護学科教員
19	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習②　アセスメント 事例B	事例B：アセスメント①（情報の整理と分析）　＜呼吸・循環・体温＞ 事前学習（30分）ヘンダーソンの基本的欲求にに基づき情報の整理に取り組む。 事後学習（60分）呼吸・循環・体温のアセスメントすすめておく。	川本利恵子 他看護学科教員
20	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習③　アセスメント 事例B	事例B：アセスメント②（情報の整理と分析）　＜呼吸・循環・体温＞＜栄養・代謝＞ 事前学習（30分）呼吸・循環・体温のアセスメントに取り組むく。 事後学習（60分）呼吸・循環・体温のアセスメントを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
21	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習④　アセスメント 事例B	事例B：アセスメント③（情報の整理と分析）　＜栄養・代謝＞＜排泄パターン＞ 事前学習（30分）事前課題の項目に基づきプレゼンテーションの準備をしておく。 事後学習（60分）グループワークやプレゼンテーションで学んだを内容を自身の個人ワークに追記する。	川本利恵子 他看護学科教員
22	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑤　アセスメント 事例B	事例B：アセスメント③（情報の整理と分析）　＜排泄パターン＞＜活動・睡眠＞ 事前学習（30分）栄養・代謝、排泄パターンのアセスメントに取り組む。 事後学習（60分）栄養・代謝、排泄パターンのアセスメントを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
23	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑥　関連図 事例B	事例B：看護問題の明確化①（関連図・全体像・問題リスト）　抗がん剤治療が患者にもたらす影響を検討する 事前学習（30分）今までのアセスメントから関連図・問題リストの作成に取り組む。 事後学習（60分）作成した関連図を振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
24	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑦　看護問題の抽出 事例B	事例B：看護問題の明確化①（関連図・全体像・問題リスト）　看護問題の抽出と優先順位の検討 事前学習（30分）抽出された看護問題の優先順位の検討に取り組む。 事後学習（60分）作成した関連図・問題リストを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
25	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑧　看護問題の確定 事例B	事例B：看護問題の明確化②（関連図・全体像・問題リスト）　看護問題の症状・徴候、原因・誘因・関連因子の検討 事前学習（30分）関連図、問題リストを確認し看護問題の症状・徴候、原因、誘因、関連因子が一貫しているか検討しておく。作成した関連図・問題リストを振り返り、追加・修正しておく。 事後学習（60分）作成した関連図・問題リストを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
26	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑨　全体像の把握 事例B	事例B：看護問題の明確化③（全体像の把握）全体像を把握し抗がん剤治療が患者に与える影響を理解する 事前学習（30分）関連図・問題リストを振り返り、全体像の作成に取り組む 事後学習（60分）作成した関連図・全体像・問題リストを振り返り、追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
27	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑩　看護計画の立案 事例B	事例A：患者指導に関する看護問題の看護計画立案②看護目標と期待される結果の明確化、具体的な援助計画（O-P,T-P、E-P） 事前学習（30分）看護計画の立案に取り組む。 事後学習（60分）立案した看護計画が個別性のある内容になっているか見直し修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
28	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑪　看護計画の立案 事例B	事例B：患者指導に関する看護問題の看護計画立案①看護目標と期待される結果の明確化、具体的な援助計画（O-P,T-P、E-P） 事前学習（30分）看護目標と期待される結果の検討に取り組む。 事後学習（60分）看護計画の看護目標と期待される結果を振り返り、具体的かつ評価できる表現になっているか確認し追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
29	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑫　看護計画の実施 事例B	事例B：看護計画の実施と評価①実施前の確認と判断 事前学習（30分）看護目標と期待される結果の検討に取り組む。 事後学習（60分）看護計画を振り返り、実施可能な内容になるように追加・修正しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
30	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑬　看護計画の評価・修正 事例B	事例B：看護計画の実施と評価②実施後の評価と記録 事前学習（30分）看護計画の実施のために、具体的な実施方法の検討に取り組む。 事後学習（60分）看護計画の実施・評価をSOAP記録に記載しておく。	川本利恵子 他看護学科教員
31	慢性疾患患者のナーシングプロセス演習⑭　看護計画の評価 事例B	事例Bの看護過程展開のまとめ（慢性期患者の看護展開の特徴を理解する）。 事前学習（30分）看護計画の評価を記載しておく。 事後学習（60分）記載したSOAP記録を振り返り、追加・修正に記載しておく。	川本利恵子 他看護学科教員

32	周産期にある人々の看護展開①	妊娠期を中心にウエルネスの視点に基づいた看護過程の展開 母性看護の看護過程の特徴。ウエルネス診断とは。妊娠期事例を読み情報を分類する 事前学習（60分）事例を分析・解釈するために必要な知識(妊娠中期の生理的な経過)を整理してくる。レポート課題manabaに提出 事後学習（30分）事例の情報をワークシートに追記する。	松島泰恵 他看護学科教員
33	周産期にある人々の看護展開②	妊娠期を中心にウエルネスの視点に基づいた看護過程の展開 妊娠中期の生理的な経過とアセスメントについて（書き方） 事前学習（30分）前回のレジメをよく読んで復習しておく。 事後学習（60分）授業で行ったアセスメントの書き方に沿ってアセスメントを追記する。	松島泰恵 他看護学科教員
34	周産期にある人々の看護展開③	妊娠期を中心にウエルネスの視点に基づいた看護過程の展開 妊娠中期の生理的な経過の診断・問題リストのあげ方について 事前学習（30分）妊娠中期事例の看護の方向性を考える　manaba で提出する。 事後学習（60分）妊娠中期事例の看護計画を1つmanabaで提出する。	松島泰恵 他看護学科教員
35	小児喘息事例の看護展開①	講義・演習：小児喘息事例のヘルスアセスメント（情報の分析：アセスメントシートの作成） 事前学習(30分)データベースを基に、事例の情報をアセスメントシートに整理する。 事後学習(60分)授業を振り返り、アセスメントシートを完成させる。	本間誠淳 他看護学科教員
36	小児喘息事例の看護展開②	講義・演習：小児喘息事例のヘルスアセスメント(関連図、全体像、看護問題リストの作成) 事前学習（30分）ヘルスアセスメントの内容を振り返り、病態についての関連図を事前に作成しておく。 事後学習（60分）授業を振り返り、関連図、全体像、看護問題リストを完成させる。	本間誠淳 他看護学科教員
37	小児喘息事例の看護展開③	講義・演習：小児喘息事例の看護計画の立案 事前学習（30分）看護問題リストの優先順位を決定し、授業内で看護計画を立案する看護問題を決めておく。 事後課題（60分）授業を振り返り、看護計画を完成させる。	本間誠淳 他看護学科教員
38	精神疾患をもつ患者のアセスメント	精神疾患をもつ患者の症状・兆候を理解する視点、心理を理解する視点と考え方 事前学習（30分）ナースの精神医学p37-56を読んでくる。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	陶山克洋
39	精神疾患をもつ患者のアセスメント演習	精神疾患をもつ患者の画像や動画を視聴し、症状・兆候や心理的反応をアセスメントする 事前学習（30分）ナースの精神医学p37-56を読んでくる。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など授業全体について復習し、演習課題を行う【個人課題】	陶山克洋 他看護学科教員
40	精神疾患をもつ患者の看護展開①	看護者の治療的関わりの重要性、患者-看護師関係の発展過程、自己の振り返りの意義と方法、プロセスレコードの活用方法、【ロールプレイング】および観察学習 事前学習（30分）精神看護学Ⅱ精神臨床看護学p15-22を読んでくる。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	陶山克洋 他看護学科教員
41	精神疾患をもつ患者の看護展開②	【ロールプレイング】および観察学習、プロセスレコードの記述と【振り返り】 事前学習（30分）面接技法、方法を計画してくる。 事後学習（60分）講義中に行ったロールプレイングにおけるプロセスレコードを作成し、提出する【個人課題】	陶山克洋 他看護学科教員
42	健康上の課題をもちながら在宅で生活する人々の看護展開①	【演習・グループワーク】事例(講義・演習で既出の事例）の療養者における看護過程の展開。アセスメントから情報の統合。関連図、全体像の作成をグループワークにて行う。 事前学習（30分）ICFについて復習をしてくる。 事後学習（60分）事例(講義・演習で既出の事例）の療養者の関連図、全体像を仕上げる。	塚原ゆかり 他看護学科教員
43	健康上の課題をもちながら在宅で生活する人々の看護展開②	【演習・グループワーク】事例(講義・演習で既出の事例）の療養者における看護過程の展開。アセスメントから情報の統合、看護課題の明確化、長期目標・短期目標の立案。関連図、全体像の修正と看護課題リストの作成、長期目標・短期目標の立案をグループワークにて行う。 事前学習（30分）アセスメントした看護の方向性から看護課題、長期目標、短期目標をイメージし、自身で文章化してみる。 事後学習（60分）事例(講義・演習で既出の事例）療養者の看護課題リストと長期目標・短期目標の立案を仕上げる。	塚原ゆかり 他看護学科教員
44	健康上の課題をもちながら在宅で生活する人々の看護展開③	【演習・グループワーク】事例(講義・演習で既出の事例）の療養者における看護過程の展開。訪問看護計画の立案。訪問看護計画の立案をグループワークにて行う。 事前学習（30分）アセスメントした看護の方向性から訪問看護計画をイメージし、自身で文章化してみる。 事後学習（60分）事例(講義・演習で既出の事例）の療養者の訪問看護計画を仕上げる。	塚原ゆかり 他看護学科教員
45	ナーシングプロセスⅡのまとめ 看護サマリー	ナーシングプロセスⅡのまとめ、看護サマリーの記載方法について 事前学習（30分）今まで講義・演習資料を読み返しておく。 事後学習（60分）これまでの授業を踏まえて自己の課題や疑問点を整理し、学習を深める。	川本利恵子 他看護学科教員

評価	ナーシングプロセスの事例展開 レポート80%（事例 A-30%、事例 B-50%）、その他の提出物20%
課題に対する フィードバックの方法	講義時や演習時に口頭、またはmanabaにて適宜フィードバックを実施
教科書	1. ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術（3年次の「在宅看護方法論」で使用している教科書）/臺 有桂他/メディカ出版/第2版/ISBN:978-4-8404-7544-0【第42～44回講義で利用】 2. ナースの精神医学/上島国利,渡辺雅幸,榊恵子/中外医学社/5版/ISBN:978-4-498-17502-0/2019 【第38回目講義で使用】 3. 精神看護学Ⅱ精神臨床看護学/川野雅資編集/ヌーヴェルヒロカワ/第6版 7刷/2015/ISBN:978-4-86174-065-7【第40回目講義で使用】
参考図書など	1）看護がみえるvol.4 ナーシングプロセスの展開/医学情報科学研究所編/メデックメディア/第１版/ISBN:978-4-89632-801-1 2）基礎看護技術Ⅰ/茂野かおる、他/医学書院/第１９版/ISBN:978-4-260-04992-4
アクティブ・ラーニング	本授業はディスカッション、グループワーク、シミュレーション教育を取り入れて実施する。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての実務経験を活かし実践的な講義・演習を行う。
留意事項	本科目は、ナーシングプロセスⅠとの関連が深く、また全ての看護領域における看護実践の方法論として用いられるため、事前・事後学修、資料などをよく読み学修を積み重ねて行けるように自ら取り組む姿勢を重視する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
地域・在宅看護学 Community Health and Home Care Nursing	必修	講義	1単位 (30時間)	1年後期	小林　紀明・牛田貴子	○

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 基盤科目	DP1)人間の命と個を尊重できる力 DP2)エビデンスに基づく実践力 DP3)援助的コミュニケーション力 DP4)チームで連携し協働する力 DP5)安全を保障する力 DP6)看護の発展に対応する力

授業概要	地域で生活する人々の健康の保持増進や生活の質の向上を目指して展開される地域看護について、基本的な考え方、活動の場、活動方法、看護職の役割と連携の基本について学修する。また、在宅看護の理念・目的、在宅看護の背景、変遷など在宅看護学の基本的概念や歴史について学ぶ。さらに、現行の地域・在宅看護に関わる諸制度を理解し、看護の場、活動内容、多職種、多機関との連携・協働の必要性を学習することにより、少子高齢化社会において、地域で活動する看護職に対する社会のニーズと果たす役割を理解する。
到達目標	1)人々の生活や健康と環境の関係および健康課題の変遷に応じた地域看護活動の歴史を理解できる。 2)地域看護の役割や目的、活動に必要な知識と活動方法の基本を理解できる。 3)在宅看護のこれまでの発展の経緯と、日本の社会的変化や在宅医療の現状について理解できる。 4)在宅看護活動の背景となる諸制度や法的基盤について理解できる。 5)地域包括ケアシステムと多職種・多機関連携の必要性について理解できる。 6)地域・在宅看護に求められる社会のニーズと、看護活動を担う看護専門職の役割を理解できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　(予習・復習・課題等)	担当教員
1	地域・在宅看護とは	教科書B:第1部1-01～04　生活の場での看護、地域包括ケアシステムと地域看護、地域看護の定義と概念、看護教育における位置づけ 教科書A:序章　地域・在宅での暮らし:2-1地域看護と在宅看護 事前学習(30分):現在自分が住んでる地域のホームページや広報資料(広報、地区だより、議会だより、福祉・教育関係だよりなど)を読む 事後学習(30分):レポート課題1　あなたが暮らす地域をみてみよう	牛田　貴子
2	地域看護の活動の場と看護職の役割	教科書B:第1部1-05～08　地域看護の基本的考え方、歴史、活動の場、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割　4-01対象者の生活の場としての「地域」、地区踏査 教科書A:1-3-4地域を「みる」 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題1　あなたが暮らす地域をみてみよう(続き)	牛田　貴子
3	地域と生活と健康	教科書B:第1部2-01～04健康の関連要因 教科書A:1-1地域と生活と健康　2-2地域・在宅看護の背景 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題2　あなたが暮らす地域を地域視診(地区踏査)する	牛田　貴子
4	対象理解のための基本的視点(個人、生活者)	教科書B:第1部3-01、03　地域看護の対象としての個人、対象を生活者として捉える 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題2　あなたが暮らす地域を地域視診(地区踏査)する(続き)	牛田　貴子
5	対象理解のための基本的視点(家族のとらえ方)	教科書B:第1部3-02　家族の多様性と家族のライフサイクル 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題3　事例の家族を理解する	牛田　貴子
6	対象理解のための基本的視点(家族の健康)	教科書B:第1部3-02　家族の発達と健康 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題3　事例の家族を理解する	牛田　貴子
7	生活の場である「地域」を理解するための基本的視点	教科書B:第1部4-02～04　地域の機能、包括的なケアシステムを担う地域と支える資源 教科書A:1-2地域包括ケアシステムと共生社会　地域看護方法論(2年後期)の導入 事前学習(30分):該当する教科書部分を読む。 事後学習(30分):レポート課題4　ICFモデルで事例を解釈する	牛田　貴子
8	地域・在宅看護の概念・歴史	地域・在宅看護の概念、在宅看護の歴史と訪問看護の歴史 事前学習(60分):授業シラバスを熟読し、講義全体の内容と流れを理解する。教科書A　P22～66、P68～74を読んでくる 事後学習(60分):在宅看護の役割・機能、活動の特徴についてを説明する	小林　紀明
9	在宅医療とその対象者を取り巻く社会全体の変化とその影響	在宅療養者の対象者の特徴、在宅における家族の捉え方、少子高齢多死社会と在宅看護 事前学習(60分):教科書A　P108～117を読んでくる。少子高齢多死社会の根拠について調べる 事後学習(15分):在宅看護の特徴と家族支援について多角的に説明する	小林　紀明
10	日本の医療及び在宅医療の状況	日本の医療事情、在宅医療と診療報酬 事前学習(60分):現代の医療事情(在宅医療に関連した政策や課題)について調べる 事後学習(30分):診療報酬と介護報酬の違いについて説明する	小林　紀明

11	在宅看護における法・制度～社会資源の活用・医療保険制度・介護保険制度・訪問看護制度～	社会資源、訪問看護制度、'医療保険制度、介護保険制度 事前学習（30分）：教科書A　P138～152、P180～206を読んでくる 事後学習（60分）：介護保険制度による訪問看護の流れをまとめ、訪問看護ステーションの経営と管理について説明する	小林　紀明
12	在宅ケアを支える仕組みや制度、社会資源	各種法律や制度と社会資源、ICTの活用 事前学習（20分）：教科書A　P207～226を読んでくる。在宅医療におけるICTの活用について調べる 事後学習（60分）：在宅ケアを支える仕組みや制度、社会資源について具体的に説明する	小林　紀明
13	地域包括ケアシステムと多職種連携	地域包括ケアシステムと多職種・多機関との連携、ケアマネジメント【グループワーク・ディスカッション】 事前学習（60分）：教科書A　P79～101を読んでくる 事後学習（60分）：看護職における多職種連携に必要な能力について、具体例を挙げてまとめる	小林　紀明
14	在宅療養を支える健康危機・災害対策	日常生活における安全・健康管理と災害時の健康危機管理 事前学習（30分）：教科書A　P228～241、P256～259を読んでくる。在宅看護に影響する社会情勢について調べる 事後学習（45分）：在宅看護活動の現状と課題について他者の意見を踏まえ、自分の考えをまとめる	小林　紀明
15	海外の在宅看護の動向と日本との比較、超高齢社会における地域・在宅看護の課題と対策 【総括】	日本と海外の在宅在宅サービスや制度の比較、超高齢社会における地域・在宅看護の課題と対策 事前学習（60分）：教科書A　P250～255を読んでくる 事後学習（60分）：日本と海外における在宅サービスや制度の違いについ説明する。第8回から第15回までの講義内容を復習する	小林　紀明

評価	レポート課題×4〔40%〕、筆記試験〔60%〕
課題に対する フィードバックの方法	授業内、掲示等で、全体の講評を提示する。
教科書	教科書A：臺 有桂ほか、ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア、メディカ出版、2025、ISBN：978-4-8404-8471-8【第1回～15回まで適宜使用する】 教科書B：岸恵美子ほか、看護判断のための気づきとアセスメント　地域・在宅看護、中央法規、2022、ISBN：978-4-8058-8433-1【第1回～7回まで使用する】
参考図書など	・厚生労働統計協会：国民衛生の動向、保険と年金の動向、国民の福祉と介護の動向（各最新号） ・勁草書房：二木 立（2017）地域包括ケアと福祉改革 ・押川真紀子監修、新訂版　写真でわかる　訪問看護アドバンス、インターメディカ（2020）
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション 教科書のQRコードから無料のアプリケーションをダウンロードし、講義の中で各自のスマートフォンを使って、指示された視聴覚教材にアクセスし、データを視聴する（→「メディカAR」の使い方は講義で説明する）
実務経験のある 教員による授業	該当なし。
留意事項	毎回、リアクションペーパーを提出する（目的：授業の質の向上、疑問の解消、出席の確認）。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
生涯発達看護論 Growth and Development Nursing	必修	講義	1単位 （30時間）	1年後期	川本利恵子、牛田貴子、片山典子、倉田慶子、松月みどり、山崎圭子、他教員	―

ナンバリングコード	HNSC1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 基盤科目	DP1）看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2）科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP5）幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。

授業概要	人の一生は発達のプロセスである。人は発達し続ける存在であることを踏まえて、心身の発達、人格の成熟、および発達段階における課題に関する基本的知識を修得するとともに、看護を行う上で必要となる対象とその家族の生活と健康課題について学修する。
到達目標	1）看護の対象としての人について、自己の考えを述べることできる。 2）人の成長発達と身体的･心理的･社会的特徴について説明できる。 3）ライフサイクルに基づいた人の発達段階や課題を説明できる。 4）人の成長発達の特徴と特有な健康問題と看護について説明できる。 5）人の成長発達に伴う健康レベルと健康レベルの応じた看護アプローチ方法について説明することができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	看護の対象としての人	コースガイド、看護の対象としての人、人の一生とは 事前学習：シラバスを読み科目の授業概要と到達目標を理解する（30分） 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	川本利恵子
2	成長発達の概念 一般的原則（成長発達の共通性と個別性）	人への理解（成長発達の段階と課題、身体的･精神的･社会的特徴から） 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	川本利恵子他
3	ライフサイクルと発達課題	人のライフサイクルとは、成長発達とともにあるライフサイクルの特徴 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	川本利恵子他
4	家族と発達課題	生活者としての人と家族、社会における人の営みと発達課題 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	牛田貴子
5	精神的成長と人格形成	精神的側面における成長発達と人格形成 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	片山典子
6	人の誕生と母性	リプロダクティブヘルス/ライツ、女性の健康問題、人が生まれることとは 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	山崎圭子
7	小児期にある人	小児期（乳児期、幼児期、学童期）とその成長発達の理解 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	倉田慶子
8	成人期にある人	成人期（青年期、成人期、壮年期）とその成長発達の理解 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	松月　みどり
9	成人期にある人の生活と健康	成人期にある人の生活に関連した健康問題について 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	松月　みどり
10	老年期にある人	老年期とその成長発達の理解 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	牛田貴子
11	老年期にある人の生活と健康	老年期にある人の生活に関連した健康問題について 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	牛田貴子
12	人の死	人の成長発達の終焉である死とは 事前学習：講義資料を読み自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	松月　みどり

13	人と健康、成長発達と健康問題（GW）①	青年期にある自己の発達課題を各自で振り返り、その状況について討論する 事前学習：テーマについて、自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	川本利恵子他
14	人と健康、成長発達と健康問題（GW）②	青年期にある自己の発達課題を各自で振り返り、その状況について討論する 事前学習：テーマについて、自分の言葉で説明できる準備をする(30分) 事後学習：授業内容をノートにまとめる(30分)	川本利恵子他
15	まとめ	授業のまとめ 事前学習：これまでの講義資料を振り返り、る準備をする(30分) 事後学習：講義全体を振り返り、学習成果をノートにまとめる（60分）	川本利恵子他

評価	定期試験60%、提出物40%（講義後のリフレクションペーパー、レポート等を含む）として評価する
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	看護のための人間発達学　第5版　医学書院、ISBN：978-4-260-02875-2
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	チュートリアル方式の演習であるので、少人数チーム内討論とそのプロダクトの発表が主体である
実務経験のある 教員による授業	該当なし
留意事項	本講義は、今後の成人・小児・母性・老年・精神看護学や看護学実習」の学習の基盤となるものである。学習を積み重ねられるよう、ノートの作成を推奨する。授業中の私語を慎むこと。大人の看護を行う自身が大人であるという自覚をもって、授業に臨んでいただきたい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護倫理 Nursing Ethics	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	3年前期	清水奈緒美、勝井恵子、伊藤ふみ子、岡多恵、三堀いずみ	○

ナンバリングコード	HNSB2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 基盤科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP4）チームで連携し協働する力

授業概要	看護の職業倫理を看護の実践に結びつけて学修する。看護の歴史と看護の職業倫理、人間の尊厳、人権、アドボカシー、正義の倫理、ケアの倫理など看護倫理の基本概念について学ぶとともに、看護師の倫理綱領や倫理の諸規定とその変遷、活用方法について学修し、医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察する。また遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、アクティブ・ラーニングを活用し、最良の判断を導く過程について学修する。以上の学びを通して、生涯にわたり倫理的感性を培っていく内容とする。
到達目標	1）看護倫理となる基本的知識と倫理の諸規定とその変遷を説明できる。 2）看護倫理のアプローチについて説明できる。 3）看護の職業倫理として基本概念について説明できる。 4）看護師の倫理綱領とその活用方法について説明できる。 5）医療をめぐる倫理問題で看護が負うべき責任について考察できる。 6）遭遇しやすい倫理的ジレンマの事例について、最良の判断を導く過程について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	看護倫理とは	看護倫理の基礎となる知識について学修する。 事前学習（15分）：ガイダンス資料参照 事後学習（15分）：復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する	清水奈緒美
2	看護倫理と実践・看護倫理綱領について	看護倫理と実践、看護倫理綱領について学修する。 事前学習（15分）：ガイダンス資料参照 事後学習（15分）：復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する	清水奈緒美
3	看護倫理のアプローチについて	生命倫理の原理・原則、倫理的なジレンマの解決にむけた分析・思考のプロセス等を学修する。 事前学習（15分）：ガイダンス資料参照 事後学習（15分）：復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する	清水奈緒美
4	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面①について	【体験の演習】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：ガイダンス資料参照 事後学習（15分）：復習・課題学習を行い単元目標の達成状況を確認する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ
5	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面①について））	【グループワーク】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ
6	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面①について））	【グループワーク】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ
7	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面①について）	【グループワーク】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ
8	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面①について）	【グループワーク・発表】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ
9	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面②について）	【グループワーク】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ
10	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面②について）	【グループワーク】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ
11	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面②について）	【グループワーク・発表】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ
12	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ（場面③について）	【グループワーク】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、岡多恵、三堀いずみ

13	看護実践上の倫理的概念＆倫理的課題へのアプローチ （場面③について）	【グループワーク】看護場面における倫理を事例を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、 岡多恵、 三堀いずみ
14	臨地実習における倫理	【グループワーク・発表】臨地実習における倫理を検討して理解する。 事前学習（15分）：講義資料を読み返す 事後学習（15分）：感じ考えたことを整理する	清水奈緒美、 伊藤ふみ子 岡多恵、 三堀いずみ
15	看護実践における倫理的課題と対応についてのまとめ	【グループワーク】看護倫理の授業から学んだことを言語化する。 事前学習（15分）：講義・教科書、グループワーク等から学んだことを振り返る。 事後学習（15分）：全学修内容を振り返り、到達目標の達成状況を確認する。	清水奈緒美、 岡多恵、 三堀いずみ

評価	相互評価・課題レポート
課題に対する フィードバックの方法	課題レポート後はフィードバックする。
教科書	系統看護学講座　別巻 看護倫理/宮坂道夫他/　医学書院/改訂第3版/　ISBN978-4-260-05299-3
参考図書など	①ケアの本質/ミルトン・メイヤロフ(著),田村真・向野宣之（訳）/ゆるみ出版/ISBN 978-4946509117 ②看護倫理/アン・J. デービス他/前原澄子監修/医学映像教育センター/ISBN978-4862431851 ③看護倫理学：看護実践における倫理的基盤/松木光子編集/ヌーベルヒロカワ/ISBN978-4-86174-037-4 ④臨床倫理ベーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ/石垣靖子，清水哲郎編集/日本看護協会出版会/ISBN978-4818016774
アクティブ・ラーニング	グループワーク,プレゼンテーション
実務経験のある 教員による授業	
留意事項	看護学を学ぶ上で看護倫理は大事な科目です。看護実践する上で疑問に思ったこと、考えたことをアサーティブに発言していくことが求められます。図書館にある書籍（倫理、哲学書）や配布資料を活用し事前・事後学習を十分に行い、グループワークによるディスカッションに積極的に取り組んでください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護基礎ゼミ Seminar in Based Nursing	必修	講義	1単位 （30時間）	1年前期	川本利恵子、1年チューター教員	○

ナンバリングコード	HNSO1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力
発展科目	

授業概要	大学で学ぶために必要なスタディスキル、アカデミックスキルを修得する。大学生の現状や諸問題を題材に取り上げ、求められる学士力と学習方法について検討し、今後の大学生活の見通しを立てる。
到達目標	1) 大学でのまなびに関する自分の興味や関心をもとにテーマを決める。 2)テーマに基づいて文献を調べてまとめ、発表資料（レジュメ）を作成し、発表できる。 3) 討論により多様な視点から学習を深めることができる。 4) 求められる学士力と大学で自ら学ぶ方法を実感できる。 5) 自ら学ぶ、学びあう学習方法の見通しを持つことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	4年生との共同ゼミ	大学生としての第一歩、科目の選択から履修、そして単位取得までの道のりを理解する。シラバスの見方、科目の選択など大学での学習準備を整える。 事前学習：学生便覧に目を通しておく（30分） 事後学習：共同ゼミ内容をまとめる（30分）	川本　利恵子、1年チューター
2	4年生との共同ゼミ	大学生としての第一歩、科目の選択から履修、そして単位取得までの道のりを理解する。シラバスの見方、科目の選択など大学での学習準備を整える。 事前学習：学生便覧に目を通しておく（30分） 事後学習：正しく履修登録をし前期の準備を整える（30分）	川本　利恵子、1年チューター
3	大学で看護を学ぶ（1）	本学のDP・CP・APについて理解する。 個人⇒グループで教え合う体験をする。 事前学習：本学看護学科のDP,CPを読んでおく（30分） 事後学習：（30分）	川本　利恵子、1年チューター
4	大学で看護を学ぶ（2）	本学のDP・CP・APとの関連などについて学んだ内容を踏まえ、グループで意見を交換し、さらに1年修了時になりたい自分をレポートにまとめる。 事前学習：（30分） 事後学習：本学のDP,CPから4年間の学修について考える（30分）	川本　利恵子、1年チューター
5	図書館ガイダンス	大学生として学ぶための図書館の活用方法と文献検索方法について理解する。 事前学習：テキストの1章、4章、5章、8章を読み自分の言葉で説明できる準備をする（30分） 事後学習：講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備（60分）	’図書館司書
6	図書館利用と文献活用方法の実際	図書をどう活用するか、目的別本の読み方・探し方、引用文献・参考文献の記載法/文献検索の方法 事前学習：テキストの1章、4章、5章、8章を読み自分の言葉で説明できる準備をする（30分） 事後学習：講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備（60分）	’図書館司書
7	テキスト・文献理解するとは（1）	教科書や文献の構造を把握しながら読む　個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有（担当教員毎）/発表テーマの検討 事前学習：テキストの2章、3章を読み自分の言葉で説明できる準備をする（30分） 事後学習：講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備（60分）	川本　利恵子、1年チューター
8	テキスト・文献理解するとは（2）	教科書や文献の構造を把握しながら読む　個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有（担当教員毎）/発表テーマの検討 事前学習：テキストの2章、3章を読み自分の言葉で説明できる準備をする（30分） 事後学習：講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備（60分）	川本　利恵子、1年チューター
9	人の健康を守る仕事につくために（1）	医療安全を中心に、人の命や健康を守る職業につくために必要な基礎的知識を得る 事前学習：身の回りで話題になっている医療に関連した事故に対する情報を得ておく（30分） 事後学習：講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備（60分）	川本　利恵子、1年チューター
10	人の健康を守る仕事につくために（2）	医療安全を中心に、人の命や健康を守る職業につくために必要な基礎的知識を得る 事前学習：身の回りで話題になっている医療に関連した事故に対する情報を得ておく（30分） 事後学習：講義資料と学習内容をノートにまとめる・ゼミ発表の準備（60分）	川本　利恵子、1年チューター
11	講義や説明を理解するためには（1）	聴く姿勢、ノートのとり方、レポートの書き方について学ぶ　個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有（担当教員毎）/発表テーマの検討 事前学習：なし（30分） 事後学習：なし（30分）	川本　利恵子、1年チューター

12	講義や説明を理解するためには（2）	聴く姿勢、ノートのとり方、レポートの書き方について学ぶ/個人⇒グループで教え合う体験、本日の学びの共有（担当教員毎）/発表テーマの検討 事前学習：なし（30分） 事後学習：なし（30分）	川本　利恵子、1年チューター
13	PROGテスト（1）	PROGテストを通して、自己のジェネリックスキル（どんな時も汎用的に役立つ能力・態度・志向）を理解する。 事前学習：テキスト章、学生便覧に目を通しておく（30分） 事後学習：授業内容をノートにまとめる（30分）	川本　利恵子、1年チューター'
14	PROGテスト（2）	ジェネリックスキルとは何か。PROGテストを通して、自己のジェネリックスキル（どんな時も汎用的に役立つ能力・態度・志向）を理解する。 事前学習：テキストの6章、7章を読み自分の言葉で説明できる準備をする（30分） 事後学習：講義資料と学習内容をノートにまとめる（30分）	川本　利恵子、1年チューター
15	PROGテストの講評	PROGテストの結果の見方を理解し、今後の大学生としての生活に活用する 事前学習：なし 事後学習プログテスト結果の見方を理解し、自分の強みからさらに強化する方法を考える（30分）	（株）リアセック

評価	発表内容30点、レジュメ20点、毎回の参加姿勢・ディスカッションへの貢献度50点
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	世界思想社編集部編(2024)大学生学びのハンドブック　6訂版，世界思想社　ISBN：9784790717911
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	大学での学びの興味,関心からテーマを決める。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行う。
実務経験のある	チュータ教員各位の臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	全ての科目の基となる科目です。必ず専用のノートまたはファイルを作成してください。これまでの学習方法との共通点・相違点を意識しながら、自らの成長を記録に残し、成長を実感しましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
臨床薬理看護学 Clinical Pharmacology ＆Therapeutics	必修	講義	1単位 （30時間）	2年後期	国分　秀也	○

ナンバリングコード	HNSD1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及び別途公開するオフィスアワー一覧表に掲載された時間に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力

授業概要	薬物治療を受ける人の看護について学ぶ。治療効果と生活への影響のアセスメント、有害作用の早期発見と予防、誤薬の防止、服薬や治療に関する指導・説明、薬物治療に関わる多職種との連携・協働など、臨床現場で求められる知識、技術について学修する。
到達目標	医薬品開発・臨床試験の方法について説明できる。臨床論文の批判的吟味について説明できる。医薬品の情報を取得することができる。薬の作用と薬物動態の関係を説明できる。スペシャルポピュレーションにおける薬物療法を理解し、投与量設計および薬の選択方法を説明できる。薬のリスクマネージメントについて説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	臨床薬理学の概要	臨床薬理とはなにか。 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
2	臨床研究と医薬品開発	研究デザイン、医薬品の開発、医療統計、臨床倫理。 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
3	臨床論文の批判的吟味	臨床論文を批判的に吟味し、読む。 事前学習（30分）事前に臨床論文を渡すので読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
4	医薬品情報	PMDA、PubMed、MINDsなどの情報源。 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
5	薬理作用と薬物動態の基本	薬理、薬物動態（吸収、分布、排泄、代謝） 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
6	薬物投与量設計	血中薬物濃度、TDM、投与量の設計方法 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
7	薬物間相互作用	薬物代謝酵素・トランスポーター、薬物動態的相互作用、薬力学的相互作用 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
8	薬物有害反応	用量反応性、人種差、個人差、各薬剤の特徴的な副作用 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
9	スペシャルポピュレーション（病態時など）における薬物療法	肝障害・腎障害・心不全時の薬物療法、妊婦授乳婦・小児・高齢者の薬物療法 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
10	医薬品のリスクマネジメント	リスクマネジメントの考え方と対策 事前学習（30分）PMDAホームページの医療安全情報を確認する（https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medical-safety-info/0001.html） 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
11	循環器疾患治療薬	降圧薬、心不全治療薬、血栓治療薬 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
12	代謝・内分泌疾患治療薬	糖尿病薬、脂質異常症治療薬 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也

13	抗感染症薬	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
14	抗炎症薬・鎮痛薬	NSAIDs、ステロイド、抗リウマチ薬、アセトアミノフェン、オピオイド、鎮痛補助薬 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也
15	抗悪性腫瘍薬	殺細胞性抗悪性腫瘍薬、内分泌療法薬、分子標的治療薬 事前学習（30分）教科書の該当項目を読んでくる。 事後学習（60分）スライドの内容を中心に授業全般について復習する。	国分　秀也

評価	定期試験時に筆記試験を実施して評価する。
課題に対する フィードバックの方法	小テストを実施した際には、次の講義にて解説を行う。
教科書	イラストで理解するかみくだき薬理学 改訂3版（著者:町谷安紀、南山堂、ISBN：978-4-525-14083-0）、 配布プリント
参考図書など	指定しない
アクティブ・ラーニング	講義の中で適宜グループワークやディスカッションを行う
実務経験のある 教員による授業	TDMの臨床経験を活かし、薬の選択、薬物投与量設計の実際について講義する。がん指導薬剤師の資格を生かし、がん患者の薬物療法の実際について講義する。病院薬剤師の経験を活かし、医薬品情報の取得方法、臨床試験方法、および論文の読み方について講義する。医療安全管理の経験を活かし、薬のリスクマネージメントについて講義する。
留意事項	最近の薬の進歩は目覚ましものです。薬理作用および薬物動態を把握するとともに、それぞれの関係性を理解し、個々の患者に最適な薬物療法を提供することが医療者の使命ですので、しっかり学ぶようにしてください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
リハビリテーション看護論 Rehabilitation Nursing	必修	講義	1単位 （30時間）	3年前期	渡邉眞理・内藤亜由美・伊藤ふみ子・ 佐々木千佳・清水奈緒美・三堀いずみ	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力

授業概要	リハビリテーションの理念を理解し、日本や海外におけるリハビリテーション看護について、歴史的変遷をふまえて基本的知識と技術を学修する。リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について学修する。
到達目標	1）リハビリテーションの理念を理解する。 2）日本や海外におけるリハビリテーション看護の歴史的変遷を学修する。 3）リハビリテーション看護の基本的知識と技術を学修する。 4）生活機能障害をもつ人の対象に応じた援助方法を理解できる。 5）リハビリテーションチームの特徴とチームにおける看護の役割・機能について学修する。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	リハビリテーション看護の展開に必要な概念と理論	リハビリテーションの理念 欧米と日本のリハビリテーションの歴史 、ノーマライゼーション、ADL、IADLの理解、リハビリテーション看護に活用できる理論 事前学習（30分）：リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	渡邉　眞理
2	経過別にみるリハビリテーション看護① 急性期	回復過程各期におけるリハビリテーション看護（急性期） 事前学習（30分）：リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	伊藤ふみ子
3	経過別にみるリハビリテーション看護②回復期・生活期	回復過程各期におけるリハビリテーション看護（回復期・生活期） 事前学習（30分）：リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	伊藤ふみ子
4	経過別にみるリハビリテーション看護③終末期	回復過程各期におけるリハビリテーション看護（終末期）：緩和ケアとリハビリテーション 事前学習（30分）：がん看護（医学書院）の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	三堀いずみ
5	経過別にみるリハビリテーション看護④がん	回復過程各期におけるリハビリテーション看護（終末期）：がんリハビリテーション 事前学習（30分）：がん看護（医学書院）の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	渡邉　眞理
6	生活機能障害とリハビリテーションと看護①脳卒中	運動機能障害のある人へのリハビリテーション看護（脳卒中） 事前学習（30分）：リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	三堀いずみ
7	生活機能障害とリハビリテーションと看護②高次機能障害	高次機能障害のある人の看護（アセスメントと看護の実際） 事前学習（30分）：リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	伊藤ふみ子
8	生活機能障害とリハビリテーションと看護③脊髄損傷	脊髄損傷のある人の看護（アセスメントと看護の実際） 事前学習（30分）：リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	伊藤ふみ子
9	生活機能障害とリハビリテーション看護④排泄障害の病態	ストーマリハビリテーションの看護① 排尿障害と排便障害の基本的知識 事前学習（30分）：消化器（医学書院）の該当箇所を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	内藤亜由美
10	生活機能障害とリハビリテーション看護⑤排泄障害のケア	ストーマリハビリテーションの看護②排尿障害と排便障害の基本的知識と看護の実際 事前学習（30分）：消化器（医学書院）の該当箇所を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	内藤亜由美
11	生活機能障害とリハビリテーション看護⑥嚥下障害とは	嚥下摂食障害のある人の看護①　嚥下障害のアセスメント 事前学習（30分）リハビリテーション看護改訂第3版 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	佐々木千佳
12	生活機能障害とリハビリテーション看護⑦嚥下訓練	嚥下摂食障害のある人の看護②　嚥下訓練の実際 事前学習（30分）リハビリテーション看護改訂第3版 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	佐々木千佳

13	地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護	地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護の実際 事前学習（30分）：リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	清水奈緒美
14	施設内リハビリテーションチーム医療	施設内リハビリテーションにおける多職種連携 事前学習（30分）リハビリテーション看護改訂第3版の該当部分を読む 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	内藤亜由美
15	ピアサポート	障害をもつ人々の心理的支援：ピアサポートの意義 事前学習（30分）：障害をもつ人々同士の支援であるピアサポート（患者会）にはどのようなものがあるか調べておく。 事後学習（30分）：講義資料等を復習する	内藤亜由美

評価	筆記試験70%、課題等の提出物30%
課題に対する フィードバックの方法	課題に対して、適宜フィードバックを行う
教科書	1. 看護学テキストNiCEリハビリテーション看護/酒井郁子他/南江堂/改訂第3版/ISBN:9784524246298【全講義で使用】 2. 系統看護学講座 別巻がん看護学/小松浩子他,/医学書院/第３版/ISBN:9784260042161【第4・5回講義で使用】 3. 系統看護学講座 成人看護学⑤消化器/南川雅子他/医学書院第/15版, ISBN:9784260035620【第９・10回講義で使用】
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	適宜、事例を用いて、グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	回復期リハビリテーション病棟を有する病院での臨床経験を活かして、リハビリテーション看護の基本的知識やアセスメントの方法を講義する。
留意事項	本科目は、すべての患者に必要とされるリハビリテーション看護の基本的な知識を獲得するものである。臨地実習時にも応用できるものであるため、主体的に取り組んで欲しい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
成人看護学 Introduction to Adult Nursing	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	2年前期	渡邉眞理・渡部節子・内藤亜由美	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目Ⅱ 応用科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力

授業概要	成人期にある人の身体的・心理的・社会的特徴を理解するとともに、成人期の人々に特徴的なライフスタイルや健康課題について学ぶ。そして、急性期、回復期、慢性期、終末期といった、さまざまな健康レベルおける看護に適用するための概念や理論について学修する。また、成人期における罹患率が高いがん及び感染看護の概要と必要な概念・理論を学ぶ。
到達目標	1）ライフサイクルからみた成人期にある人の状況と成人看護の概要について説明できる。 2）成人期の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題、看護について説明できる。 3）成人期にある人のさまざまな健康レベルと、健康レベルに応じた看護アプローチの基盤となる概念や理論を説明できる。 4）成人期における罹患率が高いがん及び感染に関する看護の概要と必要な概念、理論をを学ぶ。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	成人看護学の概要 成人期にある人の特徴	コースガイド、成人期のとらえ方、成人看護の概要、健康レベル 成人期にある人の理解（発達段階・課題、成人各期における身体的・心理的・社会的特徴） 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（20分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	渡部節子
2	成人保健 成人期にある人の生活と健康	成人期にある人の生活に関連した特有な健康問題、健康をおびやかす要因 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	渡部節子
3	生活と健康を守りはぐくむシステム	保健・医療・福祉システム、システムの連携 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	渡邉眞理
4	成人期の健康レベルや状態に応じた看護 ヘルスプロモーション	成人の健康レベルや状況に応じた看護、ヘルスプロモーション 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	渡部節子
5	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(健康生活の急激な破綻から回復；急性期とは）	急性期に関する理解、急性期に必要な概念と理論とは 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	内藤亜由美
6	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(健康生活の急激な破綻から回復；看護に必要な概念と理論）	必要な概念と理論（ストレス―コーピング理論、危機理論） 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	内藤亜由美
7	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(健康生活の急激な破綻から回復；看護に必要な概念と理論）	必要な概念と理論（生体侵襲理論） 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習講義資料等の復習をする。（30分）	内藤亜由美
8	成人期にある人に対する基本的看護アプローチ（障害）	回復期に関する理解、必要な概念と理論（ICF、障害受容） 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	渡部節子
9	成人期にある人に対する基本的看護アプローチ（リハビリテーション看護）	回復期に関する理解、必要な概念と理論（リハビリテーション看護） 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	渡部節子
10	慢性的な看護とは	慢性期に関する理解、必要な概念と理論（病みの軌跡、セルフケア） 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習：講義資料等の復習をする。（30分）	渡部節子
11	慢性期の人に対する基本的な看護アプローチ	慢性期に関する理解、必要な概念と理論（自己効力理論、アンドラゴジー） 事前学習::該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習:講義資料等の復習をする。（30分）	渡部節子
12	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(終末期の理解、終末期の患者の看護、倫理的問題）	終末期に関する理解、終末期の患者の看護、倫理的問題 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。（30分） 事後学習:講義資料等の復習をする。（30分）	渡邉眞理

13	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(終末期の患者・家族の全人的苦痛緩和、意思決定支援)	終末期の患者・家族の全人的苦痛の緩和、意思決定支援 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習:講義資料等の復習をする。(30分)	渡邉眞理
14	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(がん看護)	がん治療とその看護に関する理解、がん看護の特徴、緩和ケア・意思決定支援 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習:講義資料等の復習をする。(30分)	渡邉眞理
15	成人期にある人に対する基本的な看護アプローチ(感染看護)	感染看護に関する理解、必要な概念と理論（感染症と法律、 隔離、人権） 事前学習：該当する教科書の箇所を読んでくる。(30分) 事後学習:講義資料等の復習をする。(30分)	渡部節子

評価	定期試験40%、各講義でのテストや提出物60%
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	成人看護学総論　小松浩子　井上智子　麻原きよみ　他4名　医学書院　第16版　ISBN:978-4-260-04701-2
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	講義の中でグループワーク、ディスカッションを行い、主体的に学習できるように構成されている。
実務経験のある 教員による授業	成人を対象とした急性期看護、慢性期看護の豊富な経験を有する教員や、がん看護専門看護師の資格などを有する教員が各授業を担当する。
留意事項	「成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ」、さらに「急性期・慢性期看護実習」の学習の基盤となるものである。学習を積み重ねられるよう、ノートの作成を推奨する。講義毎のリフレクションペーパーの提出がない場合、出席扱いにはしない。授業中の私語を慎むこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
成人看護方法論Ⅰ Adult Nursing Methodology Ⅰ	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	2年後期	山勢善江・渡邉眞理・内藤亜由美・清水奈緒美・櫻井友子・岡多恵・坂口達哉	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力

授業概要	入院治療を必要とする成人期の患者の特徴を学び、合併症を予防し、回復を促進する援助の方法を学修する。 急性発症あるいは慢性疾患の急性増悪により集中治療管理を必要とする人や周手術期にある人の病態を学び援助に活かす。
到達目標	1）生命危機状況にある人、様々な疾患により侵襲的治療を受ける人とその家族の特徴を述べることができる 2）生命を維持し、侵襲に対する反応を最適化し、回復を促進するための援助を具体的に述べることができる 3）周手術期、救急、重症集中領域で治療を受ける人の事例に対して、看護問題を根拠に基づいて列挙することができる 4）慢性疾患の急性増悪により治療が必要となる人の事例に対して、看護問題を根拠に基づいて列挙することができる

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	科目ガイダンス 急性期とは	この科目で学ぶこと、履修のルール 急性期ケア・周術期ケア、救急看護の概念、患者やその家族の特徴、手術侵襲と生体反応 事前学習（30分）教科書1第6章を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	山勢善江
2	周手術期ケア（1）	手術前患者の看護、手術中患者の看護、手術後患者の看護、術後合併症予防 事前学習（30分）教科書9第6～9章を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	山勢善江
3	周手術期ケア（2）	手術後患者の看護、術後合併症予防 事前学習（30分）教科書9第6～10章を読む 事後学習（61分）授業まとめの課題	山勢善江
4	創傷治癒の特徴	創傷治癒を促進する看護 事前学習（30分）教科書9第1章の該当する部分を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	内藤亜由美
5	循環機能障害のある人の看護（1）	循環機能障害をきたす病態（心不全）の治療と看護 事前学習（30分）教科書3、10の該当する部分を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	坂口達哉
6	循環機能障害のある人の看護（2）	循環機能障害をきたす病態（急性冠症候群）の治療と看護 事前学習（30分）教科書3、11の該当する部分を読む 事後学習（61分）授業まとめの課題	坂口達哉
7	循環機能障害のある人の看護（3）	循環機能障害をきたす病態（弁膜症など）の治療と看護 事前学習（30分）教科書3、11の該当する部分を読む 事後学習（61分）授業まとめの課題	坂口達哉
8	呼吸機能障害のある人の看護（1）	呼吸機能障害をきたす病態（急性呼吸不全）の治療と看護 事前学習（30分）教科書2、10の該当する部分を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	清水奈緒美
9	呼吸機能障害のある人の看護（2）	呼吸機能障害をきたす病態（肺がん）の治療と看護 事前学習（30分）教科書2、12の該当する部分を読む 事後学習（62分）授業まとめの課題	清水奈緒美
10	呼吸機能障害のある人の看護（3）	呼吸機能障害をきたす病態（肺炎）の治療と看護 事前学習（30分）教科書2、12の該当する部分を読む 事後学習（62分）授業まとめの課題	清水奈緒美
11	中枢神経機能障害のある人の看護（1）	意識障害をきたす病態（AIUEOTIPS）と看護 事前学習（30分）教科書6、10の該当する部分を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	櫻井友子
12	中枢神経機能障害のある人の看護（2）	中枢神経機能障害をきたす病態（脳卒中、脊髄損傷）の治療と看護 事前学習（30分）教科書6、10の該当する部分を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	櫻井友子

13	中枢神経機能障害のある人の看護（3）	中枢神経機能障害をきたす病態（脳卒中、脊髄損傷）の治療と看護 事前学習（30分）教科書6、10の該当する部分を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	櫻井友子
14	消化・吸収機能障害のある人の看護	消化・吸収機能障害をきたす病態（胃がん）の治療と看護 事前学習（30分）教科書5、10の該当部分を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	岡多恵
15	ボディイメージの障害をきたす人の看護	乳がん、子宮がんについて、その治療と看護 事前学習（30分）教科書7、10の該当部分を読む 事後学習（60分）授業まとめの課題	渡邉眞理

評価	筆記試験80%、課題等の提出物20%
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	1. 系統看護学講座成人看護学①成人看護学総論/小松浩子他/医学書院/第16版/ISBN:9784260047012【第1回講義で使用】 2. 系統看護学講座成人看護学②呼吸器/朝倉啓介他/医学書院/第16版ISBN9784260053099【第8、9、10回講義で使用】 3. 系統看護学講座成人看護学③循環器/吉田俊子他/医学書院/第16版ISBN9784260053112【第5、6、7回講義で使用】 4. 系統看護学講座成人看護学⑤消化器/南川雅子他/医学書院/第16版ISBN:9784260035620【第14回講義で使用】 5. 系統看護学講座成人看護学⑦脳・神経/井手隆文他/医学書院/第16版ISBN:9784260035613【第11、12、13回講義で使用】 6. 系統看護学講座成人看護学⑨女性生殖器/末岡浩他/医学書院/第16版ISBN:9784260035675【第15回講義で使用】 7. 系統看護学講座成人看護学⑩運動器/田中栄他/医学書院/第16版ISBN:9784260035651【第13回講義で使用】 8. 系統看護学講座別巻臨床外科看護総論/池上徹他/医学書院/第12版ISBN:9784260049986【第2、3、4回講義で使用】 9. 系統看護学講座別巻臨床外科看護各論/北川 雄光他/医学書院/第10版ISBN:9784260049900【第5～12、15回講義で使用】 10. 系統看護学講座別巻救急看護学/山勢博彰他/医学書院/第7版ISBN:9784260032544【第13回講義で使用】
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	適宜、急性期事例を用いて、グループワークやディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	成人を対象とする急性期看護の経験を持つ教員が授業を担当する。
留意事項	1）既習科目（成人看護学）の知識を基盤にして、周術期、急性期にある成人に対する看護を学習する。 2）この科目は各実習の学習の基盤となるため、資料やノートを後に活用できるようにわかりやすく整理しておくこと。 3）毎回必要な教科書を確認して持参すること。 4）講義毎のリフレクションペーパーの提出がない場合出席扱いにはしない。 5）授業中の撮影および録音は禁止する。 6）携帯電話類は電源を切ってバッグにしまう。 7）私語は禁止。 8）ルールを守らない場合は退室を指示することがある。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
成人看護方法論Ⅱ Adult Nursing Methodology Ⅱ	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	3年前期	内藤亜由美・伊藤ふみ子・渡部節子・清水奈緒美・岡多恵・野口京子・石橋史子・倉橋悠子・三堀いずみ	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力

授業概要	慢性的・長期的に経過する健康障害を持つ人のセルフケアを促進し、その人らしい生活を維持するための支援の方法について学修する。さらに、人生の最期のときにある人とその家族に対するケア、遺族へのグリーフケアについて学修する。
到達目標	1）慢性的な経過をたどる健康障害を有する対象者の特徴、及び慢性期における看護の特徴について説明できる。 2）慢性的な経過をたどる健康障害の病態、治療過程を理解し、アセスメントの視点について説明できる。 3）慢性的な経過をたどる健康障害の病態や治療が、対象者の生活に与える影響について説明できる。 4）慢性的な経過をたどる健康障害を有する対象者への看護援助について説明できる。 5）慢性的な経過をたどる健康障害を有する対象者のセルフケア能力を高め支える支援方法が説明できる。 6）エンドオブライフケアおよび緩和ケアの概念について説明できる。 7）人生の最期のときにある人及び家族の特徴を全人的に理解し、QOLの維持・向上を目指す支援について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	慢性期看護の概要	科目ガイダンス後に慢性期疾患および慢性期にある成人とその家族の看護について、ピア・インストラクションなどに取り組みながら学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	内藤　亜由美
2	呼吸器機能障害のある人の看護	慢性期閉塞性肺疾患(COPD)の病態・症状・治療、それらが対象者の生活に与える影響、生活調整・生活の再構築へ向けたアセスメントの視点、看護援助を学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	石橋　史子
3	循環機能障害のある人の看護	心不全患者の病態・治療、それらが生活に与える影響とセルフ・マネージメントに向けたアセスメントの視点と看護援助を学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	伊藤　ふみ子
4	内分泌機能障害のある人の看護①　主な内分泌疾患の理解、糖尿病の病態、治療、セルフマネジメント	主な内分泌疾患・糖尿病（1型糖尿病・2型糖尿病）の病態・治療の理解、糖尿病が生活に与える影響とセルフ・マネージメントに向けたアセスメントの視点と看護援助を学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	伊藤　ふみ子
5	内分泌機能障害のある人の看護②　生活調整と生活の再構築	糖尿病の病態、治療が生活に与える影響と生活調整・生活の再構築に向けた支援について、ピア・インストラクションを行いながら学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	伊藤　ふみ子
6	栄養代謝機能障害のある人の看護	肝炎および肝硬変の病態・治療・患者の看護について、ピア・インストラクションなどに取り組みながら学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	内藤　亜由美
7	身体防御機能障害のある人の看護	感染症に罹患している患者の特徴と看護－結核・HIV/AIDSを中心に学修する。 事前学習（30分）教科書9の該当箇所を読む 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	渡部　節子
8	内部環境調節機能障害のある人の看護①　腎炎・慢性腎不全・慢性腎臓病	腎炎・慢性腎不全・慢性腎臓病の病態・治療、それらが生活に与える影響、生活調整、生活の再構築のアセスメントの視点、看護援助を学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	倉橋　悠子
9	内部環境調節機能障害のある人の看護②　透析療法	透析療法を受ける患者のセルフケアに向けた看護援助を学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	倉橋　悠子
10	脳・神経機能障害のある人の看護	脳卒中の病態・症状、それらが生活に与える影響と生活の再調整のためのアセスメントの視点と看護援助を学修する。 事前学習（30分）教科書8の該当箇所を読む 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	野口 京子
11	身体防御機能・運動障害のある人の看護	全身性エリテマトーデス（SLE）や関節リウマチの病態・治療、それらが生活に与える影響、生活調整、生活の再構築のアセスメントの視点、セルフケアに向けた看護援助を学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	石橋　史子

12	消化器系機能障害のある人の看護	慢性便秘症、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）の病態、治療、看護について、ピア・インストラクションなどに取り組みながら学修する。 事前学習（30分）教科書5の該当箇所を読む 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	内藤　亜由美
13	外来でがん治療を必要とする人の看護（外来化学療法）	外来におけるがん治療患者の理解と継続治療と生活調整に向けた看護、抗がん薬曝露対策の実際について学修する。 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リアクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	清水　奈緒美
14	人生の最期のときにある人および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護①生命を脅かす疾患	生命を脅かす疾患を抱える患者の苦痛と緩和ケアの理解 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	岡　多恵
15	人生の最期のときにある人および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護②エンド・オブ・ライフケア	エンド・オブ・ライフケア 事前学習（30分）教科書の該当箇所および既習科目の関連講義資料を読む。 事後学習（60分）リフレクションペーパーの提出と小テストへの回答。教科書・講義資料を読む。	三堀　いずみ

評価	各講義での小テスト45%、定期試験55%。
課題に対する フィードバックの方法	復習テストの回答は、次回講義時に正解を配布する。
教科書	【第1回】系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学[1]成人看護学総論/ 小松浩子他/ 医学書院/第16版/ISBN9784260047012 【第2回】系統看護学講座専門分野成人看護学[2]呼吸器/ 川村雅文他/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053099 【第3回】系統看護学講座専門分野成人看護学[3]循環器/ 吉田俊子他/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053112 【第4回】系統看護学講座専門分野成人看護学[6]内分泌・代謝/ 吉岡成人/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053105 【第5回】系統看護学講座専門分野成人看護学[6]内分泌・代謝/ 吉岡成人/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053105 【第6回】系統看護学講座専門分野成人看護学[5]消化器/ 南川雅子/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053006 【第7回】系統看護学講座専門分野成人看護学[11]アレルギー膠原病感染症/ 岩田健太郎/医学書院/ 第15版/ ISBN9784260038584 【第8回】系統看護学講座専門分野成人看護学[8]腎・泌尿器/ 大東貴志/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053143 【第9回】系統看護学講座専門分野成人看護学[8]腎・泌尿器/ 大東貴志/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053143 【第10回】系統看護学講座専門分野成人看護学[7]脳・神経/井出隆文 /医学書院/ 第15版/ ISBN9784260035613 【第11回】系統看護学講座専門分野成人看護学[10]運動器/ 田中栄/医学書院/ 第15版/ ISBN9784260035651 系統看護学講座専門分野成人看護学[11]アレルギー膠原病感染症/ 岩田健太郎/医学書院/ 第15版/ ISBN9784260038584 【第12回】系統看護学講座専門分野成人看護学[5]消化器/ 南川雅子/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053006 【第13回】系統看護学講座専門分野成人看護学[4]血液・造血器/ 飯野京子/医学書院/ 第16版/ ISBN9784260053068 【第14回】系統看護学講座別巻がん看護学/ 小松浩子/医学書院/ 第3版/ ISBN9784260042161 【第15回】系統看護学講座別巻がん看護学/ 小松浩子/医学書院/ 第3版/ ISBN9784260042161
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	・ 全回を通して、manabaでのリフレクションペーパーの作成と復習テストを実施することにより、学修内容の理解を深めるように構成されている。 ・ 適宜、ピア・インストラクションによる学生相互の学修を図り、空欄を作った資料配布し解答を考える虫食い問題に取り組むことで学修の動機付けと学生自身の理解度の確認ができるように構成されている。
実務経験のある 教員による授業	成人を対象とする慢性期看護の経験を持つ教員が授業を担当する。
留意事項	・ 講義には各回が指定する教科書を持参すること。 ・ 各回で学修予定の疾患について、既習科目（特に病態学Ⅰ～Ⅲ）の教科書・講義資料を必ず復習して講義に臨むこと。 ・ 本科目は、慢性期看護実習の学修の基盤となるものである。学修を積み重ねられるよう、ノートの作成を推奨する。 ・ 講義後のmanabaへのリフレクションペーパーの提出がない場合、出席扱いにはしない。 ・ 授業中の私語を慎むこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
老年看護学 Gerontological Nursing	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	2年前期	ラウ優紀子　佐々木千佳	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力

授業概要	老いを生きる人々の理解、高齢者の生活と健康を支援する看護の基本的な考え方と関連する知識を学修する。予防からエンドオブライフケアまでの健康レベルの連続と、病院、施設、居宅等の生活の場の移行の中で展開される地域包括ケア時代の老年看護学について概要を理解する。
到達目標	1）加齢変化とそれに影響されつつ培われてきた生活と健康について説明できる 2）超高齢社会の現状と保健医療福祉の動向と課題を説明できる 3）高齢者の権利擁護や主たる理論について検討し、高齢者看護のあり方について考察できる 4）高齢者の生活する場に応じたケアと多職種連携、看護の専門性について意見を述べられる

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	老年期を生きる人の理解① 高齢者を取り巻く社会と健康	ガイダンス、老化とは、老化と寿命、統計的輪郭、高齢社会における保健医療福祉の動向 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）関連文献の検索とまとめ	ラウ優紀子
2	老年期を生きる人の理解② 老いの体験と社会 老年期における健康の考え方	老化に関する基本学説・諸理論、高齢社会が目指す社会、老いの体験と適応 健康の概念、高齢者の健やかな生活 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子
3	老年期を生きる人の理解③ 老年看護学と看護実践	老年看護学の定義・理念、高齢者の権利擁護、老年看護の役割 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	佐々木千佳
4	高齢者ケアシステム① 医療保険制度他	高齢者の医療保険制度、公的年金制度、生活保護制度、成年後見制度 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子
5	高齢者ケアシステム② 介護保険制度	介護保険制度の仕組み、介護予防と生活支援サービスについて 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子
6	高齢者のヘルスアセスメント① ヘルスアセスメントの基本	ヘルスアセスメントの枠組み、生活機能のアセスメント、高齢者総合機能評価 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子
7	高齢者のヘルスアセスメント② 身体の加齢変化とアセスメント	フィジカルアセスメント、バイタルサイン測定・身体測定、栄養評価 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子
8	高齢者のヘルスアセスメント③ 治療を必要とする高齢者の看護	高齢者が受けることの多い検査、検査を受ける高齢者への援助 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子
9	老年症候群① 老年症候群の特徴 急性疾患に付随する症候	老年症候群の特徴、急性疾患に付随する症候、ADL低下に合併する症候 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	佐々木千佳

10	老年症候群② 慢性疾患に付随する症候	慢性疾患に付随する症候、フレイル・サルコペニア　リハビリテーション看護 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	佐々木千佳
11	高齢者の生活機能を整える看護① 活動と休息	日常生活を支える基本的活動（転倒）、生活リズム（睡眠）睡眠時無呼吸症候群 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	佐々木千佳
12	高齢者の生活機能を整える看護②　コミュニケーション	加齢に伴う感覚器系の変化、高齢者とのコミュニケーションとかかわり方、高齢者の社会参加 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	佐々木千佳
13	高齢者の生活機能を整える看護③ 食事	高齢者における食生活の意義、高齢者に特徴的な変調（吸収・代謝機能の老化、脱水・低栄養）食生活のアセスメントと支援 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子
14	高齢者の生活機能を整える看護④排泄	加齢に伴う排泄機能の変化、排泄ケア 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	佐々木千佳
15	高齢者の生活機能を整える看護⑤ 清潔 セクシュアリティ まとめ	清潔に関する健康課題と援助 高齢者におけるセクシュアリティと看護　　全体のまとめ 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）授業内容を振り返り、テキスト、資料、ノート等を用いて復習する。	ラウ優紀子

評価	定期試験60%　小テスト15%　提出物20%　提出物や講義への取り組み姿勢5%
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で伝える。
教科書	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ　老年看護学/北川公子他/医学書院/第10版/ISBN: 978-4-260-05689-2 ②系統看護学講座　専門分野　老年看護　病態・疾病論/鳥羽研二他/医学書院　第6版/ISBN:978-4-260-05683-0 すべての講義で①②使用する
参考図書など	生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図/山田律子他/医学書院　第4版/ISBN: 9784260042741
アクティブ・ラーニング	既習科目の知識を確認するような働きかけを行い、能動的な学修者の参加を促す。必要時、教室内でのグループ・ディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての臨床経験を活かして、概念的な内容を実践と結びつけながら講義を行う。
留意事項	異なる意見を大切にし、主体的に学ぼうとする姿勢が問われます。自分自身の身近なところから、高齢者を理解していきます。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
老年看護方法論 Nursing care for the elderly	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	2年後期	ラウ優紀子　佐々木千佳　松永雄至	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	加齢変化や高齢者に特徴的な健康障害を意識した看護方法について学ぶ。高齢者の日常を理解するとともに、その人らしい生活の継続・健康の保持増進を可能とするケア、生活を豊かにするケアについて生活行動モデルを用いて理解を深め、高齢者の看護方法について学修する。
到達目標	1)高齢者の健康アセスメントの枠組み、心身の加齢変化と生活への影響が理解できる。 2)高齢者に特徴的な健康障害と看護援助の方法が理解できる。 3)認知症高齢者の特徴を理解し、適切な援助方法が理解できる。 4)人生の最終段階における高齢者への尊厳ある生を支える援助が理解できる。 5)加齢変化や高齢者の特徴に基づいた「生活機能」における高齢者のもてる力に着眼した看護の実際が理解できる 6)老化や障害、慢性疾患に起因する生活行動上の困難によって療養生活を余儀なくされる高齢者の援助について理解できる。 7)持てる力に着眼した6つの生活行動と、その背後にある病態との関連を分析し、高齢者の特徴に合わせた看護過程の展開方法が理解できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	コースオリエンテーション	コースオリエンテーション、老年看護学復習 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	ラウ優紀子
2	健康逸脱からの回復を促す看護 ①	症候のアセスメントと看護　発熱　痛み　痒み　皮膚掻痒症 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	佐々木千佳
3	健康逸脱からの回復を促す看護②	身体疾患のある高齢者の看護①　脳卒中　パーキンソン病 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）課題レポート①	佐々木千佳
4	健康逸脱からの回復を促す看護③	身体疾患のある高齢者の看護②　慢性閉塞性肺疾患　肺炎　間質性肺炎 事前学習（30分）教科書①の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）課題レポート②	松永雄至
5	健康逸脱からの回復を促す看護④	身体疾患のある高齢者の看護③ 骨粗しょう症　大腿骨頸部骨折　変形性膝関節症　腰部脊柱管狭窄症 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）課題レポート③	ラウ優紀子
6	健康逸脱からの回復を促す看護⑤	身体疾患のある高齢者の看護④　緑内障　白内障　加齢黄斑変性　難聴 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	佐々木千佳
7	健康逸脱からの回復を促す看護⑥	身体疾患のある高齢者の看護⑤　帯状疱疹　白癬　疥癬　ノロウイルス 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	ラウ優紀子
8	健康逸脱からの回復を促す看護⑦	身体疾患のある高齢者の看護⑥　うつ・せん妄　（認知症） 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）課題レポート④	佐々木千佳
9	健康逸脱からの回復を促す看護⑧	身体疾患のある高齢者の看護⑦　認知症 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	佐々木千佳
10	治療を必要とする高齢者の看護①	薬物療法を受ける高齢者の看護 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	ラウ優紀子

11	治療を必要とする高齢者の看護②	手術を受ける高齢者の看護　入院治療を受ける高齢者の看護 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	ラウ優紀子
12	治療を必要とする高齢者の看護③	外来通院時の高齢者の看護　慢性腎不全　透析療法を受ける高齢者の看護 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	佐々木千佳
13	高齢者のリスクマネジメント	高齢者と医療安全、高齢者と救命救急　、高齢者と災害 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	佐々木千佳
14	生活・療養の場における看護	老年期のヘルスプロモーション　居住施設の看護 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	ラウ優紀子
15	エンドオブライフケア・緩和ケア	「生ききる」ことを支えるケア　意思決定支援 事前学習（30分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する 事後学習（30分）学習ポイントの整理	ラウ優紀子

評価	定期試験80%　小テスト15%　レポート・講義への取り組み姿勢5%
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で伝える。
教科書	①系統看護学講座 専門分野Ⅱ　老年看護学/北川公子他/医学書院/第10版/ISBN: 978-4-260-05689-2 ②系統看護学講座　専門分野　老年看護　病態・疾病論/鳥羽研二他/医学書院　第6版/ISBN:978-4-260-05683-0 すべての講義で①②使用する
参考図書など	必要に応じて提示する
アクティブ・ラーニング	既習科目の知識を確認するような働きかけを行い、能動的な学修者の参加を促す。必要時、教室内でのグループ・ディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	看護師としての臨床経験を活かして、概念的な内容を実践と結びつけながら講義を行う。
留意事項	本科目は、実習の実践時に必要な基本的な知識と技術を獲得するものであるため、主体的に取り組んで欲しい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
小児看護学 Introduction to Pediatric Nursing	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	2年後期	倉田慶子、石川眞里子、本間誠淳	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	子どもは新生児期から青年期まで成長発達とともに大きく変化する存在である。小児看護学では、子どもの各期の成長発達の特徴、また子どもを育てる家族の特徴、子どもとその家族を取り巻く社会環境について学修する。小児医療の現状と課題を理解し、子どもと家族への看護について考察する力を養う。さらに、病気や障害のある子どもと家族の特徴、子どもの状況に応じた看護、子どものヘルスアセスメントの方法について学修する。
到達目標	1）子どもの成長・発育を形態機能の変化と生活行動の獲得・自立状況、家族・環境との相互作用の枠組みを用いてヘルスアセスメントができるようになるために、各形態機能の変化について説明できる。 2）子どもの発達段階に応じた生活行動・習慣の獲得状況および健康を害する要因と予防策を理解し、健康維持・向上・増進の具体策を考えることができる。 3）小児看護における家族機能や役割について理解し、子どもの健康管理を維持・継続するための知識習得ができるようになるための健康教育や生活支援について説明できる。 4）病気や障害のある子どもと家族の特徴、子どもの状況に応じた看護役割・対象の特徴・看護の方法を説明できる。 5）子どものヘルスアセスメントに必要な技術、身体的アセスメントの方法を説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	小児看護の特徴と理念	ガイダンス、小児看護の目標、諸統計、小児看護における倫理、小児看護の課題 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)学習した内容をノートに整理する。	倉田、石川
2	子どもの成長・発達①	成長・発達とは、成長発達の一般的原則、成長・発達に影響する因子、成長の評価、発達の評価 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)学習した内容をノートに整理する。	倉田、石川
3	子どもの成長・発達② 新生児期	形態的特徴、身体生理の特徴、各機能の発達、新生児の養育・看護、育児支援 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)学習した内容をノートに整理する。	倉田、石川
4	子どもの成長・発達③ 乳児期	形態的特徴、身体生理の特徴、各機能の発達、乳児の養育・看護、育児支援 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)学習した内容をノートに整理する。	倉田、石川
5	子どもの成長・発達④ 幼児期	形態的特徴、身体生理の特徴、各機能の発達、幼児の養育・看護、育児支援・学校生活への適応 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	倉田、石川
6	子どもの成長・発達⑤ 学童期	形態的特徴、身体生理の特徴、各機能の発達、学童の養育・看護、育児支援・学校生活への適応 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	倉田、石川
7	子どもの成長・発達⑥ 思春期・青年期	形態的特徴、身体生理の特徴、知的・情緒(心理)的・社会的機能の発達、生活の特徴、健康問題、思春期・青年期の看護、家族支援・関連機関との連携 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	倉田、石川
8	家族の特徴とアセスメント	家族とは、現代社会の家族の特徴、家族アセスメントの目的と意味、多様な家族の理解 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	倉田、石川
9	子どもと家族を取り巻く社会、 社会保障	児童福祉、母子保健、医療費の支援、予防接種、学校保健、食育、特別支援教育 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	倉田、石川
10	病気・障害のある 子どもと家族の看護	病気・障害が子どもと家族に与える影響、健康問題のある子どもと家族の看護 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習：(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	倉田、石川
11	子どもの状況に 特徴づけられる看護① 入院中の子どもと家族の看護	入院環境と家族の役割、入院中の子どもと家族の特徴と看護 事前学習：(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。	倉田、石川

	入院中の子どもと家族の看護	事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	
12	子どもの状況に 特徴づけられる看護② 外来における子どもと家族の看護	子どもを対象とする外来の特徴と看護の役割、外来を受診する子どもと家族の特徴と看護 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	本間
13	子どもの状況に 特徴づけられる看護③ 在宅療養中の子どもと 家族の看護	在宅療養の環境と看護の役割、在宅療養中の子どもと家族の特徴と看護 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	倉田
14	子どもの状況に 特徴づけられる看護④ 災害時の子どもと家族の看護	被災地の環境と看護の役割、被災時の子どもと家族の特徴と看護 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)学習した内容をノートに整理する。	倉田、石川
15	子どものヘルスアセスメント	ヘルスアセスメントに必要な技術、身体的アセスメント 事前学習:(30分)授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習:(30分)グループ学習した内容を発表資料に整理する。	本間

評価	定期試験70%　授業内課題20%　学習態度10%
課題に対する フィードバックの方法	最終回にフィードバックする
教科書	1) 小児看護学概論小児臨床看護総論/奈良間美保他/医学書院/ 第15版/2025/ISBN:978-4-260-05686-1/【全日程で利用】 2) 小児臨床看護各論/奈良間美保他/医学書院/第15版/2025/ISBN:978-4-260-05685-4【第11～13回で利用】
参考図書など	1) 家族看護学 臨床場面と実践例から考える/山崎あけみ、原礼子編集/南江堂/改訂第3版/2022/ISBN:978-4-524-22929-1 2) 根拠と事故防止からみた小児看護技術/浅野みどり編集/医学書院/第3版/2020/ISBN:978-4-260-04325-0 3) 病気が見えるVol.15小児科/医療情報科学研究所/メディックメディア; 第1版/2022/ISBN-13:978-4-89632-878-3
アクティブ・ラーニング	学習課題について随時アクティブラーニングを実施する。
実務経験のある 教員による授業	小児専門病院看護師あるいは自治体保健師の臨床・母子保健行政の経験を活かして、小児看護学臨床および小児保健における基本的な知識と看護について指導する。
留意事項	事前、事後学習は自主的に行い意見交換できるようにする。講義で配付された資料は毎回持参する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
小児看護方法論 Pediatric Nursing Methodology	必修	演習	1単位 （30時間）	3年前期	倉田慶子，石川眞里子，本間誠淳	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目Ⅱ 専門看護学	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	既習の小児看護学の知識及び技術を基盤として、子どもとその家族の健康と課題を総合的に理解し、小児看護実践および小児保健に必要な基礎的知識・技術・態度について学修する。 具体的には、子どものフィジカルアセスメントを学び、急性期の疾患の子どもの事例を基に看護過程を展開し、子どもとその家族への適切な援助を導き出す方法(看護過程)を学修する。 また、様々な形で医療を受ける子どもとその家族への援助として必要な小児看護技術を演習し、具体的なケア方法について学修する。 医療的ケア児を含めた様々な健康レベルの子どもと家族が疾病の予防・健康増進し健やかな発達が促進できるよう、小児保健と健康教育について学修する。
到達目標	1）情報収集および観察したことを統合的にアセスメントし、関連図から子どもと家族の看護問題を導き、適切なケアの計画を立案することができる。 2）子どもの健康状態の観察やV.Sの意義を理解し、発達に応じた小児の看護技術を計画し、実践できるようになるために演習をすることができる。 3）健康障害により心身の状態が変化する子どもとその家族の状況を理解し、情報収集を追加しケア方法を修正し、ケアの評価を行うことができる。 4）外来などにおいて健康問題を持ちながら地域で暮らす子どもとその家族の状況を理解し、感染予防や事故防止などの健康教育、健康増進の方法など必要な看護について考えることができる。 5）医療的ケア児に対する支援体制を学修し、レスパイトケアを受ける子ども・家族への看護について小児看護の役割について考察することができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	本講義の学習計画に関するガイダンス 子どもと家族を取り巻く社会①	講義：ガイダンス・ 母子保健・食育・予防接種・事故防止と安全教育・保健教育（近視や齲歯の予防） 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	倉田
2	子どもと家族を取り巻く社会②	講義：児童福祉・医療費の支援 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	倉田
3	子どもと家族を取り巻く社会③	講義：保育園・幼稚園・学校保健・特別支援教育・いじめ・自殺の防止 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	倉田
4	先天異常・新生児期に発症する 子どもの疾患と家族の看護	講義：ハイリスク新生児の特徴・集中治療における援助・親子家族関係確立への援助 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	倉田
5	重症心身障害児と家族への看護 ・ 在宅療養中の 子どもと家族の看護	講義： 重症心身障害児と家族への看護・地域における療養生活と看護・多職種連携 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	倉田
6	入院・外来における 子どもと家族の看護	講義：子どもの病気や診療・入院に伴うきょうだい・家族のストレス 外来における緊急度の把握・トリアージ・受診時の子どもと家族の緊張と不安の軽減 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	本間
7	検査・処置を必要とする 子どもと家族への看護 （プレパレーション）	講義：病気に対する子どもの理解の特徴・発達に応じた病気の説明・プレパレーション子どもへの説明と同意（インフォームド・アセント） 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	本間
8	周手術期にある子どもの看護	講義：子どもの手術の特徴・子どもの安全・安楽への援助・退院に向けての援助 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	本間
9	子どもの フィジカルアセスメントの方法	講義・演習： 身長・体重・頭囲・胸囲の測定・1か月健診 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	倉田、石川、本間
10	急性期症状のある 子どもと家族の看護 ・ 呼吸器疾患のある 子どもと家族の看護	講義：急性的な経過をたどる疾患の特徴と治療（発熱・脱水・下痢・嘔吐・呼吸困難・けいれん） 気管支喘息・治療 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	倉田

11	与薬の援助	講義・演習：与薬援助についての講義および講義室内において、小児への与薬の援助を実施する （スポイト、シリンジ、スプーン等で与薬を体験する） 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	倉田、石川、本間
12	看護過程① 看護過程とは 事例の提示	講義・演習：看護過程の展開方法について学ぶ(小児患者の看護過程の特徴についての講義、事例紹介) 事前学習：(30分)事前に提示された小児喘息事例について、熟読する。 事後学習：(60分)教科書や授業資料を振り返り、喘息の病態をデータベースに整理しておく。	倉田、石川、本間
13	小児喘息事例の看護展開① 情報の整理	講義・演習：小児喘息事例のヘルスアセスメント(情報の整理：データベースの作成) 事前学習：(60分)小児の成育歴・健康管理状況、日常生活の自立と習慣について調べる。 事後学習：(60分)事例を熟読し、データベースを完成させる。	倉田、石川、本間
14	災害を受けた 子どもと家族の看護 ・ 虐待を受けている 子どもと家族の看護	講義：災害による子どもへの影響とストレス・災害を受けた子どもと家族への援助 子どもへの虐待の特徴・虐待の未然防止に向けての支援 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	本間
15	エンド・オブ・ライフにある 子どもの看護	講義：子どもの死の理解・死に対する子どもの反応・子どもの死を看取る家族の反応 事前学習：(30分)授業内容の関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習：(60分)本日の講義内容を復習する。	石川、本間

評価	定期試験60%、講義外課題40%
課題に対する フィードバックの方法	複数教員による直接指導
教科書	1）小児看護学概論小児臨床看護総論/奈良間美保他/医学書院/ 第14版/2020/ISBN:978-4260038607 2）小児臨床看護各論/奈良間美保他/医学書院/第15版/2025/ISBN：978-4-260-05685-4 3）根拠と事故防止からみた小児看護技術/浅野みどり他/第3版/2020/ISBN:978-4260043250 各教科書を利用する講義は初回講義で説明する。
参考図書など	1. 発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程看護過程/茎津智子編集/医歯薬出版/第2版/2021/ISBN:978-4-263-23755-7 2. 発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図/浅野みどり他編集/医学書院/第3版/2018/ISBN: 978-4-260-02837-0 3. 写真でわかる小児看護技術アドバンス/山元恵子監修、佐々木祥子編著/インターメディカ/2017/ISBN:978-4-89996-344-8 4. 子どもの訴えを見極める　ナースのための小児フィジカルアセスメント/伊原 崇晃（編）/ 金芳堂/2022/ISBN: 9784765319287
アクティブ・ラーニング	学内演習・グループワークにて展開する。看護過程を通じて、事例の健康問題を明らかにし、どのような看護が必要であるかをグループメンバーと共に検討し、具体的レベルの看護計画を発表する。クラスメートの発表を聞き、自己の課題を明らかにする。
実務経験のある 教員による授業	小児看護の専門職として臨床経験を活かし、小児看護学臨床における基本的な知識と看護について指導する。 また、近年の少子化に伴う小児保健の課題について考え、考察できるよう導く。
留意事項	自主性をもって参加するとともに、クラスメートとの意見交換を密に行うこと。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
母性看護学 Maternity & Child Nursing	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	2年後期	山﨑　圭子　望月　千夏子　松島　泰恵　日下　桃子	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	女性の生涯を通じた母性の健康の保持・増進、及び次世代の健全育成を支援するため、母性看護の対象を理解する。 また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状、母子の健康に関する国際比較や法制度、女性のライフサイクルや健康問題などを学び、母性看護の役割や課題について考察する。
到達目標	1）母性看護の対象、母性看護の目的、母性看護に関連する概念や理論について説明できる。 2）思春期、成熟期、更年期、老年期の女性の健康問題と看護について説明できる。 3）母性を取り巻く現状と課題について説明できる。 4）母子保健統計の動向や母子保健にかかわる主要な法律について説明できる。 5）妊娠のメカニズム、妊娠による母体の変化、胎児の成長発達について説明できる。 6)妊娠・分娩・産褥期の母子の健康状態を促進するための看護支援について説明できる。 7）新生児の生理的変化を理解し、胎外生活への適応を促進するケアについて説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	母性看護の概念	日本の人口動態、ガイダンス、母性とは、母性看護の目的、母性看護の対象、SRH/R 事前学習（30分）：教科書　第1～2章を読み～：母性看護学概論の第1章を読み、予習する。 事後学習（30分）：課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する。	山﨑　圭子
2	女性の生涯における健康問題と看護	女性のライフステージ各期の主な健康問題と看護 事前学習（30分）：3日分の食事内容を記録し、エネルギー量、タンパク質量を計算して持参する。授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習（30分）：課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する	山﨑　圭子
3	母性看護における主要な理論と概念	母性論、親子の結びつき理論、親子相互作用モデル、その他母性看護学の主要概念 事前学習：(30分)：授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習（30分）：課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する	山﨑　圭子
4	母子と家族の発達	家族機能とは、母子関係における家族の変化、家族の発達と課題 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習（30分）：課題をmanabaに提出する。授業内容を復習する	山﨑　圭子
5	日本の出産の課題と看護	日本の妊娠・出産・育児を取り巻く現状、周産期医療体制、生殖補助医療、出生前診断、周産期のメンタルヘルス 事前学習（30分）：授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する 事後学習（30分）：授業内容を復習する	山﨑　圭子
6	母子保健にかかわる法律と母子保健施策	母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、女性の就労に関する法律他、母子保健統計、母子保健施策 事前学習（30分）：日本の人口動態を調べる。授業内容に関する教科書の該当箇所を予習する。 事後学習（30分）：授業内容を復習する	山﨑　圭子
7	妊娠期にある母子の生理	妊娠の定義および母体の変化、胎児の成長発達と胎児付属物の理解、妊婦健康診査について 正常な妊娠期の身体的変化・心理的変化と社会的変化 母性看護学②　第1章　妊娠期における看護 事前学習(30分)：事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習	松島　泰恵
8	妊娠期にある母子の生理 妊娠期の異常	正常な妊娠期の身体的変化に伴うマイナートラブル、心理社会的変化。ハイリスク妊娠、妊娠の異常について 母性看護学②　第1章　妊娠期における看護　6章　妊娠の異常 事前学習(30分)：事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習	松島　泰恵

9	分娩期にある母子の生理	分娩期のメカニズム・正常な分娩経過について 母性看護学② 第2章：分娩期における看護 事前学習(30分)：事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習	望月 千夏子
10	分娩期の看護、分娩期の異常	産痛の機序と産痛緩和・胎児心拍モニタリング・分娩の評価・円滑な分娩進行のケア 母性看護学② 第2章：分娩期における看護 第6編分娩期の異常 事前学習(30分)：事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習	望月 千夏子
11	産褥期にある母体の生理	正常な産褥の経過、産褥期の全身状態と退行性変化 母性看護学② 第3章 産褥期における看護 事前学習(30分)：事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習を行う。	日下 桃子
12	褥婦と家族の心理・社会的変化	産褥期の進行性変化、褥婦の心理的変化、家族の心理的変化、社会的支援 母性看護学② 第3章 産褥期における看護 事前学習(30分)：事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習を行う。	日下 桃子
13	産褥期における母子の異常と看護	正常な産褥の経過と産褥期の異常について 母性看護学② 第3章 産褥期の経過と第6編周産期における母子の異常 事前学習(30分)：事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習を行う。	日下 桃子
14	新生児の生理的変化	新生児の定義と特徴、子宮外環境への適応について 事前学習(30分)：事前テストを行い、教科書を読んで解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習を行う。	松島 泰恵
15	新生児の特徴と生理的変化	新生児の生理的変化（神経系、運動器系、感覚器系、循環器系、呼吸器系、消化器系他 事前学習(30分)：事前テストを実施し、教科書で調べ解説を作成する。 事後学習(30分)：授業内容の復習。	松島 泰恵

評価	定期試験70%、事前テトへの参加20%、リアクションペーパー10%
課題に対する フィードバックの方法	個人課題、試験の講評はweb上またはmanabaにて通達する。
教科書	1. 新体系 看護学全書 母性看護学①母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護, 第7版/2022年メデカルフレンド社, ISBN：978-4-8392-3403-4【第1-6回講義で利用】 2. 新体系 看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護第7版, 2022年, メデカルフレンド社, ISBN：978-4-8392-3404-1【第7-15回講義で利用】 3. 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 第3版 2022 メデカルフレンド社, ISBN：978-4839216931【第7-15回講義で利用】
参考図書など	1. ナーシンググラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版 2. ナーシンググラフィカ 母性看護学②母性看護の実践 メディカ出版 3. 病気が見えるVol.10、産科、メディックメディア 4. マタニティ診断ガイドブック 医学書院 5. マタニティアセスメントガイド 新訂第5版 真興交易（株）医書出版部 6. ウエルネスからみた母性看護過程 第2版 医学書院
アクティブ・ラーニング	事前テストによる反転学習
実務経験のある 教員による授業	アドバンス助産師・助産師として多くの臨床経験を持つ教員が臨床経験を活かして、女性のライフサイクル各期における看護について講義する。
留意事項	特になし

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
母性看護方法論 Maternity Care and Nursing	必修	講義	1単位 (30時間)	3年前期	望月　千夏子　山﨑　圭子　松島　泰恵　日下　桃子	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	周産期の母子とそのパートナーを中心とした家族の健康に焦点を当て、対象の生理的変化と特徴、適応過程を全人的に理解する。それを基に正常な経過を助長するための看護援助と正常を逸脱しないための予防的な関わり、母親役割獲得及び家族の発達を促す看護について学修する。
到達目標	1）母性看護学の基本概念を理解しアセスメントの視点を説明できる。 2）妊娠期の特徴と生活上の影響について説明できる。 3）分娩期の特徴と基本的な看護について説明できる。 4）産褥期の特徴と心理・社会面を踏まえた看護について説明できる。 5）新生児の特徴と基本的な看護について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習（予習・復習・課題等）	担当教員
1	母性看護学の基本概念に基づいたアセスメントと看護の考え方	家族中心の看護・意思決定の支援・セルフケアの援助・ケアリング・エンパワーメントの考えに基づいたアセスメントと看護の視点 事前学習(60分)「母性看護学①母性看護学概論/ウイメンズヘルスと看護の該当部分を読む 事後学習(30分)授業内容の復習をする	望月　千夏子
2	妊娠初期・中期のアセスメントと看護	妊娠の成立、検査、妊婦及び胎児のヘルスアセスメント、妊娠初期・中期の日常生活への支援 事前学習(60分)「看護実践のための根拠がわかる母性看護技術第3版の該当部分」を読む 事後学習(30分)授業内容を復習する	松島　泰恵
3	妊娠期末期のアセスメントと看護	胎児の健康状態の評価、妊婦のマイナートラブル、出産準備教育 事前学習(60分)「看護実践のための根拠がわかる母性看護技術第3版の該当部分」を読む 事後学習(30分)授業内容の復習する	松島　泰恵
4	分娩第1期のアセスメントと看護	分娩とは、分娩3要素、分娩経過中の母児のアセスメントと看護の実際 事前学習(60分)「看護実践のための根拠がわかる母性看護技術第3版の該当部分」を読む 事後学習(30分)授業内容を復習する	望月　千夏子
5	分娩第2期～第4期のアセスメントと看護	分娩第2期の正常な経過と異常 事前学習(60分)「看護実践のための根拠がわかる母性看護技術第3版の該当部分」を読む 事後学習(30分)授業内容を復習する	望月　千夏子
6	入院期間中の産褥のアセスメント	退行性変化、進行性変化、心理的・社会的変化 事前学習(60分)「看護実践のための根拠がわかる母性看護技術第3版の該当部分」を読む 事後学習(30分)授業内容を復習する	望月　千夏子 松島　泰恵
7	入院期間中の産褥の看護	子宮復古、乳房、直接授乳の観察技術 事前学習(60分)これまでの授業資料を読む 事後学習(30分)授業内容を復習する	望月　千夏子 松島　泰恵
8	退院から出産後1か月まで、社会復帰を予定している褥婦のアセスメントと看護	乳房トラブル、産後のメンタルヘルスの不調への支援 事前学習(60分)「看護実践のための根拠がわかる母性看護技術第3版の該当部分」を読む 事後学習(30分)授業内容を復習する	望月　千夏子
9	産褥期の看護：事例展開① グループワーク　【演習】	事例を通して産褥期の情報を整理し、アセスメントする 事前学習(60分)これまでの授業資料、事例を読んでくる 事後学習(30分)産褥期のアセスメントを完成させmanabaに提出する	望月　千夏子 山﨑　圭子 松島　泰恵 日下　桃子
10	産褥期の看護：事例展開② グループワーク　【演習】	事例と通して産褥期のアセスメントに基づき健康問題・看護計画を立案する 事前学習（60分）授業資料、事例を読んでくる 事後学習(30分)産褥期の健康問題・看護計画を完成させてmanabaに提出する	望月　千夏子 山﨑　圭子 松島　泰恵 日下　桃子
11	新生児の生理的変化/異常・必要な処置や検査	全身状態の観察（生理的体重減少・新生児黄疸等）、新生児期に必要な検査 事前学習(60分)「看護実践のための根拠がわかる母性看護技術第3版の該当部分」を読む 事後学習(30分) 授業内容を復習する	日下　桃子
12	新生児のバイタルサインと全身状態の観察	バイタルサインの測定、全身状態の観察 事前学習(30分)これまでの授業資料を復習する 事後学習(60分)授業内容を復習する	望月　千夏子 日下　桃子

13	新生児期の看護：事例展開① グループワーク　【演習】	事例を通して新生児期の情報を整理し、アセスメントする 事前学習(30分)これまでの授業資料、事例を読んでくる 事後学習(60分)新生児期のアセスメントを完成させてmanabaに提出する	望月　千夏子 山﨑　圭子 松島　泰恵 日下　桃子
14	新生児期の看護：事例展開② グループワーク　【演習】	事例を通して新生児期のアセスメントに基づき健康問題・看護計画を立案する 事前学習(30分)これまでの授業資料、事例を読んでくる 事後学習(60分)新生児期の健康問題・看護計画を完成させてmanbaに提出する	望月　千夏子 山﨑　圭子 松島　泰恵 日下　桃子
15	産褥期・新生児期：事例展開 発表会	他のグループの発表を参考にして看護過程に反映させる 事前学習(30分)看護過程の展開で疑問点を振り返る 事後学習(60分)看護過程の展開から学修したことを振り返り学習の追加内容を整理する	望月　千夏子 山﨑　圭子 松島　泰恵 日下　桃子

評価	定期試験70%、課題 30%
課題に対する フィードバックの方法	複数教員による直接・manabaによる指導
教科書	1. 新体系 看護学全書 母性看護学①母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護/第7版/2022年/メデカルフレンド社/ISBN：978-4-8392-3403-4【第1回講義で使用】 2. 新体系 看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護/第7版/2022年/メデカルフレンド社/ISBN：978-4-8392-3404-1【第2回～15回講義で使用】 3. 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術　第3版/2022/メデカルフレンド社/ISBN：978-4839216931【第2回～15回講義で使用】 ※今まで購入済の教科書を使用する。
参考図書など	1. ナーシンググラフィカ　母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護/メディカ出版/ISBN:978-4840481601 2. ナーシンググラフィカ　母性看護学②母性看護の実践/メディカ出版/ISBN:978-4840481618 3. 病気が見えるVol.10、産科/メディックメディア/ISBN:978-4896327137 4. マタニティ診断ガイドブック/医学書院/ISBN:978-4260013298 5. マタニティアセスメントガイド　新訂第5版/真興交易（株）医書出版部/ISBN:978-4895925754 6. ウエルネスからみた母性看護過程　第4版/医学書院/ISBN:978-4260047869
アクティブ・ラーニング	基礎知識を看護過程に活かすために事例を用いて健康問題を明らかにし、どのような看護が必要であるかについてグループメンバーと共に検討し、看護計画を発表する。他のグループ発表を聞き、自己の課題を明らかにする。
実務経験のある 教員による授業	周産期分野の専門職として看護実践経験を活かし、母性看護を実践するために必要となる知識と看護を導く。
留意事項	母性看護学方法論で学習する内容は「病態学Ⅴ（母子）」、「母性看護学」、「ナーシングプロセスⅡ」と関連しています。必ず事前学修をして授業に臨んでください。 また、「ウイメンズヘルス実習」の看護場面で必要となる内容なので、必ず事後学修をしてください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
精神看護学 Psychiatric and Mental Health Nursing	必修	講義 演習	1単位 （30時間）	2年後期	片山　典子、陶山　克洋、小野寺　悠斗、渡部李菜	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について学修する。また精神看護学の対象や精神看護を実践する上で基盤となる人間関係論、セルフケア論、ストレングスモデルなどの理論・モデル、精神看護における倫理的諸問題と法的根拠、精神看護の活動の場や専門性について学修する。さらには地域精神保健活動の国内外の動向について概観し、日本の精神保健活動の課題について探究する。
到達目標	1）精神の健康について説明することができる。 2）精神力動的な考え方や精神の発達論、精神機能について説明することができる。 3）精神看護学の対象や精神看護を実践する上で基盤となる理論やモデルについて説明できる。 4）危機およびストレスと対処行動が説明できる。 5）精神看護における倫理的諸問題と法的根拠について説明できる。 6）さまざまな場と現代社会が精神保健上に及ぼす影響について説明できる。 7）地域精神保健活動の意義と課題について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	精神看護学の考え方と精神の健康	精神看護学の考え方、精神看護の対象、バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、精神保健の概念、予防精神医学、心の健康の概念、精神医療の概況、地域精神保健福祉活動の意義、地域精神福祉活動の諸外国の動向、精神保健福祉の課題 事前学習（30分）：教科書①（p6-16、p241-247）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山　典子
2	心の機能と発達	フロイトの精神力動論と精神情緒の発達論、エリクソンの発達論、自我同一性、自我の機能、集団力動論 事前学習（30分）：教科書①（p17-47）、教科書③（p9-13）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	陶山　克洋
3	脳の仕組みと精神機能	脳の部位と精神機能、神経伝達物質と精神機能、ストレス脆弱性仮説、脳と免疫機能、睡眠障害とサーカディアンリズム 事前学習（30分）：教科書②（p62-65、p74-81）を読み、重要部分にマーカーする 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	陶山　克洋
4	医療の場におけるメンタルヘルス	リエゾン精神看護とは、リエゾン精神看護専門看護師の活動と役割、身体疾患をもつ人の心の健康、病気と心理的社会的反応、コンサルテーション事例の特徴 事前学習（30分）：教科書①（p60-130）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山　典子 渡部　李菜
5	精神を病む人の理解と精神看護に用いる理論	精神障害者の理解、患者ー看護師関係論、セルフケア理論 【エクササイズ】幻聴エクササイズを行い、幻聴を体感し幻聴のある人を理解する。 事前学習（30分）：教科書①（p70-75）、教科書②（p10-14、23-43）、教科書③（p20-21、102-104、142-145）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山　典子
6	生きる力と強さに着目した理論・モデル	レジリエンス、ストレングスモデル、リカバリーモデル、エンパワメント概念 【エクササイズ】ストレングスシートを活用し相手のストレングスを理解する。 事前学習（30分）：教科書②（p54-60）、教科書③（p15-17）を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山　典子
7	危機とメンタルヘルス	危機の概念（定義・タイプ・危機の特徴・危機に対する反応）、危機介入、予防、ストレスと対処、ストレスと適応、災害時の精神保健医療活動・DPAT、災害時の精神障害者への治療継続 事前学習（30分）：教科書①（p48-57、187-197）、教科書③（p10-14、26）を読み、重要部分にマーカーする。メンタルヘルスに影響を及ぼす災害現象に着目した資料を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する【事前個人課題レポート①】 事後学習（60分）：配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	陶山　克洋

8	人権と倫理	精神科看護実践における倫理的諸問題と法的根拠、精神科看護倫理綱領、意思決定支援、精神看護とリスクマネージメント 事前学習(30分):教科書①(p218、226-233、248-254、316-317)、精神看護学Ⅱ(p184-202)、教科書③(p110-113、p126-129)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山　典子
9	精神の健康とトラウマインフォームドケア(TIC)	トラウマの概念、逆境体験性の健康に関連する状態、TICの3つのE、TICの4つの仮定、TICの6つの原理 【グループワーク】グループワークを通して事例について3つのEを特定する。 事前学習(30分):トラウマまたはトラウマインフォームドに着目した資料を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する【事前個人課題レポート②】。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山　典子
10	社会とメンタルヘルス① 【introduction】	精神医学的問題と社会要因、さまざまな社会病理現象、家族・家庭、学校、職場、地域におけるメンタルヘルス 【グループワーク】社会のメンタルヘルス上の課題に注目し、グループワークを行う。 事前学習(30分):メンタルヘルスに影響を及ぼす社会病理現象に着目した資料を準備する。manabaの機能を使って指示された提出日に提出する【事前個人課題レポート③】。 事後学習(60分):グループワークを各自で進める。	片山　典子 陶山　克洋 小野寺　悠斗
11	精神領域における家族支援	家族支援の意義、教育的介入、患者家族関係、家族の心の健康 事前学習(30分):教科書①(p120-125、142-150)、教科書③(p123-124)を読んでくる。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	小野寺　悠斗
12	社会とメンタルヘルス② 【group work】	精神医学的問題と社会要因、さまざまな社会病理現象、家族・家庭、学校、職場、地域におけるメンタルヘルス 【グループワーク】社会のメンタルヘルス上の課題に注目し、グループワークを行う。 事前学習(30分):事前に配布された発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習(60分):グループ発表、配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	片山　典子 陶山　克洋 小野寺　悠斗
13	精神科訪問看護	地域生活支援と精神科訪問看護の現況, 在宅精神障害者・児と家族の特性ならびに健康課題の特徴、在宅ケア・看護実践の特質、アセスメントの要素 事前学習(30分):教科書①(p167-172、178-186)、教科書③(p139-141)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	小野寺　悠斗
14	精神保健医療福祉におけるチーム医療と多職種連携	多職種専門家によるチーム医療、当事者・家族を中心とした多職種協同・地域連携、多職種との調整・連携における看護の役割、シェアード・デシジョンメイキング 事前学習(30分):教科書①(p256-263)、教科書③(p114-115)を読み、重要部分にマーカーする。 事後学習(60分):配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山　典子
15	社会とメンタルヘルス③ 【presentation】	精神医学的問題と社会要因、さまざまな社会病理現象、家族・家庭、学校、職場、地域におけるメンタルヘルス 【プレゼンテーション】グループワークを行った社会のメンタルヘルス上の課題についてプレゼンテーションを行う。 事前学習(30分):事前に配布された発表資料を熟読し、疑問点を明確にする。 事後学習(60分):グループ発表、配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習する。	片山　典子 陶山　克洋 小野寺　悠斗

評価	定期試験65%(小テスト含む)、個人課題レポート30%、グループ課題5%で評価します。
課題に対する フィードバックの方法	個人課題、試験の講評はweb上またはmanabaにて公開する。なお、個人課題の不足が多い学生にはmanaba等を使用し、補講を行い不足部分を中心に補完する。
教科書	①精神看護学Ⅰ精神保健学／吉松和哉、小泉典章、川野雅資編集／ヌーヴェルヒロカワ／第6版 7刷／ISBN:978-4-86174-064-0 【第1-2、4-5、7-8、11、13-14回目で利用】 ②精神看護学Ⅱ精神臨床看護学／川野雅資編集／ヌーヴェルヒロカワ／第6版 7刷／ISBN:978-4-86174-065-7 【第3、5-6、8-9回目で利用】 ③精神看護ぜんぶガイド／片山典子編／照林社／第1版／ISBN:978-4-7965-2603-6【第2、5-9、11、13-14回目で利用】 ④ナースの精神医学/上島国利,渡辺雅幸,榊恵子編/中外医学社/5版/ISBN:978-4-498-17502-0 【第3、7回目で利用】
参考図書など	①現代臨床精神医学／大熊輝雄／「現代臨床精神医学」第12版改訂委員会編集／金原出版／第12版／ISBN:978-4-307-15067-5 ②DSM-5-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル／American Psychiatric Association／日本精神神経学会監修／医学書院／ISBN:978-4-260-05218-4 ③精神保健医療福祉白書2018/2019　多様性と包括性の構築／精神保健医療福祉白書編集委員会編集／中央法規／SBN:978-4-8058-5724-3 その他は適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	第5回の講義:【エクササイズ】幻聴エクササイズを行い、幻聴を体感し幻聴のある人を理解する。 第6回の講義:【エクササイズ】ストレングスシートを活用し相手のストレングスを検討する。 第9回の講義:【グループワーク】グループワークを通して事例について3つのEを検討する。 第10・12・15回の講義:【グループワーク】社会のメンタルヘルス上の課題に注目し、グループワークを行い、グループ毎に【プレゼンテーション】を行う。
実務経験のある 教員による授業	精神科看護師としての看護実践経験を活かし、精神看護学の対象や基本となる概念、精神看護を実践する上で基盤となる知識を教授する。
留意事項	精神看護学で学習する内容は、「病態学Ⅳ(精神)」「精神看護方法論」「慢性期看護実習」での学習に関連する。必ず事前学習・事後学習を行って積極的に授業に臨んで下さい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
精神看護方法論 Psychiatric nursing methodology	必修	演習	1単位 （30時間）	3年前期	陶山克洋　片山典子　小野寺悠斗　渡部李菜	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション能力 DP5）安全を保障する力

授業概要	精神看護学での学びを基に、精神障害がある人とその家族を理解し、状態の安定維持に向けた看護援助の方法について学修する。具体的には、様々な精神障害にある人の看護および主な精神症状に対する看護について学ぶ。また精神障害のある人の社会復帰に向けた援助と社会適応やリカバリーをめざして生活を維持していくための支援方法について学修する。さらに活用できる諸制度、マンパワー、チーム医療等の社会資源の活用方法についても学修する。
到達目標	1）精神に障害をもつ人の病気の特徴および生活上の影響を説明できる。 2）精神に障害をもつ人の治療法と基本的な看護方法を説明できる。 3）精神に障害をもつ人のアセスメントの視点を説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	幻覚・妄想のある患者の看護（1） －統合失調症、統合失調症型障害の急性期－	病期の種類、幻覚の定義と種類、急性期にみられる生活上の影響、生理学モデルによる治療とその影響、興奮・攻撃行動、自殺企図、自傷行為を引き起こす心理・社会的問題、アセスメントの視点 【映像教育】映像による幻聴・妄想による影響を体験する。 事前学習（30分）教科書①（p138-142・224-231）、教科書②（p80-91）、教科書③（p55-60）を読んでくる。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山典子 渡部李菜
2	幻覚・妄想のある患者の看護（2） －統合失調症、統合失調症型障害の回復期～慢性期－	回復期～慢性期にみられる生活上の影響、心理社会的援助の視点とその方法（教育的アプローチ、社会支援）、退院支援、アセスメントの視点 【映像教育】映像により、実際に臨床で実施されている教育的アプローチ、実際に地域で取り組まれているデイケアや就労支援について学ぶ。 事前学習（30分）教科書①（p207-222）、教科書③（p62-63）を読んでくる。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	陶山克洋
3	気分＜感情＞障害、睡眠障害のある患者の看護	うつ状態・躁状態による生活への影響、不眠の影響、生理学モデルによる治療とその影響、心理社会的援助の視点と方法、アセスメントの視点 事前学習（30分）教科書①（p143-146）、教科書②（p92-100）、教科書③（p64-71）を読んでくる。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	陶山克洋
4	統合失調症患者の 看護過程の展開（情報収集）	前半：精神障害者の情報収集の方法 後半：事例の情報をもとに、患者像についての【グループディスカッション】 事前学習（30分）教科書①（p44-48）を読んでくる。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し看護過程の展開（情報収集）に取り組む。	陶山 克洋 ・他担当教員
5	社会復帰に向けた援助	退院支援のプロセス、社会復帰に向けたチーム医療、就労支援、活用できる社会資源 事前学習（60分）日本における障害者の就労支援状況について調べ、資料を持参する【事前個人課題1】 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山 典子
6	依存状態の患者の看護	依存の種類および考え方、依存の程度、生活への影響、家族の特徴と支援、活用できる社会資源、アセスメントの視点 事前学習（30分）教科書①（p274-282）、教科書②（p128-136）、教科書③（p87-94）を読んでくる。 事後学習（60分）配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	片山典子 渡部李菜
7	統合失調症患者の 看護過程の展開（アセスメント）	前半：精神障害者の看護診断の方法（NANDA-Iの活用方法）、精神障害者の看護目標（期待される結果）と計画立案の方法 後半：個人で行った事例のアセスメントをもとに【グループディスカッション】 事前学習（30分）教科書①（p48-50）を読んでくるとともにグループワークを各自進める。 事後学習（60分）グループワークを進め、アセスメントおよび目標設定と援助計画の立案を行う。	陶山 克洋 ・他担当教員
8	リカバリー・ストレングスモデル ストレングスモデルの概念、リカバリーモデルによる援助技法-WRAPの概念	リカバリー・ストレングスモデルの概念間の関連、ストレングスモデルの目的、原則、ストレングスアセスメント、個別計画、※講義、事例の情報をもとにグループディスカッション 事前学習（60分）精神看護学で学修したストレングスモデル、リカバリーモデル、エンパワメント概念のプリント、該当テキストを復習する。 事後学習（60分）指示された提出日時にグループ資料を提出する【グループ課題1】	渡部 李菜 ・他担当教員

9	統合失調症患者の 看護過程の展開(アセスメント・看護計画立案)	個人で行った事例のアセスメントや目標設定のをもとに【グループディスカッション】とグループワーク・個人ワーク 事前学習(30分)教科書①(p50-53)を読んでくるとともにグループワークを各自進める。 事後学習(60分)グループワークを進め、グループの看護過程を完成させる。	陶山 克洋 ・他担当教員
10	統合失調症患者の 看護過程の展開(看護計画立案)	個人で行った事例の目標設定と援助計画の立案をもとに【グループディスカッション】とグループワーク・個人ワーク 事前学習(30分)教科書①(p50-53)を読んでくるとともにグループワークを各自進める。 事後学習(60分)グループワークを進め、個人の看護過程を完成させる。	陶山 克洋 ・他担当教員
11	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害、器質性精神障害のある患者の看護	神経性障害の種類と特徴、不安障害・身体表現性障害の生理学モデルによる治療とその影響、アセスメントの視点 事前学習(30分)教科書①(p146-154・157-160・303-307・318-324)、教科書②(p101-119)教科書③(p75-83)を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	小野寺悠斗
12	パーソナリティ障害、小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害のある患者の看護	パーソナリティ障害、小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害の種類と特徴、併存症も含めた支援のあり方、活用できる社会資源、アセスメントの視点 事前学習(30分)教科書①(p157-169)、教科書②(p155-171)、教科書③(p84-86)を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	陶山克洋
13	認知症における精神症状とその看護	認知症の症状、原因となる疾患、アセスメントの視点 事前学習(30分)教科書①(p283-288)、教科書②(p143-149)、教科書③(p95-100)を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し【小テスト】に取り組む。manabaの機能を使い、指示された提出日に提出する。	小野寺悠斗 ・他担当教員
14	認知症看護の演習	【体験学習】認知症模擬患者を用いた演習、認知症患者の看護についてのグループディスカッション 事前学習(30分)病態学Ⅳ、精神看護学の関連の講義内容について再度見直す。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など授業全体を復習し、【個人課題2】を期日までに提出する。	小野寺悠斗 ・他担当教員
15	看護が用いる治療技術 ーSSTの理論ー	SSTの理論背景、SSTの種類、留意事項 事前学習(30分)教科書①(p111-117)、教科書③(p45-46)を読んでくる。 事後学習(60分)配布資料や教科書の内容など、授業全体について復習をする。	陶山克洋 ・他担当教員

評価	試験(小テストを含む)50%、事前個人課題10%、個人課題10%、演習課題20%、グループワークおよびグループ課題10%を総合して評価します。
課題に対する フィードバックの方法	講義内に行う小テストは、講義開始時に講評する。 試験の講評はweb上または掲示して公開する。また、試験の講評に関して希望がある場合は、個別にも対応する。
教科書	①精神看護学Ⅱ精神臨床看護学/川野雅資編集/ヌーヴェルヒロカワ/第6版 7刷/2015/ISBN:978-4-86174-065-7【全ての講義で利用】 ②ナースの精神医学/上島国利,渡辺雅幸,榊恵子/中外医学社/5版/2019/ISBN:978-4-498-17502-0【第1-3、6、8-10、12-15回目で利用】 ③精神看護ぜんぶガイド／片山典子編／照林社／第1版／2024／ISBN:978-4-7965-2603-6【第1-3、6、8-10、12-15回目で利用】 ④NANDA-I看護診断 定義と分類 2024-2026/T. ヘザー・ハードマン, 上鶴重美, カミラ・タカオ・ロペス編集/医学書院/原書第13版/2025/ISBN:978-4-260-05712-7【教員; 陶山の担当講義: 第7, 11回で利用】
参考図書など	精神看護学Ⅰ精神保健学／吉松和哉、小泉典章、川野雅資編集／ヌーヴェルヒロカワ／第6版 7刷／ISBN:978-4-86174-064-0 ストレングスモデル　リカバリー志向の精神保健福祉サービス／チャールズ・A・ラップ, リチャード・J・ゴスチャ、田中英樹監訳／金剛出版／第3版／2014／ISBN:978-4-7724-1346-6 リカバリー　希望をもたらすエンパワーメントモデル／カタナ・ブラウン編集、坂本 明子監訳／金剛出版／2012／ISBN:978-4-7724-1255-1） リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術／萱間真美／医学書院／2016／ISBN:978-4-260-02798-4 看護実践のための根拠がわかる　精神看護技術／山本勝則、藤井博英、守村洋編著／メヂカルフレンド社／第2版／2015／ISBN:978-4-8392-1587-3 オレムのセルフケアモデル　事例を用いた看護過程の展開／宇佐美しおり、鈴木啓子／ヌーヴェルヒロカワ／第2版／2003／ISBN:978-4-902085-57-0 基本から学ぶSST　精神の病から回復を支援する／前田ケイ／星和書店／2013／ISBN:978-4-7911-0849-7 WRAP®を始める!　精神科看護師とのWRAP®入門【WRAP(元気回復行動プラン)編】／増川ねてる、藤田茂治／精神看護出版／2018／ISBN:978-4-86294-060-5 精神症状のアセスメントとケアプラン　32の症状とエビデンス集／川野雅資編著／メヂカルフレンド社／2012／ISBN:978-4-8392-1470-8 その他は適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	1,2回目の講義【映像教育】:幻聴・妄想の患者の看護において、映像を通じて幻聴・妄想の症状の体験や、実際の臨床での支援や治療技術の展開を視聴する。 4、7、11、12回目の講義【グループディスカッション】:精神に障害をもつものの事例をもとに看護計画を立案する中で、グループで最適な看護を提供するためのディスカッションを行う。 14回目の講義【体験学習】:実際の患者(認知症患者)に対しての看護をグループで考え、ディスカッション等を行い看護実践を体験する。
実務経験のある 教員による授業	精神科看護師としての看護実践経験を活かし、精神看護を実践する上で必要な知識と介入方法を教授する。
留意事項	精神看護方法論で学修する内容は、「病態学Ⅳ(精神)」「精神看護学」「ナーシングプロセスⅡ」での学修内容と関連します。また慢性期看護実習(精神看護プログラム)の看護場面に活用できる内容なので、必ず事前学修を行い積極的に授業に臨んで下さい。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
在宅看護方法論 Home Care Nursing Methodology	必修	講義 演習	1単位 （30時間）	3年前期	東村志保・塚原ゆかり・高橋美保・小林紀明	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力

授業概要	訪問看護活動に必要な在宅看護や在宅医療技術について、最新の知識と方法を学び、実践力を養う。また、在宅療養者の生活の実際を知り、個別性及び多様性の高い療養者、家族介護者、その他の家族等の状況を考慮した訪問看護支援の構築について考えることができる。
到達目標	1) 在宅療養者の自立支援に対する考え方とそれに応じた療養環境の調整、必要となる対象者との人間関係構築のためのスキルについて説明することができる。 2) 個々の在宅療養者の病状と生活の安定を図るために、適切かつ具体的な日常生活援助技術について理解できる。 3) 医療依存度の高い在宅療養者に対する医療・看護の意義と方法について理解できる。 4) 様々な発達段階における在宅療養者の特徴的な疾患、及び、療養者とその家族介護者等の状況に応じた在宅看護の方法について理解できる。 5) 在宅療養生活における感染予防について、必要と具体的な方法について理解できる。 6) 在宅療養生活におけるエンド・オブ・ライフの考え方と倫理的側面、及び、必要な看護について理解できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	オリエンテーション、在宅看護の対象と訪問看護の特徴	【オリエンテーション】シラバス概観、講義や演習における注意事項等 【講義】ヘルスケアシステムにおける在宅看護の位置付け、在宅療養者の特徴と多様性、訪問看護師の役割機能と援助技術（訪問の準備とマナー、プライバシーの保護と守秘義務、コミュニケーション技術、ヘルスアセスメント、日常生活援助と自立支援、家族支援、在宅における医行為、チーム医療と多職種連携）、災害対策 事前学習（40分）テキスト（p.17-53, p.105-108, p.187-202）を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習（30分）事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。	東村志保
2	在宅における日常生活援助と自立支援（知識編）	【講義】在宅における日常生活援助ーアセスメント・援助の実際と留意点、①栄養（口腔ケア、嚥下機能評価、嚥下調整食、食事介助）、②排泄（排泄状況に関する情報の収集、排便コントロール、失禁ケア用品の種類と選択、緩下剤の与薬・浣腸・摘便、自己導尿、膀胱留置カテーテル）、③清潔（入浴/シャワー介助、全身清拭、洗髪、陰部洗浄）、④ネイル（爪）ケア、⑤移動（転倒の予防、スライディングシート・スライディングボード・リフトによる車椅子移乗）、⑥睡眠 事前学習（40分）テキスト（p.69-92, p.96-104, p.67, p.137-141, p.162-164）を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習（30分）事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。	東村志保
3	在宅における医療ケア（知識編、その1）	【講義】在宅看護における各種医療ケアの目的・対象となる在宅療養者の特徴・アセスメント・援助の実際と留意点・緊急時の対処ー①在宅酸素療法、②非侵襲的陽圧換気療法、③在宅人工呼吸療法、④排痰法・喀痰吸引（口腔、気管切開チューブ）、⑤在宅経腸栄養法（胃瘻） 事前学習（40分）テキスト（p.93-96, p.117-137, p.145-150）を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習（30分）事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。	東村志保
4	在宅における医療ケア（知識編、その2）	【講義】在宅看護における各種医療ケアの目的・対象となる在宅療養者の特徴・アセスメント・援助の実際と留意点・緊急時の対処ー⑥内服薬・外用薬の与薬と管理、⑦インスリン自己注射と血糖測定、⑧在宅輸液療法（皮下注射・中心静脈栄養）、⑨透析療法（血液透析、腹膜透析）、⑩在宅がん看護（抗がん剤治療、疼痛コントロール） 事前学習（40分）テキスト（p.108-117, p.150-155, p.165-185）を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習（30分）事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。	東村志保
5	在宅における日常生活援助と自立支援（技術編、その1） ※グループ別で対応	【演習】在宅療養環境における使用物品や援助の工夫ー①清潔の技術（陰部洗浄、洗髪、シャワー浴／入浴介助）、②移動の技術（リフト、スライディングシート、スライディングボード）、③排泄の技術（尿器、便器、自己導尿、浣腸、摘便、トイレ誘導） 事前学習（60分）テキストの関連部分（p.17-53, p. 69-92, p.137-141）を復習し、教員から提示された資料とあわせて、各援助技術の重要事項と疑問点を把握する。 事後学習（30分）事前学習と演習の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシートを完成し提出する。	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明
6	在宅における日常生活援助と自立支援（技術編、その2） ※グループ別で対応	【演習】在宅療養環境における使用物品や援助の工夫ー①清潔の技術（陰部洗浄、洗髪、シャワー浴／入浴介助）、②移動の技術（リフト、スライディングシート、スライディングボード）、③排泄の技術（尿器、便器、自己導尿、浣腸、摘便、トイレ誘導） 事前学習（60分）テキストの関連部分（p.17-53, p. 69-92, p.137-141）を復習し、教員から提示された資料とあわせて、各援助技術の重要事項と疑問点を把握する。 事後学習（30分）事前学習と演習の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシートを完成し提出する。	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明

7	在宅における医療ケア（技術編、その1）	【演習】担当する事例について、グループ内でロールプレイングを実施し、個別的なケアを実施するための情報収集を行い、実施する援助技術の必要物品、手順、留意点およびその根拠（a）、ケアの組み立てとその根拠（b）を考え、ワークシートを作成する。 ＜事例＞①慢性閉塞性肺疾患の療養者（在宅酸素療法、呼吸リハビリテーション、外来受診の準備、入浴介助、栄養指導）、②喉頭がん術後で腎不全の療養者（気管切開部の管理と気管内吸引、口腔ケア、呼吸リハビリテーション、入浴介助、胃瘻の管理と経管栄養、シャント管理） 事前学習（60分）担当する事例の情報を理解し、全体像をイメージして実演予定の援助技術を復習する。 事後学習（30分）事前学習と演習の内容を整理・復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシート（1回目）を完成し提出する。	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明 その他
8	在宅における医療ケア（技術編、その2）	【演習】担当する事例について、グループ内でロールプレイングを実施し、個別的なケアを実施するための情報収集を行い、実施する援助技術の必要物品、手順、留意点およびその根拠（a）、ケアの組み立てとその根拠（b）を考え、ワークシートを作成する。 ＜事例＞①慢性閉塞性肺疾患の療養者（在宅酸素療法、呼吸リハビリテーション、外来受診の準備、入浴介助、栄養指導）、②喉頭がん術後で腎不全の療養者（気管切開部の管理と気管内吸引、口腔ケア、呼吸リハビリテーション、入浴介助、胃瘻の管理と経管栄養、シャント管理） 事前学習（30分）担当の事例について1回目の演習や自習では解決に至らなかった疑問点をまとめる。 事後学習（30分）事前学習と演習の内容を整理・復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシート（2回目）を完成し提出する。	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明 その他
9	在宅における感染予防	【講義】在宅療養者における感染症の特徴・予防・アセスメント・援助技術と留意点 【演習】感染兆候を呈する在宅療養者への対応についての事例を用いたグループディスカッション 事前学習（30分）テキスト（p.54-59）を読んで疑問点を把握し、教員から提示された感染症についてのワークシートを提出する。 事後学習（30分）事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。	東村志保
10	在宅におけるエンド・オブ・ライフケア	【講義】①死の文化的背景と看護の変遷、②エンド・オブ・ライフケアとターミナルケア、③在宅における緩和ケア、④意思決定支援（アドバンス・ケア・プランニング、リビング・ウィル）、⑤臨死期の心身の変化と看取りの援助、⑥グリーフケア 【演習】エンド・オブ・ライフケアにおける在宅認知症患者とその家族の意思決定支援に関するグループディスカッション 事前学習（30分）テキスト（p.60-65）および教員から提示された資料を読んで内容を理解する。 事後学習（30分）事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。	東村志保
11	認知症高齢者の在宅看護（知識編）	【講義】認知症高齢者の特徴・アセスメント・援助の実際と留意点―①療養者へのかかわり方とコミュニケーション技術、②薬物療法と服薬管理、③非薬物療法、④日常生活援助、⑤家族支援、⑥社会資源 事前学習（30分）テキスト（p.210-212）を読み、重要事項と疑問点を把握する。 事後学習（30分）事前学習と講義の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深める。	高橋美保
12	認知症高齢者の在宅看護（技術編、その1）	【演習】認知症高齢者とのコミュニケーションを擬似体験し、実演での体験に基づいて各人がプロセスレコードを作成しする。 ＜事例＞①アルツハイマー病（重度記憶障害、拒薬、便秘、狭心症）、②レビー小体型認知症（幻視、不安、パーキンソニズム、転倒） 事前学習（30分）教員から提示された資料を読み、プロセスレコードと事例の情報を理解しする。また、認知機能障害を有する対象の理解や治療的コミュニケーションについて重要事項や疑問点を把握する。 事後学習（30分）各自でプロセスレコードを完成し、演習での課題や疑問点について自習する。	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明 その他
13	認知症高齢者の在宅看護（技術編、その2）	【演習】認知症高齢者とのコミュニケーションを擬似体験し、実演での体験に基づいて各人がプロセスレコードを作成しする。 ＜事例＞①アルツハイマー病（重度記憶障害、拒薬、便秘、狭心症）、②レビー小体型認知症（幻視、不安、パーキンソニズム、転倒） 事前学習（30分）担当した事例について自習では解決に至らなかった疑問点をまとめ、グループディスカッションおよびグループ発表ならびに各自のワークシートの完成に備える。 事後学習（30分）事前学習と演習の内容を復習し、新たな疑問点や自己の課題について学習を深め、各自でワークシートを完成し提出する。	東村志保 塚原ゆかり 高橋美保 小林紀明 その他
14	在宅領域における看護展開	【講義】在宅療養をしている人とその家族に対する看護展開の特徴と実際、対象を全人的に理解しニーズに応じたケアを計画・実践するための概念と看護過程について事例を用いて学ぶ。 【演習】データーベース1（在宅 様式1）、データーベース2（在宅 様式2）を用いて事例の情報を整理する。 ＜事例＞講義・演習で既出の事例 事前学習（30分）テキスト（p.22-31）を復習し、提示された事例の対象理解と看護展開をイメージする。 事後学習（30分）データーベース1（在宅 様式1）、データーベース2（在宅 様式2）を仕上げる。	塚原ゆかり
15	在宅看護方法論の総括	【講義】第1回～第14回までの講義内容の総括、在宅看護学領域の国家試験出題基準と出題の傾向および対策 【小テスト】第1回～第14回までの講義内容と在宅看護学領域の国家試験の出題傾向を踏まえた小テストを実施する。 事前学習（60分）これまでの講義や演習を通じた疑問点をまとめ、小テストに備えて自習する。 事後学習（30分）小テストの結果を踏まえて自己の課題や疑問点を整理し、学習を深める。	東村志保

評価	ワークシート（30%）、ロールプレイングへの取り組み（10%）、小テスト（10%）、定期試験（50%）
課題に対する フィードバックの方法	・小テストにより講義・演習内容の理解や習得度を確認する。 ・各講義・演習でリアクションペーパーを収集し、記載内容から学習者の理解度や疑問を把握し、フィードバックを実施する。
教科書	在宅療養を支える技術/塁有桂, 石田千絵, 山下留理子 編/メディカ出版/第2版/ISBN-13: 978-4840475440
参考図書など	地域療養を支えるケア/塁有桂, 石田千絵, 山下留理子 編/メディカ出版/第7版/ISBN-13: 978-4840475433 写真でわかる訪問看護アドバンス/押川真喜子 監修/インターメディカ/第2版/ISBN-13: 978-4899964797 在宅看護技術/正野逸子, 本田彰子 編/メヂカルフレンド社/第4版/ISBN-13: 978-4839216795 地域・在宅看護過程/河野あゆみ 編/医学書院/第2版/ISBN-13: 978-4260050821 訪問看護アセスメントハンドブック/山内豊昭, 広瀬純子/中央法規/ISBN-13: 978-4805882061 認知症に伴う生活習慣病・身体合併症ー実臨床から考える治療と対応/川畑信也/中外医学社/ISBN-13: 978-4498229167 認知症のパーソンセンタードケアー新しいケアの文化へ/トム・キットウッド 著, 高橋誠一 訳/筒井書房/ISBN-13: 978-4887204836 バリデーション/Naomi Feil 著, 藤沢嘉勝 監訳/筒井書房/第2版/ISBN-13: 978-4887203396 改訂版　看護場面の再構成/宮本真巳/日本看護協会出版会/ISBN: 978-4818022355
アクティブ・ラーニング	講義・演習に先立つ基本的な看護技術についての事前学習を踏まえ、事例展開におけるロールプレイングとグループ・ワークの活用により、学習者の気づきと思考の発展を支援し、在宅療養者に対する包括的な看護技術のイメージ構築を図る。
実務経験のある 教員による授業	担当する教員は在宅看護の実践経験を有する。その臨床経験を活かし、在宅看護技術について、実践的な講義と演習を展開する。
留意事項	リアクションペーパー、ワークシート、小テストについて、指示された方法に従い期限内に提出すること。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数(時間数)	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
地域看護方法論 Community Health Nursing Methodology	必修	講義・演習	1単位 (30時間)	2年後期	牛田貴子、安部仁美、碓井瑠衣	○

ナンバリングコード	HNSD2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 応用科目	DP1)看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2)科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP4)保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5)幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 DP6)卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。

授業概要	在宅や施設等多様な生活の場と人々の健康および生活の関係、社会資源や制度の基本を理解し、あらゆる健康レベルの人々に健康の保持・増進，疾病の予防及び健康の回復を目指して実践する看護の展開方法を学修する。
到達目標	1)人々が暮らす地域、生活の場としての地域について、生活者の視点から理解できる。 2)地域で生活する個人・家族を連続体として捉え、各々が地域の構成員であり、人々や環境と多様な相互作用/関係性を持っている人として理解しアセスメントできる。 3)多様なケア環境とチーム体制について理解し、看護職及び他の専門職、住民等の役割と連携方法について探求できる。 4)自分が暮らす地域に関心を持ち、その地域の住民としてどのように地域に関わってきたか/関わっていくかについて検討できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 (予習・復習・課題等)	担当教員
1	生活の場での看護の基本的視点と展開方法 (アセスメント視点、理論・概念)	地域・在宅看護論(1年後期)の復習、事例課題の進め方と事例課題1(死別と転居)の説明 A:第1部5-01・02 地域の構成要素、地区視診(地区踏査) B:3章1地域ｱｾｽﾒﾝﾄ、地域を「みる」-徳島県神勝町の例で 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題1	牛田貴子
2	生活の場での看護の基本的視点と展開方法 (基本的視点、展開方法)	A:第1部5-03・04 プライマリヘルスケア、ソーシャルキャピタル、エンパワメント、多様な資源と住民組織、地域での支援を担う主な専門組織 【グループ意見交換】事例課題1 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題1の追加学習	牛田貴子
3	生活の場のアセスメント	A:第2部3-01～02住まいと住まい方、高齢者施設での住まい方、病院での住まい方、住環境、地域のスケッチ、第4部各論③05脳梗塞事例の退院 B:3章2地域包括ケアシステム 事例課題2(入院支援、入院中の生活、施設への移行支援)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題2	牛田貴子
4	生活・療養の場の移行と看護	A:第4部各論③06がんの看取りのための自宅退院 B:3章3 入退院連携、医療機関や介護施設との連携 【グループ意見交換】事例課題2 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題2の追加学習	牛田貴子
5	家族のアセスメント (理論、発達課題、アセスメント)	A:第2部2-01～03家族を理解するための理論、家族周期と発達課題、家族のアセスメント 事例課題3(入所支援、入所中の生活、在宅への移行支援)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題	牛田貴子
6	家族の支援	家族の捉え方と介入方法 A:第4部各論③03ALS患者の在宅移行・治療選択の支援 【グループ意見交換】事例課題3 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題3の追加学習	牛田貴子
7	生活者である個人(対象)のアセスメント(乳幼児期/周産期、学童期)	A:第2部1-01・02 心身・社会面での発達、生育をめぐる課題と健康問題、慢性期疾患のある子どもと学校 第4部各論③02育てにくさのある家族の子育て、04-1医療的ケア児と家族・地域 事例課題4(通所利用と在宅での生活再開の支援)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題4	安部仁美
8	生活者である個人(対象)のアセスメント(青年期・成人期)	A:第2部1-03 生活習慣病、就業状況と健診、メンタルヘルス不調 第4部各論③01-1糖尿病予備軍の成人男性、04-2統合失調症のある人の地域生活支援 【グループ意見交換】事例課題4 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題4の追加学習	安部仁美
9	生活者である個人(対象)のアセスメント(高齢期)	A:第2部1-04 身体・精神・社会的アセスメントと加齢変化への生活適応 第4部各論③01-2高齢男性の閉じこもり予防 事例課題5(地域住民として暮らす支援)の説明 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)事例課題5	牛田貴子

10	生活の場の移行に伴う看護 -事例検討-	【グループ内発表、意見交換】事例課題1～5 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)課題1～5の見直し、追加修正　⇒　提出	牛田貴子
11	生活の場での看護のためのトピックス1(虐待・暴力、災害、感染症)	A:第3部-1　家族内で生じる虐待・暴力の理解とアセスメント、減災・防災の取り組み、災害からの回復、感染症の予防 【グループ意見交換】前回講義後に調べた内容の説明・伝達 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)関心を持った内容を調べ、次回説明・伝達の準備をする	牛田貴子
12	生活の場での看護のためのトピックス2(地域で暮らす認知症の人のへの支援)	認知症高齢者が地域で暮らすのを支える住民の活動、地域包括支援センター、地域ケア会議、認知症SOSネットワーク、認知症サポーター(養成講座を含む) 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)関心を持った内容を調べ、次回説明・伝達の準備をする	牛田貴子
13	生活の場での看護のためのトピックス4(在日外国人への支援)	A:第3部-2　在日外国人の健康課題、異文化理解とケアの方法 【グループ意見交換】前回講義後に調べた内容の説明・伝達 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)関心を持った内容を調べ、次回説明・伝達の準備をする	碓井瑠衣
14	生活の場での看護のためのトピックス5(孤立、貧困、ヤングケアラーなどへの支援)	ヤングケアラー、8050、子ども食堂、生活困窮などの課題が複合する事例の包括的支援 【グループ意見交換】前回講義後に調べた内容の説明・伝達 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)関心を持った内容を調べ、次回説明・伝達の準備をする	牛田貴子
15	多職種連携と地域包括ケアシステムでの協働	A:第3部-3　ケアマネジメント、支援チーム、住民とのパート―シップ 第4部各論③07認知症事例から地域課題の気づきへ B:3章4　行政・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・介護サービス事業者・住民と連携 事前学習(30分)教科書の当該部分を読む。 事後学習(30分)授業の振り返り、資料を整理する。	牛田貴子

評価	定期試験50%、事前・事後課題及び提出物50%
課題に対する フィードバックの方法	manabaで提出課題に関する成果等をフィードバックする。
教科書	A.看護判断のための気づきとアセスメント　地域・在宅看護/岸恵美子ほか/中央法規/2022/ISBN:978-4-260-04707-4 (1年次使用) B.ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア/臺有桂ほか/メディカ出版/2022年版/ISBN:978-4-8404-7543-3 (1年次使用)
参考図書など	・「国民衛生の動向　2025/2026年版」(厚生の指標2025年8月増刊)発売予定/厚生統計協会
アクティブ・ラーニング	事例の展開、グループワーク、プレゼンテーション
実務経験のある 教員による授業	看護師、保健師、助産師としての臨床経験と地域看護の教育経験を活かして、地域看護の実践的な講義・演習を実施する。
留意事項	自分たちの生活圏を意識しながら、事例の生活の場の変化を追いつつ地域看護について考えます。意見交換で学びを深めるためにも、事例の個人学習をその時々で着実に重ねていきましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
災害看護学 Disaster Nursing	必修	講義	2単位 （30時間）	3年前期	山勢善江、田邉浩文、下田栄次、櫻井友子	○

ナンバリングコード	HNSB1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 発展科目	DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	災害医療の基本的な対応体制、災害看護における看護師の役割りの実際について学び、市民としての災害時の行動、医療従事者としての基本的な対応方法、および災害発生時に求められる看護技術を修得する。具体的には、災害に対する政策、災害の分類、災害サイクル、災害時の心身の健康障害、災害後のこころの状態とケア、トリアージの方法、災害時のアセスメントなどについて学ぶ。また、自然災害と生物災害（感染症パンデミック）や自然災害と人的災害（テロ）等の複合災害についても学修する。
到達目標	1) 災害および災害看護に関する基礎的知識を説明できる 2) 災害発生時の社会の対応やしくみや個人の備えが説明できる 3) 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響を説明できる 4) 災害時に看護が果たす役割を説明できる 5) 災害各期における看護支援活動をイメージできる

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	＜災害看護学概論＞ ・国内外における災害発生の現状 ・災害の種類別疾病構造	国内外で発生する災害の特徴を概観し、災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を理解する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	田邉浩文
2	災害医療に関する法制度	災害に関する国の法律、政策を理解する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	下田栄次
3	災害医療体制	災害に対する体系的対応の基本原則（CSCATTT）、災害基幹病院や拠点病院の役割、医療保健チームの活動、多職種との連携について理解する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	下田栄次
4	災害トリアージの基本概念と方法	平時の院内トリアージと災害時のトリアージの基本概念と方法の違いを理解する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江 下田栄次
5	災害時のFirst Aid	災害時に必要なFirst Aidの原則とその方法について理解する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	下田栄次 山勢善江
6	＜災害看護学各論＞ 災害サイクルと災害医療活動 超急性期・急性期	災害サイクルと各時期の医療活動の特徴を理解する　超急性期・急性期 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江
7	災害サイクルと災害医療活動 慢性期以降	災害サイクルと各時期の医療活動の特徴を理解する　慢性期以降 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江
8	配慮を必要とする人々への看護	災害時要配慮者に対する支援と看護について理解する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江
9	災害とこころのケア	被災者、遺族、支援者の心理とケアについて理解する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江
10	避難所での看護活動/運営計画立案	避難所についてグループで学修し、避難所運営計画を立案する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江 櫻井友子
11	避難所での看護活動/ 救護計画立案	避難所についてグループで学修し、避難所運営計画を立案する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江 櫻井友子
12	避難所での看護活動/ 実施1	避難所運営計画に基づき、避難所運営班と救護班を実施する（1回目） 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江 下田栄次 櫻井友子

13	避難所での看護活動/ 実施2	避難所運営計画に基づき、避難所運営班と救護班を実施する（2回目） 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江 下田栄次 櫻井友子
14	避難所運営と生活の共有	避難所運営と避難体験を共有する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	山勢善江 櫻井友子
15	放射線災害、感染パンデミック	特殊災害（放射線・放射能）災害、感染パンデミックを災害と捉えた時の看護活動を理解する 事前学習（30分）テキストの該当ページを読んでおく 事後学習（30分）授業内容や最近の災害を振り返り、復習する	櫻井友子 山勢善江

評価	リアクションシート20%、期末試験60%、演習への参加ピア評価20%
課題に対する フィードバックの方法	リアクションシートに対する回答は適宜行う
教科書	ナーシング・グラフィカ　看護の統合と実践(3): 災害看護　第5版/酒井明子　他/メディカ出版/第5版/ISBN: 978-4-8404-7545-7
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	10～13講で実施する演習では、提示されたトリアージ事例や避難所の設定に対し、学生が主体的に具体的な被災者・医療者について検討し、本科目の到達目標を達成できるよう進める。
実務経験のある 教員による授業	自衛隊員、看護師、山岳救助隊としての災害現場での実務経験や、海外での災害看護教育経験をもとに、甚大かつ複雑化する災害看護について講義と演習を通して教授する
留意事項	日頃から災害や災害医療、災害看護に関するメディアでの発信に対し、アンテナを高くしておくと授業での理解が深まります

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
国際看護学 Global Health and Nursing	必修	講義	2単位	4年前期	輪湖　史子	○

ナンバリングコード	HNSE1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 発展科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	グローバル化の進む社会において、人間の安全保障の側面から、看護職が国内外で果たすべき役割を学ぶ。また、日本における女子教育発祥の地であり、外国人と接する機会の多い横浜の地域特性を活かし、他国の人々の社会背景や生活環境に関心をもち、看護職が寄与できる健康支援について学ぶ。さらに、“UniversalHealthCoverage”の目標を達成するための解決方法について国際保健医療協力の観点から学修する。
到達目標	1) 世界の人々の健康課題とその発生背景が理解できる。 2) 世界の人々の健康向上を図るうえで看護職が果たす役割が理解できる。 3)グローバル・ヘルス及び国際看護学領域における基本的概念と用語が理解できる。 4) グローバル・ヘルス及び国際看護学領域の課題について、自身で情報収集を行い課題分析ができる。 5) グローバル・ヘルス及び国際看護学領域の課題について、自身の身近にある事象に関連付けて考えることができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	グローバル化と健康	①グローバル化と健康、②国際的な取り組みが必要な健康課題と看護 事前学習（30分）：グローバル化とは、どのようなことかを考える。 事後学習（60分）：自身の身近にある「グローバル化の影響」を挙げる。　◆受講開始時レポート	輪湖 史子
2	世界の主要な健康課題 (1)基本的概念と状況	①健康とは　②看護とは・看護師とは　③世界の人々の健康状態と健康格差 事前学習（30分）：健康の定義と看護の定義を調べる。 事後学習（60分）：世界における健康格差について復習・整理する。	輪湖 史子
3	世界の主要な健康課題 (2)疾病の発生状況	①疾病構造　②グローバル・バーデン・オブ・ディジーズ（GBD）　③健康の決定要因 事前学習（30分）：ヒトの健康に影響を及ぼす要因を調べる。 事後学習（60分）：健康の決定要因について復習・整理する。　◆小テスト	輪湖 史子
4	世界の健康向上に向けた取組み (1)世界の開発目標と健康	①世界の開発と健康　②平和と安全　③持続可能な開発目標（SDGs）と健康 事前学習（30分）：持続可能な開発目標（SDGs）について調べる。 事後学習（60分）：SDGsの各ゴールと健康の関連性を復習・整理する。	輪湖 史子
5	世界の健康向上に向けた取組み (2)具体的アプローチ	①プライマリ・ヘルス・ケア（PHC）とヘルス・プロモーション　②ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC） 事前学習（30分）：自身が病気になったときや病気を予防するために、どのような対処をするか考える。 事後学習（60分）：PHCとUHCについて復習・整理する。	輪湖 史子
6	世界の健康向上に向けた取組み (3)国際協力のアクター	①政府組織・非政府組織（NGOs）・企業部門　②日本の取組 事前学習（30分）：これまでの学習を通じて知っている国連組織とNGOを挙げる。 事後学習（60分）：健康関連の課題に取り組んでいる国連組織について復習・整理する。　◆小テスト	輪湖 史子
7	国際的取組みが必要な健康課題と看護　(1)パンデミック	①感染症対策における国際的取組み　②新型コロナウイルス感染症パンデミックの世界的影響 事前学習（30分）：これまでに世界でどのような感染症が流行したか調べる。 事後学習（60分）：感染症対策において国際的な取り組みが必要とされる理由を復習・整理する。	輪湖 史子
8	国際的取組みが必要な健康課題と看護　(2)人の移動	①人の移動と健康課題　②難民の健康課題　③看護職・保健医療職の移動 事前学習（30分）：「難民」とはどのような人々を指すのかを調べる。 事後学習（60分）：人の移動にともなう健康課題について復習・整理する。	輪湖 史子
9	国際的取組みが必要な健康課題と看護　(3)地球環境問題	①気候変動　②自然災害　③自然資源の保全 事前学習（30分）：地球温暖化の現状について調べる。 事後学習（60分）：気候変動が健康に及ぼす影響について復習・整理する。	輪湖 史子
10	国際的取組みが必要な健康課題と看護　(4)社会の安定維持	①紛争・戦争・テロ　②人道支援　③保健医療への攻撃 事前学習（30分）：現在、世界各地でどのような紛争・戦争が生じているか調べる。 事後学習（60分）：紛争・戦争が健康に及ぼす影響について復習・整理する。　◆小テスト	輪湖 史子
11	訪日・在留外国人の健康課題	①訪日・在留外国人の健康課題とその背景　②訪日・在留外国人への保健医療の提供 事前学習（30分）：訪日・在留外国人の数を調べる。 事後学習（60分）：訪日・在留外国人の健康課題について復習・整理する。	輪湖 史子
12	多文化社会における看護 (1)文化と健康	①異文化理解　②文化と健康概念・健康行動　③偏見と差別 事前学習：(30分)：自身の日常生活で接する「異文化」を挙げる。 事後学習：(60分)：文化とは何かについて復習・整理する。	輪湖 史子

13	多文化社会における看護 (2)文化に配慮したケア	①日常生活援助と文化　②医療提供と文化　③ケア・チーム内における文化への配慮 事前学習:(30分):看護ケアの場で文化に対してどのような配慮が必要か考える。 事後学習:(60分):「文化に配慮したケア」について復習・整理する。　◆小テスト	輪湖 史子
14	世界の医療提供体制と看護 (1)世界の看護と看護職	①世界における看護の現状と課題　③看護と看護職の発展に向けた取組み 事前学習:(30分):国際看護師協会について調べる。 事後学習:(60分): 看護職の確保・定着を促進する方法について復習・整理する。	輪湖 史子
15	世界の医療提供体制と看護 (2)諸外国の保健医療の課題	①開発途上国の課題　②先進国の課題 事前学習:(30分):開発途上国、先進国には、それぞれどのような国が含まれるか調べる。 事後学習:(60分):任意の国について、健康課題や医療提供体制を調べてまとめる。　◆小テスト	輪湖 史子

評価	受講開始時レポート(10%)、小テスト(5回・50%)、期末評価レポート(40%):それぞれの詳細については講義時に説明します。
課題に対する フィードバックの方法	講義の中で実施します。
教科書	・新体系看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学、第4版/(編)樋口まち子/メジカルフレンド社/2023年/ISBN 978-4-8392-3411-9 ・その他、プリントを配付します。
参考図書など	・実践グローバルヘルス ー現場における実践力向上をめざして-、新訂版/(編)日本国際保健医療学会/杏林書院/2022年/ISBN 978-4-7644-0541-7 ・その他、講義時に紹介します。
アクティブ・ラーニング	事前学習・事後学習の内容に基づき簡易な発表を行う。
実務経験のある 教員による授業	看護師として看護専門職能団体等の国際活動に従事した経験を活かし、基本的事項を解説します。
留意事項	1) 事前学習・事後学習の課題は、上記記載に加えて、都度、講義中に提示します。 2) 講義や自己学習の際に分からなかったことや疑問に思ったことを言語化し、適切なリソース(資料、人、等)を活用し、自ら答えを見出す姿勢を身につけましょう。 3) 参考図書等は、改訂版が出版されることがあります。その時点での最新版を参照してください。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護管理学 Nursing management	必修	講義	2単位 （30時間）	3年前期	松月　みどり、渡邊眞理	○

ナンバリングコード	HNSD1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 基盤科目	DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	看護専門職として管理に関する基礎的知識を修得し，看護管理上の問題を解決する方策の検討方法を学ぶ、（リーダーシップ，マネジメントを含む）また、医療の国際的動向と我が国の特色を理解し，医療システム、医療ケアの質に関する概念を学ぶ。看護者としてのリーダーシップ、調整、カウンセリング、コンサルタント、教育意志決定などの臨床実践能力を構築するための理論を体系的に学び，看護マネジメントに関する視点および実践能力を高める
到達目標	1)病院組織及び看護部門組織を理解する 2)看護サービスの管理について理解する 3)医療の質保証（医療安全）を理解する

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	看護管理学総論　ガイダンス	看護管理学と経営管理の枠組み　　看護組織お特徴　授業ガイダンス 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：課題レポート①の作成	松月みどり
2	看護管理者とリーダーシップ	リーダーシップとメンバーシップ　マネージャーの役割と行動 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：課題レポート②の作成	渡邉真理
3	人的資源管理	看護職員教育　ラダー　キャリアマネジメント 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：課題レポート③の作成	渡邉真理
4	看護提供方式	機能別看護、チームナーシング、プライマリーナーシング、セル看護、 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：課題レポート④の作成	松月みどり
5	器材、物品、消耗品管理	資源管理　経費管理　SPD　DiNQL　他職種との連携 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：課題レポート⑤の作成	松月みどり
6	労務管理　勤務スケジュール管理	働きやすい職場づくり　　シフトワーク　勤務表作成 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：課題レポート⑥の作成	松月みどり
7	看護師へのキャリア支援1	実習施設紹介等を通して看護師としての多様な働き方を学ぶ 看護学科が主催する合同就職説明会に参加する	松月みどり 渡邉眞理
8	看護師へのキャリア支援2	実習施設紹介等を通して看護師としての多様な働き方を学び深める 看護学科が主催する合同就職説明会に参加する	松月みどり 渡邉眞理
9	医療の質管理	医療・看護のデータ　　アウトカムマネジメント 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：講義内容を復習する	松月みどり
10	医療安全管理　患者家族対応	医療事故裁判　医療事故届け出制度　高信頼性組織 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：講義内容を復習しする。	松月みどり
11	医療安全管理　職員教育	チームスッテプス　ノンテクニカルスキル　医療安全文化の醸成 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：講義内容を復習する。	松月みどり
12	看護場面の具体的医療安全	6S　ダブルチェック　医療事故報告書など 事前学習（30分）：教科書の該当部分を読み整理する 事後学習（30分）：講義内容を復習する。	松月みどり

13	GWによる検討①	グループ討論：提示するテーマについて、ディスカッション、PPの作成 事前学習(60分)：グループワークの準備をする 事後学習(60分)：グループワークの学習内容をノートにまとめる	松月みどり
14	GWによる検討②	グループ討論：提示するテーマについて、ディスカッション、PPの作成 事前学習(60分)：グループワークの発表準備をする 事後学習(60分)：グループワークの学習内容をノートにまとめる	松月みどり
15	GW発表	これまでグループワークで行ってきた議論を、グループ毎に発表をする。 事前学習(60分)：発表準備をする 事後学習(60分)：学習内容をノートにまとめる	松月みどり

評価	定期試験30%、提出物70%（講義後のリフレクションペーパー課題レポート、GWへの参加姿勢等を含む）
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	看護管理第11版/医学書院/ISBN:9784-260-05304-4 看護の統合と実践②医療安全/メディカ出版/第4版/ISBN:978-4-8404-7212-8
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	グループワーク　ディスカッション　プレゼンテーション
実務経験のある 教員による授業	病院の看護部長として管理を担っていた経験と、認定看護管理者教育課程の講師経験が複数年ある。看護管理学の基本的知識や活用について実践的な講義をする。大学病院では医療安全管理の実務経験や大学病院の事故調査外部委員も務めた。'医療安全管理者の養成研修の講師をつとめ、厚生労働省の医療安全にかかる各種委員会の委員を歴任する。医療安全管理者の教育に携わった経験を持つ。
留意事項	アクティヴラーニングに積極的に参加する事

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護研究 Seminar in Nursing Research	必修	講義・演習	2単位 （30時間）	3年前期	石川眞里子、倉田慶子、小林紀明、東村志保、小野寺悠斗、野口京子、日下桃子、渡部李菜、本間誠淳、高橋美保	○

ナンバリングコード	HNSG2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP6）看護の発展に対応する力
発展科目	

授業概要	看護研究の目的と意義、倫理的配慮の重要性、看護実践と研究の関連性、研究の進め方など看護研究の基礎的事項について学修する。興味のあるテーマに関する文献検索および既存文献のクリティークを通して、看護の質向上に欠かせない研究活動について学修する。
到達目標	1）研究の目的と意義について述べることができる。 2）研究における倫理的配慮の重要性が説明できる。 3）量的・質的研究など研究方法の特徴について想起できる。 4）研究課題を絞り込むための文献検討の方法がわかる。 5）研究の問いとなるような事象に興味関心を持つことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	看護における研究の役割	看護研究とは何か、看護研究の歴史、看護研究を学ぶ目的と意義 事前学習(30分)：教科書の第1章（p16-31）を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	石川眞里子
2	研究計画の構成要素	研究の目的と意義、研究計画の構成要素 事前学習(30分)：教科書の第8章（p246-264）を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	石川眞里子
3	情報の探索と吟味	情報と科学的な根拠、文献とその種類、文献検索の方法、文献の入手と整理、文献記載方法 事前学習(30分)：教科書の第3章（p48-68、74-81）を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：【個人課題1】指示された課題をmanabaで提出する	図書館司書（倉田慶子）
4	文献検索演習 （書籍を探そう）	グループごとに図書館の構造を知る、CiNii Booksを使って書籍を探す 事前学習(30分)：教科書の第3章（p48-68、74-81）を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：【個人課題2】指示された課題をmanabaで提出する	図書館司書（倉田慶子、東村志保、小野寺悠斗、日下桃子、渡部李菜、本間誠淳、高橋美保）
5	文献検索演習 （データベースの活用）	グループごとに関心のあるテーマのキーワードを使って文献検索の方法を行う 事前学習(30分)：教科書の第3章（p56-64、74-81）を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：【個人課題3】指示された課題をmanabaで提出する	図書館司書（倉田慶子、東村志保、小野寺悠斗、日下桃子、渡部李菜、本間誠淳、高橋美保）
6	研究の対象と倫理的配慮	研究対象の考え方と選定方法、対象者への倫理的配慮を理解する 事前学習(30分)：教科書の第6章（p154-159）と4章（p86-108）を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	倉田慶子
7	研究デザイン：質的研究デザイン	研究デザインの選択、質的研究デザインを理解する 事前学習(30分)：教科書の5章-A・C・D（p110、118-120、121-133）を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	小林紀明
8	研究デザイン：量的研究デザイン	研究デザインの選択、量的研究デザインを理解する 事前学習(30分)：教科書の5章-A・C・E（p110、118-120、133-144）を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	東村志保

9	実践例で学ぶ研究方法：質的研究	質的研究の実践例を学ぶ 事前学習(30分)：教科書の5章-A・C・D(p110、118-120、121-133)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	倉田慶子
10	実践例で学ぶ研究方法：量的研究	量的研究の実践例を学ぶ 事前学習(30分)：教科書の5章-A・C・E(p110、118-120、133-144)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	小林紀明
11	実践例で学ぶ研究方法：実験研究	実験研究の実践例を学ぶ 事前学習(30分)：教科書の5章-A・C・E(p110、118-120、140-143)を読み自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	野口京子
12	実践例で学ぶ研究方法：混合型研究	混合型研究の実践例を学ぶ 事前学習(30分)：教科書の第5章-A・C・F(p110、118-120、144-148)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	小林紀明
13	文献クリティーク	文献を批判的に読む方法を理解できる 事前学習(30分)：教科書の第3章-F・G(p68-73)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：【個人課題4】自分の興味ある看護分野の論文を1つ選び、各単元で学習する内容と照合しながら読み、教科書70ページを参照して14回目のグループワークまでにレポートとしてまとめmanabaで提出する	倉田慶子
14	文献クリティーク演習	グループワークを通して文献を批判的に読む方法を理解できる 事前学習(30分)：教科書の第3章-F・G(p68-73)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：【個人課題5】自分の興味ある看護分野の論文を1つ選び、各単元で学習する内容と照合しながら読み、教科書70ページを参照して最終レポートとして提出する。	倉田慶子、東村志保、小野寺悠斗、日下桃子、渡部李菜、本間誠淳、高橋美保
15	リサーチクエスチョン	日頃の疑問をリサーチクエスチョンにする方法を理解する 事前学習(30分)：教科書の第2章(p34-45)を読み、自分の言葉で説明できる程度の準備をする 事後学習(30分)：講義資料と学習内容をノートにまとめる	石川眞里子

評価	定期試験50%、個人課題50%（課題1：5%、課題2：5%、課題3：5%、課題4：10%、課題5：25%）
課題に対する フィードバックの方法	講義中に、担当教員から適宜直接指導を行う。
教科書	系統看護学講座 別巻　看護研究/坂下玲子/医学書院/第2版/ISBN978-4-260-04995-5/2023
参考図書など	黒田裕子の看護研究　step by step/黒田裕子/医学書院/第6版/ISBN978-4-260-05265-8/2023
アクティブ・ラーニング	研究の問いとなるような事象に、自分の興味や関心をもちグループでのディスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	小児看護学分野での研究経験に基づく講義を行う。また他看護学での研究経験を持つ教員もオムニバスで講義を担当する。
留意事項	12回目までに自分の興味ある看護分野の論文を1つ選び、各単元で学習する内容と照合しながら読み、教科書70ページを参照して最終レポートとして提出する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
プロフェッショナル論Ⅰ Professional Nursing	必修	講義・演習	1単位 （30時間）	2年後期	川本利恵子　山勢善江、碓井瑠衣、坂口達哉	○

ナンバリングコード	HNS01	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 発展科目	DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	プロフェッションとは「自律性」「自己統制の信念」「専門職業組織への準拠」「公共サービスへの信念」「専門分野への召命感」で構成される。 はたして看護はプロフェッションであるかを問いつつ、学生が自らのプロフェッションの将来像に向けて、主体的に取り組むための基礎的能力を学修する。
到達目標	1）プロフェッショナルの定義と特徴について理解できる。 2）プロフェッショナルとなる基礎的能力（知識、技術、態度）を獲得する。 3）自己のキャリアデザインを描くことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	プロフェッショナルとは何か	プロフェッショナルの定義と特徴、OccupationとProfessionの違い 事前学習（15分）一般的にプロとは何か考えてくる 事後学習（30分）事後学習課題に取り組む	川本利恵子
2	看護分野におけるプロフェッショナルの活動①	「がん看護専門看護師」の話から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	渡邉眞理
3	看護分野におけるプロフェッショナルの活動②	「皮膚排泄ケア認定看護師」の話から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	内藤亜由美
4	プロフェッショナルとしてのキャリアデザイン	「精神看護専門看護師」の話から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（30分）リエゾン看護師について知らべる 事後学習（30分）事後課題に取り組む	佐々木博之
5	プロフェッショナルとなる基礎的能力①	海外での看護師としての経験から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（30分）日本の看護師が海外でどのような活動をしているか調べる 事後学習（30分）事後課題に取り組む	碓井瑠衣
6	プロフェッショナルとなる基礎的能力②	「感染症看護専門看護師」の話から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（30分）感染症看護専門看護師について調べる 事後学習（30分）事後課題に取り組む	野口京子
7	プロフェッショナルとなる基礎的能力③	「急性･重症患者看護専門看護師」の話から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（30分）急性･重症患者看護専門看護師について調べる 事後学習（30分）事後課題に取り組む	鈴木寛代
8	プロフェッショナルとなる基礎的能力④	「Nurse Practitioner　（米国）」の話から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（30分）日本および米国のNPについて調べる 事後学習（30分）事後課題に取り組む	ラウ優紀子
9	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑤	保健師･保健師教育の話から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（30分）保健師について調べる 事後学習（30分）事後課題に取り組む	村嶋幸代
10	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑥	助産師･助産師教育の話から、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（30分）助産師について調べる 事後学習（30分）事後課題に取り組む	山崎圭子
11	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑦	講義・演習：様々な場面における看護ケア技術 事前学習（30分）　バイタルサイン測定について復習する 事後学習（30分）事後課題に取り組む	学内教員
12	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑧	演習：様々な場面における看護ケア技術①ケアの実践　（バイタルサイン測定） 事前学習（30分）事前課題に沿って予習する 事後学習（30分）事後課題に取り組む	学内教員
13	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑨	演習：様々な場面における看護ケア技術②ケアの報告 事前学習（30分）事前課題に沿って予習する 事後学習（30分）事後課題に取り組む	学内教員
14	プロフェッショナルとなる基礎的能力⑩	演習：様々な場面における看護ケア技術③ケアの記録 事前学習（30分）事前課題に沿って予習する 事後学習（30分）事後課題に取り組む	学内教員
15	プロフェッショナルとしてのキャリアデザイン	自己のキャリアデザインを基に、各段階で獲得すべき能力を明らかにする 事前学習（30分）これまでの授業を踏まえ、プロとしての自分のキャリアデザインを考える 事後学習（30分）事後課題に取り組む	学内教員

評価	課題50%、授業への参加態度50%
課題に対するフィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える
教科書	手持ちの教科書より適宜指定する
参考図書など	・ケアのプロフェッショナルの空間　フランスと日本/山下えり子編/看護の科学新社/ISBN 978-4-910759-03-6 ・医療プロフェッショナルの経験学習/松尾睦編著/同文舘出版/ISBN 978-4-495390-18-1 ・プロフェッショナルの条件　いかに成果を上げ成長するか/PFドラッカー著、上田惇生翻訳/ダイヤモンド社/ISBN 978-4-478-30059-6 ・ Professional Nursing　Concepts & Challenges./Beth Perry Black/ 9th ed./ELSEVIER/ISBN 78-0323551137
アクティブ・ラーニング	自己のキャリアデザインを描く第一歩として、看護プロフェッショナルとの交流や、グループでのディスカッションを通して主体的に学修し、自己のキャリアデザインを描く第一歩とする。
実務経験のある教員による授業	看護師のキャリア形成に精通した教員や、がん・感染症・創傷管理・救急等各看護分野での十分な実践経験や専門資格をもち、教育経験も豊富な教員が講義・演習を教授する。
留意事項	

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
プロフェッショナル論Ⅱ Professional Nursing Ⅱ	必修	講義	1単位 （30時間）	3年前期	小林紀明、山勢善江、髙橋美保、坂口達哉	○

ナンバリングコード	HNSO2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 発展科目	DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	プロフェッショナル論Ⅰを基盤として、社会で活動する医療プロフェッションとの交流やインタビューを通じて、プロフェッショナルとは何かについて,研究的に明らかにし、今後の臨地実習で培うべき自己の課題を考究する。
到達目標	1）プロフェッショナルの定義と特徴について理解できる。 2）プロフェッショナルとして活動する人に適切なインタビューができる。 3）インタビュー結果を客観的に分析できる。 4）プロフェッショナルの特徴について発表できる。 5）自己のキャリアデザインを描くことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	コースガイダンス プロフェッショナルとは何か	「プロフェッショナルの定義と特徴」と「プロフェッショナル論Ⅰで明らかにした自己の目標」を見比べ、自己の課題を明らかにする。 事前学習（30分）プロフェッショナル論Ⅰの最終レポートの確認 事後学習（30分）自己の課題に対する具体的対処策を考察する。	小林、山勢、髙橋、坂口
2	インタビューについて①目的	インタビューの目的を理解する 事前学習（30分）テキストの該当箇所を読む 事後学習（30分）講義内容を復習する	小林、山勢、髙橋、坂口
3	インタビューについて②計画	インタビュー方法について理解する 事前学習（30分）テキストの該当箇所を読む 事後学習（30分）講義内容を復習する	小林、山勢、髙橋、坂口
4	インタビューについて③結果	インタビュー結果のデータの整理と取り扱いについて理解する 事前学習（30分）テキストの該当箇所を読む 事後学習（30分）講義内容を復習する	小林、山勢、髙橋、坂口
5	インタビューについて④分析と考察	インタビュー結果の分析と考察について理解する 事前学習（30分）テキストの該当箇所を読む 事後学習（30分）講義内容を復習する	小林、山勢、髙橋、坂口
6	学内プロフェッショナルの探索とインタビュー交渉	学内（保健医療学部・薬学部）で活動するプロフェッショナルを特定し、各グループ（6人×24G）毎に事前計画を立案してインタビューの交渉を行う。 事前学習（30分）大学案内等の情報からインタビュー対象者を選び、交渉の準備をする 事後学習（30分）インタビューに向け、交渉・インタビュー内容・方法を準備する	小林、山勢、髙橋、坂口
7	インタビュー計画の立案	インタビュー対象者が確定次第、インタビュー計画を作成する 事前学習（30分）メールや対面でインタビューの承諾を得る 事後学習（30分）インタビューに向け、交渉・インタビュー内容・方法を準備する	小林、山勢、髙橋、坂口
8	プロフェッショナルへのインタビュー実施	計画に則り対面でインタビューを実施する 事前学習（30分）インタビュー前後の挨拶・服装・言葉遣い・お礼など礼節を考える 事後学習（30分）インタビュー準備から終了までの自分たちの知識や技術・態度を振り返る	小林、山勢、髙橋、坂口
9	インタビュー結果のデータ化	インタビュー結果のデータ化 事前学習（30分）テキストの該当箇所を参考に結果のデータ化について予習する① 事後学習（30分）インタビュー結果のデータ化	小林、山勢、髙橋、坂口
10	インタビュー結果の分析	インタビュー結果の分析 事前学習（30分）テキストの該当箇所を参考に結果をデータ化する 事後学習（30分）インタビュー結果のデータ化	小林、山勢、髙橋、坂口
11	インタビュー結果の考察	インタビュー結果の考察 事前学習（30分）テキストの該当箇所を参考にデータを読み込んで考察する 事後学習（30分）インタビュー結果のデータ化、分析、考察、発表準備	小林、山勢、髙橋、坂口
12	インタビュー結果の発表	発表会準備 事前学習（30分）効果的な発表ができるよう準備する 事後学習（30分）グループ内で協働できたか振り返る	小林、山勢、髙橋、坂口

13	発表会「インタビューを通して明らかになったプロフェッショナルとは」	「インタビューを通して明らかになったプロフェッショナルとは」を、プロセスを含め発表する① 事前学習（30分）発表準備を行う 事後学習（30分）効果的な発表であったか。グループ内で協働できたか振り返る、発表後ピア評価	小林、山勢、髙橋、坂口
14	発表会「インタビューを通して明らかになったプロフェッショナルとは」	「インタビューを通して明らかになったプロフェッショナルとは」を、プロセスを含め発表する② 事前学習（30分）発表準備、自己評価、ピア評価を行う 事後学習（30分）効果的な発表であったか。グループ内で協働できたか振り返る、発表後ピア評価	小林、山勢、髙橋、坂口
15	自己のキャリアデザインを描く	プロフェッショナルからの学びをもとに、自己のキャリアデザインを見つめ描きなおす 事前学習（30分）1～14講を通し、自己のキャリアデザインを描く 事後学習（30分）まとめ	小林、山勢、髙橋、坂口

評価	課題80%（指定回での進捗課題30%、発表会50%）、態度20%（授業への参加態度10%、ピア評価10%）
課題に対する フィードバックの方法	授業時間中に解説する
教科書	インタビュー調査法入門：質的調査実習の工夫と実践/山口富子/ミネルヴァ書房/ISBN: 9784623095346
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	教員も交えたグループディスカッションで、探究テーマの検討から発表までを実施する。
実務経験のある 教員による授業	看護の実践・教育・研究のプロとしての経験を活かして、実践的な講義・演習を行う。
留意事項	学内とはいえ、他学や他学科の教員も対象にプロフェッショナルについて探究します。事前の情報収集、挨拶、インタビュー内容、身だしなみや言葉遣いなどを学修することも一つのねらいです。緊張感をもって取り組みましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
プロフェッショナル論Ⅲ Professional Nursing Ⅲ	必修	講義	1単位 （30時間）	4年後期	片山典子　山勢善江　倉田慶子　碓井瑠衣　小野寺悠斗 坂口達哉 庄山由美　前川早苗　朝倉ストレンベック由紀	○

ナンバリングコード	HNSO3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 発展科目	DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	プロフェッショナル論Ⅰ・Ⅱで明らかにした自己の目標や課題を振り返り、さらに看護の専門分野を知ることで、将来にわたってプロフェッショナリズム自己啓発し続ける力（自己教育力）を身につける。
到達目標	1）プロフェッショナルの定義と特徴について理解できる。 2）プロフェッショナルとして活躍する人の特徴を理解できる。 3）プロフェッショナルの特徴について発表できる。 4）自己のキャリアデザインを描くことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	コースガイダンス プロフェッショナルとは何か①	「プロフェッショナル論Ⅰで明らかにした自己の目標」と「プロフェッショナル論Ⅱで描いた自己のキャリアデザイン」を振り返り、自己の課題や目標を明らかにする 事前学習（30分）プロフェッショナル論Ⅰ・Ⅱの最終レポートの確認し、自己の課題を明らかにする【事前課題1：manaba提出】 事後学習（30分）自己の課題に対する具体的対処策を考察する	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
2	コースガイダンス プロフェッショナルとは何か②	新人看護師に必要な自己教育力とは何かを検討する【GW】 事前学習（30分）プロフェッショナル論Ⅰ・Ⅱの最終レポートの確認し、自己の課題を明らかにする 事後学習（30分）自己の課題に対する具体的対処策を考察する	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
3	看護分野におけるプロフェッショナルの活動① ＜精神看護専門看護師＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（15分）専門看護師の役割とどのような分野があるか調べる【事前課題2：manaba提出】 事後学習（15分）事後課題に取り組む	小野寺悠斗 片山典子・山勢善江・坂口達哉
4	看護分野におけるプロフェッショナルの活動① ＜精神看護専門看護師＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する【GW】 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
5	看護分野におけるプロフェッショナルの活動② ＜小児看護専門看護師＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	倉田慶子 片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
6	看護分野におけるプロフェッショナルの活動② ＜小児看護専門看護師＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する【GW】 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
7	看護分野におけるプロフェッショナルの活動③ ＜離島医療を担う診療看護師＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（15分）診療看護師について調べる【事前課題3：manaba提出】 事後学習（15分）事後課題に取り組む	庄山由美 片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
8	看護分野におけるプロフェッショナルの活動③ ＜離島医療を担う診療看護師＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する【GW】 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉

9	看護分野におけるプロフェッショナルの活動④ ＜起業家として活躍する精神看護専門看護師＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	前川早苗 片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
10	看護分野におけるプロフェッショナルの活動④ ＜起業家として活躍する精神看護専門看護師＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する【GW】 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
11	看護分野におけるプロフェッショナルの活動⑤ ＜米国のナースサイエンティスト＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（15分）ナースサイエンティストについて調べる【事前課題4：manaba提出】 事後学習（15分）事後課題に取り組む	朝倉ストレンベック由紀 片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
12	看護分野におけるプロフェッショナルの活動⑤	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する【GW】 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
13	看護分野におけるプロフェッショナルの活動⑥ ＜JICAにおける海外活動＞	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する 事前学習（15分）JICAについて調べる【事前課題5：manaba提出】 事後学習（15分）事後課題に取り組む	碓井瑠衣 片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
14	看護分野におけるプロフェッショナルの活動⑥	看護分野でプロとして活動する人の話を聞き、プロフェッショナルの特徴を理解する【GW】 事前学習（15分）看護分野におけるプロについて調べる 事後学習（15分）事後課題に取り組む	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉
15	プロフェッショナルとしてのキャリアデザイン	自己のキャリアデザインを基に、各段階で獲得すべき能力を明らかにする 事前学習（30分）これまでの授業を踏まえ、プロとしての自分のキャリアデザインを考える 事後学習（30分）事後課題に取り組む【事後課題1:manaba提出】	片山典子・山勢善江・小野寺悠斗・坂口達哉

評価	課題100%（指定回での事前課題50%、事後課題50%）
課題に対するフィードバックの方法	授業時間中に解説する
教科書	手持ちの教科書を適宜、指定する
参考図書など	・ケアのプロフェッショナルの空間　フランスと日本/山下えり子編/看護の科学新社/ISBN 978-4-910759-03-6 ・医療プロフェッショナルの経験学習/松尾睦編著/同文舘出版/ISBN 978-4495390181 ・プロフェッショナルの条件　いかに成果を上げ成長するか/PFドラッカー著/上田惇生翻訳/ダイヤモンド社/ISBN 978-4478300596 ・Professional Nursing　Concepts & Challenges./Beth Perry Black/9th ed./ELSEVIER/ISBN:9780323551137
アクティブ・ラーニング	自己のキャリアデザインを描く第一歩として、看護プロフェッショナルとの交流や、グループでのディスカッションを通して主体的に学修し、自己のキャリアデザインを描く第一歩とする。
実務経験のある教員による授業	看護師のキャリア形成に精通した教員や、精神・小児・がん・離島・海外等で各看護分野での十分な実践経験や専門資格をもち、教育経験も豊富な教員が講義・演習を教授する。
留意事項	学内教員、学外や海外のプロフェショナルな専門家から学べる貴重な機会です。主体的に事前学習、事後学習をしてプロフェショナルについて探求しましょう。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
保健医療看護の最前線	選択	講義	2単位（30時間）	4年前期	山勢善江、片山典子、坂口達哉、渡部李菜、渡邉眞理、ラウ優紀子、倉田慶子、山崎圭子、小林紀明 4年チューター教員	○

ナンバリングコード	HNS02	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP4）チームで連携し協働する力 DP6）看護の発展に対応する力
発展科目	

授業概要	社会で起こっている保健医療看護に関連した出来事について、基礎的知識を学ぶとともに、臨床現場での課題と対処について学修する。
到達目標	1）がん、認知症、小児、周産期、メンタルヘルス、在宅、救急などの医療の最前線と喫緊の課題を理解する。 2）自己の課題を明確にし対処する。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	コースガイダンス	1年後に医療者として働くことを想定し、専門性の高い領域での問題を明らかにする 事前学習：どのような領域で働きたいと考えているか、そこでは何が問題になっているか考えてくる 事後学習（30分）：事後課題に取り組む	山勢善江、片山典子、坂口達哉、渡部李菜
2	がん医療・看護の最前線	がん医療やがん看護における、最新の話題について理解する 事前学習（30分）：がん医療と看護に関して興味あることを考えてくる 事後学習（30分）：事後課題に取り組む	渡邉眞理
3	高齢者医療・看護の最前線	高齢者医療や高齢者看護における、最新の話題について理解する 事前学習（30分）：高齢者医療と看護に関して、興味あることを考えてくる 事後学習（30分）：事後課題に取り組む	ラウ優紀子
4	小児医療・看護の最前線	小児医療や小児看護における、最新の話題について理解する 事前学習（30分）：小児医療と看護に関して、興味あることを考えてくる 事後学習（30分）：事後課題に取り組む	倉田慶子
5	周産期医療・看護の最前線	周産期医療や周産期看護における、最新の話題について理解する 事前学習（30分）：周産期医療と看護に関して、興味あることを考えてくる 事後学習（30分）：事後課題に取り組む	山崎圭子
6	精神医療・看護の最前線	精神医療や精神看護における、最新の話題について理解する 事前学習（30分）：メンタルヘルスに関して、興味あることを考えてくる 事後学習（30分）：事後課題に取り組む	片山典子
7	在宅医療・看護の最前線	在宅医療や在宅看護における、最新の話題について理解する 事前学習（30分）：在宅医療と看護に関して、興味あることを考えてくる 事後学習（30分）：事後課題に取り組む	小林紀明
8	救急医療・看護の最前線	救急医療や救急看護における、最新の話題について理解する 事前学習（30分）：救急医療と看護に関して、興味あることを考えてくる 事後学習（30分）：事後課題に取り組む	山勢善江
9	分野ごとの学修戦略① ＜解剖生理分野＞	正常な人体の構造と機能について理解する。 事前学習（30分）：出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）：正常な人体の構造と機能についてノートにまとめる。	4年チューター教員
10	分野ごとの学修戦略② ＜解剖生理分野＞	正常な人体の構造と機能について理解する。 事前学習（30分）：出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）：正常な人体の構造と機能についてノートにまとめる。	4年チューター教員
11	卒業に向けた学修のまとめ①	卒業試験を実施し、看護師に必要な専門的な知識や技術の習得ができているかを客観的に評価するとともに、国家資格に伴う責任と役割を考える。 ※卒業試験の受験資格は、看護応用ゼミの出席を要件(3/5以上)を満たしているものとする。 事前学習（60分）：看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。 事後学習（60分）：看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。	4年チューター教員

12	卒業に向けた学修のまとめ②	卒業試験を実施し、看護師に必要な専門的な知識や技術の習得ができているかを客観的に評価するとともに、国家資格に伴う責任と役割を考える。 ※卒業試験の受験資格は、看護応用ゼミの出席を要件(3/5以上)を満たしているものとする。 事前学習(60分):看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。 事後学習(60分):看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。	4年チューター教員
13	卒業に向けた学修のまとめ③	卒業試験を実施し、看護師に必要な専門的な知識や技術の習得ができているかを客観的に評価するとともに、国家資格に伴う責任と役割を考える。 ※卒業試験の受験資格は、看護応用ゼミの出席を要件(3/5以上)を満たしているものとする。 事前学習(60分):看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。 事後学習(60分):看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。	4年チューター教員
14	卒業に向けた学修のまとめ④	卒業試験を実施し、看護師に必要な専門的な知識や技術の習得ができているかを客観的に評価するとともに、国家資格に伴う責任と役割を考える。 ※卒業試験の受験資格は、看護応用ゼミの出席を要件(3/5以上)を満たしているものとする。 事前学習(60分):看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。 事後学習(60分):看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。	4年チューター教員
15	卒業に向けた学修のまとめ⑤	卒業試験を実施し、看護師に必要な専門的な知識や技術の習得ができているかを客観的に評価するとともに、国家資格に伴う責任と役割を考える。 ※卒業試験の受験資格は、看護応用ゼミの出席を要件(3/5以上)を満たしているものとする。 事前学習(60分):看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。 事後学習(60分):看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。	4年チューター教員

評価	レポート50%、試験50%
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	指定しない
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	学生は、ディプロマポリシーで謳われた6つの能力を確認しつつ、看護師国家試験で問われる基礎知識から、より専門性の高い領域での知識まで主体的・能動的に学修を総括する。
実務経験のある 教員による授業	専門性の高い教員各位が、実践や教育分野での最前線の講義を行う。
留意事項	

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護応用ゼミ Seminar in Applied Nursing	必修	演習	2単位 （60時間）	4年通期	川本　利恵子、4年チュータ教員	○

ナンバリングコード	HNSO2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 発展科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	既習の知識と臨地での学びを関連させ、さまざまな疾病・治療・看護を統合する。さらに、看護専門職としての自己の課題を認識し、キャリア形成に必要な基礎力を身につける。
到達目標	1) 最終学年として大学生活のルールやマナーを守り、倫理観をもって主体的に責任ある行動がとれる。 2) 卒業要件である必要科目の単位が修得でき、看護専門職としての自己の将来について探求できる。 3) 個々に合わせた学修計画を立案し、看護専門職の基盤となる国家試験合格を目指し学習を継続できる。 4) 討論により、看護専門職の課題を多様な視点から深めることができる。 5) 個々に合わせたキャリアデザイン（進学・就職など）を描き、継続教育の一歩を踏み出すことができる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	1年間の学習計画およびキャリアデザインに関するガイダンス	4年次の学習計画立案の必要性についてガイダンスを行う。さらに、キャリアデザインの必要性及び計画立案に関するガイダンスを行う。 事前学習（30分）：既習の学修内容を振り返り、学習課題をまとめておく。また、今後の就職活動や自身のキャリアデザインについて整理しておく。 事後学習（30分）：前期学修計画を作成する。	川本利恵子、4年チューター教員
2	1年生の「大学での学び」についてピアサポート ＜1年生との共同ゼミ＞	新1年次生へ「大学での学び方（履修方法や授業のルール等」、「学生生活」についてアドバイスや支援を行うことで、最終学年としての自覚を持ち自らの学修状況を振り返る。また、ピアサポート活動を通じて、自らの成長と看護専門職を目指す上での課題を明確にすることができる。 事前学習（60分）：今までの学修状況を振り返り、看護専門職になるにあたりどのような学びが必要であるかまとめておく。 事後学習（60分）：提示された課題へ取り組む（レポート課題①）	川本利恵子、4年チューター教員
3	1年生の「大学での学び」についてピアサポート ＜1年生との共同ゼミ＞	新1年次生へ「大学での学び方（履修方法や授業のルール等」、「学生生活」についてアドバイスや支援を行うことで、最終学年としての自覚を持ち自らの学修状況を振り返る。また、ピアサポート活動を通じて、自らの成長と看護専門職を目指す上での課題を明確にすることができる。 事前学習（60分）：今までの学修状況を振り返り、看護専門職になるにあたりどのような学びが必要であるかまとめておく。 事後学習（60分）：提示された課題へ取り組む（レポート課題①）	川本利恵子、4年チューター教員
4	学習計画および国家試験に関するガイダンス	専門基礎領域科目などの復習計画を立案する（科目名や復習方法を具体的に記載する）。1年間の国家試験に関する学習計画も立案する。さらに、国家試験の模擬試験に関する成果確認に関する学習方針についてガイダンスを行う。 事前学習（60分）：学生便覧の教育課程、シラバスおよび自己の学習（30分）、ノートに目を通しておく。（30分） 事後学習（60分）：今後の学習（30分）計画をノートにまとめる（30分）	川本利恵子、4年チューター教員
5	看護専門職に関するキャリアデザイン（進学・就職など）Ⅰ	専門職としてキャリアを考える必要性を教授する。また、面接やエントリーシートの書き方を教授し、模擬面接も行う。さらに、インターンシップの必要性とその方法について教授する。 事前学習（30分）：自己のキャリアについて自分の言葉で説明できる準備をする。 事後学習（30分）：学習内容をノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
6	看護専門職に関するキャリアデザイン（進学・就職など）Ⅱ	個々のトライしたインターンシップについてまとめ、報告する。 事前学習（30分）：自分の言葉で説明できる準備をする。 事後学習（60分）：ノートにまとめ、報告レポートの準備を行う。	川本利恵子、4年チューター教員
7	看護専門職に関するキャリアデザイン（進学・就職など）Ⅲ	個々のトライしたインターンシップについてまとめ、報告する。 事前学習（30分）：自分の言葉で説明できる準備をする。 事後学習（60分）：ノートにまとめ、報告レポートの準備を行う。	川本利恵子、4年チューター教員
8	学習計画および国家試験に関する学習成果、キャリアデザインをまとめる	立案した学習計画の実施結果をまとめる。国家試験模擬結果を分析し、学習成果と今後の計画を立案修正する。個々のキャリアデザインをレポートにまとめる。 事前学習（60分）：分析に必要なデータを整理し準備をする。 事後学習（60分）：分析結果と今後の計画および自己のキャリアデザインをノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
9	ゼミ発表Ⅰ（グループ毎）	各担当教員毎のグループで討議を行う。レジュメを用いて発表10分+質疑応答5分、各自レジュメ印刷持参(自筆でもPC使用でも可）/グループ討論⇒グループでの発表内容の検討・発表準備 事前学習（60分）：「学士力」と「社会人基礎力」について調べる。 事後学習（60分）：ゼミ内容と発表内容をノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
10	ゼミ発表Ⅱ（クラス全体）	レジュメを用いて各グループから発表10分+質疑応答5分、レジュメ印刷持参(自筆でもPC使用でも可）/各自レポートテーマ:キャリアアンカーとキャリアデザインとは 事前学習（60分）：テキストの8章、9章を読み、ゼミ発表準備をする。 事後学習（60分）：ゼミ内容をノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員

11	学習計画および国家試験に関する学習成果、キャリアデザインをまとめる	第1回で立案した学習計画の実施結果をまとめる。国家試験模擬試験結果を分析し、学習成果と今後の計画を立案修正する。個々のキャリアデザインをレポートにまとめる。 事前学習（60分）：分析に必要なデータを整理し準備をする。 事後学習（60分）：分析結果と今後の計画および自己のキャリアデザインをノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
12	国家試験対策講座	第115回看護師国家試験に向けて、最新の出題傾向の理解と基礎的な知識（特に解剖生理）の攻略法などを把握し、早期から学習に取り組む姿勢を身に付ける。 事前学習（30分）：今までの学修状況の振り返りと、第114回看護師国家試験の傾向を確認する。また、4年次の学修上の課題を明確にしておく。 事後学習（30分）：提示された課題へ取り組む（レポート課題②）	川本利恵子、4年チューター教員
13	分野ごとの学修戦略① ＜解剖生理分野＞	正常な人体の構造と機能について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）正常な人体の構造と機能についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
14	分野ごとの学修戦略② ＜解剖生理分野＞	正常な人体の構造と機能について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）正常な人体の構造と機能についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
15	分野ごとの学修戦略③ ＜解剖生理分野＞	フィジカルアセスメントおよび日常生活の営みを支える看護に必要な人体の構造と機能について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）正常な人体の構造と機能についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
16	分野ごとの学修戦略④ ＜解剖生理分野＞	フィジカルアセスメントおよび日常生活の営みを支える看護に必要な人体の構造と機能について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）正常な人体の構造と機能についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
17	分野ごとの学修戦略⑤ ＜解剖生理分野＞	疾患の成り立ちとの関連において、人体の構造と機能について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）正常な人体の構造と機能についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
18	分野ごとの学修戦略⑥ ＜解剖生理分野＞	疾患の成り立ちとの関連において、人体の構造と機能について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）正常な人体の構造と機能についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
19	分野ごとの学修戦略① ＜看護学分野＞	看護の概念及び展開、基本的な看護技術と運用のための判断プロセス、保健医療福祉の中で看護が果たす役割についての理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）看護の概念及び展開、基本的な看護技術と運用のための判断プロセス、保健医療福祉の中で看護が果たす役割についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
20	分野ごとの学修戦略② ＜看護学分野＞	成人各期の健康保持・増進や疾患の予防、各健康段階にある患者と家族の特徴について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）成人各期の健康保持・送信や疾患の予防、各健康段階にある患者と家族の特徴についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
21	分野ごとの学修戦略③ ＜看護学分野＞	各機能障害にある患者の特徴および疾患や障害の特徴について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）各機能障害にある患者の特徴および疾患や障害の特徴についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
22	分野ごとの学修戦略④ ＜看護学分野＞	加齢に伴う高齢者の生活や健康状態の変化、各健康段階にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）加齢に伴う高齢者の生活や健康状態の変化、各健康段階にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
23	分野ごとの学修戦略⑤ ＜看護学分野＞	子どもの成長・発達と健康増進のための子供と家族への看護、疾患や診療・入院が子どもと家族に与える影響、特別な状況や健康課題をもつこどもと家族への看護を理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）子どもの成長・発達と健康増進のための子供と家族への看護、疾患や診療・入院が子どもと家族に与える影響、特別な状況や健康課題をもつこどもと家族への看護についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
24	分野ごとの学修戦略⑥ ＜看護学分野＞	母性看護の基盤となる概念、母性看護の対象を取り巻く環境、女性のライフサイクル各期に応じた看護、妊娠・分娩・産褥期および看護について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）母性看護の基盤となる概念、母性看護の対象を取り巻く環境、女性のライフサイクル各期に応じた看護、妊娠・分娩・産褥期および看護についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
25	分野ごとの学修戦略⑦ ＜看護学分野＞	精神保健の基本と保持・増進に向けた看護、主な精神疾患・障害の特徴と看護、精神看護の対象の理解と支援のための概念、精神疾患・障害があるものの多角的なアセスメント、人権と安全、回復を支援する看護を理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）精神保健の基本と保持・増進に向けた看護、主な精神疾患・障害の特徴と看護、精神看護の対象の理解と支援のための概念、精神疾患・障害があるものの多角的なアセスメント、人権と安全、回復を支援する看護についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員
26	分野ごとの学修戦略⑧ ＜看護学分野＞	地域・在宅看護における対象と基盤となる概念、安全と健康危機管理、在宅療養者の病気や症状、暮らし方に応じて展開する在宅看護実践、地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置づけと看護の役割を理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）地域・在宅看護における対象と基盤となる概念、安全と健康危機管理、在宅療養者の病気や症状、暮らし方に応じて展開する在宅看護実践、地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置づけと看護の役割についてノートにまとめる。	川本利恵子、4年チューター教員

27	分野ごとの学修戦略⑨ ＜看護学分野＞	看護におけるマネジメントの基本について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）看護におけるマネジメントの基本についてノートにまとめる。	川本利恵子、 4年ﾁｭｰﾀｰ教員
28	分野ごとの学修戦略⑩ ＜看護学分野＞	基本的な災害看護について理解する。 事前学習（30分）出題基準や参考書を熟読する。 事後学習（30分）基本的な災害看護についてノートにまとめる。	川本利恵子、 4年ﾁｭｰﾀｰ教員
29	卒業に向けた学修のまとめ	卒業試験を実施し、看護師に必要な専門的な知識や技術の習得ができているかを客観的に評価するとともに、国家資格に伴う責任と役割を考える。 ※卒業試験の受験資格は、看護応用ゼミの出席を要件(3/5以上)を満たしているものとする。 事前学習（60分）：看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。 事後学習（60分）：看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。	川本利恵子、 4年ﾁｭｰﾀｰ教員
30	卒業に向けた学修のまとめ	卒業試験を実施し、看護師に必要な専門的な知識や技術の習得ができているかを客観的に評価するとともに、国家資格に伴う責任と役割を考える。 ※卒業試験の受験資格は、看護応用ゼミの出席を要件(3/5以上)を満たしているものとする。 事前学習（60分）：看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。 事後学習（60分）：看護師国家試験出題範囲を振り返っておく。	川本利恵子、 4年ﾁｭｰﾀｰ教員

評価	レポート課題①（20点）、発表内容（20点）、卒業試験（60点）
課題に対する フィードバックの方法	提出物については全体の講評を授業内で学生に伝える。
教科書	随時、資料を配布する。
参考図書など	看護職としての社会人基礎力の育て方 専門性の発揮を支える3つの能力・12の能力要素/日本看護協会出版会/第2版 /ISBN978-4-8180-2124-2
アクティブ・ラーニング	「大学での学び方」について、１年生へのピアサポートを実施する。適宜、グループワークやデスカッションを行う。
実務経験のある 教員による授業	チュータ教員各位の臨床分野での経験に基づく講義を行う。
留意事項	看護専門職になるために必要な国家試験（国家資格）について考察する科目となります。看護専門職として継続して学修をする力を養うためにも主体に行動していくことを臨みます。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護基盤実習Ⅰ Clinical Practice in Fundamental	必修	実験・実習	2単位 （90時間）	1年通期	松月みどり、ラウ優紀子、牛田貴子、三ツ井圭子、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、櫻井友子、黒田由香里、佐々木博之、石橋史子、坂口達哉、黒川領子、他看護学科教員	○

ナンバリングコード	HNSF1	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力
臨地実習	

授業概要	地域で生活する様々な発達段階にある人との交流を通して、コミュニケーションによる関係性構築を学び、生活環境と健康のつながり、入院や入所が対象者や家族に与える影響について、看護の視点から理解する。
到達目標	1）看護の対象者が療養（生活）する病院・施設の見学をし実際を知る。 2）看護の初学者の視点で、看護師と共に、対象者とのコミュニケーションを体験をする。 3）実際の体験を通して、対象者の理解と療養環境を知り、看護と他職種の役割について考えることができる。
授業の進め方	1.実習期間：2週間（2025年5月26日～6月6日） 2.実習施設（予定） 湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい平塚ホスピタル、ふれあい鎌倉ホスピタル、康心会汐見台病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、 湘南東部クリニック、介護老人保健施設ふれあいの渚、介護老人保健施設ふれあいの百合、介護老人保健施設シルバーガーデン、 介護老人保健施設ふれあいの桜、介護老人保健施設ヒルズ東戸塚、介護老人保健施設成和ナーシングプラザ、 介護老人保健施設ふれあいの町田、介護老人福祉施設ふれあいの森、介護老人福祉施設ふれあいの泉、介護老人福祉施設ふれあいの麗寿 (病院5、クリニック1、介護老人保健施設7、介護老人福祉施設3） 3.実習方法 1） 実習オリエンテーションは、実習の概要及び実習の進め方の説明を行う。 2） 学生の配置は、学生の配置表に基づき、グループに分かれて実習を行う。 3） 病院施設、保健・福祉施設の実習はローテーションにより行う。 4） 各施設の日々のカンファレンスは、原則30分とし、グループ毎に実習目標にそって行う。 5） 実習最終日に振り返りとまとめの発表を行う。 4. 実習内容 1)各実習施設よりオリエンテーションを受ける。 2)各実習施設の見学を通して、施設環境の特徴及び対象に与える影響を考える。 3)看護活動の場の見学を通して、対象者の生活や環境を知る。 4）実習を通して、他職種活動の実際を知る。

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に版d難する。
課題に対するフィードバックの方法	実習要項を参照
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	実習
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。
留意事項	入学後はじめての実習科目である。看護学生として基本的な身嗜みを整え、理想的な実習態度で臨む。実習要項を熟読し、健康管理・時間管理を適切に実施する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
看護基盤実習Ⅱ Clinical Practice in Fundamental Nursing Ⅱ	必修	実験・実習	4単位 （180時間）	2年後期	川本利恵子、松月みどり、ラワ優紀子、牛田貴子、三ツ井圭子、佐々木千佳、碓井瑠衣、松永雄至、安部仁美、黒田由香里、櫻井友子、石橋史子、坂口達哉、黒川領子、他看護学科教員	○

ナンバリングコード	HNSF2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力
臨地実習	

授業概要	健康障害をもちながら入院生活を送る対象者を理解し、援助的コミュニケーション技術を用い必要な治療・看護について学修する。加えて対象者への看護を通して他職種の役割を理解する。
到達目標	1)健康上の課題のある対象者に関心を向け,対象者との援助的関係を築くことができる。 2)健康上の課題のある対象者のニーズを全人的に把握することができる。 3)健康上の課題のある対象者に対して、個別性のある看護ケアを系統的に展開できる。 4)健康上の課題のある対象者に関わる多職種の役割を理解できる。 5）看護学生として、基本となる社会的行動がとれる。
授業の進め方	1.実習期間：4週間（2026年1月26日～2月20日） 2.実習施設（予定） 湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、ふれあい横浜ホスピタル、ふれあい鎌倉ホスピタル、 ふれあい鶴見ホスピタル、ふれあい平塚ホスピタル、康心会汐見台病院、大和成和病院、さがみ野中央病院,ふれあい町田ホスピタルなど 3.実習方法 1） 実習オリエンテーション（実習の概要及び実習の進め方等の説明）を行う。 2） 学生の配置は、学生の配置表に基づき、実習を行う。 3） 患者1人を受け持ち、看護過程を展開し、看護ケアを体験する。 4） 各施設の日々のカンファレンス、中間カンファレンス、最終カンファレンスはグループ毎に行う。 4. 実習内容 1)1週目　　：主に学内実習（実習オリエンテーション、事前学習、看護復習等） 2)2～3週目：病院実習（看護活動の場に身を置き、受けもち患者の看護ケアの実践） 3）4週目　　：主に学内実習（実習の振り返り、まとめなど）

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンスの参加状況等により総合的に評価する。
課題に対するフィードバックの方法	詳細は、実習要項に記載する。
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	臨地実習、学内実習、カンファレンス、グループワーク
実務経験のある教員による授業	担当教員は、看護師として臨床分野の経験に基づき実習を行う。
留意事項	初めて受けもち患者を担当する大事な科目である。2年間の学修のまとめであることを認識し、既習の知識や技術を総復習して臨むこと。また、看護学生として対象者に信頼される身だしなみや態度が求められる。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
ヘルスプロモーション実習 Clinical Practice in Health Promotion	必修	実験・実習	4単位 （180時間）	3年後期	山﨑圭子、石川眞里子、倉田慶子、ラウ優紀子、佐々木千佳、望月千夏子、松島泰恵、安部仁美、日下桃子、本間誠淳、他看護学科教員	○

ナンバリングコード	HNSF2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 臨地実習	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力

授業概要	1）地域で生活しているあらゆる発達段階にある人々の健康の特徴や地域特性を理解し、地域で暮らす人の健康の保持・増進をするための支援の実際を学ぶ。 2）援助的人間関係の形成に向けて、対象に応じたコミュニケーションが取れる。 3）地域または生活の場における健康を保持増進するための政策、法律、社会資源の実際と制度を理解する。 4）対象にかかわる専門性を理解し、他職種連携の実際を学ぶ。
到達目標	1）生活行動から健康状態をアセスメントできる。 2）対象の生活する地域の地区診断および生活の場をアセスメントできる。 3）対象の生活する地域の保健・医療・福祉サービスを説明できる。 4）対象に提供されている保健・医療・福祉サービスに参加し、指導の下一部実施できる。 5）対象の発達段階や健康状態を考慮したコミュニケーションを実践する。 6）社会資源サービスの仕組み、申請から利用までの一連の流れが説明できる。 7）ヘルスプロモーションにおける看護師の役割を考察できる。
授業の進め方	1. .実習期間：4週間（2025年9月1日～12月19日） 2. 実習施設（予定） コミュニティ・ヘルス： ①医療機関：湘南東部総合病院、湘南東部クリニック、茅ヶ崎中央病院（湘南管理クリニック）、ふれあい横浜ホスピタル ②介護老人保健施設：ふれあいの渚、湘南シルバーガーデン、ふれあいの桜、ヒルズ東戸塚、ふれあいの森、ふれあいの泉、ふれあいの麗寿 チャイルド・ヘルス：汐見台病院、認定こども園 みどり幼稚園、NPO法人 ムーミンの会 ウィメンズ・ヘルス：汐見台病院、ふれあい横浜ホスピタル 3. 実習方法 1）1グループ5名とする。同時期に6～8グループ（学生30～40名）が実習する。 2）学生は、コミュニティヘルスを2週間、チャイルドヘルスまたはウィメンズヘルスのいずれかを2週間、計4週間実習する。 3）実習オリエンテーションは、各領域の実習の概要および実習の進め方について説明を行う。 4）学生の配置は、、学生の配置表に基づき、グループに分かれて実習を行う。 5）病院施設、保健・福祉施設の実習はローテーションにより行う。 6）各施設の日々のカンファレンスは、原則30分とし、グループ毎に実習目標にそって行う。 7）実習最終日（4週目の最終日）に、全体でコミュニティ・ヘルス、チャイルド・ヘルス、ウィメンズ・ヘルスの学習共有カンファレンスを行う。 4. 実習内容 1）コミュニティ・ヘルス 実習初日は、学内で実習オリエンテーション、施設別オリエンテーション、事前学習の確認と準備を行う。 臨地実習は、医療機関の健診部門や疾病予防施設、老人保健施設にて行う。 対象者を個と集団の視点から捉え、ヘルスプロモーションとその支援について学修する。 2)チャイルド・ヘルス 実習初日は、学内で実習オリエンテーション、技術演習を行なう。事前学習の確認と準備を行う。 病棟実習では、入院児を受け持ち、看護過程を展開する。 外来実習では、予防接種、乳幼児健診、小児科外来診療などを見学し、生活指導について学修する。 幼稚園実習では、健康な子どもの集団生活と幼児教育の実際を見学し、子どもの成長・発達と集団生活における事故防止や感染予防などの対策について考察する。 実習の最終日は、学内で実習のまとめを行なう。また、担当教員と面接を行い、実習成果や今後の課題について整理する。 3)ウィメンズ・ヘルス 病棟実習では、母子を受け持ち、看護過程を展開する。 外来実習では、妊婦健康診査、産後2週間健診、母乳外来などを見学する。 フィールドワークは、課題についてグループで取り組む。 ウィメンズ・ヘルス実習の最終日は、実習のまとめを行なう。また、担当教員と面接を行い、実習成果や今後の課題について整理する。

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に判断する。
課題に対するフィードバックの方法	実習要項を参照
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	実習
実務経験のある教員による授業	担当教員は、臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。
留意事項	事前学習内容は、実習ガイダンスで提示する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
急性期看護実習 Clinical Practice in Fundamental	必修	実験・実習	4単位 （180時間）	3年後期	山勢善江、伊藤ふみ子、櫻井友子、野口京子、倉橋悠子、坂口達哉	○

ナンバリングコード	HNFS2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 臨地実習	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP5）安全を保障する力

授業概要	急激な生活環境や健康状態の変化をきたした対象者および家族に対して、身体的および心理社会的側面からアセスメントして、ケアの優先順位を判断し、実践およびその評価を行う。一連の看護過程の展開を通して、急性期看護について学修する。
到達目標	1）対象者の病態と治療・処置の関連を理解し、治療や処置に伴う日常生活の制限から生じる身体的・心理的・社会的苦痛をアセスメントする。 2）対象者の状態にあわせたケアの優先順位を考え、エビデンスに基づく看護を実践する。 3）急激な健康状態の変化をきたしている対象者の、治療や看護を実践する上での安全確保の必要性について理解する。 4）対象者の急激な状態変化に合わせ、適切なコミュニケーションを実践する。 5）急性期医療における看護師と他職種の役割を理解する。 6）対象者および対象者を取り巻く人々の人権を擁護する。 7）フィールドワークをもとに、指定地域の災害急性期・亜急性期の想定被災状況について理解する。
授業の進め方	1. 実習期間：4週間（2025年9月1日～12月19日） 2. 実習施設（予定） インホスピタル実習：湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、大和成和病院 プレホスピタル実習：神奈川県内防災センター、県内消防本部 3. 実習方法 1）4週間のうち2週間はプレホスピタルケア実習、2週間は病院内でインホスピタルケア実習を実施する。 2）＜プレホスピタルケア実習＞ ・災害やテロなど生活環境が急激に変化した状況下を、地域、防災センター、消防本部で学修する。 ・学修した内容をもとに、学内でプレホスピタルケアにおける看護について実習する。 3）＜インポスピタルケア実習＞ ・急性疾患や事故などにより個人や家族の健康状態が急激に変化した患者とその家族への看護を、実習病院で患者を受持ち学修する。 4. 実習内容 1）各実習施設よりオリエンテーションを受ける。 2）プレホスピタルケア施設での実習では、災害体験や講話をもとに生活環境が急激に変化することが、人々の健康に及ぼす影響を学修する。 3）自分の居住地や学校周辺の防災マップ作成、減災方法、大学のBCP等についても学修する。 4）インホスピタルケア施設での実習では、急病・事故・手術・侵襲的検査を受けた患者を受持ち、患者とその家族への身体・心理・社会的な影響と看護について学修する。 5）実習を通して、プレホスピタルとインホスピタルにおける医療関係職種の協働と連携の実際を知る。

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に判断する。
課題に対するフィードバックの方法	実習要項を参照。
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	実習
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。
留意事項	看護学生として基本的な身嗜みを整え、真摯な態度で実習に臨む。 実習要項を熟読し、健康管理・時間管理を適切に実施する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
慢性期看護実習 Chronic Care Nursing-Clinical Practicum	必修	実験・実習	6単位 （270時間）	3年後期	小林紀明、渡邉眞理、片山典子、内藤亜由美、清水奈緒美、東村志保、岡多恵、塚原ゆかり、陶山克洋、小野寺悠斗、石橋史子、渡部李菜、三堀いずみ、高橋美保、関谷潤	○

ナンバリングコード	HNSF2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 臨地実習	DP1）人間の命と個を尊重できる力 DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力 DP5）安全を保障する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	本実習では慢性疾患を抱えあらゆる場で療養・生活している対象者及び対象者を取り巻く人々がその人らしく生きることができるよう地域包括ケアにおける医療チームの一員として、安全かつ個々の健康の維持・増進とQOLの向上を目指した看護を学修する。また、多職種の機能役割と相互連携および社会資源の活用について理解する。
到達目標	1）性期経過をたどる対象者及び対象者を取り巻く人々に対して援助的関係を形成する。 2）慢性的な疾患を抱えた対象者の個別的な環境や生活習慣および疾病・治療について全人的に理解し、健康上の課題を明らかにする。 3）慢性的経過をたどる対象者に対し、安全かつ効果的に治療が行えるよう、また、QOLの向上をめざしてエビデンスに基づく看護を実践する。 4）看護専門職を志す学生として、責任と規律を順守し、対象者の尊厳や人権を守り擁護的立場で行動する。 5）医療安全の基本的な考え方に則り、対象者の個別的な状況から起こりうる危険を予測して安全を確保する。 6）保健・医療・福祉チームにおける看護職の専門性を踏まえ、チームの一員として行動する。
授業の進め方	1. 実習期間：6週間（2025年9月 8日～12月 12日） 2. 実習施設（予定） 湘南東部総合病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、ふれあい平塚ホスピタル、康心会汐見台病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい鎌倉ホスピタル、ふれあい鶴見ホスピタル、ティー.エイチ.ピーメディカルクリニック、ハローワーク横浜、地域包括支援センターすみれ、地域包括支援センターさくら、地域包括支援センターみどり、地域包括支援センターゆず、地域包括支援センターわかば、地域包括支援センターふれあいの泉、ヒルズ東戸塚（居宅）、ナーシングプラザ成和（居宅）、元町ケアセンター（居宅）、茅ヶ崎新北陵病院（居宅）、訪問看護茅ヶ崎ふれあいステーション、あやせ訪問看護ステーション、成和訪問看護ステーション （病院施設：7、地域包括：6、居宅介護支援事業所：4、訪問看護：3、デイケア：1、ハローワーク：1、計22施設） 3. 実習方法 1）実習オリエンテーションは、実習の概要及び実習の進め方の説明を行う。 2）学生の配置は、学生の配置表に基づき、グループに分かれて実習を行う。 3）学生は、一般病棟の入院治療が必要な対象の慢性期看護実習及び在宅療養が必要な対象の慢性期看護実習（A）と、一般病棟の入院治療が必要な対象の慢性期看護実習及び精神に障害を持つ対象の慢性期看護実習（B）を組み合わせて実習を行う。 A：一般病棟・外来他の慢性期実習を10日、訪問看護ステーションを8日、地域包括支援センターまたは居宅介護支援事業所を2日実習する。 B：一般病棟・外来他の慢性期実習を10日、精神科病棟を4-5日、デイケア及びハローワーク3-4日、地域包括ケアに関するフィールドワークを2-3日実習する。 ※ 各日数は臨地での実習数を表記している。 4）一般病棟の慢性期と、訪問看護ステーション・地域包括支援センター・居宅看護支援事業所または精神科病棟・デイケア・ハローワークでの慢性期実習は、それぞれ3週目の最終2日間で振り返りと情報の共有、まとめの発表会を行う。 5）報告ルート・方法を明確にしておき、緊急時の対応に備える。 4. 実習内容 1）実習開始前に臨地実習ガイドライン及び実習要項に沿って、実習目的・目標、実習方法と施設概要、事前学習等について実習ガイダンスを行う。 2）各実習施設よりオリエンテーションを受ける。 3）原則として1名の受け持ち患者または在宅療養者を受け持ち、一般病棟・在宅療養者・精神科病棟におけるそれぞれの患者に必要な慢性期の看護計画・実践・評価までの一連の看護過程を学ぶ。 4）実習期間中は、日々のカンファレンスを実施し、実習指導者や担当教員の指導を受けながら、学習内容の振り返りと翌日の課題を明確にする。また、臨地での実習最終日は、実習指導者や担当教員参加のもと、実習全体の振り返りと学びを共有し、実習目標の達成状況と今後の自己の課題について検討する。

評価	実習評価表に基づき、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に判断する。
課題に対するフィードバックの方法	実習要項を参照
教科書	なし
参考図書など	適宜紹介する
アクティブ・ラーニング	実習
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。
留意事項	看護学生として基本的な身嗜みを整え、理想的な実習態度で臨む。 実習要項を熟読し、健康管理・時間管理を適切に実施する。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
統合実習 Practice In Inteergrated	必修	実験・実習	3単位 （135時間）	4年前期	渡部節子、渡邉真理、その他看護教員	○

ナンバリングコード	HNSF3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 臨地実習	DP4）チームで連携し協働する力 DP6）看護の発展に対応する力

授業概要	これまで学んだ知識・技術・態度を統合し、実践現場に近い体制の実習を通して医療チームの一員としての役割とその実際について学修するとともに、看護専門職としての自己の課題を明確にする。
到達目標	1）これまでの臨地実習での学びを振り返り、統合実習における自己の目標を説明できる。 2）臨地での看護実践を通して看護に対する考えを深めたり、課題を追究することができる。 3）医療チームの一員としての役割を説明することができる。 4）看護専門職としての自己の課題を明確にできる。
授業の進め方	1. 実習期間：3週間 2. 実習施設（予定） 湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい鎌倉ホスピタル、康心会汐見台病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、 横浜ホスピタル、鶴見ホスピタル、大和成和ホスピタル、さがみ野中央病院、ことぶき共同診療所、横浜市寿福祉プラザ、寿アルク、 横浜市生活自立支援施設、介護老人保健施設ふれあいの渚、介護老人保健施設ふれあいの桜、湘南ふれあいの園平塚、 シニアホテル東戸塚イーストウイング、成和訪問看護ステーション、訪問看護茅ヶ崎ふれあいステーション、あやせ訪問看護ステーション 3. 実習方法 1）4月：全体オリエンテーション 2）5～6月：実習施設、実習部署決定、各担当者によるオリエンテーションと事前学習の説明 3）7月：臨地実習開始　各担当者別に実習計画に基づいて臨地及び学内にて実施 4）臨地最終日：隣地における共有学修、まとめ 5）各担当者ごとに振り返りとまとめの発表 4. 記録提出 担当教員より指示された日時までに提出する。 5. その他 評価は評価表に基づき実施する。

評価	実習評価表に基づき評価する。、実習目標の達成度、記録内容、実習態度、カンファレンス参加状況を総合的に判断する。到達目標ごとの評価の割合は、1)10%、2)＋、3)70%、4)20%である。
課題に対するフィードバックの方法	その都度、状況や各自の課題に応じる
教科書	これまで学修したテキスト、資料、検索した文献など
参考図書など	実習オリエンテーションなどで適宜、紹介する。
アクティブ・ラーニング	実習中、実習後などグループワークを行い、学修をさらに深める
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての臨床分野の経験を活かした実習指導を行う。
留意事項	自分が深化、追究したい課題に向けての統合実習なので準備をしっかり行って臨んでください。看護学生としての最後の臨地実習となりますので課題意識、計画性、積極性を期待します。

Ⅳ. 公衆衛生科目

＜2022 年度～2023 年度入学者＞

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生看護学 Public Health Nursing	選択	講義	3単位 （45時間）	3年通期	看護学科教員	○

ナンバリングコード	HPNE2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
公衆衛生科目 公衆衛生看護学	DP1）看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP3）相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 DP4）保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP5）幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。

授業概要	公衆衛生看護の概念と歴史、基盤となる知識、活動領域について学修する。公衆衛生看護管理については構成要素、専門的自律と人材育成方法について学修する。具体的には、公衆衛生看護管理の目的と機能、情報管理、地域ケアの質の保証、人事管理、予算管理、組織運営と管理および保健師教育についてを含む。
到達目標	1）公衆衛生看護の概念・理論について説明できる。 2）公衆衛生看護の対象や活動の特性について説明できる。 3）地域ｱｾｽﾒﾝﾄに基づき地域の健康課題を明確化する方法を理解し活用できる。 4）公衆衛生看護管理の目的と機能、専門的自立と人材育成について説明できる。 5）施策化および地域ケアシステムの構築について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	オリエンテーション 公衆衛生看護の対象 1 （個人・家族）	公衆衛生科目の構造と授業の進め方、地域看護学・在宅看護学との違い 教科書A:2章A公衆衛生看護の対象としての個人・家族 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）公衆衛生看護学の関連科目における自己の関心の明確化	看護学科教員
2	公衆衛生看護の対象 2 （集団・組織、地域）	教科書A:2章B公衆衛生看護の対象としての集団・組織、地域 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分））次回の小テストの準備	看護学科教員
3	公衆衛生看護の理念 公衆衛生の理念	公衆衛生学等の既習学習の確認(小テスト) 教科書A:1章A公衆衛生看護の理念、B公衆衛生の理念 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）既習学習の確認(小テスト)結果を用いた学習ノート作成	看護学科教員
4	健康と生活	教科書A:5章A健康と生活 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）学習ノート作成	看護学科教員
5	基盤となる概念と倫理	教科書A:1章C公衆衛生看護の基盤となる概念、D公衆衛生看護における倫理 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）次回使用する文献検索と抄読準備	看護学科教員
6	基盤となる理論、看護活動の基本的な展開方法	教科書A:5章B公衆衛生活動の基盤となる理論と展開方法、C公衆衛生活動の基本的な展開方法 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）学習ノート作成	看護学科教員
7	社会環境の変化と健康課題 1 （人口・疾病構造、社会・文化的背景）	教科書A:4章A人口および疾病構造の変化、B社会・文化的背景の変化 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）次回使用する文献検索と抄読準備	看護学科教員
8	社会環境の変化と健康課題 2 （社会情勢・政治・経済産業構造）	教科書A:4章C社会情勢・政治・経済産業構造の変化 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）学習ノート作成	看護学科教員
9	公衆衛生看護の歴史 1 （日本）	教科書A:10章A日本における公衆衛生看護の歴史 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）次回使用する文献検索と抄読準備	看護学科教員
10	公衆衛生看護の歴史 2 （米国・英国）	教科書A:10章米国と英国の公衆衛生の発達と公衆衛生看護活動の歴史 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)学習ノート作成	看護学科教員
11	公衆衛生活動の場 1 （行政機関、職域、学校）	教科書A:3章A行政機関、B職域、C学校 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）次回使用する文献検索と抄読準備	看護学科教員
12	公衆衛生活動の場 2 （医療施設、福祉施設、国際）	教科書A:3章D医療機関、E福祉施設、F国際 【文献抄読と意見交換/グループワーク】 事前学習：(30分）教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分）学習ノート作成	看護学科教員

13	公衆衛生活動の展開方法 1 （定義、理論、モデル）	教科書A:6章A・B公衆衛生看護活動における地域アセスメント、理論・モデル、公衆衛生看護活動の計画・実践・評価　教科書B 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	看護学科教員
14	公衆衛生活動の展開方法 2 （保健統計・疫学）	地域アセスメントに活用する保健統計・疫学 【演習/ICT】インターネットを利用しながら地域アセスメントに活用する情報について学ぶ 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	看護学科教員
15	公衆衛生活動の展開方法 3 （地域アセスメントの展開）	教科書A:6章C・D地域アセスメント演習 【演習/ICT】行政のホームページなどから情報を収集してまとめる 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。	看護学科教員
16	公衆衛生活動の展開方法 4 （地域アセスメント演習）	地域アセスメントの発表、意見交換 【プレゼンテーション/ディスカッション】 事前学習：(30分)地域アセスメントの発表準備をする。 事後学習：(30分)発表内容を振りかえり、加筆・修正をする。	看護学科教員
17	公衆衛生看護管理 1 (定義、マネジメントとは)	教科書A:8章　公衆衛生看護管理の定義、構成する要素、マネジメントとリーダーシップ 【演習】公衆衛生看護管理に関する動画を視聴、解説する。 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	看護学科教員
18	公衆衛生看護管理 2 (地域ケアマネジメント)	教科書A:8章　地域ケアマネジメント（※個別も含む）　地区管理、事例管理、事業管理 【講義・ディスカッション】　教科書B 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	看護学科教員
19	公衆衛生看護管理 3 (組織ケアマネジメント)	教科書A:8章　組織ケアマネジメント　組織管理、人事管理、予算管理 【講義・ディスカッション】　教科書B 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	看護学科教員
20	公衆衛生看護管理 4 (情報管理、健康危機管理)	教科書A:8章　公衆衛生看護管理の統合　情報管理、健康危機管理 【講義・ディスカッション】　教科書B 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	澤井 美奈子
21	保健医療福祉における施策化と事業化 1 (地方公共団体)	教科書A:7章　地方公共団体における保健・医療・福祉等に関する計画 【講義・ICT】　教科書B 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。特定の自治体の計画を調べ、整理する。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	看護学科教員
22	保健医療福祉における施策化と事業化 2 (事業化施策化)	教科書A:7章　事業化と施策化、保健師の役割 【演習・ディスカッション】　教科書B 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	看護学科教員
23	まとめ	今後の公衆衛生活動における潮流、学修ポイントの振り返り 【文献抄読と意見交換/グループワーク】　教科書B 事前学習：(30分)これまでの授業資料を活用できるように整理・確認する。 事後学習：(30分))学習ノートへの追記作成	看護学科教員

評価	筆記試験50%、課題学習・レポート20%、発表30%
課題に対する フィードバックの方法	グループワークについては、その都度フィードバックをする。筆記試験等の講評は、学習支援システム(manaba)で行う。
教科書	A.標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論/標美菜子ほか/医学書院/第6版/ISBN:978-4-260-04707-4(1年次使用) 【第1回～23回で使用する】 B.国民衛生の動向2024/2025(厚生の指標2024年8月増刊)/厚生労働統計協会(3年後期に購入する) 【第13回～23回で適宜使用する】
参考図書など	・新版　保健師業務要覧/井伊久美子、勝又浜子、森永裕美子　ほか/第4版/ISBN:978-4-8180-2381-9 ・看護判断のための気づきとアセスメント　地域・在宅看護/中央法規/ISBN:978-4-8058-8433-1 ・E-stat政府の統計窓口:https://www.e-stat.go.jp/ 他適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	文献抄読、ディスカッションを講義内で行う。また図書の検索システムやインターネットを用いた資料収集を行う。
実務経験のある 教員による授業	教員は保健師の実務経験を活かし、公衆衛生看護活動、多職種や地域との連携等について事例を用いながら授業を展開する。
留意事項	・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目である。 ・前期に12回まで実施し試験を行う。後期に13回～23回まで実施し試験を行う。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生看護活動論Ⅰ Public Health Nursing Activities Ⅰ	選択	講義・演習	3単位 （45時間）	3年通期	看護学科教員	○

ナンバリングコード	HPNE2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後、昼休み及び別途公開するオフィスアワー一覧表に記載されている時間帯に受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
公衆衛生科目 公衆衛生看護学	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力

授業概要	公衆衛生看護における対象の捉え方、健康課題の特徴について学び、ライフサイクル・健康課題ごとの対象別の公衆衛生看護過程展開と活動方法について行政の保健活動を中心に学修する。その内容を踏まえ、産業保健および学校保健の歴史的変遷、諸制度、対象、保健師の職務・役割ならびに活動展開の実際、将来展望について学修する。養護教諭の活動の実際についても学修する。
到達目標	1）対象や発達段階に応じた生活や健康課題及び支援の特徴を説明できる。 2）人々が主体的に課題を解決できるよう、施策及び地域の社会資源を活用した保健活動の展開について検討できる。 3）学校保健の制度と仕組み、及び対象の健康課題の把握と適切な支援方法について説明できる。 4）産業保健の制度と仕組み、及び対象の健康課題の把握と適切な支援方法について説明できる。 5）感染症保健の動向を学び、感染症保健施策と保健師活動および疾病管理について説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	オリエンテーション 地域包括ケア	授業の進め方、地域看護方法論等の既習学習の確認(小テスト) 教科書A:11章A地域包括ケアの動向、B地域包括ケアにおける保健師活動 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(45分)既習学習の確認(小テスト)結果を用いた学習ノート作成	看護学科教員
2	歯科保健活動の動向と保健活動の実際(高齢者)	教科書A:8章A-1歯科保健の動向、A-2-d歯科保健活動の実際(高齢者) 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分))次回の個人課題の発表準備。	看護学科教員
3	高齢者保健活動 1 (動向)	教科書A:3章A高齢者保健医療福祉の動向 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)学習ノート作成	看護学科教員
4	高齢者保健活動 2 (保健活動)	教科書A:3章B高齢者の健康課題と支援 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)次回の個人課題の発表準備。	看護学科教員
5	精神保健活動 1 (動向、保健活動)	教科書A:4章A精神保健医療福祉の動向、B精神障碍者の生活と支援 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)学習ノート作成	看護学科教員
6	精神保健活動 2 (社会病理と精神的問題)	教科書A:4章C社会病理を背景とする精神的問題 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)次回の個人課題の発表準備。	看護学科教員
7	障害者(児)保健活動 1 (動向)	教科書A:5章A障害者(児)保健医療福祉の動向 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)学習ノート作成	看護学科教員
8	障害者(児)保健活動 2 (保健活動)	教科書A:5章B障害者保健活動 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分))次回の個人課題の発表準備。	看護学科教員
9	難病保健活動 1 (動向)	教科書A:6章A難病対策の動向 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)学習ノート作成	看護学科教員
10	難病保健活動 2 (保健活動)	教科書A:6章B難病患者への支援・保健活動 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)1回～10回までの学習内容の見直し。	看護学科教員
11	母子保健(親子保健)活動 1 (動向、施策)	教科書A:1章A・B母子保健（親子保健）の動向、母子および親子の健康課題と支援 【母子保健活動演習】 事前学習：(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習：(30分)次回の個人課題の発表準備。	看護学科教員

12	母子保健(親子保健)活動 2 (成長・発達、ライフサイクル)	教科書A:1章C・D乳幼児期の成長・発達と健康課題への支援、ライフサイクル各期の健康課題と支援 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習:(30分)教科書の指定箇所を読む。乳幼児への支援に必要な技術について復習する。 事後学習:(30分)次回のグループワークの準備。	看護学科教員
13	母子保健(親子保健)活動 3 (活動の実際)	教科書A:1章E支援のニーズが高い親子の健康課題と支援、母子保健(親子保年)活動の実際 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)グループワーク課題作成。配付資料および教科書を復習し、理解を深める。	看護学科教員
14	学校保健 1 (基本)	教科書A:9章A　学校保健の基本 【講義・演習】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所、2年時までに学んだ小児の発達、学校保健の資料を読む。 事後学習:(30分)次回担当課題の発表資料作成	看護学科教員
15	学校保健 2 (保健活動)	教科書A:9章B　学校保健における健康課題への対策 【個人発表・ディスカッション】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)学校保健復習、国家試験問題を解く。	看護学科教員
16	成人保健活動 1 (動向)	教科書A:2章AB　成人保健の動向、成人期の保健活動 【講義・演習】特定保健指導にむけて 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。成人の特徴を調べる。 事後学習:(30分)特定保健指導の準備	看護学科教員
17	成人保健活動 2 (保健活動)	教科書A:2章　B成人期の保健活動(産業保健一部含む) 【演習・ディスカッション】特定保健指導 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)成人保健復習。国家試験問題を解く。	看護学科教員
18	産業保健 1 (基本)	教科書A:10章A　産業保健の基本 【講義・演習】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。身近な働く人に話を聞きまとめておく。 事後学習:(30分)グループワーク課題に個別に取り組む。	看護学科教員
19	産業保健 2 (保健活動)	教科書A:10章B　産業保健における健康課題への対策と支援 【事例を用いた演習・ディスカッション】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)産業保健復習。国家試験問題を解く。	看護学科教員
20	感染症保健活動 1 (動向、施策)	教科書A:7章A・B感染症対策の動向、感染症保健施策と保健師活動 【感染症保健活動演習】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回の個人課題の発表準備。	看護学科教員
21	感染症保健活動 2 (疾病管理)	教科書A:7章C疾病管理(新興・再興感染症と感染症予防、結核、その他の主な感染症) 【個人課題の発表/意見交換】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)次回のグループワークの準備。	看護学科教員
22	感染症保健活動 3 (活動の実際)	教科書A:第12章B 感染症保健活動の実際(積極的疫学調査) 【事例による活動展開/グループワーク】 事前学習:(30分)教科書の該当箇所を読む。 事後学習:(30分)グループワーク課題作成。配付資料および教科書を復習し、理解を深める。	看護学科教員
23	まとめ	看護職のキャリアと公衆衛生看護学、次年度科目に関する興味・関心 事前学習:(30分)これまでの授業資料を活用できるように整理・確認する。 事後学習:(30分)今後の学修の方向性や取り組み方を文字化する。	看護学科教員

評価	筆記試験(50%)、発表等(50%)
課題に対する フィードバックの方法	発表やグループワークについては、その都度フィードバックをする。課題学習は講評を記載して学生に返却する。筆記試験、課題学習等の講評は、学習支援システム(manaba)で行う。
教科書	A:松田正己ほか:標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院/第4版(最新版)/ISBN:978-4-260-03187-5 (2年次使用)【第1回～23回で使用する】 B:国民衛生の動向2024/2025(厚生の指標2024年8月増刊)/厚生労働統計協会(3年後期に購入する) 【第11回～23回で適宜使用する】
参考図書など	・岸恵美子ほか:看護判断のための気づきとアセスメント　地域・在宅看護、中央法規、ISBN:978-4-8058-8433-1 ・新版　保健師業務要覧/井伊久美子、勝又浜子、森永裕美子　ほか/第4版/ISBN:978-4-8180-2381-9 ・E-stat政府の統計窓口:https://www.e-stat.go.jp/ 他適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	グループワーク、発表や意見交換を講義内で行う。またインターネットを用いた資料収集を行う。
実務経験のある 教員による授業	教員は保健師の実務経験を活かし、公衆衛生看護活動、多職種や地域との連携等について事例を用いながら授業を展開する。
留意事項	・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目である。 ・前期に10回まで実施し試験を行う。後期に11回～23回まで実施し試験を行う。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生看護活動論Ⅱ Public Health Nursing Activities Ⅱ	選択	講義	3単位 （45時間）	4年通期	牛田　貴子、澤井美奈子、山崎真帆	○

ナンバリングコード	HPNE2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
公衆衛生科目 公衆衛生看護学	DP1）看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 DP2）科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 DP4）保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 DP6）卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。

授業概要	公衆衛生の目的である社会の健康に関連する、保健・医療・福祉の制度やシステム、関係機関や社会資源、健康危機管理の理念と目的、各種制度、関係法令や行政や関係機関との連携、危機管理の対象や健康危機管理における保健師の役割、機能、保健活動の実際について、講義と演習により学修する。
到達目標	1）公衆衛生看護活動の基盤となる理論、モデルを活用し、対象理解や活動展開での活用を検討できる。 2）地方自治体における基本構想と保健計画をより実践的に整理できる。 3）公衆衛生看護管理を構成する各要素、保健師教育の変遷および継続教育の目的と方法について理解し、説明できる。 4）公衆衛生看護専門職としての自律について、評価・研究方法を修得し、その活用方法を説明できる。 5）行政、学校、産業にあける保健活動の実際と保健師に必要な知識と技術を理解し活用できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習 （予習・復習・課題等）	担当教員
1	オリエンテーション 公衆衛生看護学における地域アセスメント	授業の進め方および年間学習計画 公衆衛生看護学＆公衆衛生看護活動論Ⅰの復習　小テストと【グループ意見交換】 事前学習：(30分）これまでの公衆衛生看護学関連の資料を活用しやすく整理する。 事後学習：(30分）小テスト結果を用いた学習ノートの作成	澤井美奈子 牛田　貴子
2	地域アセスメントに活用できるモデル	A-6章A ,B-3章C :コミュニティ-アズ-パートナーモデル、プリシード-プロシードモデル、PDCAサイクルを用いた地域アセスメント　【グループ意見交換】 事前学習：(30分）当該理論に関する下調べと文献準備 事後学習：(30分）小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
3	保健行動理論と保健指導で活用できる理論	B-3章A :変化の3段階理論、ヘルスビリーフモデル、変化ステージ理論、社会的認知理論 【グループ意見交換】 事前学習：(30分）当該モデルに関する下調べと文献準備 事後学習：(30分）小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
4	保健行動・健康行動を生み出す力に関する理論	B-3章A :エンパワメント、ヘルスリテラシー、自己効力感、ストレス対処 【グループ意見交換】 事前学習：(30分）当該モデルに関する下調べと文献準備 事後学習：(30分）小テスト結果を用いた学習ノートの追加	牛田 貴子
5	日本における保健医療福祉計画と自治体の基本構想	A-7章A :地方公共団体における保健計画と事業計画 第6回～8回の演習の進め方、準備　【グループワーク】 事前学習：(30分）教科書の関連箇所を読む 事後学習：(30分）グループワーク結果に基づいた授業準備	牛田 貴子
6	横浜市の基本構想と保健計画・事業計画 （情報収集と体系理解）	関連資料を探索し、基本構想に基づいた保健計画・事業計画の全体像を表現する 【グループワーク】 事前学習：(30分）グループワーク結果に基づいた授業準備 事後学習：(30分）グループワーク結果に基づいた修正追加	牛田 貴子
7	横浜市の保健計画・事業計画 (法・制度的根拠と地域背景の理解）	事業別に法・制度的根拠と地域背景を整理し、学習内容と学び方を共有する 【グループ意見交換】 事前学習：(30分）個別に分担された事業に関する授業準備 事後学習：(30分）個別に分担された事業に関する発表準備	牛田 貴子
8	横浜市と各区の基本構想と保健計画・事業計画	横浜市の事業別法・制度的根拠と地域背景【発表】 指定された区の基本構想と保健計画・事業計画の全体像を表現する【グループワーク】 事前学習：(30分）個別に分担された事業に関する発表準備 事後学習：(30分）指定された区の保健計画・事業計画の整理	牛田 貴子
9	公衆衛生看護管理の実際：地域ケアマネジメント（地区管理・事例管理）	特定地域の保健事業等がその目的を達成するために円滑に遂行されるための地区管理・事例管理に関する具体について理解を深める。 事前学習：(30分）教科書の関連箇所、3年次地域看護学の関連内容の確認 事後学習：(30分）特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理	澤井美奈子
10	公衆衛生看護管理の実際：地域ケアマネジメント（事業管理）	特定地域の保健事業等がその目的を達成するために円滑に遂行されるための事業管理に関する具体について理解を深める。 事前学習：(30分）教科書の関連箇所、3年次地域看護学の関連内容の確認 事後学習：(30分）特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理	澤井美奈子
11	公衆衛生看護管理の実際：組織ケアマネジメント（組織管理・人事管理）	特定地域の保健事業等がその目的を達成するために円滑に遂行されるための組織管理・人事管理に関する具体について理解を深める。 事前学習：(30分）教科書の関連箇所、3年次地域看護学の関連内容の確認 事後学習：(30分）特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理	澤井美奈子
12	公衆衛生看護管理の実際：組織ケアマネジメント（予算管理）	特定地域の保健事業等がその目的を達成するために円滑に遂行されるための予算管理の具体について理解を深める。 事前学習：(30分）教科書の関連箇所、3年次地域看護学の関連内容の確認 事後学習：(30分）特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理	澤井美奈子
13	公衆衛生看護管理の実際：情報管理	特定地域の保健事業等がその目的を達成するために円滑に遂行されるための情報管理に関する具体について理解を深める。 事前学習：(30分）教科書の関連箇所、3年次地域看護学の関連内容の確認 事後学習：(30分）特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理	澤井美奈子

14	公衆衛生看護管理の実際：健康危機管理	特定地域の健康危機管理の具体と保健師の役割の実際について理解を深める。 事前学習：(30分)教科書の関連箇所、3年次地域看護学の関連内容の確認 事後学習：(30分)特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理	澤井美奈子
15	公衆衛生看護管理の実際：情報管理・健康危機管理	特定地域の地区管理・事例管理に関する保健事業等がその目的を達成するために円滑に遂行されるための具体について理解を深める。 事前学習：(30分)教科書の関連箇所、3年次地域看護学の関連内容の確認 事後学習：(30分)特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理	澤井美奈子
16	公衆衛生看護管理：施策化、管理的ポストが担う役割	管理的立場の保健師に求められる公衆衛生看護管理、事業化、施策化の実際 事前学習：(30分)教科書の関連箇所、3年次地域看護学の関連内容の確認 事後学習：(30分)特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理、実習目標として表現する。	澤井美奈子
17	保健活動の実際の統合：行政	公衆衛生看護学実習Ⅰの学びをもとに、行政における保健活動について多角的に学びを共有、統合する【発表・意見交換】 事前学習：(30分)教科書の関連箇所、3年次地域看護学、実習の関連内容の確認 事後学習：(30分)特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理、実習目標として表現する。	澤井美奈子 山崎真帆
18	行政の保健師に必要な知識と技術	公衆衛生看護学実習Ⅰと座学の学びを統合し、行政保健師に必要な知識技術を定着させる。 事前学習：(30分)　実習記録、教科書、ノートの該当ページの復習 事後学習：(30分)　小テストによる学びの整理	澤井美奈子 山崎真帆
19	保健活動の実際と統合：学校・産業	公衆衛生看護学実習Ⅱの学びをもとに、行政における保健活動について多角的に学びを共有、統合する【発表・意見交換】 事前学習：(30分)教科書の関連箇所、3年次地域看護学、実習の関連内容の確認 事後学習：(30分)特定事業の目的・対象・法的根拠・実施方法等の整理、実習目標として表現する。	澤井美奈子 山崎真帆
20	学校・産業の保健師に必要な知識と技術	公衆衛生看護学実習Ⅰと座学の学びを統合し、学校・産業保健師に必要な知識技術を定着させる。 事前学習：(30分)　実習記録、教科書、ノートの該当ページの復習 事後学習：(30分)　小テストによる学びの整理	澤井美奈子 山崎真帆
21	保健活動の実際と統合：様々な場へのアウトリーチ	公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱと座学の学びを統合し、保健師に共通の技術を修得する方法を学ぶ。 事前学習：(30分)　実習記録、教科書、ノートの該当ページの復習 事後学習：(30分)　小テストによる学びの整理	澤井美奈子 山崎真帆
22	多用な場で働く保健師に必要な知識と技術	公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱと座学の学びを統合し、多様な場で働く保健師に必要な知識技術を定着させる。 事前学習：(30分)　実習記録、教科書、ノートの該当ページの復習 事後学習：(30分)　小テストによる学びの整理	澤井美奈子 山崎真帆
23	保健師の役割と機能	学習内容全体の振り返り　/　知識の統合 事前学習：(30分)教科書、資料、ノートの復習 事後学習：(60分)個別レポート	澤井美奈子 山崎真帆

評価	筆記試験（50%）、課題レポート（50%）
課題に対する フィードバックの方法	グループワークはその都度フィードバックをする。筆記試験、課題レポ゛ート等の講評は、学習支援システム(manaba)で行う。
教科書	A標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論/標美奈子ほか/医学書院/第6版/ISBN:978-4-260-04707-4（3年次使用） B標準保健師講座2 公衆衛生看護技術/中村裕美子ほか/医学書院/第5版/ISBN:978-4-260-05002-9 C標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動/松田正己ほか/医学書院/第4版/ISBN:978-4-260-03187-5（3年次使用） D厚生の指標増刊　国民衛生の動向　2023/2024/厚生労働統計協会：ISBN:978-4875118985（3年次使用）
参考図書など	標準保健師講座 5　保健医療福祉行政論/藤内 修二ほか /医学書院/第6版/ISBN：978-4-260-05673-1 新版 保健師業務要覧/井伊久美子ほか/日本看護協会出版会/ 第4版 2024年版/ISBN:978-4-8180-2607-0
アクティブ・ラーニング	グループワーク、発表や意見交換を講義内で行う。またインターネットを用いた資料収集、国試模試web版を用いた小テストを行う。
実務経験のある 教員による授業	教員は保健師の実務経験を活かし、多様で複雑な看護活動の基盤について事例を用いながら授業を展開する。
留意事項	・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目であり、公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱに直結した内容である。 ・前期に16回まで実施し試験を行う。後期に17～23回まで実施し試験を行う。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生看護学演習 Public Health Nursing Seminar	選択	演習	2単位 （60時間）	4年通期	山崎　真帆、澤井　美奈子、牛田貴子	○

ナンバリングコード	HPNE3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
公衆衛生科目 公衆衛生看護学	DP2）エビデンスに基づく実践力 DP3）援助的コミュニケーション力 DP4）チームで連携し協働する力

授業概要	個別から集団までを対象とした公衆衛生看護活動における、アセスメント、コミュニケーション、生活支援や健康支援、地域診断、施策化と事業化、社会資源の開発、システム化について、演習を通して具体的に学修する。
到達目標	1）個人・家族を対象とした支援に必要な情報を収集することができる。 2）収集した情報をアセスメントし、支援計画を立案することができる。 3）個別指導に必要なコミュニケーション技術を身につけている。 4）個人・家族を対象とした支援の計画・実施・評価をすることができる。 5）地域の情報をアセスメントし、地域の健康課題や関連要因を抽出できる。 6）保健活動の事業化・施策化と評価について理解できる。 7）健康教育の目的や技術を理解し、対象にあった効果的な健康教育を展開できる。 8）地域における組織的な解決方法を説明できる。

回	授業項目	授業内容 事前・事後学習　（予習・復習・課題等）	担当教員
1	オリエンテーション 機能と技術、対象の理解	授業の進め方 A-1章、2章::公衆衛生看護における機能と技術、対象の理解 事前学習（30分）教科書の関連箇所を読む。 事後学習（60分）配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎　真帆
2	基盤となる理論を用いた事例展開	A-3章：公衆衛生看護の基盤となる理論を用いた事例展開 【グループワーク】 事前学習（30分）教科書の関連箇所を読む。 事後学習（60分）配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎　真帆
3	対人支援活動	A-4章ABCD：対人支援の展開 健康相談、母子（親子）保健における保健指導【グループ意見交換】 事前学習（30分）教科書の関連箇所を読む。 事後学習（60分）演習の内容を復習し、健康相談・保健指導の内容をまとめる。	山崎　真帆
4	家庭訪問（1） 情報収集とアセスメント	A-5章：家庭訪問 家庭訪問とは。新生児訪問事例について、必要な情報、視点を整理する。 支援展開のための情報収集、アセスメント 事前学習（30分）教科書の関連箇所を読む。 事後学習（60分）事例のアセスメント、訪問計画作成。	澤井　美奈子
5	家庭訪問（2） 新生児訪問演習	家庭訪問演習1　事例への新生児訪問演習と振返りを行う。 【グループ意見交換】 事前学習（60分）訪問の流れをイメージする。 事後学習（30分）振返り内容を整理し、2回目の訪問計画に反映する。	澤井　美奈子
6	家庭訪問（3） 新生児訪問演習	家庭訪問演習2　事例への新生児訪問演習と振返りを行う。 【グループ意見交換】 事前学習（30分）2回目の訪問演習のイメージトレーニングを行う。 事後学習（60分）訪問記録を作成する。	澤井　美奈子
7	家庭訪問（4） まとめ	行政における家庭訪問の目的と保健師、他職種、地域の人々の役割を理解する。 事前学習（30分）実習先自治体の母子保健に関する資源を調べる。 事後学習（60分）家庭訪問に必要な知識と技術を整理し、具体的実習目標を作成する。	澤井　美奈子
8	健康診査（1） 目的、対象、展開	A-4章E　健康診査 健康診査とは、保健指導の展開 事前学習（30分）教科書の関連箇所を読む。 事後学習（60分）演習の内容を復習し、健康診査・保健指導の内容をまとめる。	山崎　真帆
9	健康診査（2） 情報収集とアセスメント	A-4章E　健康診査 支援展開のための情報収集、アセスメント 事前学習（30分）教科書の関連箇所を読む。 事後学習（60分）アセスメントをもとに健康診査の手順を計画する。	山崎　真帆
10	健康診査（3） 乳幼児健康診査演習	健康診査演習1　事例を対象とした乳幼児健康診査演習 【グループ意見交換】 事前学習（30分）必要な情報を調べる。 事後学習（60分）演習の内容を復習し、健康診査・保健指導の内容をまとめる。	山崎　真帆
11	健康診査（4） 乳幼児健康診査演習	健康診査演習2　事例を対象とした乳幼児健康診査演習 【グループ意見交換】 事前学習（30分）必要な情報を調べる。 事後学習（60分）演習の内容を復習し、健康診査・保健指導の内容をまとめる。	山崎　真帆

12	保健指導(1) 計画	A-4章A:特定健康診査・特定保健指導　事例を用いて特定健康診査を計画・実施する。 【グループ意見交換】 事前学習(30分)教科書の関連箇所を読む。 事後学習(60分)事例を読み、特定に必要な情報を整理する。	澤井　美奈子
13	保健指導(2) 情報収集とアセスメント	A-4章A:特定保健指導展開のための情報収集、アセスメント 【グループ意見交換】 事前学習(30分)必要な情報を調べる。 事後学習(60分)アセスメントをもとに特定健康診査・特定保健指導の手順を計画する。	澤井　美奈子
14	保健指導(3) 特定保健指導演習	保健指導演習1　特定健康診査・特定保健指導演習を行う。 【グループ意見交換】 事前学習(60分)特定健康診査結果と特定保健指導の体系と手順を理解する。 事後学習(30分)振返り内容を整理し、2回目の演習に反映できるよう準備する。	澤井　美奈子
15	保健指導(4) 特定保健指導演習	保健指導演習2　特定健康診査・特定保健指導演習と振返りを行う。 【グループ意見交換】 事前学習(30分)2回目の演習計画をたてる。 事後学習(60分)保健指導の記録を作成する。	澤井　美奈子
16	地域組織活動への支援	A-7章:地域組織活動の展開 事前学習(60分):教科書の関連箇所を読む。 事後学習(30分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	牛田　貴子
17	地域ケアシステムの構築	A-8章:地域ケアシステム 地域ケアシステムの概念、個人や組織の役割、住民とのパートナシップ、関係機関の連携 事前学習(60分):教科書の関連箇所を読む。 事後学習(30分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	牛田　貴子
18	公衆衛生看護と地域アセスメント	地域支援の基本となる考え方と支援方法、地域アセスメントの目的・意義、 既存資料の活用 事前学習(30分):身近にある「住民のニーズ」について考える。 事後学習(60分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎　真帆
19	公衆衛生看護の基盤となる理論	A-3章:地域アセスメントの考え方、理論・モデル 事前学習(60分):教科書の指定箇所を読む。 事後学習(30分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎　真帆
20	公衆衛生看護　保健統計・疫学の基礎	B-2編:地域アセスメントに活用する保健統計・疫学 【ICT】インターネットを利用しながら地域アセスメントに活用する情報について学ぶ 事前学習(60分):保健統計・疫学に関する授業の復習。 事後学習(30分):課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	山崎　真帆
21	地域アセスメントの過程(1) 情報収集とアセスメント	コミュニティコア(人口動態・人口静態等)、コミュニティのサブシステム(物理的環境、経済、政治と行政、教育、安全・交通、コミュニケーション、レクリエーション、保健医療福祉サービス)の情報収集とアセスメント 【グループワーク/ICT】行政のホームページなどから情報を収集してまとめる 事前学習(30分):コミュニティコアに関する情報を集める。 事後学習(60分):課題学習に取り組む。授業内容を復習し理解を深める。	山崎　真帆
22	地域アセスメントの過程(2) 健康課題の抽出	住民のニーズの把握、地区踏査、インタビューの進めかた、顕在化・潜在化している健康課題の抽出、健康課題解決のための方策の検討 【グループワーク/ICT】行政のホームページなどから情報を収集してまとめる 事前学習(30分):地域アセスメントに使用する既存資料を収集する。 事後学習(60分):課題学習に取り組む。	山崎　真帆
23	地域アセスメント演習(1)	各グループでまとめた地域アセスメントの中間発表、意見交換 【グループワーク/プレゼンテーション/ディスカッション】 事前学習(30分):地域アセスメントの発表準備をする。 事後学習(60分):発表内容を振りかえり、加筆・修正をする。	山崎　真帆
24	地域アセスメントの展開	既存の資料を用いた地域アセスメントの展開 【グループワーク/ICT】行政のホームページなどから地域診断に活用する情報を収集してまとめる 事前学習(30分):地域アセスメントに使用する既存資料を収集する。 事後学習(60分):課題学習に取り組む。地域アセスメントの発表準備をする。	山崎　真帆
25	地域アセスメント演習(2)	各グループでまとめた地域アセスメントの発表、意見交換 【グループワーク/プレゼンテーション/ディスカッション】 事前学習(60分):地域アセスメントの発表に向けて準備をする 事後学習(30分):発表内容を振りかえり、地域アセスメントの加筆・修正をする。	山崎　真帆、 澤井　美奈子
26	健康教育(1) 位置づけ、技術	A-6章:健康教育の展開 地域における健康教育の位置づけ、健康教育の技術、教育媒体(教材)、健康教育の展開過程 事前学習(60分):教科書の指定箇所を読む。 事後学習(30分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎　真帆
27	健康教育(2) 健康教育の展開	母子保健、成人保健、高齢者保健における健康課題に対する健康教育の展開 【グループワーク】 事前学習(30分):発達段階に応じた健康課題を復習し、健康教育の題材を探す。 事後学習(60分):配布資料および教科書の復習、健康教育演習準備。	澤井　美奈子
28	健康教育(3) 健康教育の展開	母子保健、成人保健、高齢者保健における健康課題に対する健康教育の展開 【グループワーク】 事前学習(30分):発達段階に応じた健康課題を復習し、健康教育の題材を探す。 事後学習(60分):配布資料および教科書の復習、健康教育演習準備。	澤井　美奈子
29	健康教育(4) 健康教育演習	健康教育の発表、意見交換 【プレゼンテーション】 事前学習(60分):健康教育の発表に向けて準備をする。 事後学習(30分):発表内容を振りかえり、加筆・修正をする。	澤井　美奈子
30	まとめ	講義のまとめ 【演習】設問に回答しながら、これまでの授業内容を振り返る 事前学習(30分):これまでの授業資料を復習し、理解する。 事後学習(60分):配付資料および教科書を復習し理解を深める。	山崎　真帆、 澤井　美奈子

評価	小テスト（40%）、課題学習・レポート（30%）、発表（30%）
課題に対する フィードバックの方法	発表やグループワークは、その都度フィードバックをする。小テスト、課題・レポート等の講評は講義時間や学習支援システム（manaba）で行う。
教科書	A標準保健師講座2 公衆衛生看護技術/中村裕美子ほか/医学書院/第5版/ISBN:978-4-260-05002-9 B厚生の指標増刊　国民衛生の動向　2023/2024/厚生労働統計協会:ISBN:978-4875118985（3年次使用）
参考図書など	・標準保健師講座1 公衆衛5看護学概論/標 美奈子ほか/医学書院/第6版/ISBN:978-4-260-04707-4（3年次使用） ・標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動/ 中谷 芳美ほか/ 医学書院/第5版/ISBN978-4-260-05303-7（3年次使用） ・新版 保健師業務要覧 第4版 2024年版/井伊久美子ほか/日本看護協会出版会/第4版/ISBN:978-4-8180-2607-0 ・E-stat政府の統計窓口:https://www.e-stat.go.jp/ 他適宜紹介する。
アクティブ・ラーニング	グループワーク、ディスカッション、ロールプレイング、発表や意見交換、インターネットを用いた情報収集を,講義内で行う。
実務経験のある 教員による授業	教員は保健師等の実務経験を活かし、公衆衛生看護活動、多職種や地域との連携等について事例を用いながら授業を展開する。
留意事項	・保健師国家試験受験資格取得のための必修科目。 ・授業でコンピュータルームを使用する場合がある。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生看護学実習Ⅰ Public Health Nursing Practice Ⅰ	選択	実験・実習	4単位 （180時間）	4年前期	澤井美奈子、山崎真帆	○

ナンバリングコード	HPNF3	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
公衆衛生科目 公衆衛生看護学	DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	神奈川県内の保健所等行政機関における各種保健福祉事業の見学・活動の一部への参加経験を通して、公衆衛生看護の理念、対象、活動方法に関わる知識や技術を統合し、公衆衛生看護活動を実践する上での基盤となる能力形成を行う。加えて、保健師としての氏名や責任について考える。
到達目標	1）地域で生活する住民の健康状態を把握し、潜在または顕在する健康課題を明らかにする。 2）地域で生活している人々の健康問題の改善や解決のために展開される保健事業（健診等）を通して、公衆衛生看護の意義と方法を学ぶ。 3）地域における保健・医療・福祉行政システムにおける関係機関および関連職種との連携・協働について学ぶ。 4）地域の健康危機管理について学び、保健師の役割を理解する。 5）公衆衛生看護における看護倫理について学び、実践する。
授業の進め方	1.実習期間 ・保健所・市町村オリエンテーション・地区踏査：4月17・18日 ・保健所・市町村実習：6月2日（月）～6月27日（金） 2.実習施設 神奈川県内保健所・市町村等 3.実習内容・展開 1）事前学習 オリエンテーション。実習目標をたて、実習地域および参加事業の調べ学習などを行う。 2）臨地実習 実習先保健所・保健センター管内における、地域アセスメント（地域診断）、各種保健事業への参加、家庭訪問や相談の体験、地区組織活動への参加などを重ね、公衆衛生看護活動について学びを深める。 （注）実習は、実習先の年間スケジュールに沿って実施され、すべての学生が同一期間に同じ内容を実習できるとは限らない。 3）カンファレンス・報告会 実習開始時、実習中、終了時にカンファレンスや情報交換を行い、学びの共有や定着をはかることで学修を深める。 4.記録提出 提出期日および提出先は担当教員の指示に従うこと。 5.その他 詳細は、公衆衛生看護学実習Ⅰ実習要項および臨地実習ガイドラインを参照すること。

評価	実習要項に示す実習内容、実習記録、レポート等評価区分に基づき評価する
課題に対するフィードバックの方法	臨地施設での教員、実習指導者による直接指導、記録へのコメント、カンファレンス
教科書	授業で使用した教科書すべて
参考図書など	授業時配布資料、実習オリエンテーション資料、実習施設内学生実習用貸し出し資料、実習先自治体のHPほか
アクティブ・ラーニング	学内演習・グループワークによる演習・ディスカッションと臨地実習での体験、見学（家庭訪問、健康診査、健康教育など）
実務経験のある教員による授業	教員は保健師等としての実務経験を活かし、行政における公衆衛生看護活動や多職種との連携、地域をとらえる視点等について実践的な指導をする。
留意事項	実習先の保健所等で提供される事業について、十分に事前学習して、主体的に取り組むこと。 実習期間は4週間と長いため、健康に十分配慮すること。

授業科目の名称	必修・選択の別	授業形態	単位数（時間数）	配当年次	科目担当教員	実務経験のある教員による科目
公衆衛生看護学実習Ⅱ Public Health Nursing Practice Ⅱ	選択	実験・実習	1単位 （45時間）	4年通期	澤井美奈子、山崎真帆	○

ナンバリングコード	HPNF2	オフィスアワー	本科目に関する質問は、授業の前後及びメールで受け付ける

授業科目区分	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
専門科目 臨地実習	DP3）援助的コミュニケーション力 DP5）安全を保障する力

授業概要	多様な公衆衛生看護活動の場において、各種事業の見学・活動の一部への参加経験を通して、公衆衛生看護学実習の学びである知識や技術を統合する。
到達目標	1.地域におけるヘルスケアシステム 1）特定地域における住民の健康問題や利用状況を把握し、地域内の社会資源や医療機関等の関係機関および健康支援に携わる看護職者ほか専門職の役割と連携について説明できる。 2）地域の住民と多分野多機関の関係者が協働し、組織的に活動することの意義を具体的に説明できる。 3）地域の住民を対象とした活動の、計画、実施、評価について考えることができる。 2. 産業保健 1）働く人の健康の保持増進、予防に関する各種施策、事業の意義と仕組みが説明できる。 2）健康診断と事後指導・個別相談等へ参加を通して、労働者個人や職場組織の健康課題とそれに対する保健活動の実際、および保健師の役割を学ぶ。 3. 学校保健 1）学校保健安全に関する主な法規、各種施策、事業の意義と仕組みを実習内容から具体的に説明できる。 2）子どもの発達とさまざまな健康課題に関する知識を基盤に、学校教育法に規定される学校等において展開される教育活動を学校保健の視点で見直し、その目的および意義について説明できる。 3）実習施設における学校保健に関する年間の活動目的と内容を主体的に学び取り、閲覧可能な資料から課題や対応策について説明できる。
授業の進め方	1. 実習期間：9～11月の連続しない1週間 2. 実習施設：教育・産業保健施設、病院、大学周辺地域の各種施設 3. 実習内容 1）地域のヘルスケアシステム 2）産業保健 3）学校保健 （注）実習期間、実習施設、により実習スケジュールは異なる。 4. 実習の展開 学生によって実習予定は異なる。 実習施設の機能・目的・対象者・根拠法等について事前学習し、実習目標を明確にして毎日の実習に臨む。 日々の学習の共有やまとめは、教員、指導者に相談しながら学生主体で行う。 5. 記録提出 提出期日および提出先は担当教員の指示に従うこと。 6.その他 詳細は、公衆衛生看護学実習Ⅱ実習要項および臨地実習ガイドラインを参照すること。

評価	実習要項に示す実習内容、実習記録、レポート等評価区分に基づき評価する
課題に対するフィードバックの方法	臨地施設での教員、実習指導者による直接指導、記録へのコメント、カンファレンス
教科書	授業で使用した教科書すべて
参考図書など	授業時配布資料、実習オリエンテーション資料、実習施設ごとの資料、関連HPほか
アクティブ・ラーニング	学内演習・グループワークによる演習・ディスカッションと臨地実習での体験、見学
実務経験のある教員による授業	教員は保健師等としての実務経験を活かし、地域における公衆衛生看護活動や多職種との連携、地域をとらえる視点等について実践的な指導をする。
留意事項	公衆衛生看護の視点から実習先について十分に事前学習して主体的に取り組むこと。